

平成 24 年度老人保健健康増進等事業  
在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査研究  
報告書

平成 25 年 3 月

国立長寿医療研究センター

## 目次

はじめに	2
I. 調査概要	3
II. 質問紙調査	9
1. 研究方法	9
2. 結果	
(1) 調査協力施設及び解析対象者の流れ	12
(2) 在宅療養高齢者の基本的特徴	13
(3) 年齢階級別基本的特徴	35
(4) BMI からみた在宅療養患者について	44
(5) MNA-SF 総合得点からみた在宅療養患者について	60
(6) 在宅療養患者の摂食及び栄養に及ぼす薬剤の影響について	75
III. ケーススタディ	78
まとめ	95
＜ 資料 ＞	
・ 集計結果	
① 男女別	
② 年齢階級別	
③ BMI 3 群別	
④ MNA-SF 3 群別	
・ 調査票	
・ 調査実施マニュアル	



## はじめに

調査実施責任者 太田秀樹

一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会事務局長

3人に1人が高齢者となる世界に類を見ない超高齢社会を目前に、今、わが国の医療は大きく変わろうとしています。多くの高齢者が、認知症や廃用症候群、そして、摂食嚥下障害など、長寿化に起因するさまざまな障害を抱えながら、ある一定の虚弱な期間を経て人生の終焉を迎えるという実態が広く知られるようになりました。加齢に基づく健康課題は従来型の病院を中心とした疾病治療を目的とするヘルスケアシステムのなかで解決することが困難です。そのため、できるだけ住みなれた地域で尊厳ある暮らしの継続が可能となるよう、生活の場に提供される機動力ある医療・介護サービスがますます重要となってきました。

さらに、地域包括ケアシステム構築が基礎自治体にゆだねられています。この新しい概念は、医療・介護・保健（予防）・福祉（生活支援）・住居の5つの領域から構成され、サービスが介入した妥当性の尺度をQOL（生活の質）に求めています。いたずらに命の量だけを追求するではありません。生命の質そのものが問われはじめたといえましょう。そこで、生命の質の象徴ともいえる「栄養」に着目し、在宅療養者の栄養に関する実態調査を行うこととなりました。

在宅医療は、24時間の切れ目のないサービス提供、多職種の協働、地域の連携が基本要素であり、生活の場での療養生活には、さまざまな専門職のかかわりが求められます。今回、わが国初めての大規模調査ということで、在宅医療を支えるさまざまな団体の皆様のご協力をいただき、先駆的な研究事業となっております。一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会、一般社団法人全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会、公益財団法人日本訪問看護財団、一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会、一般社団法人日本介護支援専門員協会、全国在宅訪問栄養食事指導研究会の会員の皆様のご尽力に心より御礼申し上げる次第です。

同じ目標をもって多職種が協働して行った本研究事業を通して、地域での連携の絆が深まり、いっそう質の高い在宅医療の提供につながったとの副次的な効果があったとも聞いています。本研究から抽出された在宅療養者における栄養に関わる課題に対して、丁寧に解決方を模索し、よりレベルの高い在宅医療サービスが提供できるようさらに努力させていただきます。



## I. 概要

### 1. 本研究の背景

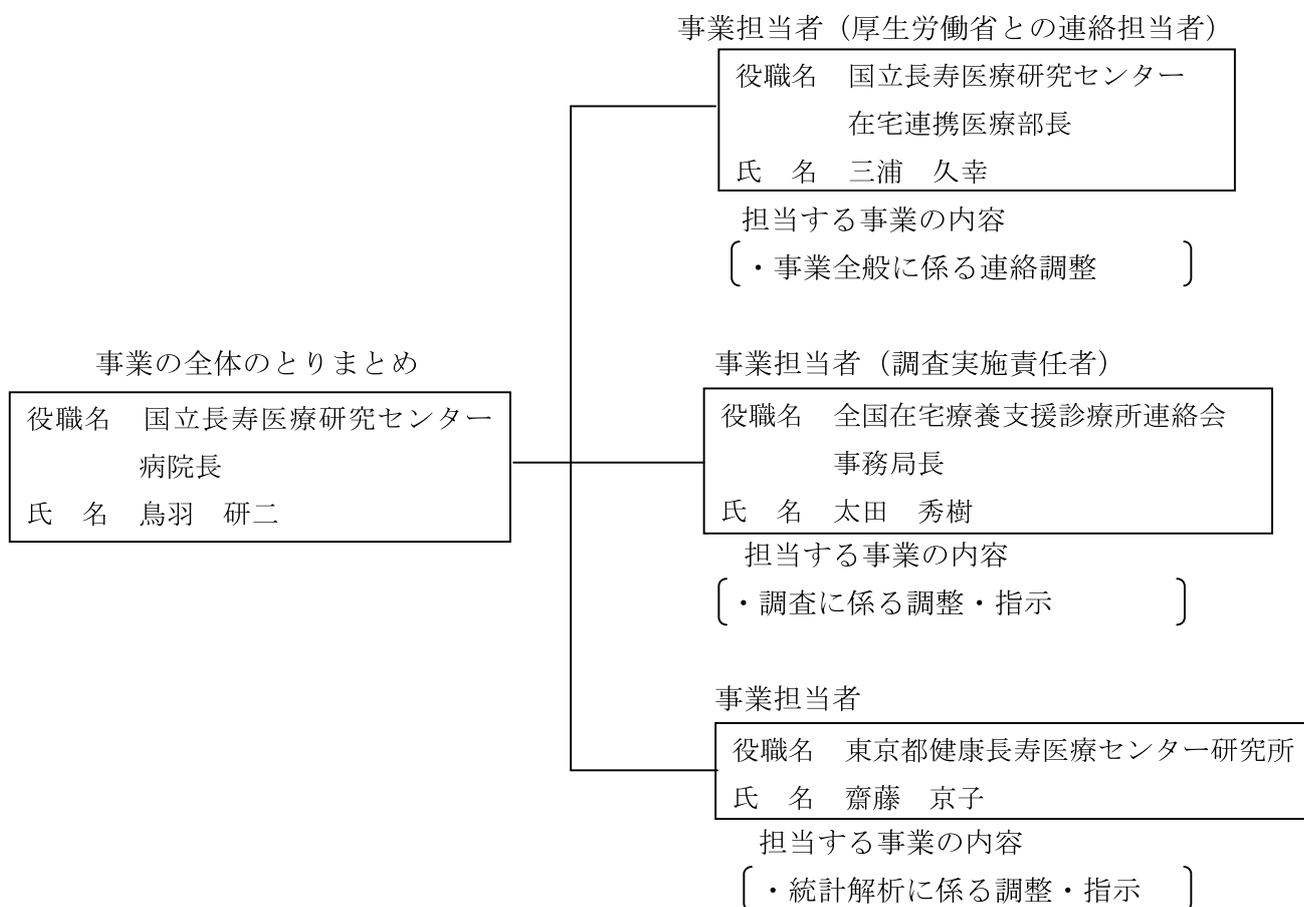
在宅療養患者において、生活の質（quality of life; QOL）を維持するためには、栄養状態の維持・改善は不可欠である。特に高齢者においては、低栄養状態（サルコペニア等を含む）が散見されるのも事実である。

その一因として、在宅療養患者の栄養状態には、疾患の状態や介護環境等、多くの要因が影響を及ぼしていることがあげられる。実際にどのような要因が低栄養に関連しているのかについて、在宅療養患者の実態を明らかにした調査はこれまでほとんど行われていない。これらを明らかにするためには、在宅療養患者の栄養状態と、本人の身体状況、環境要因等を合わせて検討することが必要であると考えられる。

### 2. 本研究の目的

本調査研究では、在宅療養患者のより質の高い在宅生活を維持・継続するために、特に摂食状況や栄養状態に着目して、その実態を調査・把握し、課題を分析するとともに、ケーススタディにより実態改善への方策を模索・提言する。

### 3. 研究組織



#### アドバイザー

葛谷雅文 (名古屋大学大学院医学系研究科発育・加齢医学講座 教授)  
前田佳予子 (全国在宅訪問栄養食事指導研究会 会長/武庫川女子大学  
生活環境学部 教授)

#### 研究協力者 (五十音順)

大石善也 (一般社団法人 全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会 事務局長)  
大澤光司 (一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 会長)  
大塚理加 (独立行政法人 国立長寿医療研究センター)  
木村隆次 (一般社団法人 日本介護支援専門員協会 会長)  
佐藤美穂子 (公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事)

#### 4. 調査協力機関・団体（五十音順）

一般社団法人 全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会

一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会

一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会

一般社団法人 日本介護支援専門員協会

公益財団法人 日本訪問看護財団

社団法人 東京都医師会

全国在宅訪問栄養食事指導研究会

## 5. 調査協力施設（チームリーダーとして参加いただいた施設のみ掲載）

医療法人社団守一会 北美原クリニック（北海道）  
医療法人社団 坂本医院（北海道）  
医療法人 札幌山の上病院（北海道）  
医療法人社団 新琴似ファミリークリニック（北海道）  
医療法人財団老蘇会 静明館診療所（北海道）  
つがやす歯科医院（北海道）  
有限会社イクス 安田調剤薬局（青森県）  
国民健康保険 衣川歯科診療所（岩手県）  
佐藤たもつ歯科医院（岩手県）  
医療法人葵会 もりおか往診クリニック（岩手県）  
株式会社仙台調剤 泉中央調剤薬局（宮城県）  
有限会社メディックス白石 けや木薬局（福島県）  
あけぼの薬局（茨城県）  
医療法人アスムス おやま城北クリニック（栃木県）  
医療法人アスムス 蔵の街診療所（栃木県）  
JA 栃木厚生連 下都賀総合病院（栃木県）  
株式会社メディカルグリーン（栃木県）  
株式会社メディカルグリーン あゆみ薬局（栃木県）  
株式会社メディカルグリーン 居宅介護支援事業所みどり（栃木県）  
有限会社バイアート 訪問看護ステーションオリーブ（栃木県）  
医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所新松戸（千葉県）  
医療法人社団実幸会 いらはら診療所（千葉県）  
大石歯科医院（千葉県）  
公益社団法人日本訪問看護財団立 おもて参道訪問看護ステーション（東京都）  
一般社団法人 下谷医師会（東京都）  
医療法人社団至高会 たかせクリニック（東京都）  
医療法人社団鼻社会 西田医院（東京都）  
医療法人社団つくし会 新田クリニック（東京都）  
細野歯科クリニック（東京都）  
医療法人鳥伝白川会 鎌倉常盤クリニック（神奈川県）  
とわ歯科クリニック（神奈川県）  
医療法人聖徳会 小笠原内科（岐阜県）  
公益社団法人岐阜県看護協会立 高山訪問看護ステーション（岐阜県）  
内科伊藤医院（愛知県）

やすい内科（愛知県）  
有限会社ゆきぐにメディックス なのはな調剤薬局（新潟県）  
医療法人和光会 天理駅前歯科診療所（奈良県）  
医療法人城見会 アムス吹田在宅グループ アムス訪問看護ステーション（大阪府）  
医療法人 出水クリニック（大阪府）  
医療法人乾洋会 トミデンタルクリニック（大阪府）  
医療法人おひさま会 やまぐちクリニック（兵庫県）  
有限会社ナースケア（高知県）  
島田歯科（高知県）  
吉川歯科クリニック（NPO 法人ライフプランニングあい）（島根県）  
ほかじょう歯科医院・今里歯科医院（福岡県）  
有限会社メディフェニックスコーポレーション 薬局つばめファーマシー（宮崎県）  
ひとえ歯科クリニック（宮崎県）  
医療法人仁慈会 太田歯科医院（鹿児島県）  
医療法人ナカノ会 ナカノ在宅医療クリニック（鹿児島県）  
医療法人香優会 比嘉歯科医院  
医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所（沖縄県）

紙面の都合でチームリーダーの所属施設のみの掲載とさせていただきました。本調査は、上記の他多数の施設にご協力いただきました。ここに深謝いたします。

## 6. 分析協力者（敬称略）

伊東俊雅（東京女子医科大学病院）

宇田和夫（株式会社ファーコス）

轡 基治（うえまつ調剤薬局）

坂本岳志（あけぼの薬局）

鈴木順子（北里大学）

柴田るり子（カネマタ薬局）

深町信子（北里大学）

福島紀子（慶応義塾大学）

## Ⅱ．質問紙調査

### 1. 研究方法

#### 1) 対象者

平成 24 年 10 月 15～28 日にチームリーダーが診療または訪問対応した 65 歳以上の在宅療養患者を本調査の対象者とした。在宅療養者の定義は、自宅で「訪問診療」、「訪問歯科」、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」、「訪問栄養指導」、「訪問薬剤指導」を受けている者である。

#### 2) 調査項目

##### (1) 基本的属性

性別、年齢、家族構成、要支援・要介護度、世帯状況、介護者、在宅サービス、既往歴などを施設等で持っている既存データから調査担当者が転記した。不明な項目は対象者や家族等に調査担当者が問い合わせた。既往歴は **Charlson Index** を用いた。

##### (2) 身体計測

身長、体重、BMI、下腿三頭筋周囲長、膝高、浮腫の有無を調べた。身長、体重、下腿三頭筋周囲長、膝高の計測は、調査マニュアルに沿って調査担当者が測定を行った。また既存のデータがある場合は転記した。

##### (3) 栄養状態

高齢者の栄養評価スケール (**Mini Nutritional Assessment : MNA-SF**) を用いた。MNA、食習慣・環境要因、口腔嚥下機能、皮膚・爪の状態の聞き取り調査を行った。また口腔嚥下機能、皮膚・爪は調査担当者が確認をして調査票に記入した。

##### (4) 生化学データ

アルブミン、総蛋白など各施設で測定した既存の値を調査票へ転記した。

##### (5) ADL

障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の自立度、バーセルインデックスを用いて聞き取り調査を行った。

##### (6) 服薬

薬剤名、容量、使用法をお薬手帳等から転記、またはお薬手帳のコピーを調査票に添付した。

##### (7) その他生活習慣

喫煙・飲酒習慣を対象者または家族から聞き取り調査を行った。

### 3) 実施方法

調査実施手順は図 1、2 に示した。

事前に国立長寿医療研究センターの調査事務局から全国在宅療養支援診療連絡会に調査協力の打診をし、了承を得た。また、全国在宅療養支援診療連絡会から全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会、日本訪問看護財団、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会へ調査依頼を行った。そして、各種団体から調査協力の了解を得た。平成 24 年 7 月から 9 月まで、調査協力を得られた団体は、各団体に所属する施設に調査協力をお願いした。各団体が調査方法及び調査票のとりまとめを行うと同時に各団体の中で調査票等を取りまとめるチームリーダー（施設及び診療所等グループ施設の担当者）を決定した。

平成 24 年 8 月から 10 月まで、調査事務局はチームリーダー向け調査説明会を各地で行った。調査事務局はチームリーダーに調査予定人数等を確定してもらった。調査予定施設は 62 カ所であった。平成 24 年 10 月上旬、各チームリーダーに調査票、調査マニュアル、メジャー等の調査キットを郵送した。チームリーダーは、平成 24 年 10 月 15～28 日に在宅医療（訪問診療、医療系介護サービス）を受けている者を抽出し、調査担当者に調査説明を行い、調査を実施した。平成 24 年 11 月中旬までに各チームリーダーから、東京都健康長寿医療センターに調査票及び調査報告書を返却してもらった。調査票の記入もれ等の確認を行い、調査票への個人識別番号の割り当てと記入間違いの訂正を行った。平成 25 年 2 月、報告書の作成を行い、各団体及び、調査協力を頂いた施設に送付した。

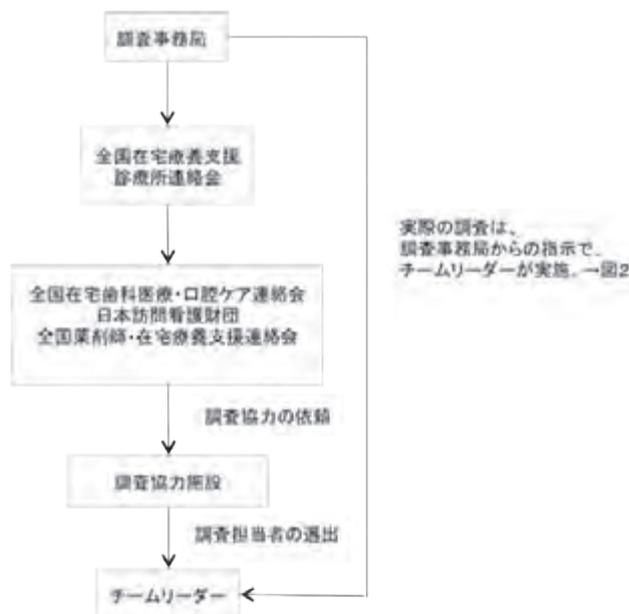


図 1. チームリーダー選出までの流れ

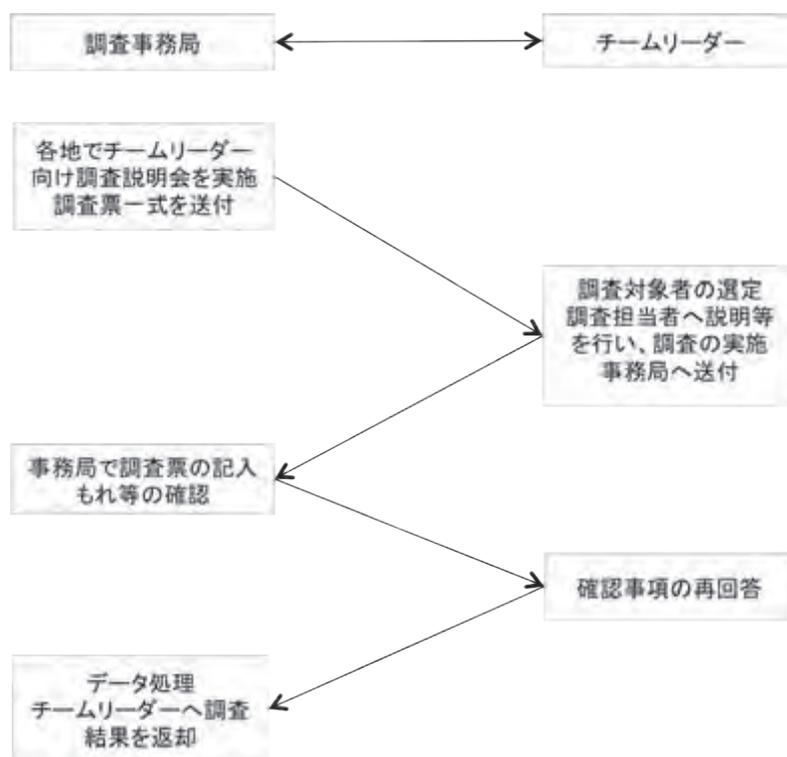


図 2. 調査実施の流れ

#### 4) 倫理面に関する配慮

調査実施時に、対象者が不利益を被ることなく協力を拒否できる機会を保証している。質問票の回答は全て数値化し、個人識別番号を用いて、個人を同定できないようにしている。調査参加者またはその家族等で書面によるインフォームドコンセントに同意した者（家族等）を調査対象者とした。本研究は国立長寿医療研究センター倫理委員会に申請し承認を受けている。

#### 5) 分析方法

連続変数は  $t$  検定、順序尺度は傾向性の検定として Cochran Mantel-Haenszel トレンド検定（傾向性の検定はトレンド  $p$  で表記した）、名義尺度は  $\chi^2$  検定を行った。検定では、欠損値および「わからない」は除外した。統計解析には、SAS9.2 を用いた。

## 2. 結果

### (1) 調査協力施設及び解析対象者の流れ

調査協力施設及び解析対象者の流れを図3に示す。調査実施予定施設は62カ所、調査予定者は2564名であった。その内、調査実施期間中に調査実施が不可能または調査対象者の該当者がいない等の理由で調査を行えなかった施設は11カ所、444名であった。調査実施施設は51カ所、1141名であった。同意が得られない等の理由で調査不可能だった者は979名であった。調査実施対象者1141名の内、年齢不明者、65歳以下の者、在宅療養でない者151名は除外した。解析対象者は990名であった。



図3. 調査対象者

## (2) 在宅療養高齢者の基本的特徴

調査対象者の男性は 384 名 (38.8%)、女性 606 名 (61.2%)、男女計 990 名であった (図 4)。

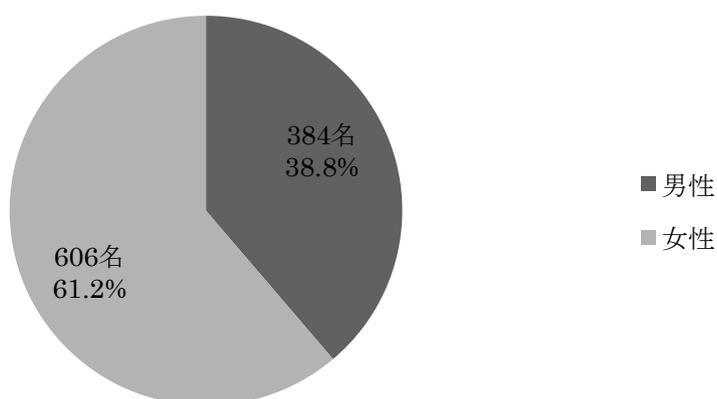


図 4. 対象者性別

対象者の年齢は、男性  $81.1 \pm 7.9$  歳、女性  $84.7 \pm 8.3$  歳と女性の方が有意に高かった ( $p < 0.0001$ , 図 5)。

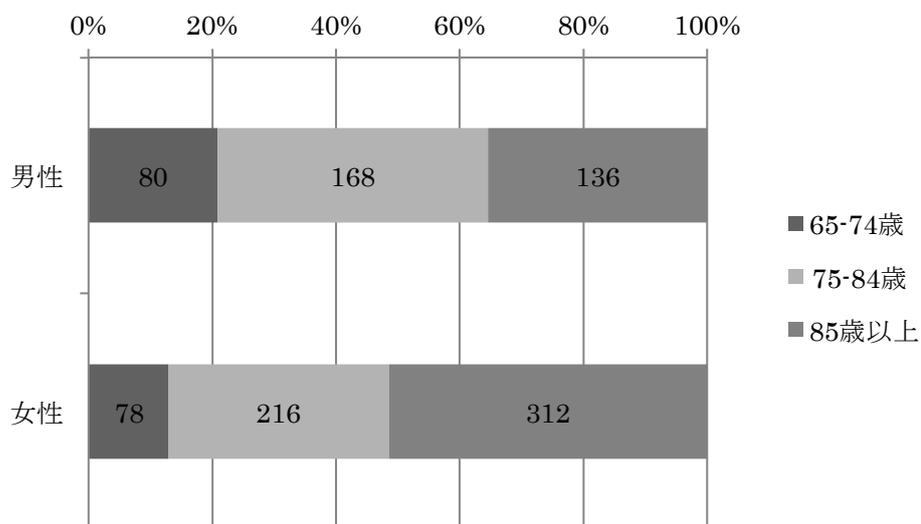


図 5. 対象者年代別

体重は男性  $52.5 \pm 10.1$ kg、女性  $43.9 \pm 10.0$  kg、BMI は男性  $20.6 \pm 3.6$ kg/m<sup>2</sup>、女性  $20.8 \pm 4.4$  kg/m<sup>2</sup>、MNA の平均点数は、男性  $8.7 \pm 2.9$  点、女性  $8.3 \pm 3.0$  点であった。

BMI を 18.5 未満、18.5 以上-25.0 未満、25.0 以上の 3 群に分けると、18.5 未満が 232 名 (23.4%)、18.5 以上-25.0 未満は 420 名 (42.4%)、25.0 以上は 105 名 (10.6%) であった。また、身長や体重がわからなかったため、233 名 (23.5%) は、BMI を算出することができなかった (図 6)。

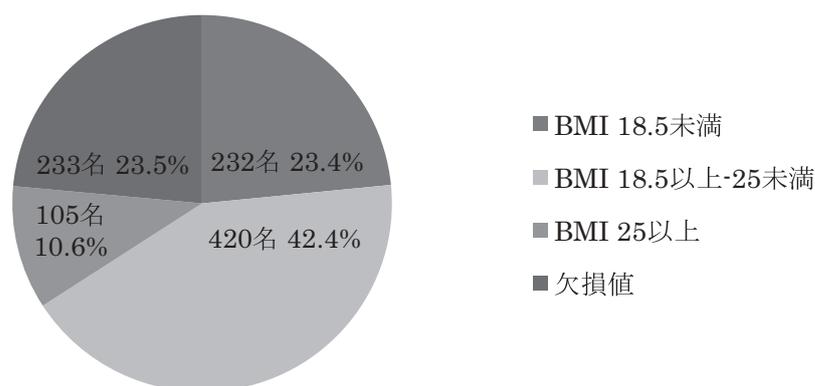


図 6. 対象者 BMI

栄養評価には、MNA - SF を用いた。MNA の評価別にみると、「低栄養」は、356 名 (36.0%) (男性 32.8% (126 名)、女性 38.0% (230 名))、「低栄養のおそれあり」は 335 名 (33.8%) (男性 35.2% (135 名)、女性 33.0% (200 名))、「栄養状態良好」は 260 名 (26.3%) (男性 28.1% (108 名)、女性 25.1% (152 名)) であった (図 7)。

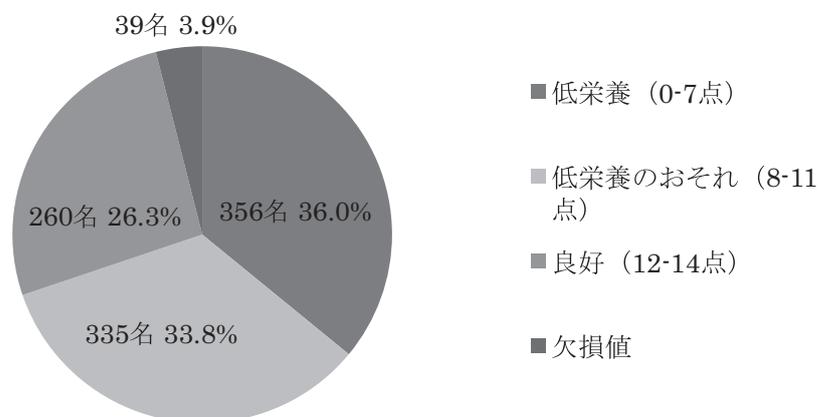


図 7. 栄養評価 (MNA-SF)

## 医療・介護サービス利用状況

訪問医療サービスの利用状況は、訪問診療の利用者数、平均利用回数は 746 名、2.19 ±1.03 回/月、訪問歯科 263 名、2.51 ±1.30 回/月、訪問看護 632 名、1.51 ±1.27 回/月、訪問リハビリテーション 281 名、1.61 ±0.96 回/週、訪問栄養指導 5 名、1.0 回/月 ±0.0、訪問薬剤指導 225 名、1.95 ±0.63 回/月であった。訪問介護サービスでは、訪問介護が 438 名、5.85 ±7.67 回/週であった。配食サービスを受けている者は 81 名、5.44 ±3.17 回/月であった（図 8）。

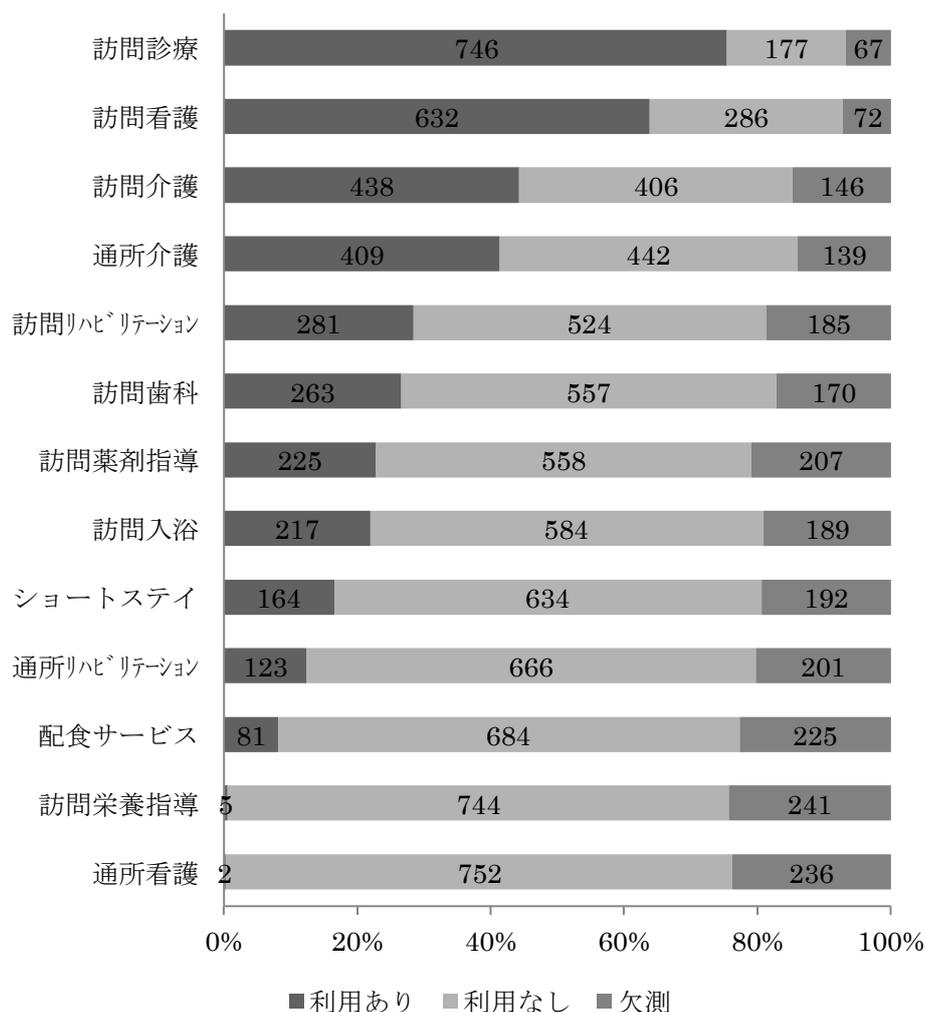


図 8. 医療・介護サービス利用状況

外来受診の有無は「あり」が 32.7%、歯科受診は「あり」が 28.7%であった（図 9, 10）。また、緩和ケアは 32 名（3.2%）が受けていた（図 11）。

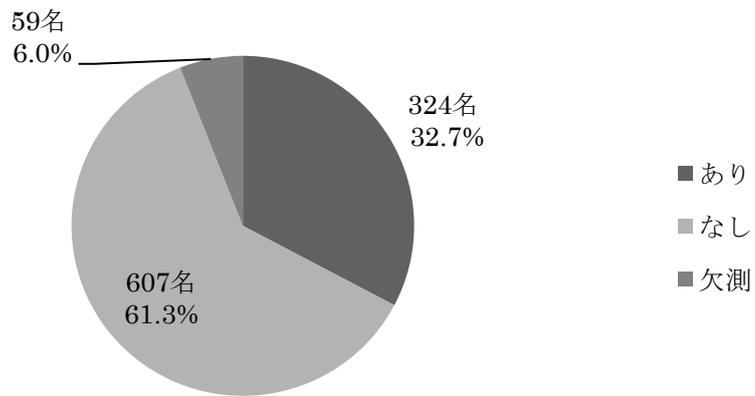


図 9. 外来受診の有無

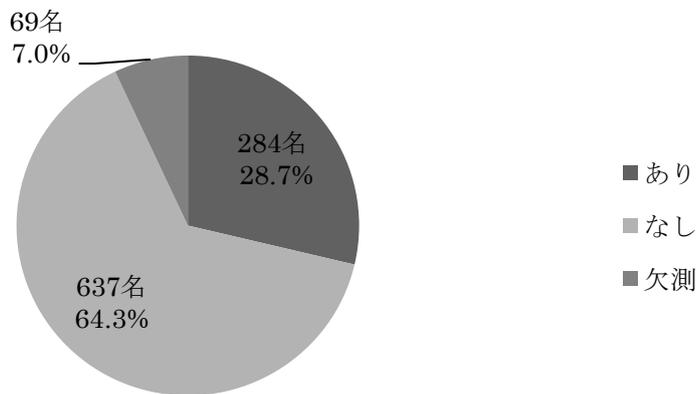


図 10. 歯科受診の有無

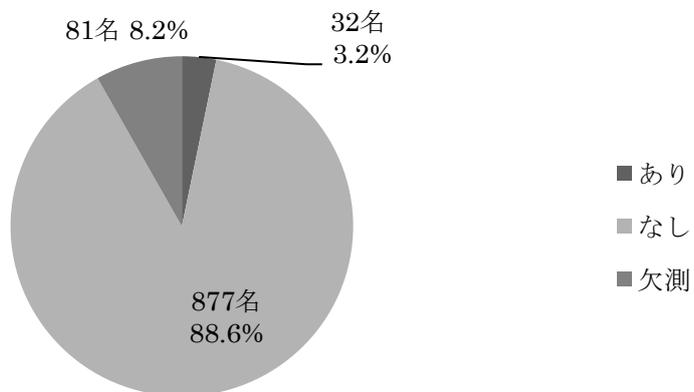


図 11. 緩和ケアの有無

## 療養・生活状況

在宅療養期間は男性 50.6 ヶ月（4 年 2 ヶ月）、女性 59.2 ヶ月（4 年 9 ヶ月）であった。

障害高齢者の日常生活自立度は、「自立、J1、J2」が 110 名（11.1%）、「A1、A2」は 300 名（30.3%）、「B1、B2」が 279 名（28.2%）「C1、C2」は 259 名（26.2%）であった（図 12）。寝たきりとされる B、C ランクの者は 54.4%（538 名）であった。

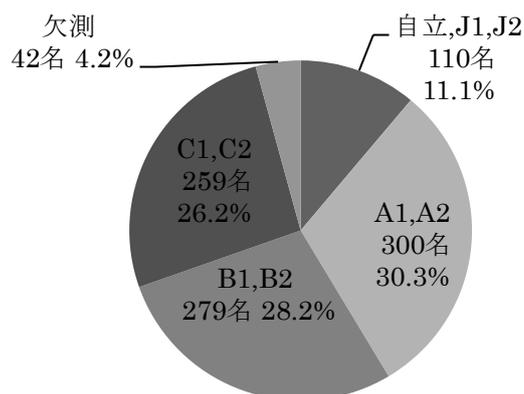


図 12. 障害高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、正常、I は、それぞれ男性で 93 名（24.2）、76 名（19.8%）、女性で 118 名（19.5%）、113 名（18.6%）であった（図 13）。日常の生活態度に支障をきたし意思疎通等が困難になり介護等が必要とされるランクⅢ、Ⅳ、M は男性で 25.3%、女性 36.4%であった。

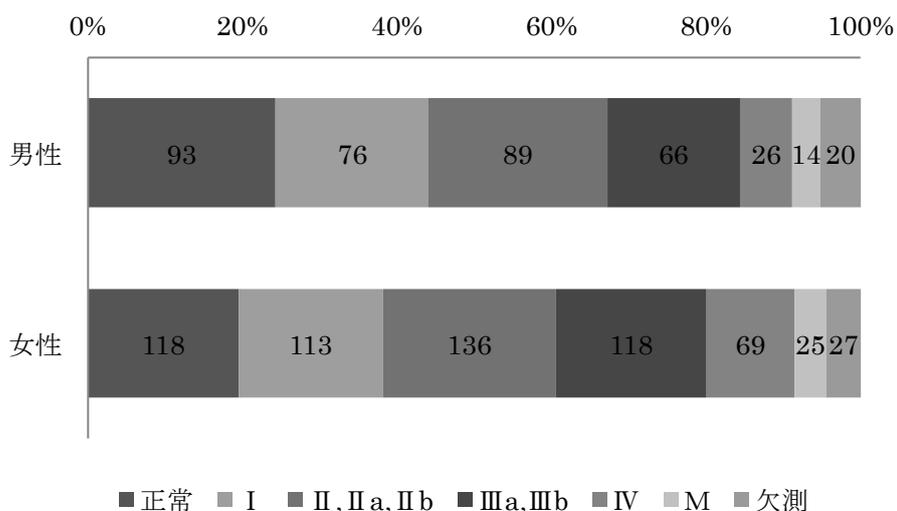


図 13. 認知症高齢者の日常生活自立度

要介護認定における介護度では、要介護 5 は男性の 31.7% (117 名)、女性の 30.9% (183 名)であった (図 14)。重度な介護を必要とされる要介護 3 以上は男性で 64.2%、女性で 61.7%であった。

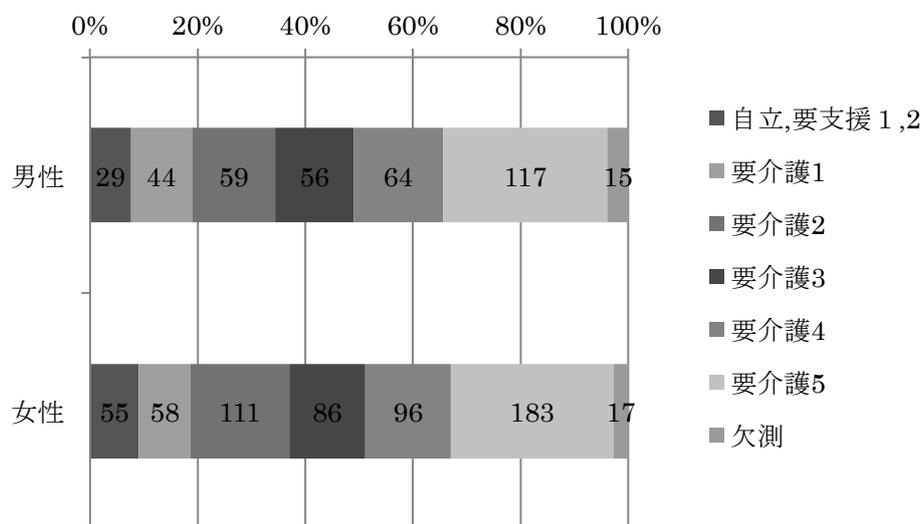


図 14. 要介護認定

病状の安定性については、81.4% (806 名) が安定しているとの回答であった (図 15)。

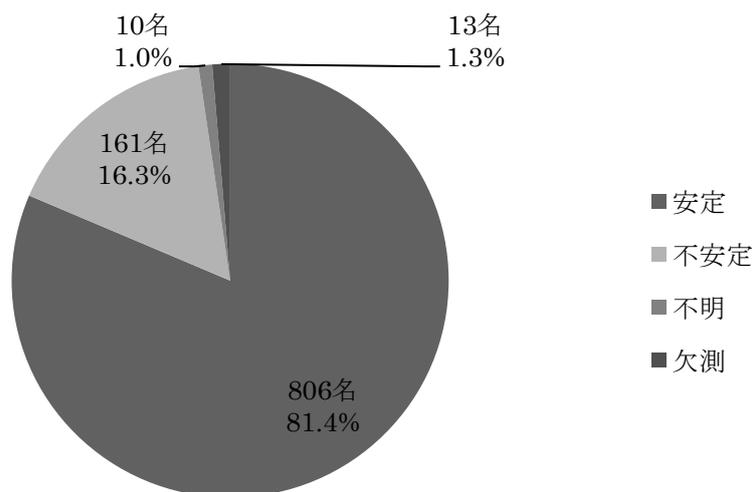


図 15. 病状の安定性

直近3ヶ月の入院有りと回答した者は15.5%であった(図16)。入院理由で一番多かったのは、窒息48.9%であった(図17)。

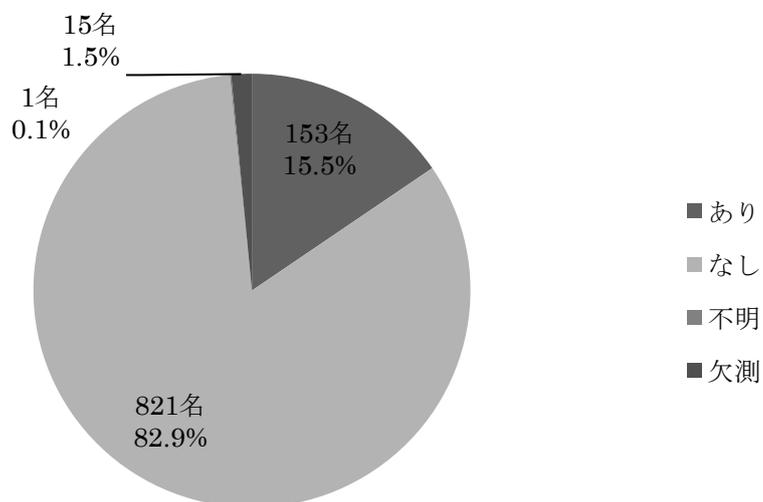


図16. 過去3ヶ月の入院

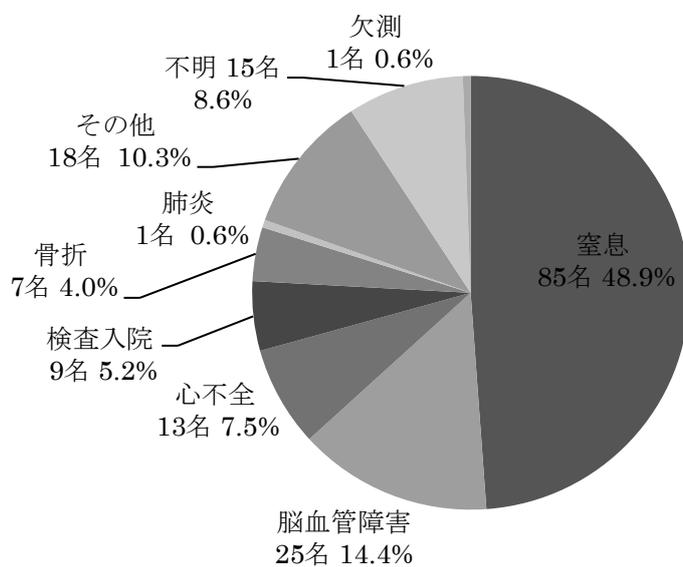


図17. 入院の理由

世帯年収は、400万円以上の者が162名（16.4%）と最も多かった（図18）。

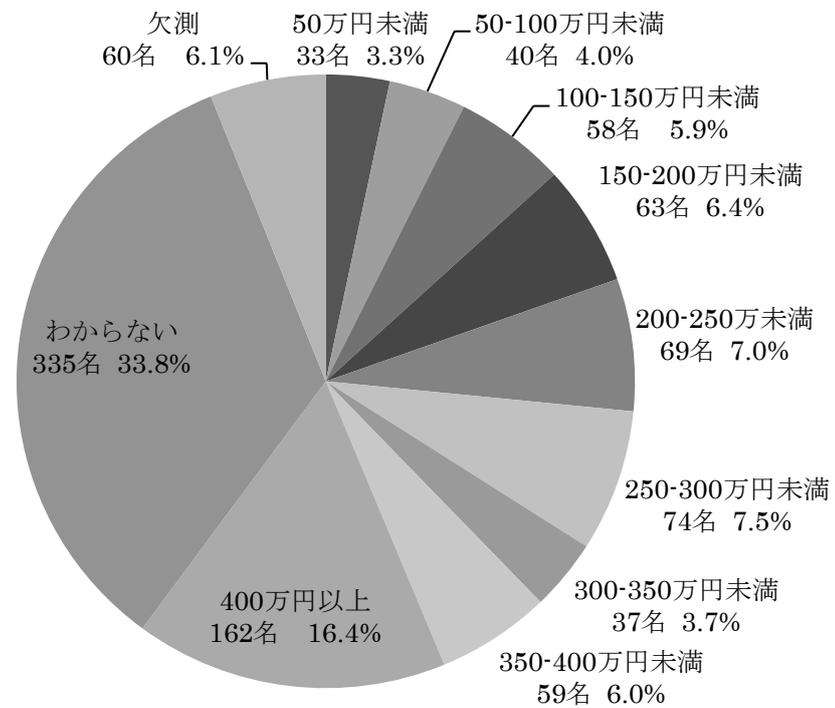


図18. 世帯年収

医療扶助を受けている者は男性 22.9%、女性 17.3%であった。

世帯状況は独り暮らしの者が男性 12.0%（46名）、女性 18.8%（114名）であった（図 19）。

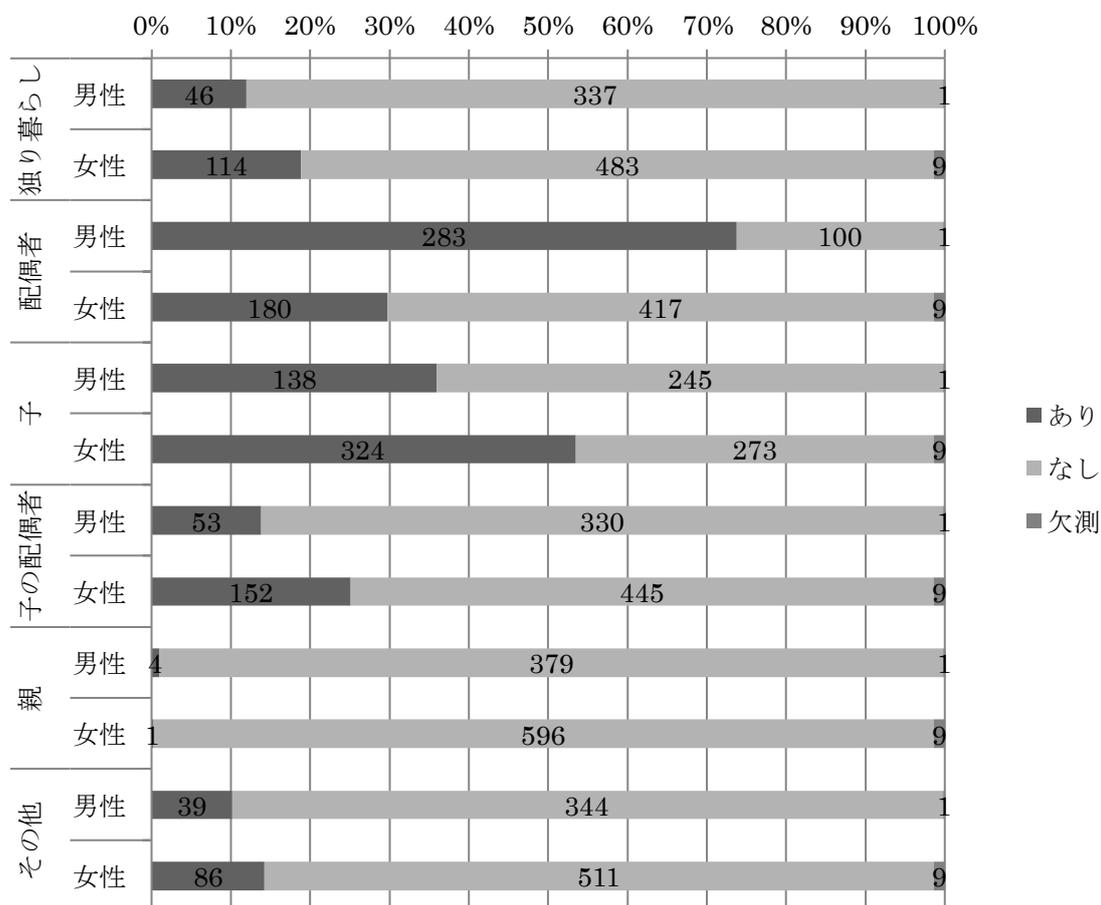


図 19. 世帯状況

婚姻状況は男性の既婚者が 80.2% (308 名) に対し、女性は 36.1% (219 名) であったが、女性の死別・離別は 60.1% (364 名) であった (図 20)。

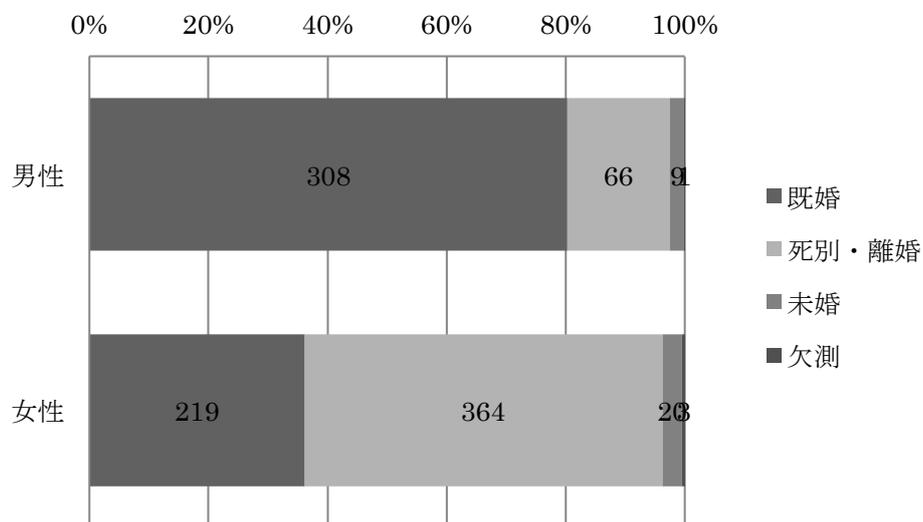


図 20. 本人の婚姻状況

主たる介護者は、男性は配偶者が一番多く 63.8% (245 名)、次いで子 17.5% (75 名) であった。しかし女性は子 48.0% (291 名) が一番多く、次いで配偶者 22.3% (135 名) であった (図 21)。男女共に女性が主たる介護者になっていた (男性 86.5%、女性 54.3%) (図 22)。また、女性の方が介護者の若い年齢の介護者が多かった (図 23)。

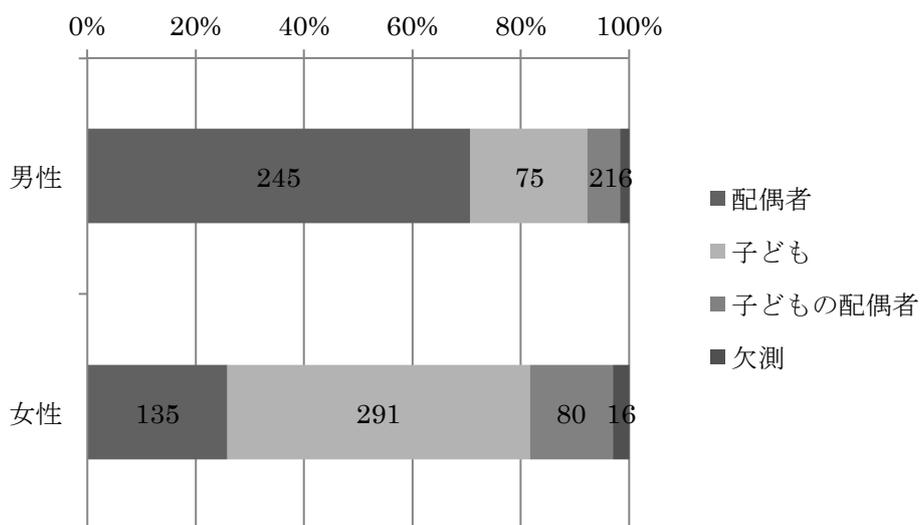


図 21. 主たる介護者の続柄

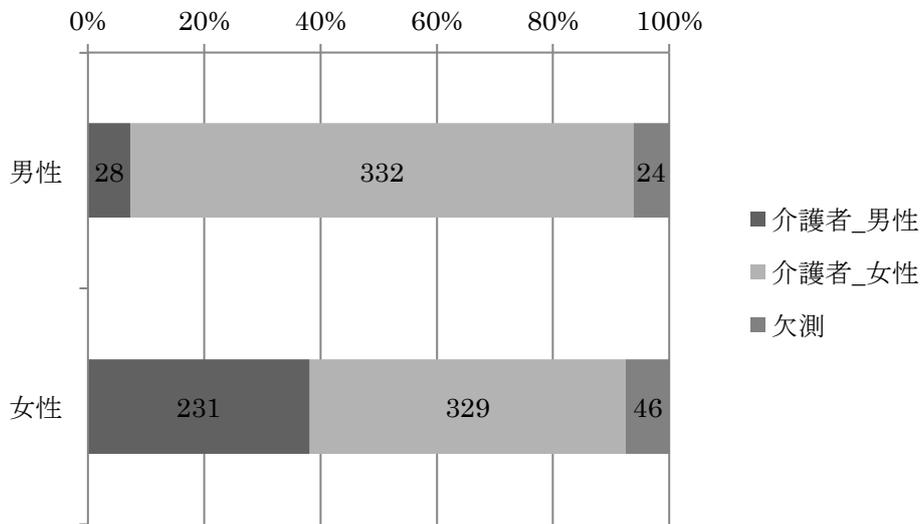


図 22. 主たる介護者の性別

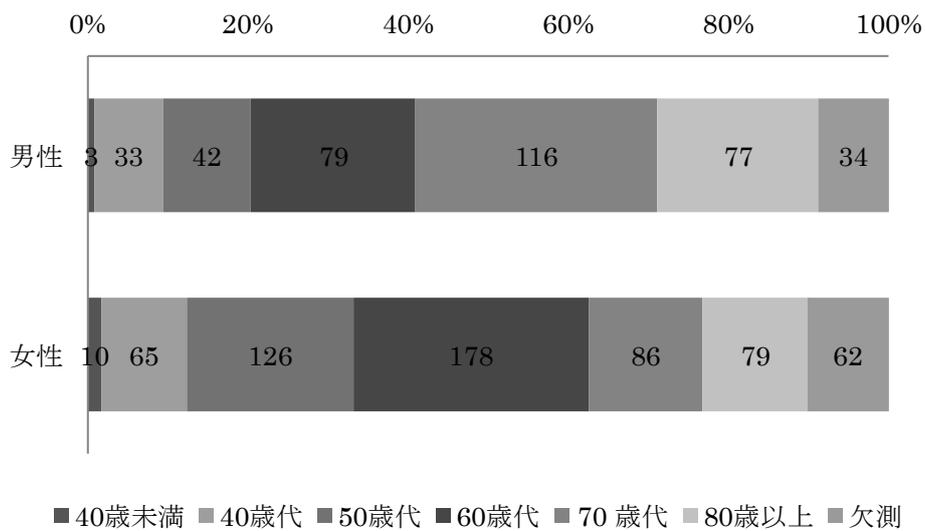


図 23. 主たる介護者の年齢

### 既往歴

誤嚥性肺炎の既往は「あり」が 11.0%、褥瘡の既往は「あり」が 15.5%であった（資料参照）。

Charlson Index の平均点は男性 2.30±2.05 点、女性 1.67±1.53 点であった。

## 生活習慣

昼食時の覚醒状況に関しては男女ともに80%以上が覚醒していた(図24)。また意思の伝達が「できる」者は、男性79.7%、女性73.1%であった(図25)。強制排便の有無は54.3%の者が「あり」であった(図26)。

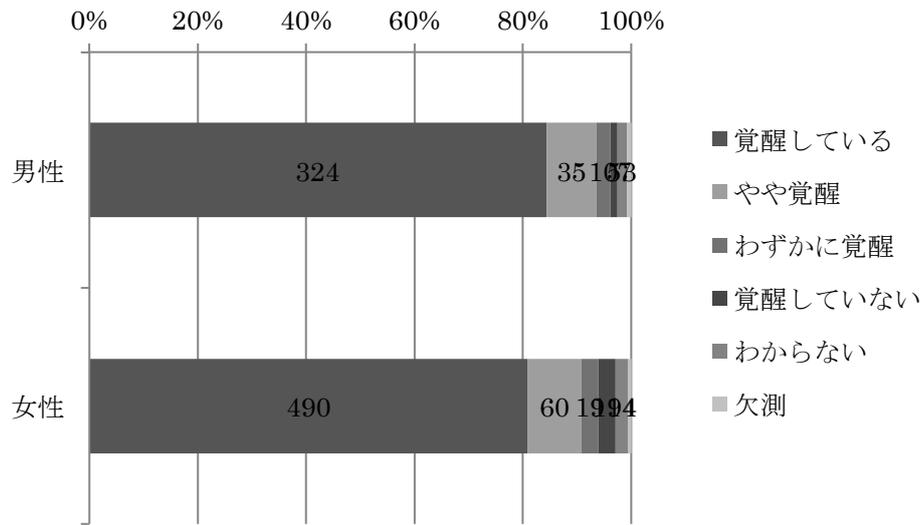


図24. 昼食時の覚醒状況

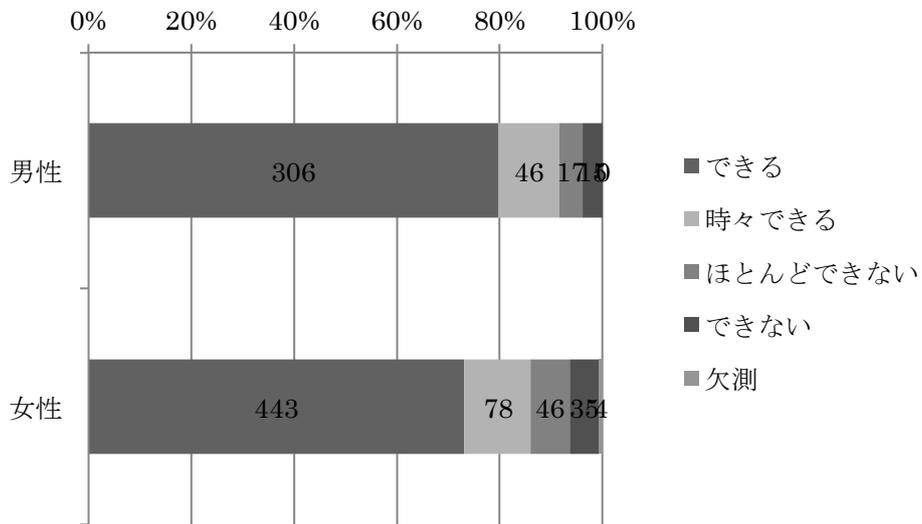


図25. 意思の伝達

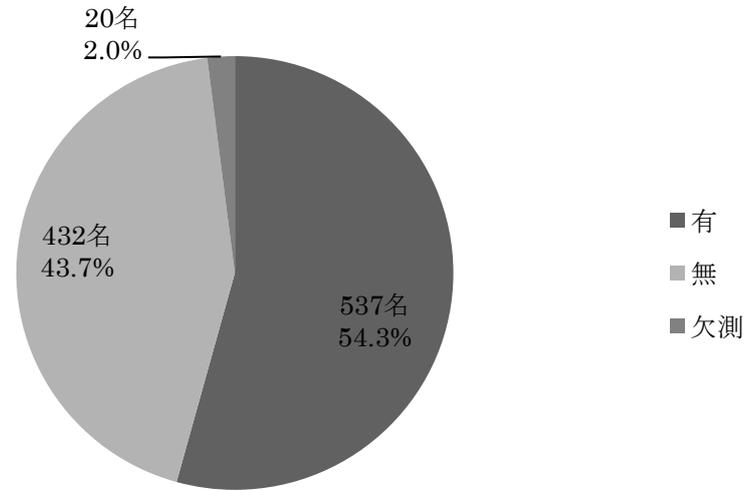


図 26. 強制排便の有無

### 口腔・嚥下機能

残存歯数は「1-9本」の者が男性 27.9%、女性 27.2%、「0本」の者が男性 24.7%、女性 32.0%だった。約 6 割の者は歯が 0-9 本であった (図 27)。

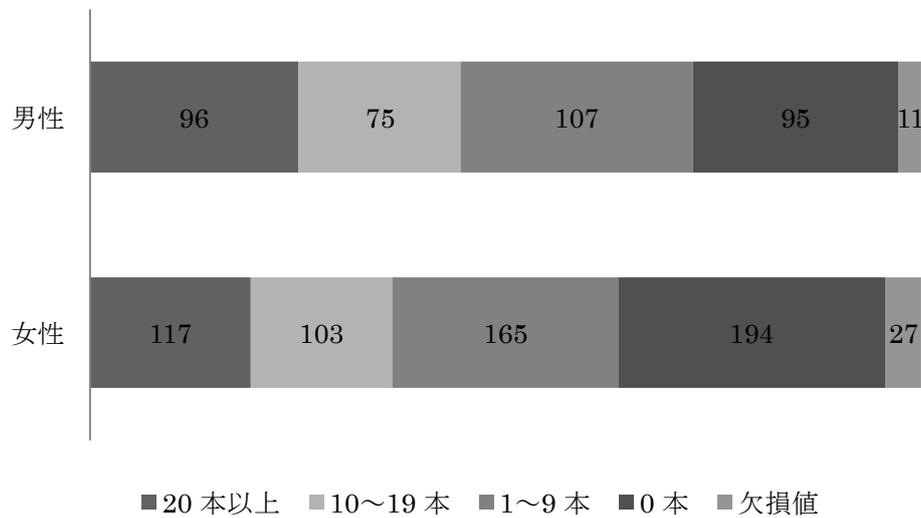


図 27. 残存歯数

入れ歯の有無は男女ともに「あり」が6割ほどであった（図28）。

口腔清掃に関しては男女ともに約9割が「できている」とされた（図29）。

噛める程度は、約6割の者がどんな物でもたいてい噛める、たいていの物は噛めると回答した（図30）。

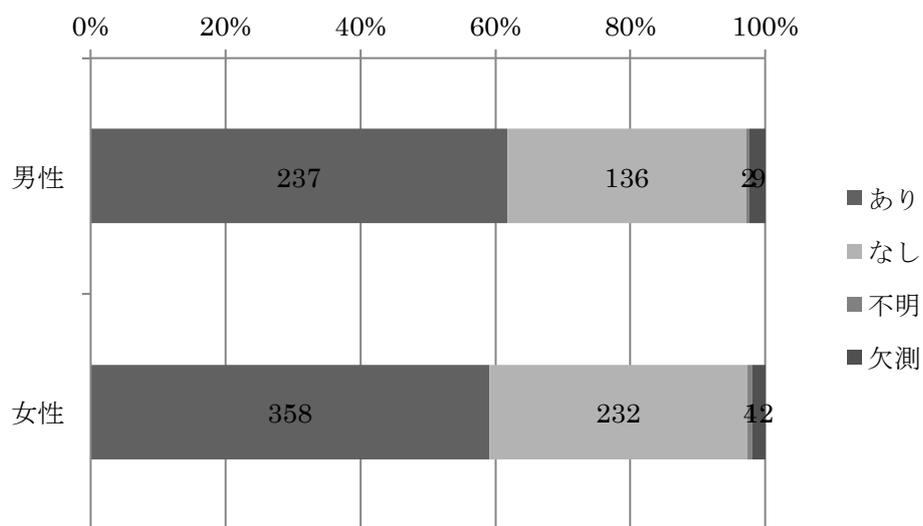


図28. 入れ歯の有無

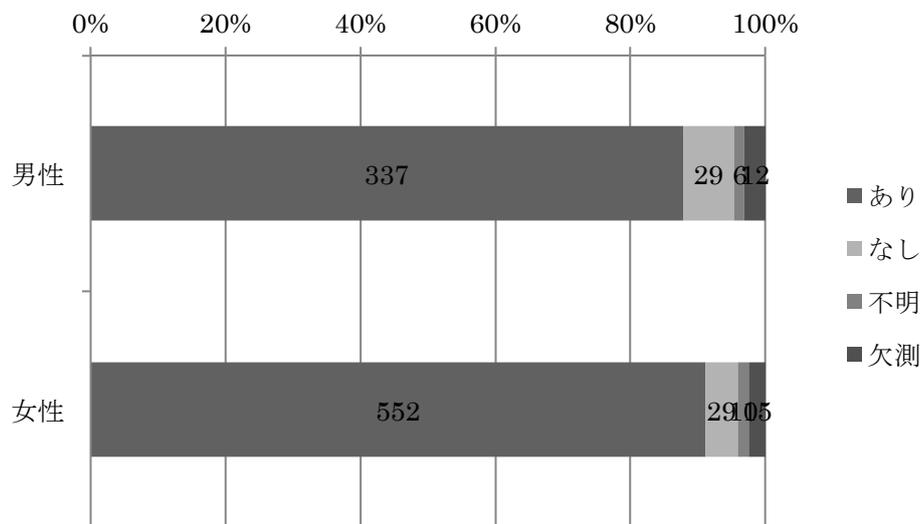


図29. 口腔清掃の有無

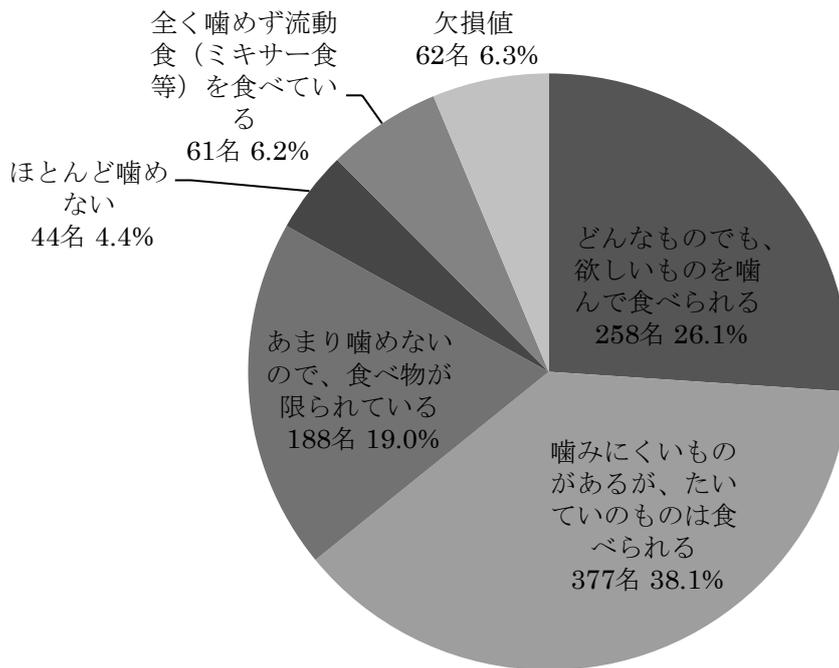


図 30. 噛める程度

摂食・嚥下障害重症度分類（DSS）では、女性では 53.5%、男性では 44.0%が正常範囲との回答であった（図 31）。また、誤嚥なし（正常範囲、経度問題、口腔問題）と誤嚥あり（機会誤嚥、水分誤嚥、食物誤嚥、唾液誤嚥）での評価では、誤嚥ありは、男性で 22.7%、女性で 14.5%であった（図 32）。

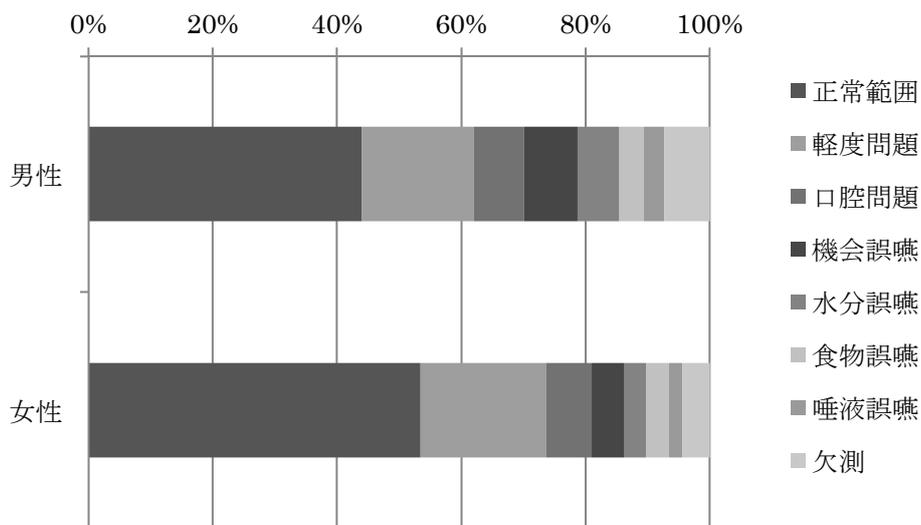


図 31. 摂食・嚥下障害重症度分類（DSS）

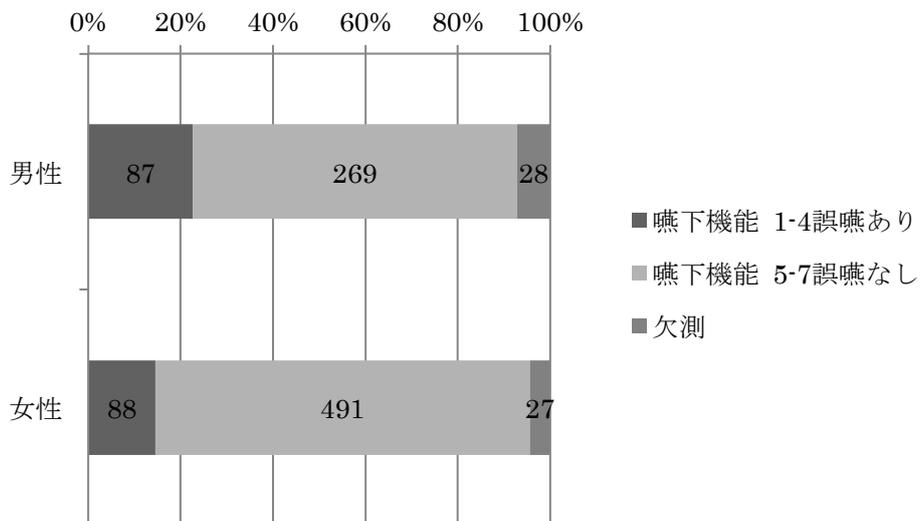


図 32. 誤嚥の有無

### 食事・食事環境について

1日の食費が「500円未満」の者が13.0%、「500円以上1000円未満」の者が一番多く32.6%であった（図33）。

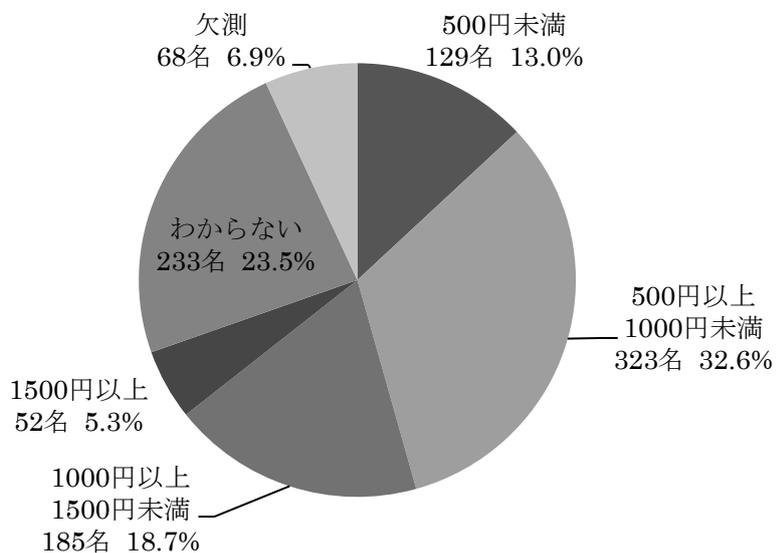


図 33. 1日の食費

経口摂取ができる者は 87.8% (869 名)、経管栄養は 12.7% (126 名) の者が使用していた (図 34)。

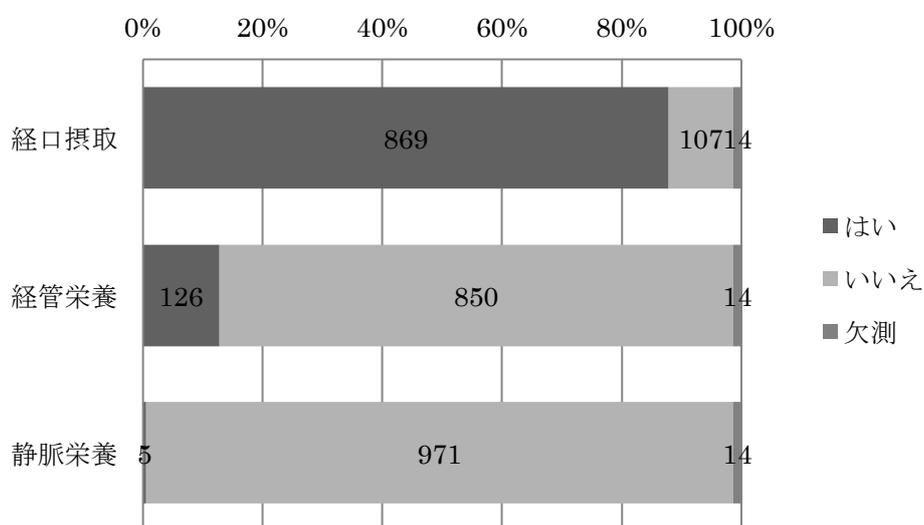


図 34. 栄養摂取方法

経管栄養の中では、経口、経鼻より胃瘻 89.7% (113 名) を選択している者が多かった。経管栄養の摂取カロリーは、男性  $1109.50 \pm 289.57 \text{kcal}$ 、女性  $881.02 \pm 235.17 \text{kcal}$  であった (資料参照)。

経口摂取できる者の食事形態は、常食が一番多く 55.7%、軟食が 20.1% であった (図 35)。

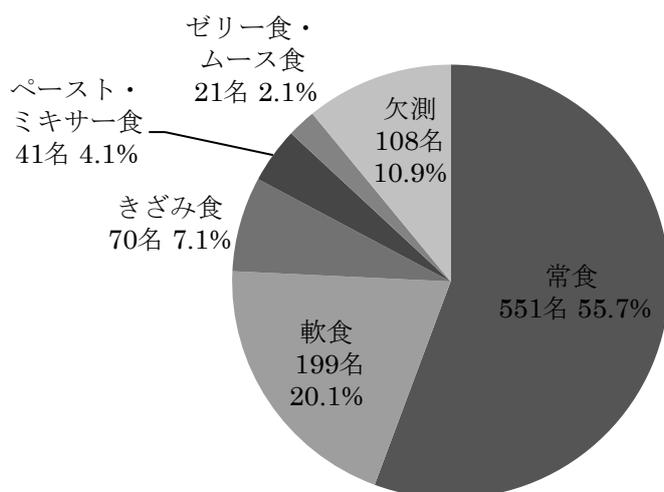


図 35. 食事形態

栄養補助食品は 20.2%の者が摂取していた（図 36）。1日の食事の回数は3回が最も多く、86.5%であった（図 37）。

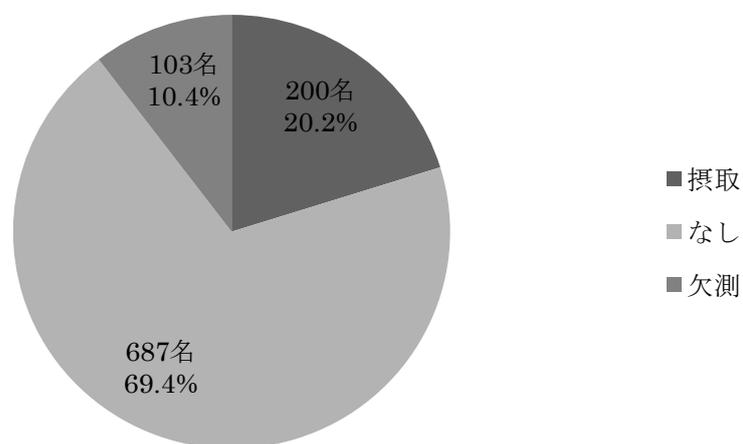


図 36. 栄養補助食品

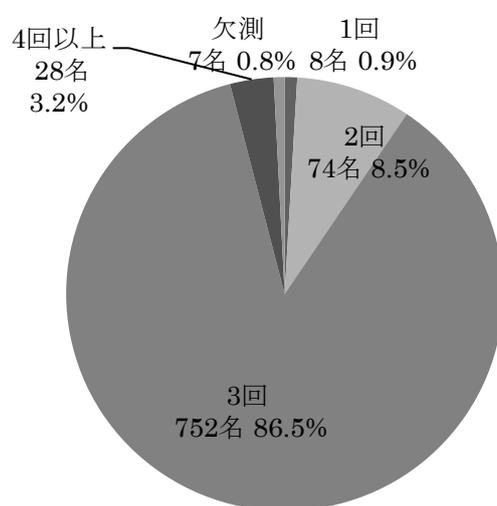


図 37. 1日の食事回数

1日の水分摂取量は、コップ3杯未満が16.0%、コップ3杯以上5杯未満が43.9%、コップ5杯以上が37.6%であった（図38）。

食欲については、「ややある」、「ある」が18.1%、56.8%であり、在宅療養患者の7割以上に食欲があることが示された（図39）。

また、食事を「とても楽しみ」、「やや楽しみ」にしている者は、35.1%、32.0%であった（図40）。

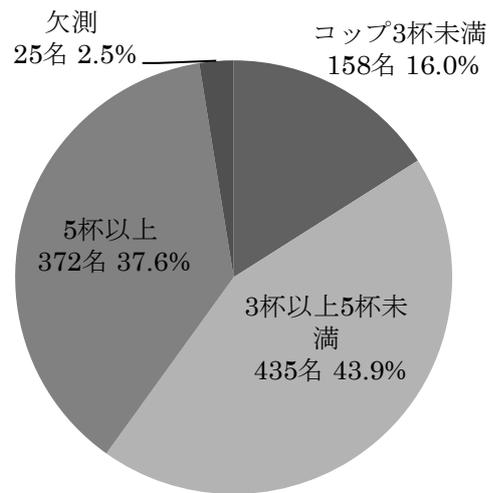


図38. 1日の水分摂取量

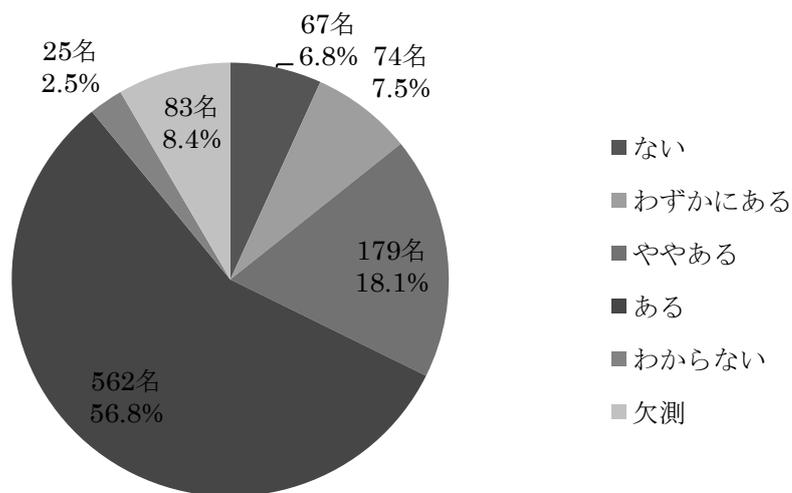


図39. 食欲

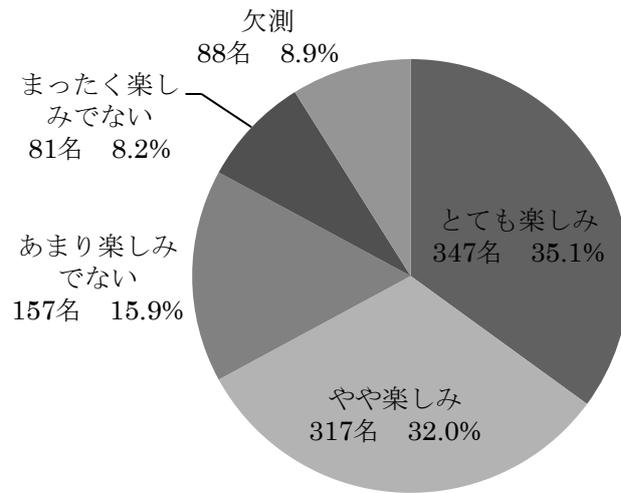


図 40. 食事の楽しみ

喫煙は男性で「やめた」者が 63.5%いた (図 41)。

飲酒も男性で 46.9%が「やめた」と回答していた (図 42)。

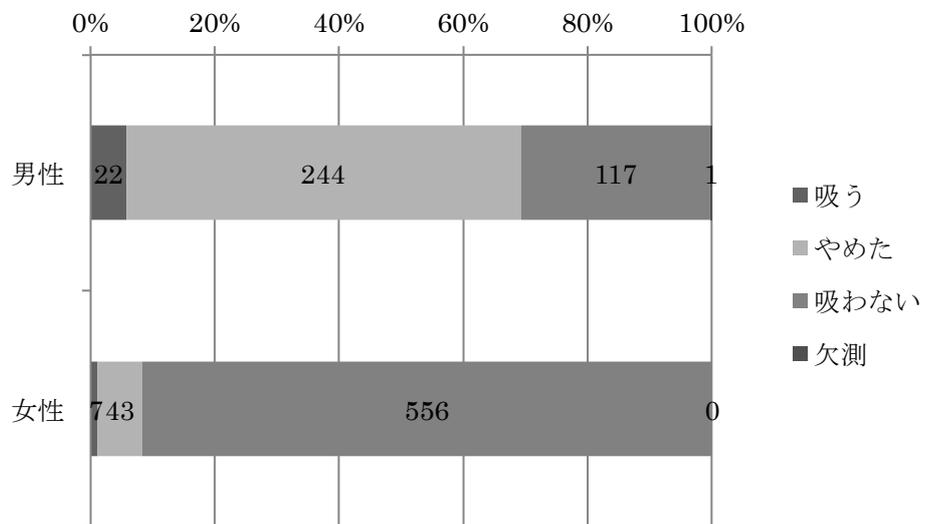


図 41. 喫煙

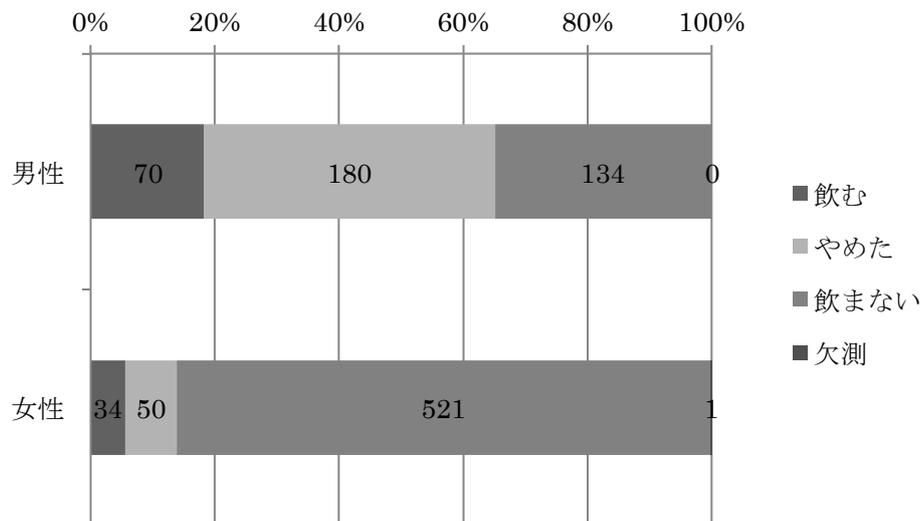


図 42. 飲酒

菓の形状は「形状を変えずに飲める」者は 79.3%、「飲めない」ものは 11.4%であった（資料参照）。

皮膚のかさつきは、「ない」と回答した者が 28.8%、「ややある」が 29.3%、「ある」が 23.3%であった（資料参照）。

手指の白癬の有無は「あり」が 23.3%、手指の爪のもろくなっている者は 12.1%、爪の色はピンク色が 78.7%、白青色が 16.9%であった（資料参照）。

### ADL

バーセルインデックスの平均点は男性 48.38±34.46 点、女性 46.39±36.13 点であった（資料参照）。

### 在宅療養高齢者の特徴のまとめ

日本の高齢者人口は高齢になるほど女性が多く、平均寿命も男性より女性の方が高い（国民衛生の動向）。本調査の在宅療養高齢者においても男性より女性の方が療養している者が多く、男性より女性の平均年齢が高かった。また、85 歳以上の者が 45.3%（448 名）であった。

今回の調査から、対象となった在宅療養高齢者において、MNA-SF を用いた栄養評価では、低栄養とされる者は約 3 割いることが明らかになった。障害高齢者の日常生活自立度では寝たきりとされる BC ランクの者が半数以上であった。認知症高齢者の日常生活自立度では、日常生活に支障をきたし、意思疎通が困難で介護が必要とされる者（ランクⅢ、Ⅳ、M）が 3 割であった。要介護認定では、重度な介護を必要とされる要介護度 3 以上の者は 6 割以上であった。主たる介護者は男女ともに女性が多かった。在宅療

養患者の食事や生活習慣・環境では、8割以上の者が経口摂取をしており、5割以上が常食を食べていた。また、在宅療養高齢者の7割以上は食欲があり、7割弱は食事を楽しみにしていることがわかった。

### (3)年齢階級別基本的特徴

年齢階級は 65-74 歳、75-84 歳、85 歳以上の 3 区分にした。

#### 基本的特徴及び身体状況

年齢階級別の人数は 65-74 歳 158 名 (16.0%)、75-84 歳 384 名 (38.8%)、85 歳以上 448 名 (45.2%) であった。身長、体重、下腿周囲計は年齢階級が上がるほど有意に低下していた。

在宅療養期間は、年齢階級が下がるほど療養期間が有意に長くなっていた (65-74 歳 78.84 月、75-84 歳 56.43 月、85 歳以上 48.60 月、トレンド  $p<0.0001$ 、図 43)。

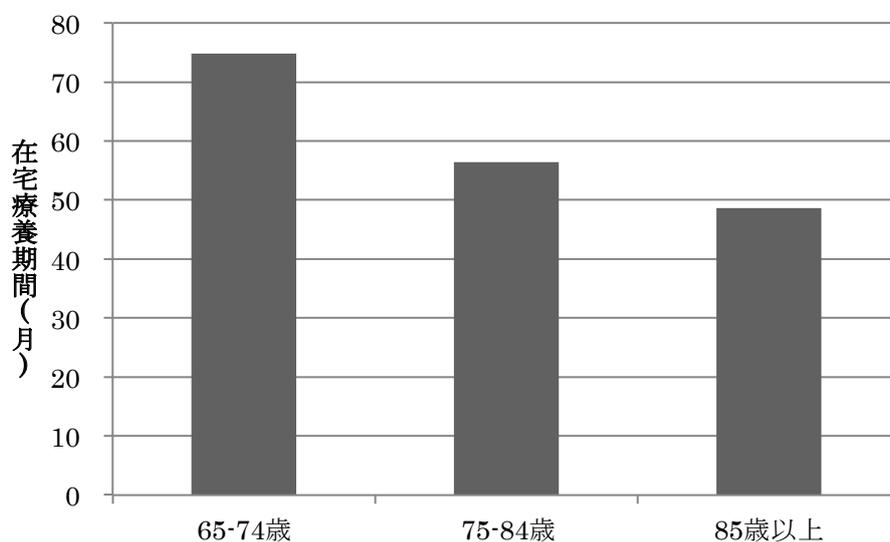


図 43. 年齢階級別在宅療養期間

ADL 総合得点は 65-74 歳では、ADL が低かった (65-74 歳 37.41±34.14 点、75-84 歳 51.92±36.35 点、85 歳以上 46.59±34.70 点、トレンド  $p<0.0001$ 、図 44)。

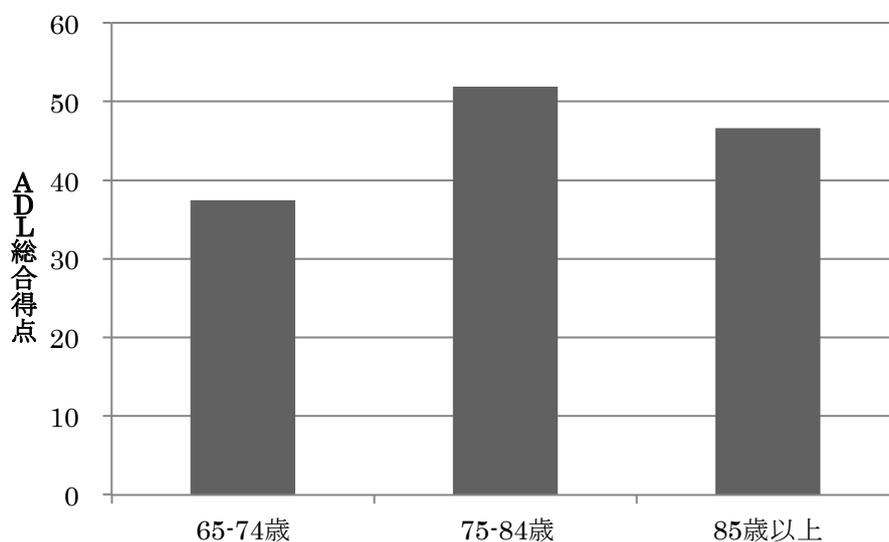


図 44. 年齢階級別 ADL 総合得点

#### 医療・介護サービス利用状況

医療・介護サービス回数は訪問診療において、低い年齢階層で多かった (65-74 歳 2.44±1.07 回/月、75-84 歳 2.20±1.04 回/月、85 歳以上 2.12±1.01 回/月、トレンド  $p<0.0001$ 、図 45)。

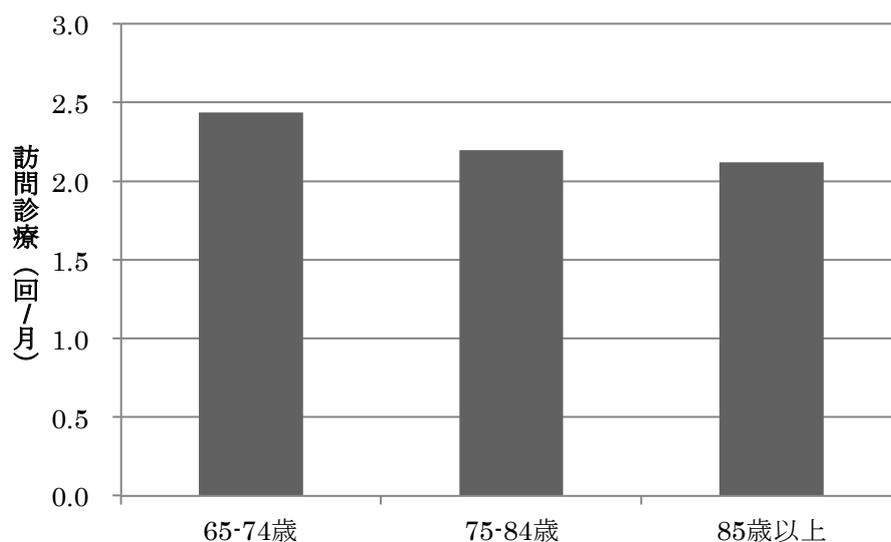


図 45. 年齢階級別医療・介護サービス回数

## 療養・生活状況

直近3ヶ月間の入院については、年齢階級が低いほど入院ありが多かった ( $p<0.05$ , 表1)。また、外来受診、歯科受診では、年齢階級が低いほど受診者が有意に多かった (トレンド  $p<0.0001$ , トレンド  $p=0.0068$ , 表2, 表3)。

表1. 年齢階級別直近3ヶ月の入院

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
入院あり	32	20.4	69	18.4	52	11.8
入院なし	125	79.6	307	81.6	389	88.2
合計	157	100.0	376	100.0	441	100.0

表2. 年齢階級別外来受診

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
あり	67	45.9	153	41.7	104	24.9
なし	79	54.1	214	58.3	314	75.1
合計	146	100.0	367	100.0	418	100.0

表3. 年齢階級別歯科受診

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
あり	52	34.9	125	35.2	107	25.7
なし	97	65.1	230	64.8	310	74.3
合計	149	100.0	355	100.0	417	100.0

認知症高齢者の自立度は、年齢階級が高くなるに従い、正常の者は少なくなり、中度、重度の者が多くなることが認められた（トレンド  $p<0.0001$ ，表 4，図 46）。

表 4. 年齢階級別認知症高齢者の日常生活自立度

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
正常, I	85	57.0	178	48.9	137	31.9
II, II a, II b	24	16.1	95	26.1	106	24.7
III a, III b, IV	32	21.5	74	20.3	173	40.2
M	8	5.4	17	4.7	14	3.3
合計	149	100.0	364	100.0	430	100.0

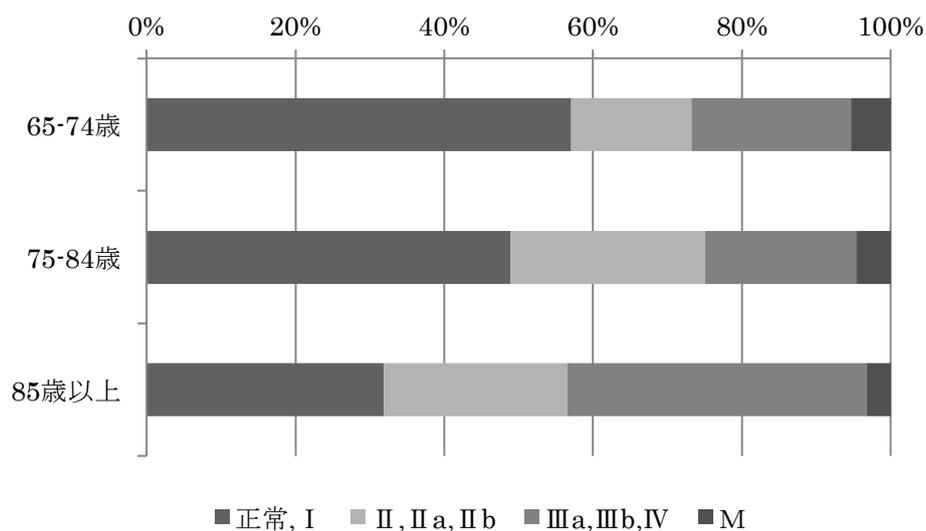


図 46. 年齢階級別認知症高齢者の日常生活自立度

世帯状況は、年齢階級が高くなると配偶者なしが多くなり（65-74歳 29.7%（47名）、75-84歳 41.2%（158名）、85歳以上 70.3%（312名）、トレンド  $p<0.0001$ ）、子（65-74歳 34.2%（54名）、75-84歳 38.6%（146名）、85歳以上 59.0%（262名）、トレンド  $p<0.0001$ ）、子の配偶者あり（65-74歳 10.1%（16名）、75-84歳 18.3%（69名）、85歳以上 27.0%（120名）、トレンド  $p<0.0001$ ）が多くなった。

主たる介護者は、年齢階級により変化がみられた。年齢階級が低いと配偶者が主な介護者であるが、年齢階級が高くなるほど、子、子の配偶者が主な介護者になっていた（ $p<0.0001$ ，表 5，図 47）。

表 5. 年齢階級別主たる介護者の属性

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
配偶者	103	81.1	198	81.1	79	81.1
子ども	21	16.5	101	16.5	244	16.5
子どもの配偶者	3	2.4	34	2.4	64	2.4
合計	127	100.0	333	100.0	387	100.0

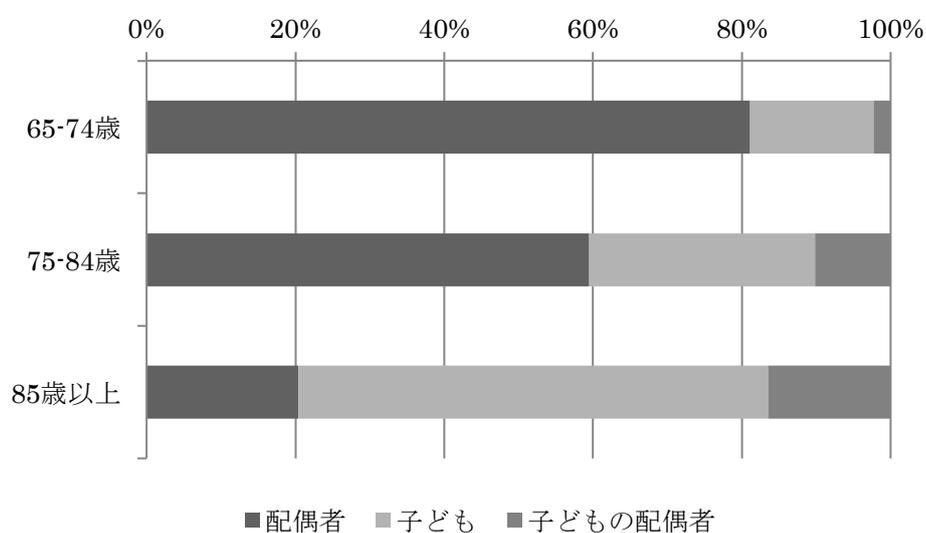


図 47. 年齢階級別主たる介護者の属性

## 口腔・嚥下機能

残存歯数は年齢階級が高いほど歯の本数が少なく（トレンド  $p<0.0001$ ,表 6）、入れ歯がある者も年齢階級が高いほど多かった（ $p<0.0001$ , 表 7）。固い食品を噛める者も年齢階級が高いほど少なくなった（トレンド  $p=0.0106$ , 表 8）。噛める程度は、どんな物でも食べられる者が、年齢階級が高くなるほど少なくなった（ $p=0.0346$ , 表 9）。

表 6. 年齢階級別残存歯数

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
20本以上	71	46.7	95	25.9	47	10.9
10~19本	33	21.7	76	20.7	69	15.9
1~9本	29	19.1	109	29.7	134	30.9
0本	19	12.5	87	23.7	183	42.3
合計	152	100.0	367	100.0	433	100.0

表 7. 年齢階級別入れ歯の有無

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
あり	69	45.9	221	45.9	305	45.9
なし	82	54.1	150	54.1	136	54.1
合計	151	100.0	371	100.0	441	100.0

表 8. 年齢階級別「固い食品を噛めるか」

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
はい	92	60.5	221	59.2	223	50.8
いいえ	60	39.5	152	40.8	216	49.2
合計	152	100.0	373	100.0	439	100.0

表 9. 年齢階級別噛める程度

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
どんなものでも	50	35.5	108	30.0	100	23.4
たいていのものは	49	34.8	156	43.3	172	40.3
食べ物が限られる	24	17.0	62	17.2	102	23.9
ほとんど噛めない	4	2.8	16	4.4	24	5.6
全く噛めず	14	9.9	18	5.0	29	6.8
合計	141	100.0	360	100.0	427	100.0

### 食事・食事環境

経口摂取をしている者は年齢階級が高いほど多く（トレンド  $p=0.0051$ ，表 10）、経管栄養をしている者は年齢階級が低いほど多かった（トレンド  $p=0.0001$ ，表 11）。

一日の水分摂取量は年齢が低いほど 5 杯以上の水分摂取が多かった（トレンド  $p=0.0044$ ，表 12，図 48）。

また年齢階級が高いほど、食事状態は、常食の者が少なく、軟食、きざみ食、ペースト、ミキサーなど手を加えられている者が多かった（ $p<0.001$ ，表 13）。

栄養補助食品は年齢階級が高くなるほど摂取者が多かった（トレンド  $p=0.0291$ ，表 14）。

喫煙・飲酒習慣は年齢階級があがるほど、吸う、飲む者が少なかった（喫煙：65-74 歳 5.1%（8 名）、75-84 歳 3.4%（13 名）、85 歳以上 1.8%（8 名），トレンド  $p=0.0001$ ，飲酒：65-74 歳 12.7%（20 名）、75-84 歳 10.9%（42 名）、85 歳以上 9.4%（42 名），トレンド  $p=0.0001$ ）。

表 10. 年齢階級別経口摂取人数

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
はい	129	83.8	333	88.1	407	91.7
いいえ	25	16.2	45	11.9	37	8.3
合計	154	100.0	378	100.0	444	100.0

表 11. 年齢階級別経管栄養人数

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
はい	31	20.1	56	14.8	39	8.8
いいえ	123	79.9	322	85.2	405	91.2
合計	154	100.0	378	100.0	444	100.0

表 12. 年齢階級別水分摂取量

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
コップ3杯未満	24	15.6	65	17.5	69	15.7
3杯以上5杯未満	54	35.1	149	40.2	232	52.7
5杯以上	76	49.4	157	42.3	139	31.6
合計	154	100.0	371	100.0	440	100.0

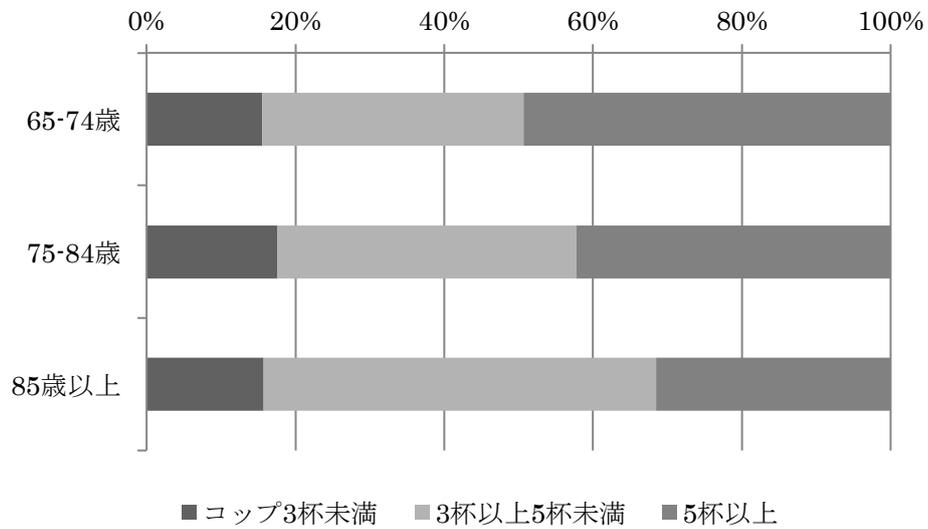


図 48. 年齢階級別水分摂取量

表 13. 年齢階級別食事形態

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
ゼリー食、ムース食	6	4.6	6	4.6	9	4.6
ペーストミキサー食	1	0.8	13	0.8	27	0.8
きざみ食	10	7.6	20	7.6	40	7.6
軟食	22	16.8	67	16.8	110	16.8
常食	92	70.2	235	70.2	224	70.2
合計	131	100.0	341	100.0	410	100.0

表 14. 年齢階級別栄養補助食品

	65-74歳		75-84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%
摂取あり	27	20.1	64	18.7	109	26.5
摂取なし	107	79.9	278	81.3	302	73.5
合計	134	100.0	342	100.0	411	100.0

### 年齢階級別にみた在宅療養者の特徴のまとめ

加齢により身長、体重、下腿三頭筋周囲計が減少していた。本研究の在宅療養高齢者は年齢階級が低くなるほど MNA-SF 得点が悪く、医療・介護サービス回数が多く、入院ありの者や受診回数が多かった。

世帯状況は年齢階級が高くなるほど一人暮らしや配偶者との同居が少なくなり、子や子の配偶者と同居していた。介護者は、世帯状況と同様に年齢階級が高くなるほど子や子の配偶者が介護していた。

口腔嚥下機能は、年齢階級があがるほど残存歯数や固い食品が噛める者の割合、どんな物でも食べられる者の割合が少なくなっていた。食事状態をみると年齢階級が高い者ほど常食が少なくなり、軟食、きざみ食等に変化していた。また年齢階級が高くなると経口摂取の者が少なくなっていたが、経管栄養の者は多くなっていた。

#### (4)BMI からみた在宅療養患者について

BMI を 3 分類し各項目との関連をみた。BMI の分類は 18.5 未満「BMI 低群」、18.5-25 未満「BMI 中群」、25 以上「BMI 高群」とした。

##### 基本的特性及び身体状況

BMI は低いほど年齢が有意に高かった (BMI 低群平均年齢±標準偏差 83.76±8.54 歳、BMI 中群 82.60±7.88 歳、BMI 高群 81.83±7.67 歳、トレンド  $p=0.0264$ , 図 49)。

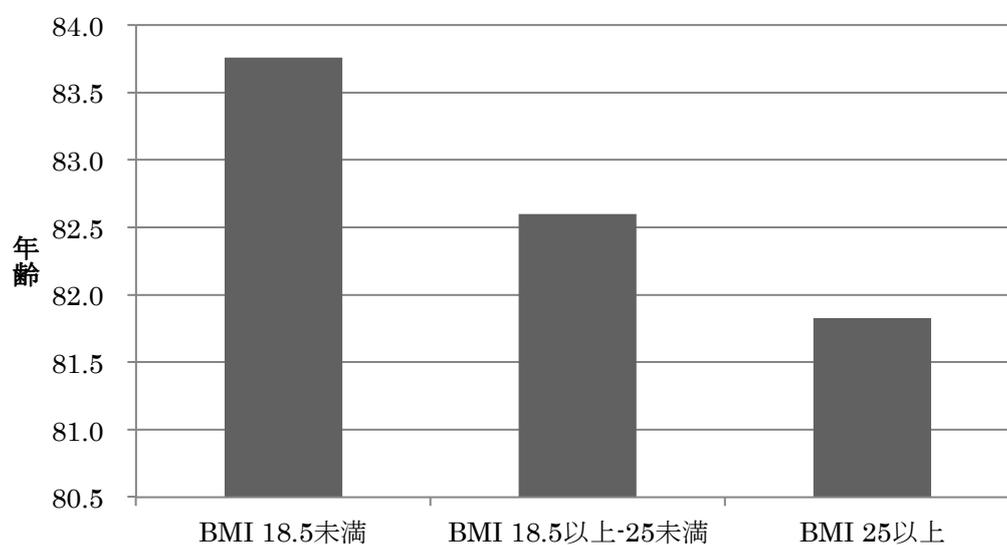


図 49. BMI と年齢

BMI が低いほど下腿周囲長計平均は有意に低下していた(BMI 低群  $26.20 \pm 4.22\text{cm}$ 、BMI 中群  $30.56 \pm 4.73\text{cm}$ 、BMI 高群  $34.28 \pm 4.35\text{cm}$ 、トレンド  $p < 0.0001$ )。

血液検査は BMI が低いほどアルブミン値が有意に低かった (BMI 低群  $3.50 \pm 0.88\text{g/dl}$ 、BMI 中群  $3.63 \pm 0.51\text{g/dl}$ 、BMI 高群  $3.97 \pm 1.23\text{g/dl}$ 、トレンド  $p < 0.0001$ )。

BMI と MNA 総合得点との関連は、BMI が高くなるほど MNA 総合得点が有意に高かった (BMI 低群  $6.82 \pm 4.22$  点、BMI 中群  $9.52 \pm 2.42$  点、BMI 高群  $11.26 \pm 1.89$  点、トレンド  $p < 0.00001$ , 図 50)

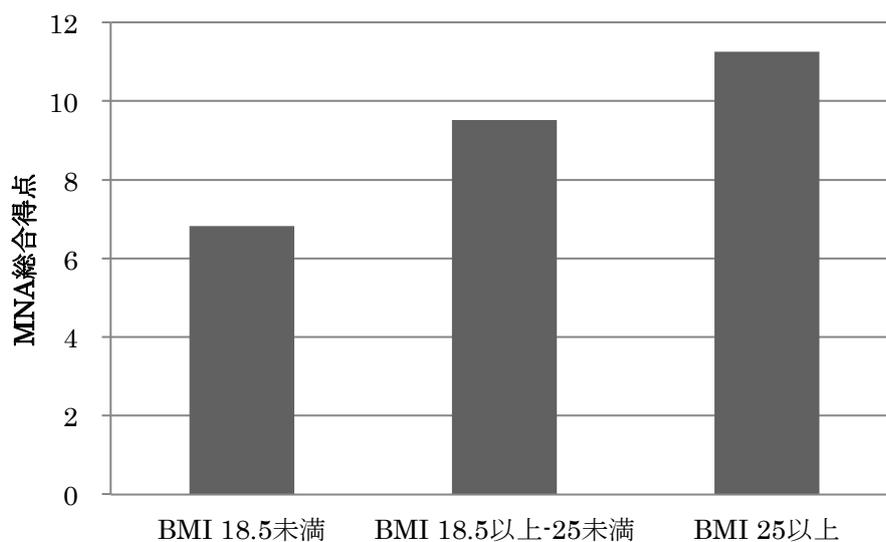


図 50. BMI と MNA 総合得点との関連

### 医療・介護サービス利用状況

医療介護サービス回数（訪問診療等）と BMI との関係は認められなかった。しかし通所リハビリテーション回数は BMI が高い者ほど利用回数が有意に多かった（BMI 低群  $1.72 \pm 0.54$  回/週、BMI 中群  $2.09 \pm 0.97$  回/週、BMI 高群  $2.19 \pm 0.79$  回/週、トレンド  $p=0.0489$ 、図 51）。

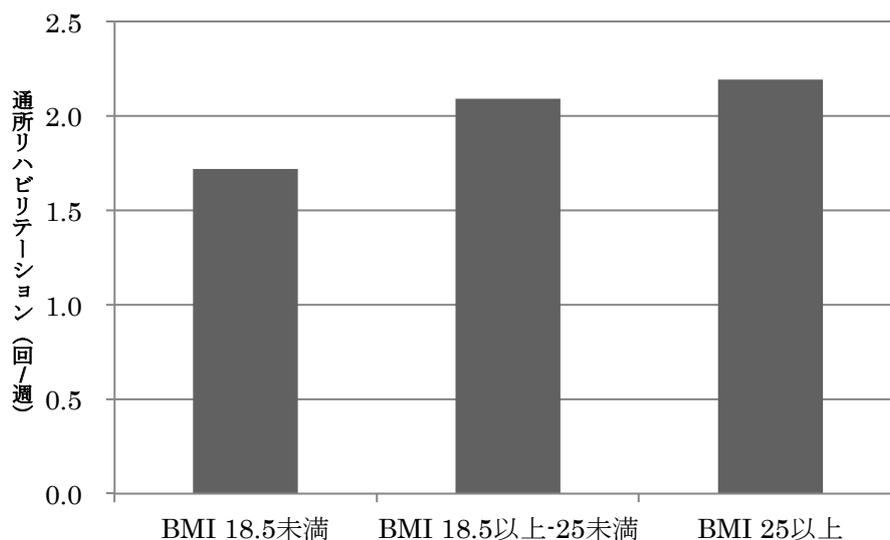


図 51. BMI と通所リハビリテーション (回/週)

### 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度が低下するほど BMI が有意に低下した（トレンド  $p=0.0019$ ）。認知症高齢者の日常生活自立度が低下するほど BMI が有意に低かった（トレンド  $p=0.0178$ 、表 15、図 52）。

表 15. BMI と認知症高齢者の日常生活自立度

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
正常	47	21.6	104	25.4	28	28.3
I	47	21.6	91	22.2	18	18.2
II, II a, II b	44	20.2	107	26.2	32	32.3
III a, III b	46	21.1	65	15.9	12	12.1
IV	24	11.0	33	8.1	6	6.1
M	10	4.6	9	2.2	3	3.0
合計	218	100.0	409	100.0	99	100.0

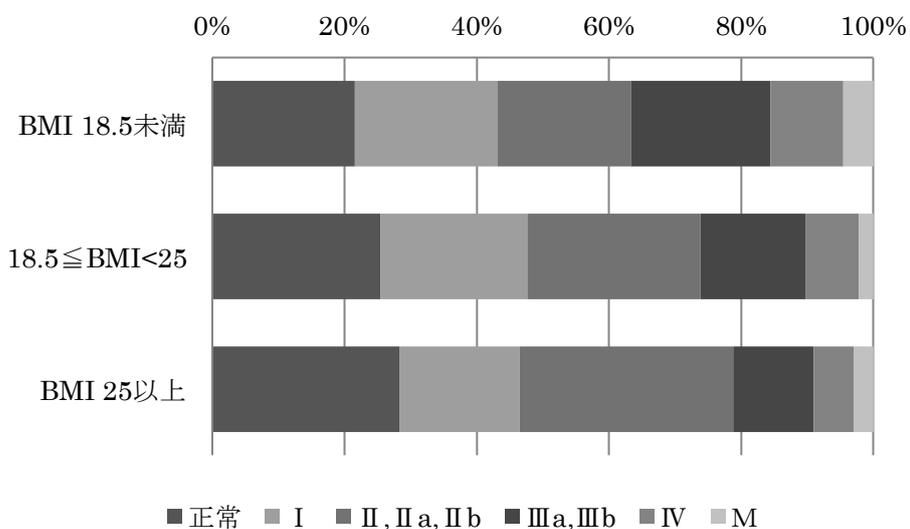


図 52. BMI と認知症高齢者の日常生活自立度

要支援・要介護度のランクが悪くなるほど BMI が有意に低かった（トレンド  $p=0.0005$ , 表 16）。

表 16. BMI と要支援・要介護度

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
自立・要支援 12	23	10.2	39	9.5	15	14.7
要介護1	16	7.1	54	13.2	17	16.7
要介護2	41	18.1	83	20.2	22	21.6
要介護3	35	15.5	71	17.3	14	13.7
要介護4	34	15.0	68	16.6	14	13.7
要介護5	77	34.1	95	23.2	20	19.6
合計	226	100.0	410	100.0	102	100.0

世帯状況において、一人暮らしの者ほど BMI が有意に高かった（BMI 低群 11.4%、BMI 中群 19.0%、BMI 高群 19.2%、トレンド  $p$  値=0.0242, 表 17, 図 53）。子、子の配偶者、その他の者と同居の有無では、同居の者がいると BMI が有意に低下した（子：

トレンド  $p=0.0435$ 、子の配偶者：トレンド  $p=0.0021$ 、その他の者：トレンド  $p=0.039$ 。

主たる介護者の続柄と BMI との関連はなかったが、主たる介護者の性別では、BMI が低いほど介護者は女性が行っていた ( $p=0.0099$ , 表 18, 図 54)。

表 17. BMI と独居

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
なし	203	88.6	337	81.0	84	80.8
あり	26	11.4	79	19.0	20	19.2
合計	229	100.0	416	100.0	104	100.0

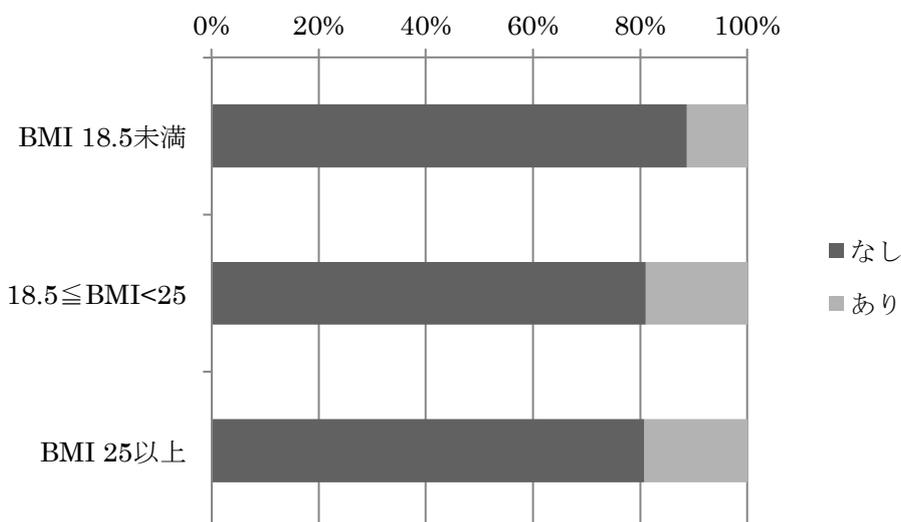


図 53. BMI と独居

表 18. BMI と介護者の性別

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
男性	49	22.69	101	25.77	37	38.95
女性	167	77.31	291	74.23	58	61.05
合計	216	100	392	100	95	100

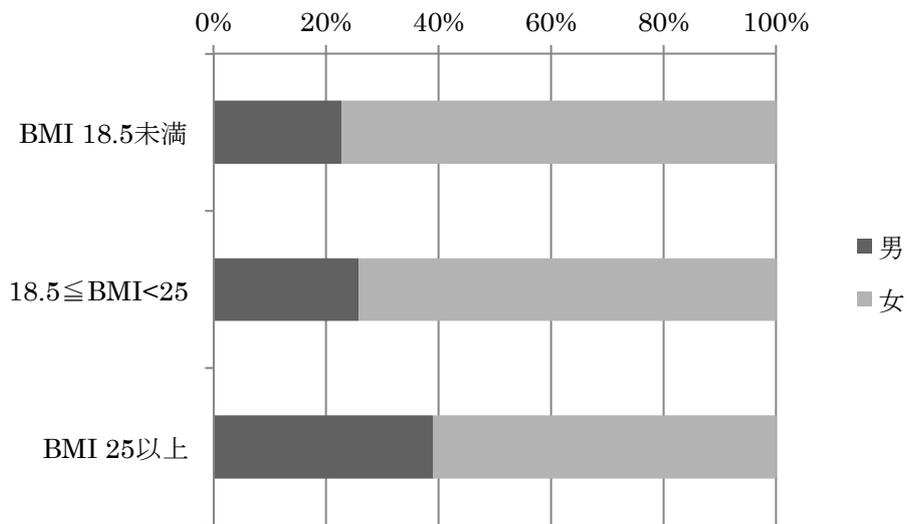


図 54. BMI と介護者性別

### 既往歴

誤嚥性肺炎があるの者は BMI が有意に低かった ( $p=0.0001$ , 表 19, 図 55)。

表 19. BMI と誤嚥性肺炎

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
あり	40	17.2	30	7.2	6	5.7
なし	192	82.8	389	92.8	99	94.3
合計	232	100.0	419	100.0	105	100.0

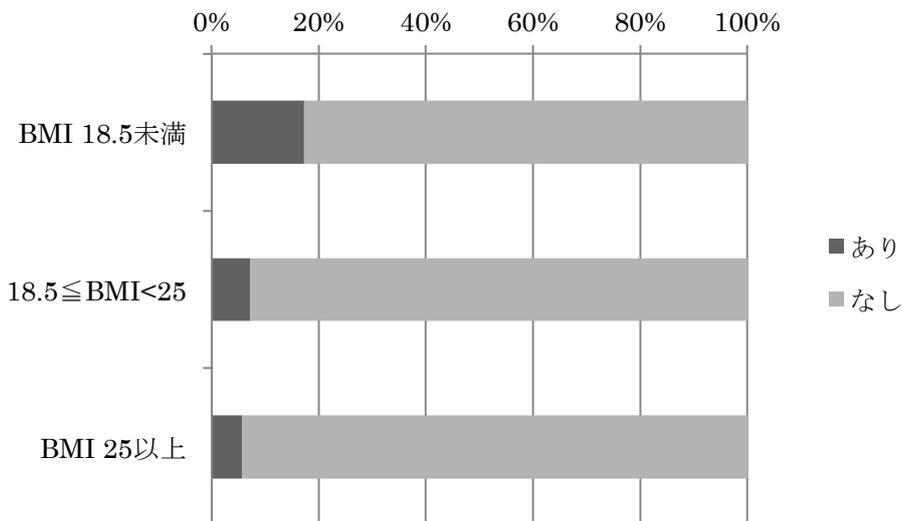


図 55. BMI と誤嚥性肺炎

### 生活習慣

昼食時の覚醒状況している者は BMI が高い傾向が認められた (BMI 低群 79.5%、BMI 中群 88.5%、BMI 高群 92.2%、トレンド  $p=0.0155$ 、表 20、図 56)。意思伝達ができる者ほど BMI は有意に高かった (BMI 低群 72.7%、BMI 中群 82.5%、BMI 高群 84.8%、トレンド  $p=0.0035$ 、表 21、図 57)。

表 20. BMI と昼食時の覚醒

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
覚醒している	182	79.5	371	88.5	95	92.2
やや覚醒	33	14.4	20	4.8	3	2.9
わずかに覚醒	6	2.6	11	2.6	1	1.0
覚醒していない	5	2.2	10	2.4	2	1.9
わからない	3	1.3	7	1.7	2	1.9
合計	229	100.0	419	100.0	103	100.0

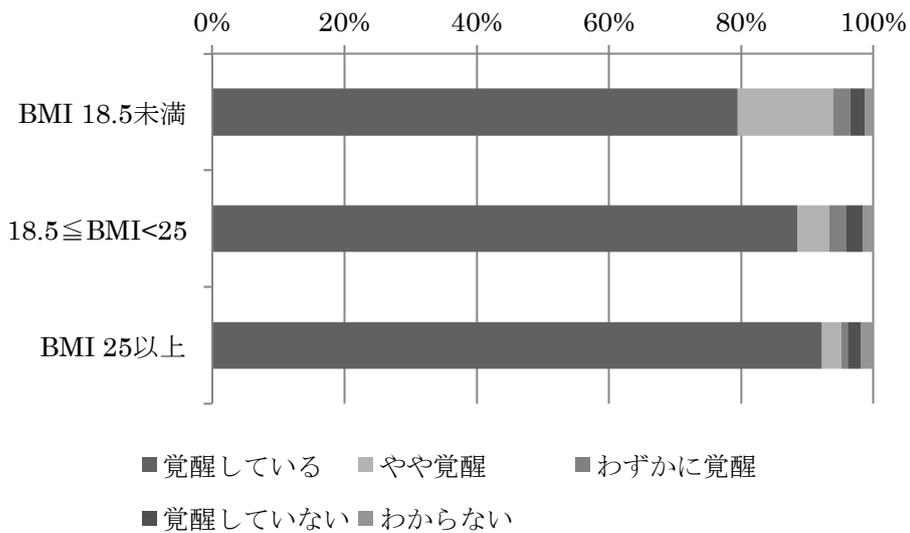


図 56. BMI と昼食時の覚醒状況

表 21. BMI と意思の伝達

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
できる	168	72.7	345	82.5	89	84.8
時々できる	35	15.2	41	9.8	12	11.4
ほとんどできない	18	7.8	19	4.5	1	1.0
できない	10	4.3	13	3.1	3	2.9
合計	231	100.0	418	100.0	105	100.0

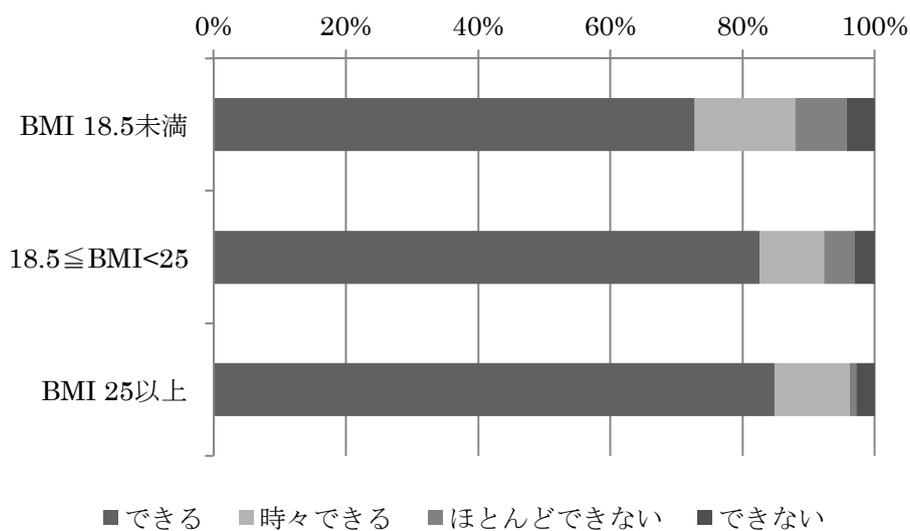


図 57. BMI と意思の伝達

### 口腔・嚥下機能

固い食品が噛める者は BMI が有意に高かった (BMI 低群 48.4%、BMI 中群 62.4%、BMI 高群 70.6%、トレンド  $p<0.00001$ , 表 22, 図 58)。噛める程度はどんなもでも噛める者は BMI が有意に高かった (BMI 低群 24.5%、BMI 中群 30.3%、BMI 高群 35.3%、トレンド  $p=0.0001$ , 表 23)。誤嚥がある者は BMI が有意に低かった (BMI 低群 27.6%、BMI 中群 12.9%、BMI 高群 3.9%、トレンド  $p=0.00001$ , 表 24, 図 59)。

表 22. BMI と固い食品が噛めること

	BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
はい	108	48.4	257	62.4	72	70.6
いいえ	115	51.6	155	37.6	30	29.4
合計	223	100.0	412	100.0	102	100.0

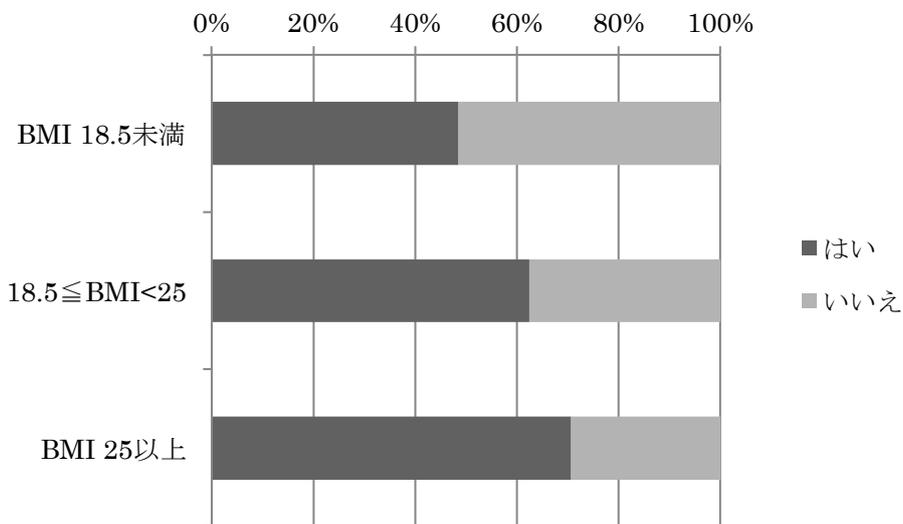


図 58. BMI と固い食品が噛めること

表 23. BMI と噛める程度

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
どんなものでも	52	24.5	122	30.3	36	35.3
たいていのものは	80	37.7	175	43.4	49	48.0
食べ物が限られる	50	23.6	78	19.4	11	10.8
ほとんど噛めない	15	7.1	10	2.5	3	2.9
全く噛めず	15	7.1	18	4.5	3	2.9
合計	212	100.0	403	100.0	102	100.0

表 24. BMI と誤嚥

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
誤嚥あり	63	27.6	51	12.9	4	3.9
誤嚥なし	165	72.4	344	87.1	98	96.1
合計	228	100.0	395	100.0	102	100.0

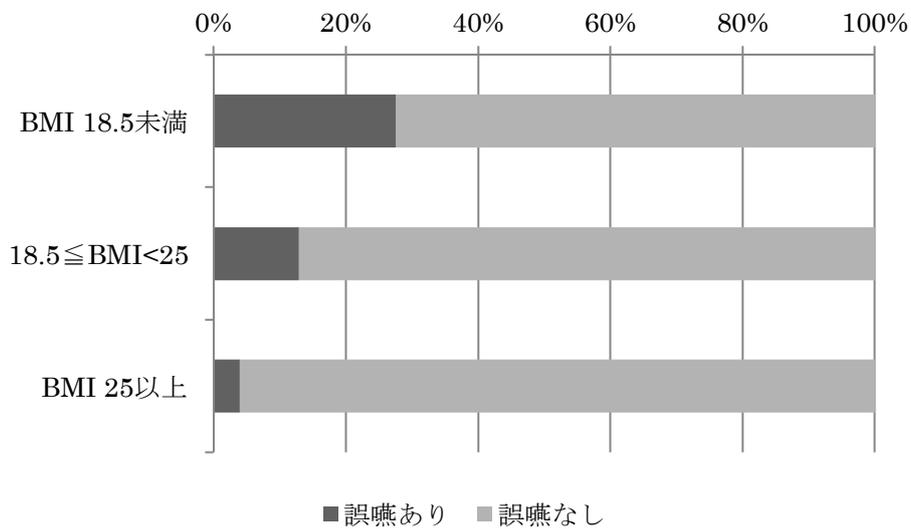


図 59. BMI と誤嚥

## 食事・食事環境

経口摂取ができる者ほどBMIが有意に高かった(BMI低群 84.6%、BMI中群 92.8%、BMI高群 95.2%、トレンド  $p=0.0003$ 、表 25、図 60)。

経管栄養が有りの者ほどBMIが有意に低かった(BMI低群 18.0%、BMI中群 9.7%、BMI高群 5.7%、トレンド  $p=0.00003$ 、表 26、図 61)。

水分摂取量が多い者ほどBMIが有意に高かった(BMI低群 37.3%、BMI中群 38.1%、BMI高群 56.7%、トレンド  $p=0.0005$ 、表 27、図 62)。

表 25. BMI と経口摂取

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
はい	193	84.6	384	92.8	100	95.2
いいえ	35	15.4	30	7.2	5	4.8
合計	228	100.0	414	100.0	105	100.0

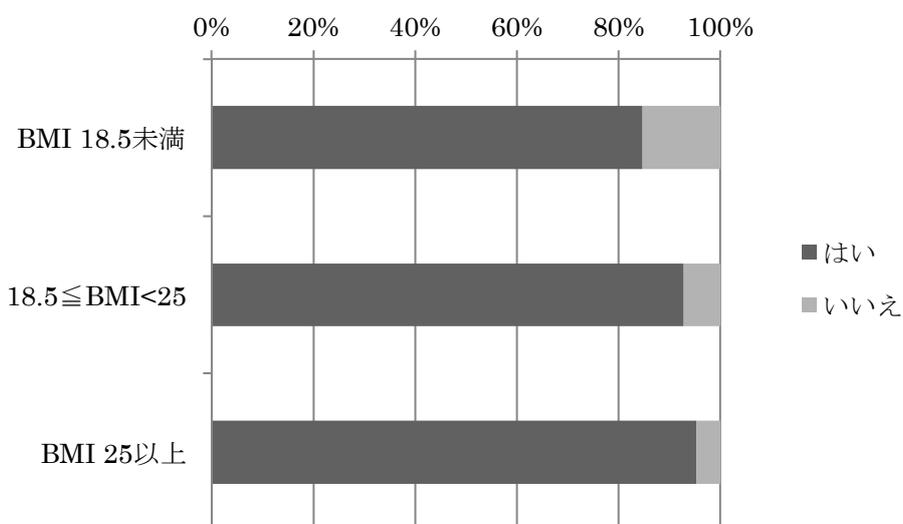


図 60. BMI と経口摂取

表 26. BMI と経管栄養

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
はい	41	18.0	40	9.7	6	5.7
いいえ	187	82.0	374	90.3	99	94.3
合計	228	100.0	414	100.0	105	100.0

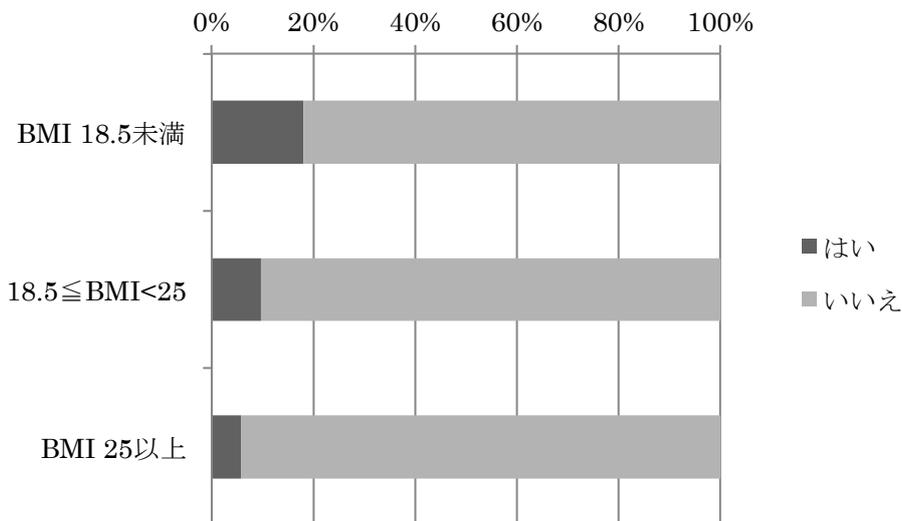


図 61. BMI と経管栄養

表 27. BMI と水分摂取量

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
コップ3杯未満	48	21.3	58	14.1	10	9.6
3杯以上5杯未満	93	41.3	197	47.8	35	33.7
5杯以上	84	37.3	157	38.1	59	56.7
合計	225	100.0	412	100.0	104	100.0

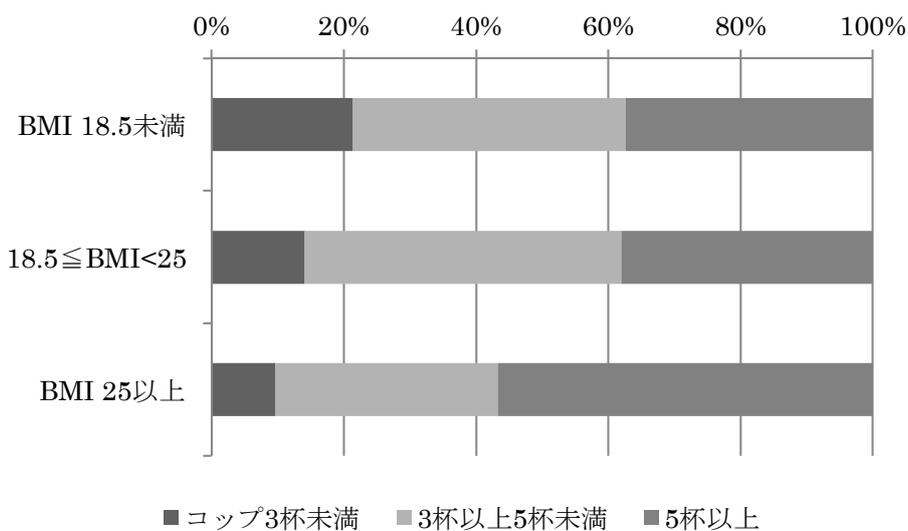


図 62. BMI と水分摂取量

食事形態は常食が BMI が高い群に多い等、BMI の程度により有意に異なった ( $p=0.00001$ , 表 28, 図 63)。

栄養補助食品は摂取している者ほど BMI が有意に低かった (BMI 低群 28.2%、BMI 中群 19.7%、BMI 高群 13.7%、トレンド  $p=0.0019$ , 表 29)。

菓の摂取状況は形状を変えないと飲めない者は BMI が有意に低かった、(BMI 低群 17.3%、BMI 中群 9.2%、BMI 高群 2.9%、トレンド  $p<0.00001$ , 表 30)。

食事の楽しみは、とても楽しみにしているほど BMI が有意に高かった (BMI 低群 35.7%、BMI 中群 39.5%、BMI 高群 50.0%、トレンド  $p=0.0006$ , 表 31, 図 64)。

皮膚のかさつきがある者は BMI が有意に低かった (BMI 低群 22.7%、BMI 中群 14.7%、BMI 高群 6.7%、トレンド  $p<0.00001$ , 表 32)。

表 28. BMI と食事形態

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
ゼリー食, ムース食	8	4.0	6	1.6	3	2.9
ペースト, ミキサー食	16	8.0	7	1.8	1	1.0
きざみ食	19	9.5	24	6.2	2	2.0
軟食	44	22.1	88	22.7	15	14.7
常食	112	56.3	262	67.7	81	79.4
合計	199	100.0	387	100.0	102	100.0

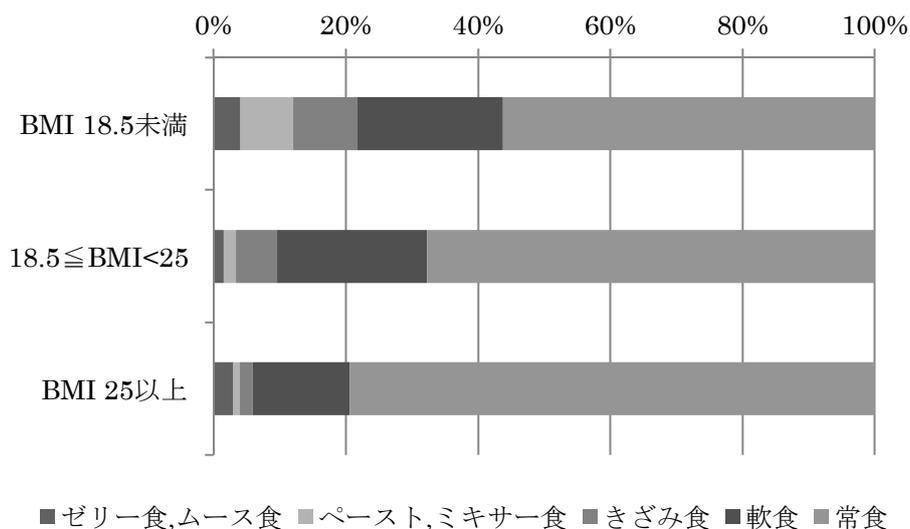


図 63. BMI と食事形態

表 29. BMI と栄養補助食品

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
摂取あり	57	28.2	76	19.7	14	13.7
摂取なし	145	71.8	310	80.3	88	86.3
合計	202	100.0	386	100.0	102	100.0

表 30. BMI と服薬時の薬の形状

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
形状変えずに飲める	167	82.7	354	90.8	99	97.1
飲めない	35	17.3	36	9.2	3	2.9
合計	202	100.0	390	100.0	102	100.0

表 31. BMI と食事の楽しみ

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
とても楽しみ	74	35.7	154	39.5	51	50.0
やや楽しみ	69	33.3	142	36.4	38	37.3
あまり楽しみでない	45	21.7	75	19.2	9	8.8
まったく楽しみでない	19	9.2	19	4.9	4	3.9
合計	207	100.0	390	100.0	102	100.0

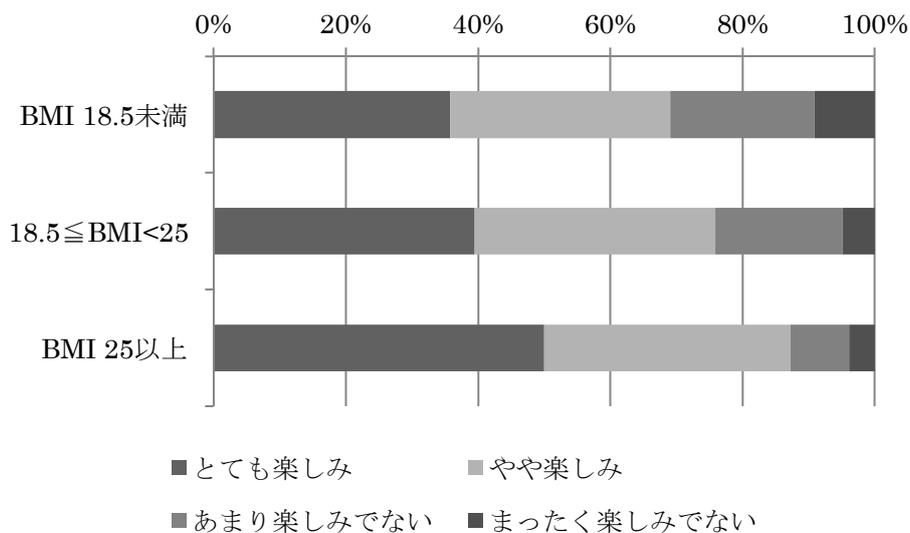


図 64. BMI と食事の楽しみ

表 32. BMI と皮膚のかさつき

	BMI 18.5未満		18.5 ≤ BMI < 25		BMI 25以上	
	n	%	n	%	n	%
ない	55	24.0	140	33.8	40	38.1
わずかにある	65	28.4	127	30.7	36	34.3
ややある	57	24.9	86	20.8	22	21.0
ある	52	22.7	61	14.7	7	6.7
合計	229	100.0	414	100.0	105	100.0

### ADL

ADL 得点は BMI が高くなるほど ADL 得点が高かった (BMI 低群平均±標準偏差 42.90±435.66 点、BMI 中群 55.90±33.61 点、BMI 高群 60.50±31.94 点、トレンド  $p<0.0001$ , 図 65)。

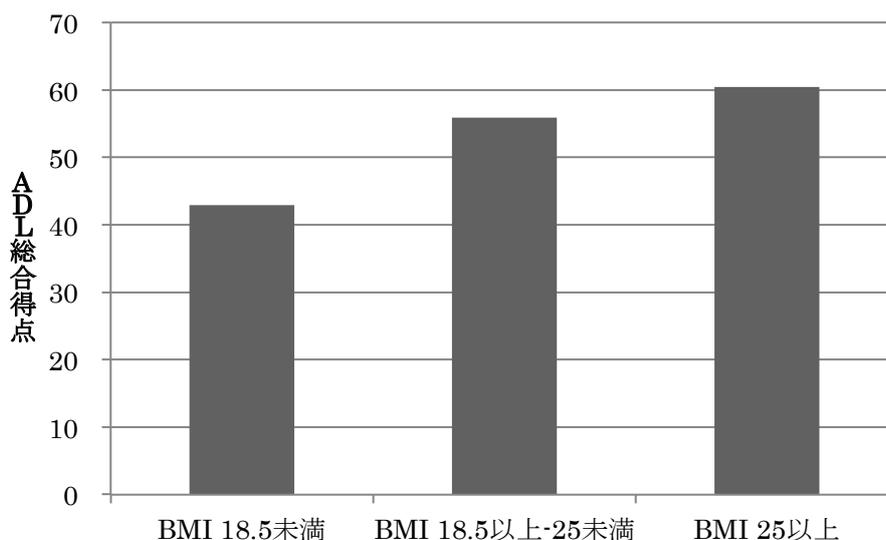


図 65. BMI と ADL 総合得点

### BMI からみた在宅療養高齢者の特徴

年齢が高くなると BMI が低くなる者が多かった。MNA-SF の得点は、BMI が高くなるほど高くなっていった。日本人の高齢者を対象とした研究において、MNA-SF と BMI は強い相関関係が認められている。

栄養状態を知る 1 つの指標として BMI があげられる。しかし、在宅療養高齢者の場合、寝たきりで身体計測の機会がないことや、拘縮が進むこと等により、身長や体重を測定で

きない者が多数おり、BMI による栄養状態の評価は困難であった。しかし、MNA-SF は BMI 値が計測できない場合も対応できることから、在宅療養高齢者の栄養評価指標の 1 つとして有効であると考えられる。

BMI が低い者ほど、介護度や自立度が低かった。また、同居の家族等がいる者ほど BMI が低かった。

BMI が低い者ほど口腔・嚥下機能が悪化していると考えられ、経口摂取ができる者は BMI が高く、さらに経管栄養を行っている者は BMI が低かった。

食事を楽しみにしている者ほど BMI は高かった。

## (5)MNA-SF 総合得点からみた在宅療養患者について

MNA-SF 総合得点の評価は3分類にし、各項目との関連をみた。MNA-SF のマニュアルに従い、0-7 点「低栄養」、8-11 点「低栄養のおそれあり」、12-14 点「栄養状態良好」とした。

### 基本的特性及び身体状況

年齢が高い者ほど栄養状態が有意に悪かった（平均年齢±標準偏差：低栄養 84.74±8.83 歳、低栄養のおそれあり 82.93±8.12 歳、栄養状態良好 82.03±7.56 歳、トレンド  $p<0.0001$ ，図 66）。

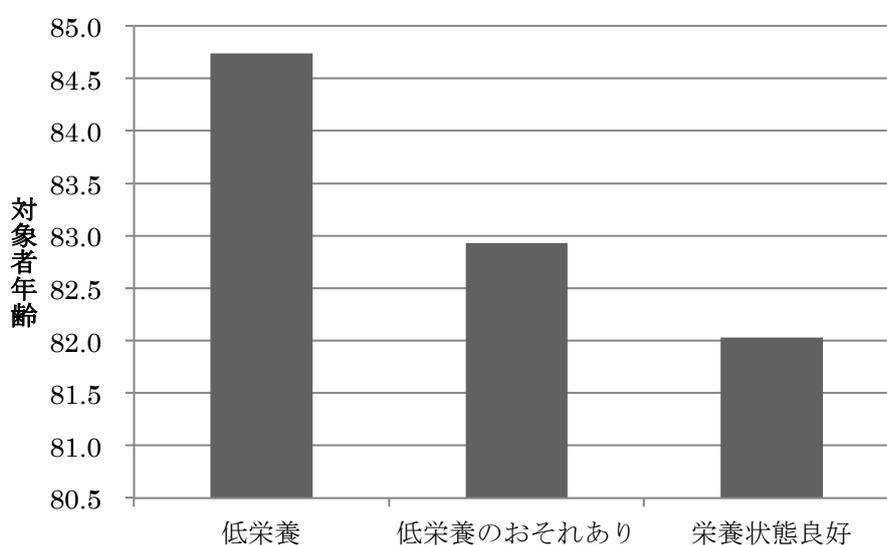


図 66. 栄養状態と対象者年齢

体重、下腿周囲長計平均、膝高平均は少ないほど栄養状態が有意に悪化していた（それぞれ、トレンド  $p<0.0001$ ，トレンド  $p<0.0001$ ，トレンド  $p=0.0342$ ，数値は資料参照）。血液検査はアルブミン値が低いほど栄養状態が有意に低かった（低栄養 3.46±0.88 g/dl、低栄養のおそれあり 3.66±0.80g/dl、栄養状態良好 3.77±0.48 g/dl、トレンド  $p=0.0002$ ）。BMI が低いほど栄養状態が有意に低下していた（低栄養 17.94±2.82 点、低栄養のおそれあり 20.17±3.28 点、栄養状態良好 24.09±3.62 点、トレンド  $p<0.0001$ ，図 67）。

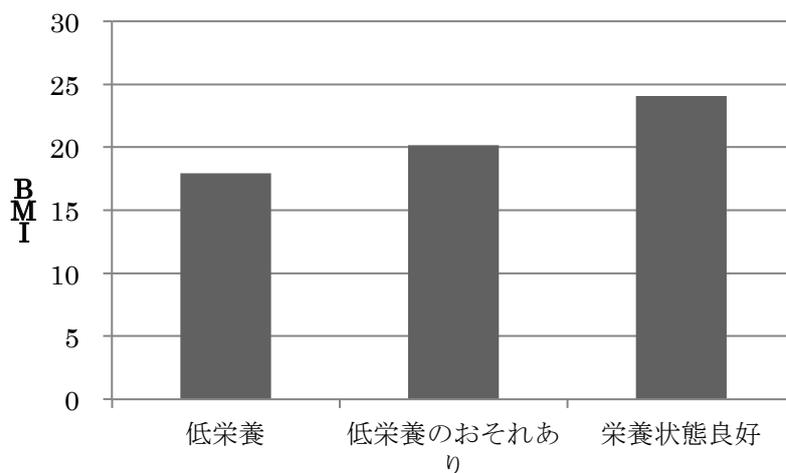


図 67. 栄養状態と BMI

### 医療・介護サービス利用状況

訪問医療・介護サービスの利用回数では、低栄養状態の者は他の者より在宅診療回数が多かった（低栄養  $2.28 \pm 1.17$  回/月、低栄養のおそれあり  $2.16 \pm 0.94$  回/月、栄養状態良好  $2.08 \pm 0.90$  回/月、トレンド  $p=0.0002$ ）。通所介護回数は低栄養状態であると利用回数が有意に多かった（低栄養  $8.26 \pm 10.92$  回/週、低栄養のおそれあり  $5.07 \pm 5.25$  回/週、栄養状態良好  $3.64 \pm 2.86$  回/週、トレンド  $p<0.0001$ ）。

外来受診のあり、緩和ケアのありの者はなしの者に比べて栄養状態が悪い者ほど受診回数が多かった（外来受診  $p<0.0001$ 、緩和ケア  $p=0.0082$ ，表 33，表 34）。

表 33. 栄養状態と外来受診

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
あり	77	23.4	117	37.0	120	47.4
なし	252	76.6	199	63.0	133	52.6
合計	329	100.0	316	100.0	253	100.0

表 34. 栄養状態と緩和ケア

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
あり	19	6.0	7	2.2	5	2.0
なし	298	94.0	307	97.8	242	98.0
合計	317	100.0	314	100.0	247	100.0

## 療養・生活状況

病状の安定性、直近 3 ヶ月間の入院は、栄養状態との関連が認められた（それぞれ  $p<0.0001$ ,  $p=0.0162$ , 表 35, 表 36）。

表 35. 栄養状態と病状の安定性

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
安定	251	72.8	292	88.5	236	91.8
不安定	94	27.2	38	11.5	21	8.2
合計	345	100.0	330	100.0	257	100.0

表 36. 栄養状態と直近 3 ヶ月の入院

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
あり	71	20.6	48	14.4	29	11.2
なし	274	79.4	286	85.6	229	88.8
合計	345	100.0	334	100.0	258	100.0

栄養状態が悪くなるほど障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の日常生活自立度、要支援・要介護度は有意に悪化した（すべてトレンド  $p<0.0001$ , 表 37, 38, 39, 図 68, 69, 70）。

世帯状況では、一人暮らしの者ほど栄養状態が有意に良好であり、子、子の配偶者、その他の者と同居が有りの者ほど栄養状態が有意に悪かった（ $p$  値, 詳細は資料参照）。

表 37. 栄養状態と障害高齢者の日常生活自立度

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
自立,J1,J2	12	3.6	32	9.8	62	24.7
A1	21	6.2	49	15.0	44	17.5
A2	41	12.1	76	23.3	64	25.5
B1	50	14.8	60	18.4	41	16.3
B2	55	16.3	45	13.8	19	7.6
C1	55	16.3	25	7.7	8	3.2
C2	104	30.8	39	12.0	13	5.2
合計	338	100.0	326	100.0	251	100.0

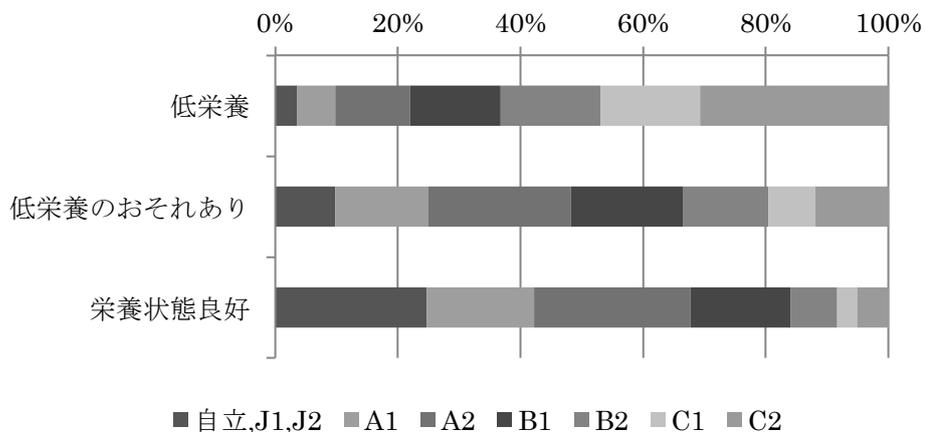


図 68. 栄養状態と障害高齢者の日常生活自立度

表 38. 栄養状態と認知症高齢者の日常生活自立度

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
正常	36	10.7	80	24.5	89	35.9
I	42	12.5	71	21.8	70	28.2
II, II a, II b	60	17.9	95	29.1	64	25.8
III a, III b	107	31.9	49	15.0	20	8.1
IV	62	18.5	23	7.1	5	2.0
M	28	8.4	8	2.5	0	0.0
合計	335	100.0	326	100.0	248	100.0

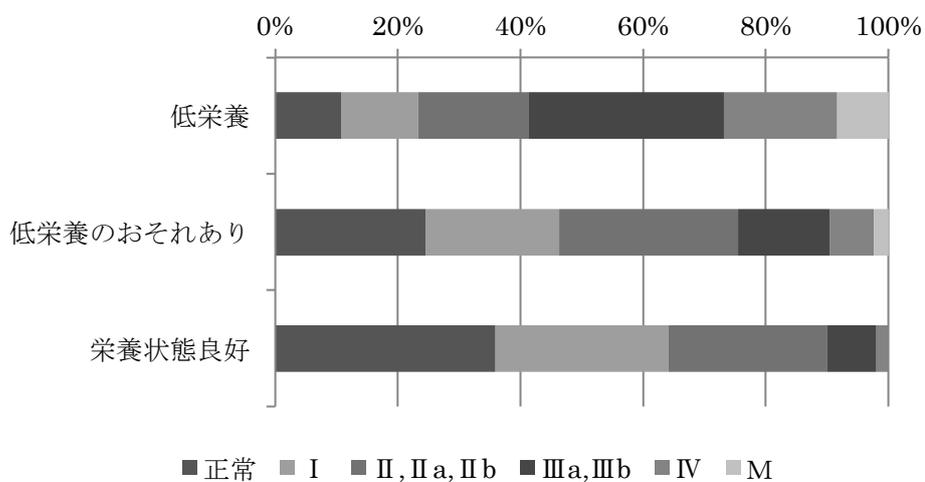


図 69. 栄養状態と認知症高齢者の日常生活自立度

表 39. 栄養状態と要支援・要介護度

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
自立,要支援 1,2	8	2.3	35	10.7	38	15.4
要介護1	22	6.3	32	9.8	45	18.2
要介護2	34	9.8	67	20.5	67	27.1
要介護3	43	12.4	59	18.0	38	15.4
要介護4	64	18.4	58	17.7	36	14.6
要介護5	177	50.9	76	23.2	23	9.3
合計	348	100.0	327	100.0	247	100.0

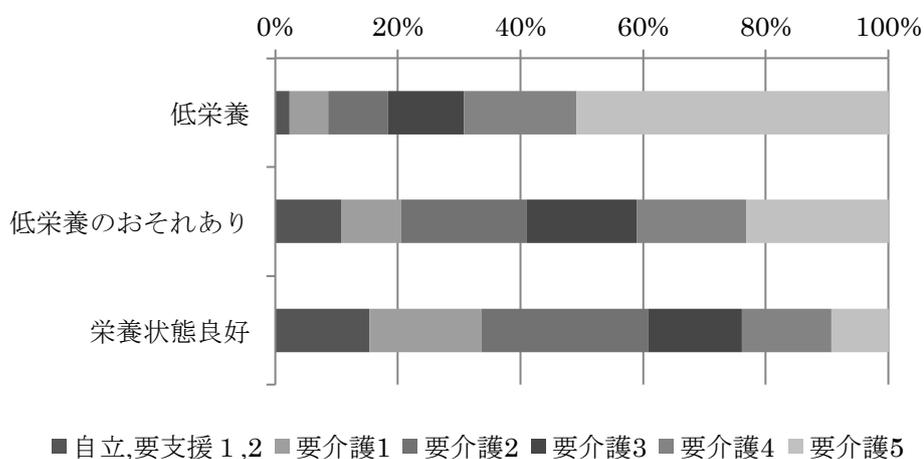


図 70. 栄養状態と要支援・要介護度

### 既往歴

栄養状態が悪くなるほど誤嚥性肺炎あり（低栄養 18.3%、低栄養のおそれあり 8.1%、栄養状態良好 4.2%、トレンド  $p<0.0001$ ，表 40，図 71）、褥瘡の既往がある者が有意に多かった（低栄養 20.9%、低栄養のおそれあり 14.1%、栄養状態良好 7.7%、トレンド  $p<0.0001$ ，表 41，図 72）。

表 40. 栄養状態と誤嚥性肺炎

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
あり	65	18.3	27	8.1	11	4.2
なし	290	81.7	308	91.9	248	95.8
合計	355	100.0	335	100.0	259	100.0

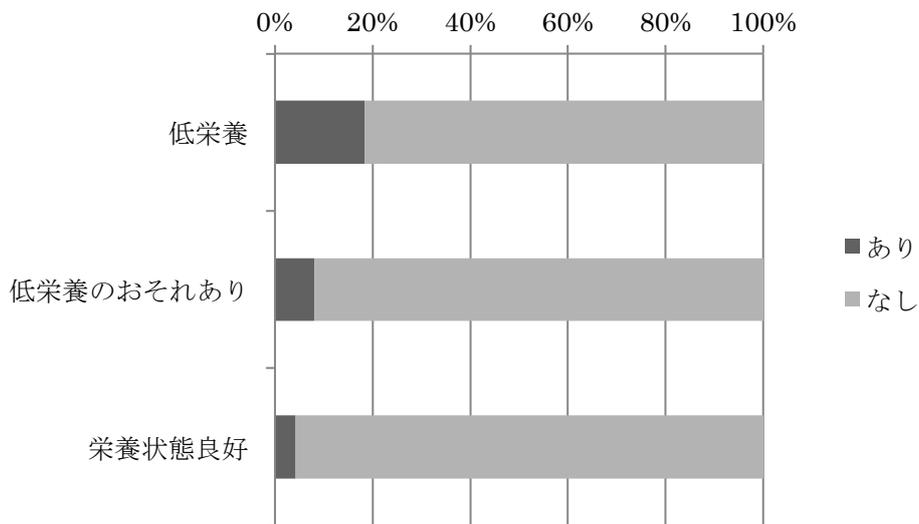


図 71. 栄養状態と誤嚥性肺炎

表 41. 栄養状態と褥瘡

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
あり	74	20.9	47	14.1	20	7.7
なし	280	79.1	286	85.9	240	92.3
合計	354	100.0	333	100.0	260	100.0

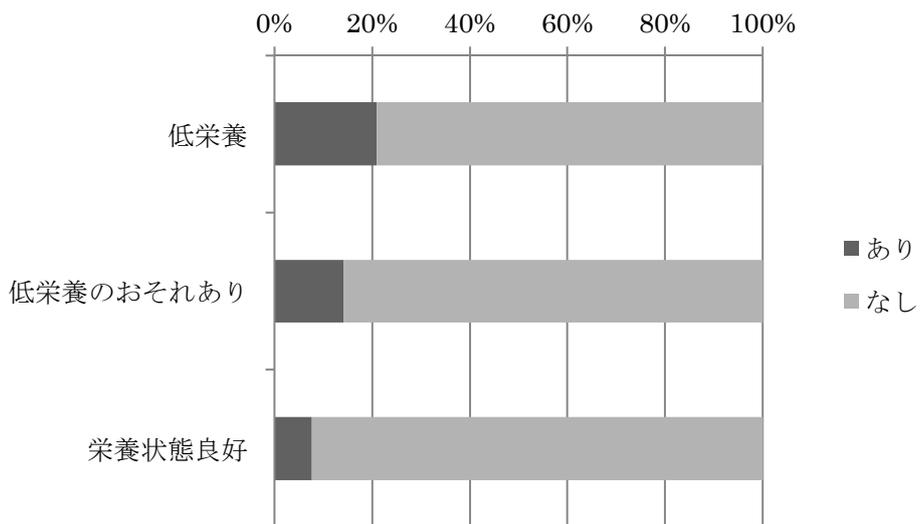


図 72. 栄養状態と褥瘡

## 生活習慣

昼食時に覚醒状況している（低栄養 68.9%、低栄養のおそれあり 92.1%、栄養状態良好 96.1%、 $p<0.0001$ ，表 42，図 73）、意思伝達ができる者は栄養状態が有意に良かった（トレンド  $p<0.0001$ ）。強制排便をしている者ほど有意に栄養状態が悪かった（低栄養 65.1%、低栄養のおそれあり 50.3%、栄養状態良好 46.1%，トレンド  $p<0.0001$ ，表 43，図 74）。

表 42. 栄養状態と昼食時の覚醒状況

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
覚醒している	233	68.9	304	92.1	248	96.1
やや覚醒	72	21.3	16	4.8	5	1.9
わずかに覚醒	21	6.2	5	1.5	1	0.4
覚醒していない	12	3.6	5	1.5	4	1.6
合計	338	100.0	330	100.0	258	100.0

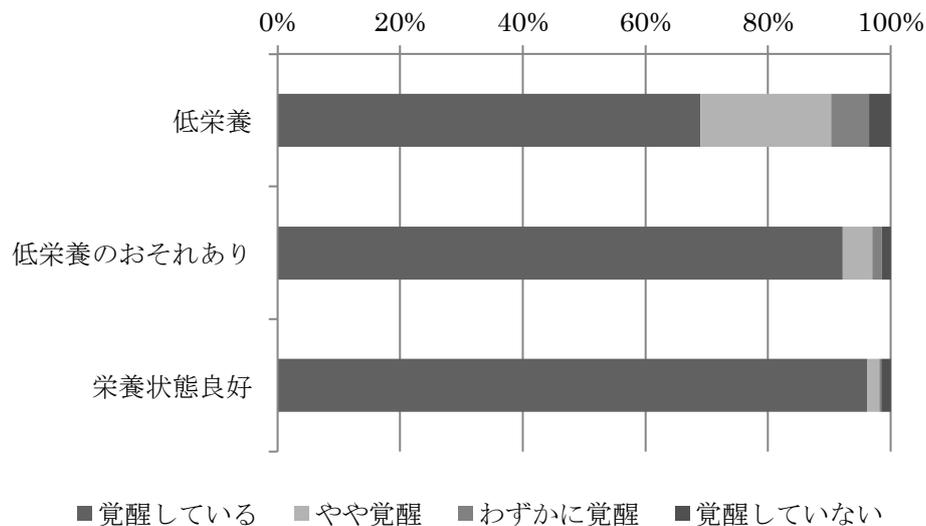


図 73. 栄養状態と昼食時の覚醒状況

表 43. 栄養状態と強制排便

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
あり	229	65.1	163	50.3	117	46.1
なし	123	34.9	161	49.7	137	53.9
合計	352	100.0	324	100.0	254	100.0

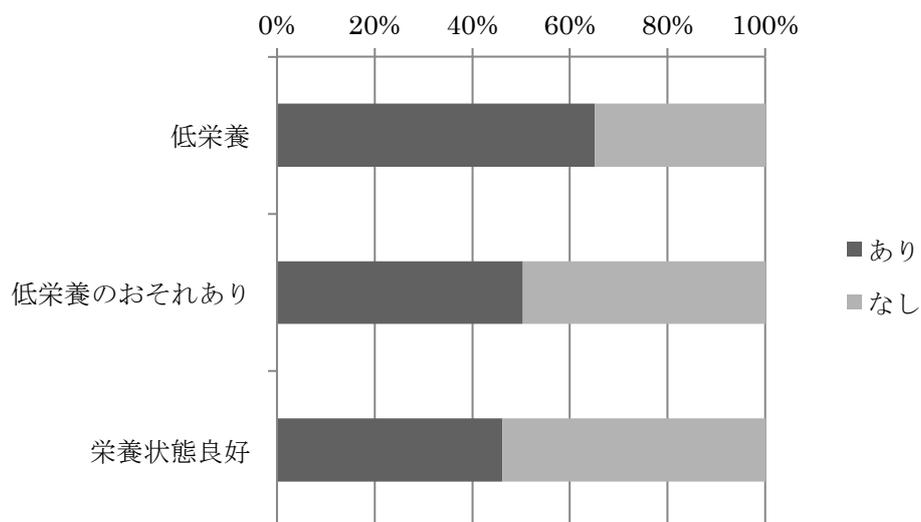


図 74. 栄養状態と強制排便

#### 口腔・嚥下機能

残存歯数は歯の本数が少ない者、入れ歯なしの者ほど有意に栄養状態が悪かった（それぞれトレンド  $p=0.0018$ ，トレンド  $p=0.0253$ ，表 44，45）。

表 44. 栄養状態と残存歯数

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
20本以上	61	17.7	82	25.3	65	25.9
10～19本	53	15.4	65	20.1	52	20.7
1～9本	114	33.0	86	26.5	64	25.5
0本	117	33.9	91	28.1	70	27.9
合計	345	100.0	324	100.0	251	100.0

表 45. 栄養状態と入れ歯

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
あり	196	56.0	208	64.0	172	67.7
なし	154	44.0	117	36.0	82	32.3
合計	350	100.0	325	100.0	254	100.0

また口を閉じることができる者（トレンド  $p=0.0008$ , 表 46）、固いものが食べられる者（トレンド  $p<0.0001$ , 表 47）ほど栄養状態が有意に良くなった。

表 46. 栄養状態と「口を閉じることが出来る」

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
できる	334	95.7	328	99.7	254	98.8
できない	15	4.3	1	0.3	3	1.2
合計	349	100.0	329	100.0	257	100.0

表 47. 栄養状態と「固いものが食べられる」

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
はい	134	38.4	209	64.5	184	72.4
いいえ	215	61.6	115	35.5	70	27.6
合計	349	100	324	100.0	254	100.0

嚙める程度は、食べ物が嚙めるほど低栄養状態の者が有意に減少し（低栄養 16.2%、低栄養のおそれあり 28.9%、栄養状態良好 42.7%、トレンド  $p<0.0001$ , 表 48, 図 75）、嚙下機能が低下するほど低栄養状態の者が有意に増加した（トレンド  $p<0.0001$ , 表 49, 図 76）。

表 48. 栄養状態と嚙める程度

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
どんなものでも	53	16.2	92	28.9	108	42.7
たいていのものは	104	31.8	163	51.3	102	40.3
食べ物が限られる	97	29.7	46	14.5	39	15.4
ほとんど嚙めない	32	9.8	5	1.6	1	0.4
全く嚙めず	41	12.5	12	3.8	3	1.2
合計	327	100.0	318	100.0	253	100.0

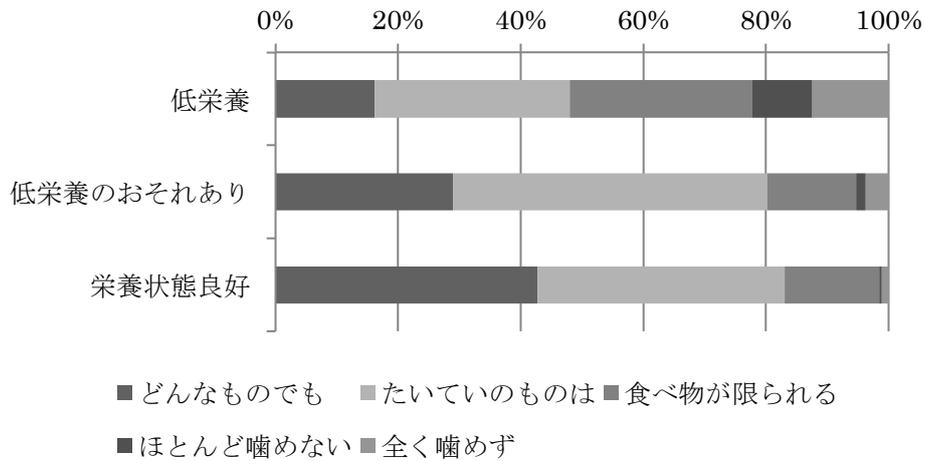


図 75. 栄養状態と噛める程度

表 49. 栄養状態と摂食・嚥下障害重症度分類 (DSS)

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
唾液誤嚥	16	4.8	5	1.6	2	0.8
食物誤嚥	28	8.4	6	1.9	0	0.0
水分誤嚥	31	9.3	8	2.5	5	2.0
機会誤嚥	41	12.3	13	4.0	7	2.8
口腔問題	31	9.3	26	8.1	12	4.8
軽度問題	75	22.6	76	23.7	38	15.1
正常範囲	110	33.1	187	58.3	187	74.5
合計	332	100.0	321	100.0	251	100.0

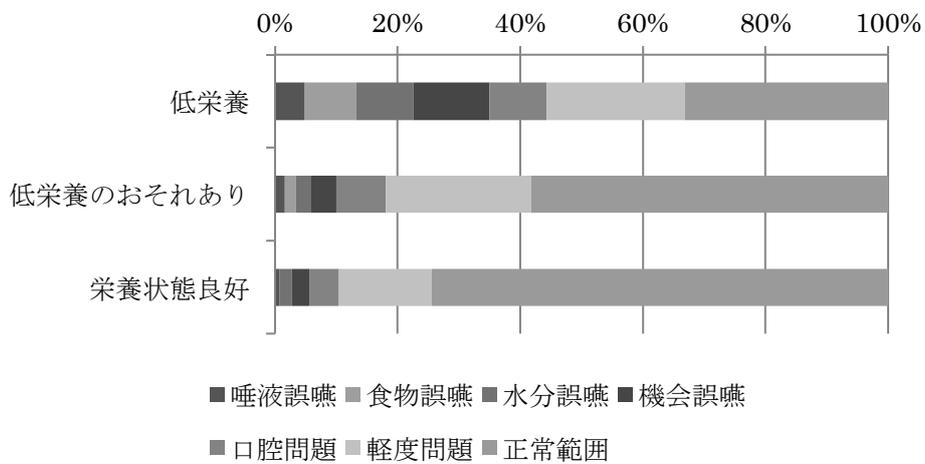


図 76. 栄養状態と摂食・嚥下障害重症度分類 (DSS)

## 食事・食事環境

食費が安くなるほど、低栄養状態の者が有意に多く見られた（トレンド  $p=0.0028$ , 表 50）。

表 50. 栄養状態と食費

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
500円未満	62	26.2	37	15.5	28	14.7
500円以上1000円未満	108	45.6	111	46.6	88	46.3
1000円以上1500円未満	51	21.5	71	29.8	58	30.5
1500円以上	16	6.8	19	8.0	16	8.4
合計	237	100.0	238	100.0	190	100.0

経口摂取ができる者ほど栄養状態が有意に良かった（低栄養 80.8%、低栄養のおそれあり 92.7%、栄養状態良好 98.1%、トレンド  $p<0.0001$ , 表 51）。経管栄養が増えるほど栄養状態は有意に悪化していた（低栄養 21.8%、低栄養のおそれあり 9.1%、栄養状態良好 3.5%、トレンド  $p<0.0001$ , 表 52）。

表 51. 栄養状態と経口摂取

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
はい	286	80.8	305	92.7	252	98.1
いいえ	68	19.2	24	7.3	5	1.9
合計	354	100.0	329	100.0	257	100.0

表 52. 栄養状態と経管栄養

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
はい	77	21.8	30	9.1	9	3.5
いいえ	277	78.2	299	90.9	248	96.5
合計	354	100.0	329	100.0	257	100.0

1日の水分摂取量は低栄養の者ほど水分摂取量が有意に少なかった（低栄養 23.9%、低栄養のおそれあり 12.1%、栄養状態良好 10.9%、トレンド  $p<0.0001$ 、表 53、図 77）。また、食事形態では、常食、軟食について、栄養状態が悪い者ほど有意に食べている者が少なかった（トレンド  $p<0.0001$ 、表 54、図 78）。薬の形状を変えて飲んでいる者は栄養状態が有意に悪かった（トレンド  $p<0.0001$ 、表 55）。

表 53. 栄養状態と水分摂取

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
コップ3杯未満	82	23.9	40	12.1	28	10.9
3杯以上5杯未満	172	50.1	156	47.3	94	36.7
5杯以上	89	25.9	134	40.6	134	52.3
合計	343	100.0	330	100.0	256	100.0

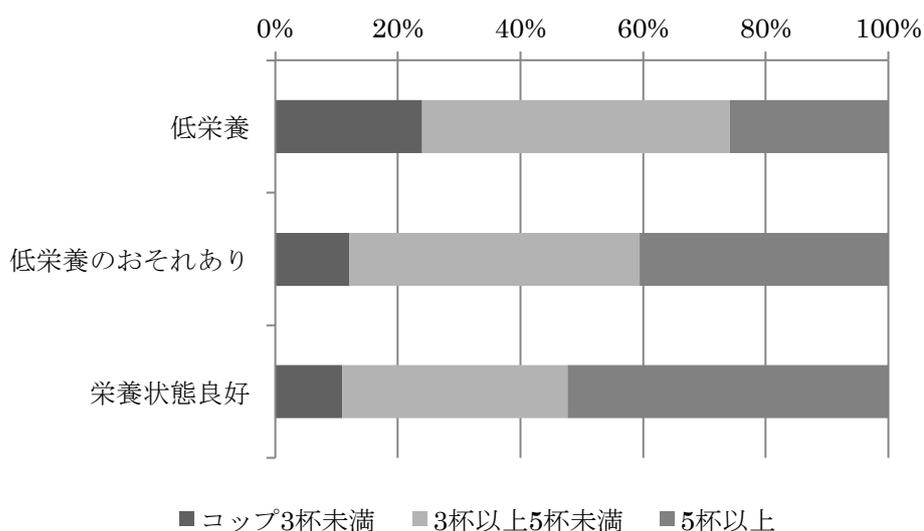


図 77. 栄養状態と水分摂取

表 54. 栄養状態と食事形態

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
ゼリー食、ムース食	14	4.8	6	1.9	1	0.4
ペースト、ミキサー食	28	9.6	6	1.9	2	0.8
きざみ食	45	15.4	14	4.5	9	3.6
軟食	74	25.3	74	23.8	40	15.9
常食	131	44.9	211	67.8	200	79.4
合計	292	100.0	311	100.0	252	100.0

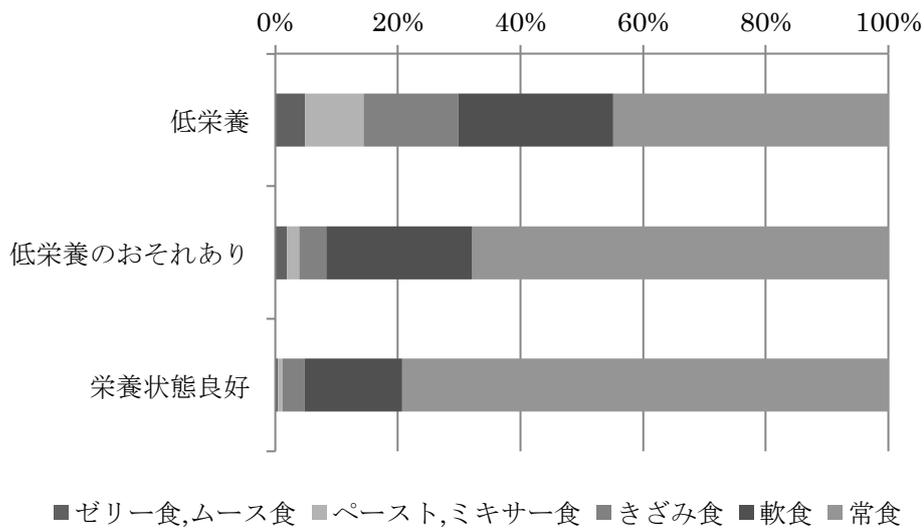


図 78. 栄養状態と食事形態

表 55. 栄養状態と薬の形状の工夫

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
形状変えずに飲める	229	75.6	288	91.7	245	97.2
飲めない	74	24.4	26	8.3	7	2.8
合計	303	100.0	314	100.0	252	100.0

食欲がある者ほど栄養状態が有意に良く（トレンド  $p < 0.0001$ ，表 56，図 79）、食事を楽しみにしている者も栄養状態が有意に良かった（トレンド  $p < 0.0001$ ，表 57，図 80）。皮膚のかさつきがある者ほど栄養状態が有意に悪化していた（トレンド  $p < 0.0001$ ，表 58）。

表 56. 栄養状態と食欲

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
ない	25	8.7	23	7.3	16	6.3
わずかにある	45	15.6	20	6.4	8	3.2
ややある	77	26.6	61	19.5	37	14.7
ある	142	49.1	209	66.8	191	75.8
合計	289	100.0	313	100.0	252	100.0

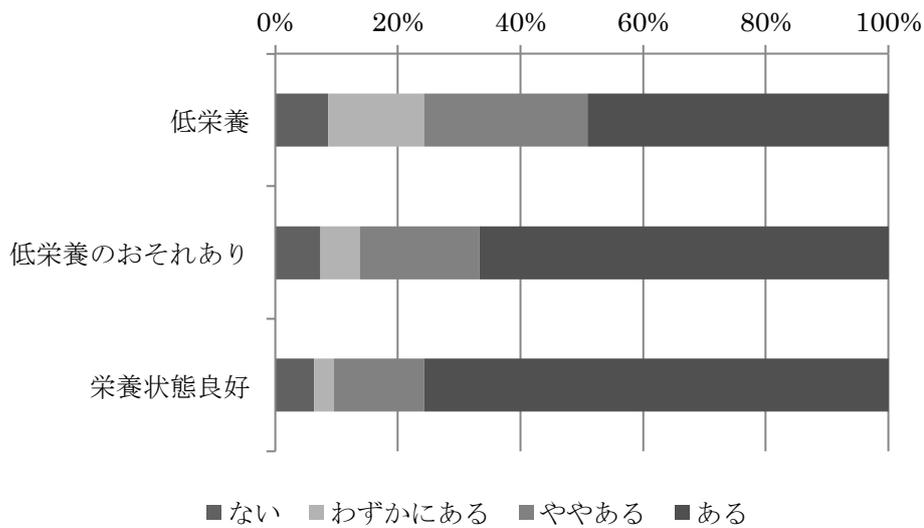


図 79. 栄養状態と食欲

表 57. 栄養状態と食事の楽しみ

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
とても楽しみ	80	26.4	141	44.5	112	44.3
やや楽しみ	98	32.3	108	34.1	102	40.3
あまり楽しみでない	70	23.1	51	16.1	34	13.4
まったく楽しみでない	55	18.2	17	5.4	5	2.0
合計	303	100.0	317	100.0	253	100.0

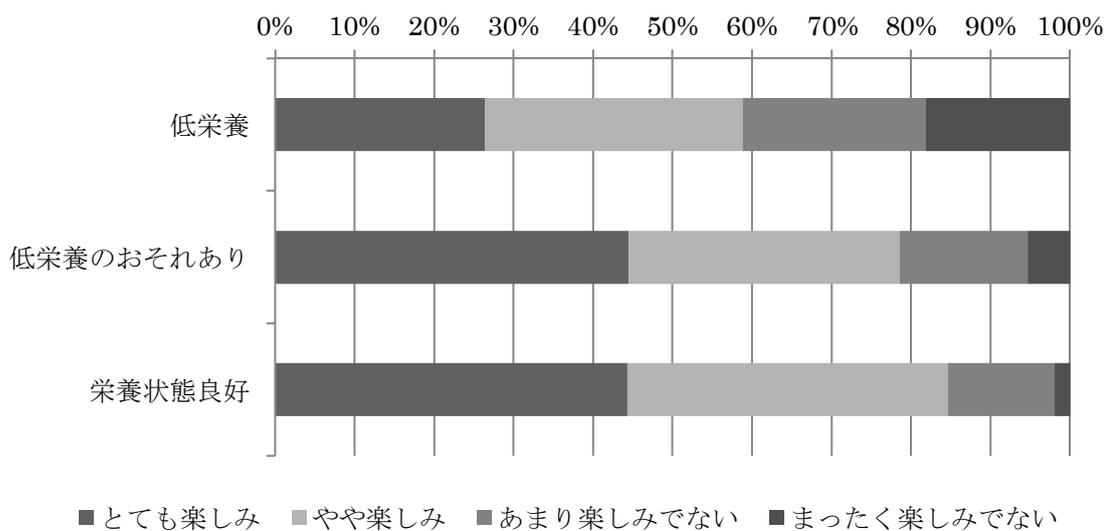


図 80. 栄養状態と食事の楽しみ

表 58. 栄養状態と皮膚のかさつき

	低栄養		低栄養のおそれあり		栄養状態良好	
	n	%	n	%	n	%
ない	73	20.7	104	31.5	99	38.2
わずかにある	107	30.4	104	31.5	75	29.0
ややある	89	25.3	80	24.2	50	19.3
ある	83	23.6	42	12.7	35	13.5
合計	352	100.0	330	100.0	259	100.0

### ADL

ADL の総合得点が低い者は栄養状態が有意に悪かった（低栄養  $26.06 \pm 30.52$  点、低栄養のおそれあり  $52.65 \pm 33.03$  点、栄養状態良好  $72.00 \pm 25.27$  点、トレンド  $p < 0.0001$ ）。

### MNA-SF からみた在宅療養高齢者の特徴

低栄養状態の者ほど介護度、自立度が悪かった。褥瘡、誤嚥性肺炎の既往も栄養状態が悪くなるほど罹患が多かった。栄養状態が悪い者ほど、口腔・嚥下機能の低下が見られた。食事摂取、食事形態等も栄養状態が悪い者は経口摂取が出来なくなっており、常食から軟食、きざみ食等に変化していた。

## (6) 在宅療養患者の摂食及び栄養に及ぼす薬剤の影響について（第一次報告） 並びに今後の検討の方向性について

研究協力者

轡 基治（一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会理事・調査研究委員会委員／うえまつ調剤薬局：宮城県）

坂本 岳志（一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会／あけぼの薬局：茨城県）

柴田るり子（一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会／カネマタ薬局：千葉県）

宇田 和夫（一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会副会長・調査研究委員会／株式会社ファーコス：東京都）

鈴木 順子（一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会監事・調査研究委員会／北里大学薬学部：東京都）

大澤 光司（一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会会長／株式会社メディカルグリーン：栃木県）

### 1. はじめに

在宅医療が進展しつつある現在では、在宅療養患者は何らかの薬物治療を受けていることが多いが、薬剤によってはその主作用あるいは副作用並びに相互作用等も含めて患者の摂食や栄養状態に影響を及ぼしている可能性が考えられる。その一方でこれまで実態は明らかにされてきていない。そこで本調査では、調査対象患者に処方されている薬剤と患者の状況についても調査を行った。

### 2. 調査内容とデータ採否

本調査における調査事項に『IX. 処方薬』の項目を設け、対象患者に処方されている薬剤（内服薬・外用薬・注射薬）を記入することとした。なお記入方法は薬剤情報提供書やお薬手帳、薬袋等からの転記やそれらのコピーの貼付とした。

調査票全 1,141 件のうち、処方内容が記入されたものは 1,073 件であり、68 件は未記入（処方の有無も不明）であった。

記入された内容について、薬剤名称のみの記入に留まっており用法及び用量が未記載の調査票も多くみられたために、薬剤名称のみを採集データとし、外用薬及び注射薬を除外し内服薬のデータを用いて検討することとした。また、薬剤名称をそれぞれ薬価基準収載医薬品コードと照合した。データ入力時の誤変換等により生じたと思われる薬剤名称の軽微な誤字脱字等は薬剤師が逐次修正を行い用いることとした。

### 3. 調査結果から

#### 1) 処方されている薬剤数

処方内容が明らかな 1,073 名のうち、調査時点において内服薬が全く処方されていない患者は 19 名、1～5 種類の処方を受けている患者は 397 名、6～10 種類は 500 名、11～15 種類は 135 名、16～20 種類は 20 名、21～25 種類は 2 名であった。平均値は 6.8 種類、最大値は 25 種類、最小値は 0 種類であった。

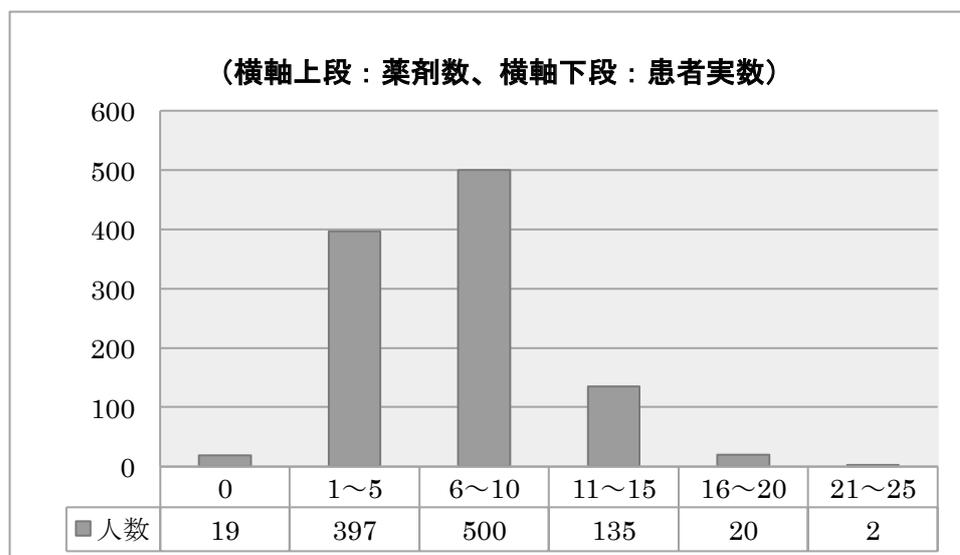


図 81. 内服している薬剤数

## 2) 摂食状況に影響する可能性を持つと考えられる薬剤について

本調査で挙げられた内服薬から、主として直接的な薬理作用により摂食に影響する可能性をもつと考えられる薬剤の分類を下表に示す。なお、本調査の範囲ではこれらの薬剤を服用していることによる摂食量変化の評価は行っていない。

表 59. 摂食量に影響を与える可能性のある薬剤分類

消化器系薬剤	下剤 活性生菌製剤 健胃消化剤 消化酵素製剤 消化管運動賦活薬
精神・神経用剤	ベンゾジアゼピン系薬剤（抗不安薬・睡眠導入剤） 抗パーキンソン病薬 オピオイド製剤
その他	頻尿治療薬 ステロイド剤 抗生物質 化学療法剤

これらの薬剤が実際に患者の摂食状況に影響しているか否かを判定するためには、服薬状況や原疾患の状況、臨床所見等から総合的に判断し患者個別の判定が必要であると考えられる。また、消化器に対する直接的な薬理作用による影響のみならず、薬物治療による嚥下状態の変化、味覚の変化等が存在する可能性があり、同様に薬物治療による生活時間の変化が食事回数に影響を与えていることも考えられる。

## 4. まとめ

本調査では、調査対象患者に処方されている医薬品の内容も調査項目に含め、薬物治療が摂食や栄養に影響を与えている可能性をもつかどうか検討を行った。対象患者のほとんどが内服薬の処方を受けている実情を確認したが、服用状況や処方履歴等は調査しておらず、摂食と薬剤間の因果関係を得るには至らない。個々のケースでより正確な因果関係を得るには、薬物治療を施す医師や一連の状況を観察する薬剤師等による評価が必要と考えられ、それらをデータとして収集・蓄積するためのアルゴリズムを作成することも併せて必要となる。本調査を **preliminary data** として位置付け、これを基に詳細な薬剤分類と服用状況、摂食状況、原疾患の推移、処方履歴、患者アウトカム等を総合的に勘案することが可能な調査項目設定を行い今後の調査に役立てていくことが必要である。



### Ⅲ. ケーススタディ

#### 1. 調査概要

##### 1) 対象者

栄養に問題のある在宅療養患者に、改善のために多職種によるケアを提供した事例

##### 2) 調査項目

###### (1) 基本的属性

性別、年齢、家族構成、要支援・要介護度、世帯状況、介護者、在宅サービス、既往歴など

###### (2) 身体計測

身長、体重など

###### (3) 生化学データ

アルブミン、総蛋白など

###### (4) ADL

障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の自立度

###### (5) 医療・介護サービス利用状況等

###### (6) 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

###### (7) 問題点や課題に対する対応策

###### (8) 対応の経過

###### (9) 考察

##### 3) 調査実施方法

在宅療養患者へ訪問診療を実施している医療機関へ依頼し、事例記入表に沿って、事例について記入していただき、郵送により回収した。調査期間は、平成 25 年 1 月 20 日～2 月 8 日であった。

##### 4) 倫理面に関する配慮

質問票の回答は、個人識別番号を用いて、個人を同定できないようにした。また、個人が特定できるような情報は削除した。本研究は国立長寿医療研究センター倫理委員会に申請し承認を受けている。

#### 2. 結果

事例は 8 事例が収集された。これらを整理し、以下にまとめた。

# ケーススタディ 1

## I 対象者の基本情報

### I-1. 性別・年齢

性別	女	年齢	83歳
----	---	----	-----

### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	脳梗塞後遺症、腎出血、出血性ショック
既往歴	直腸がん術後、脳腫瘍

### I-3. 身体計測

身長	146cm	[測定年月:平成23年6月]	体重	38kg	[測定年月:平成23年6月]
下腿周囲長	不明	膝高	不明	浮腫	無

### I-4. 栄養評価

評価	: 不良
評価の根拠	: 入院前 44kg あり、入院中に 6kg 減少。

### \* 血液検査結果（結果がある場合のみ）

Alb 値	(2.4g/dl)	[平成23年6月]	総蛋白	(6.2g/dl)	[平成23年6月]
-------	-----------	-----------	-----	-----------	-----------

### I-5. 食事について

食事摂取法	経腸栄養 [胃瘻] (製品名 ラコール) (1000 kcal/日)
食事形態 *経口摂取可能な場合のみ	経口摂取・無
1日の食事回数 *経口摂取のみ	経口摂取・無
その他・付記事項	全盲

### I-6. 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度	C-1	認知症高齢者の日常生活自立度	III-a
要支援・要介護度	要介護 5		
世帯状況	子ども、子どもの配偶者		
主たる介護者について	① 続柄	子ども	
	② 性別	女	
	③ 年齢	50歳代	

## I-7. 医療・介護サービス利用状況

介護サービス利用状況					
訪問サービス					
訪問診療	2回/月	訪問歯科	2回/月	訪問看護	25回/月
訪問入浴	4回/月				
外来の有無		歯科受診の有無		緩和ケアの有無	
外来受診	無	1年以内の歯科受診	有	緩和ケア	有

## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

脳梗塞後であり摂食嚥下機能が低下しており、退院時のVFにて経口摂取は無理と診断された。そのため胃瘻造設となり退院となった。家族が介護することになったが、娘さん夫婦は教員であり日中は不在のため昼食は訪問看護で行うこととなった。また全盲であり、人工肛門あって尿管も留置されての退院であった。

## III. 問題点や課題に対する対応策

- ① 経腸栄養管理について  
介護者が教員であり、できるだけ経腸栄養の負担を軽減することが大切と考えられた。また昼食は訪問看護が短い時間で行うことが求められたため、3食とも半固形化栄養にすることを退院時カンファレンスを提案した。家族からも半固形化栄養を教えてほしいとのことで3食とも半固形化栄養とした。
- ② ショック状態から回復してやっと退院したため十分な栄養をつけることが大切であるが、腎機能、心機能の低下もあるため徐々に栄養をアップしていくことが求められた。
- ③ 直腸がんもイレウスで緊急入院して覚醒なしで人工肛門となっていたため腹腔内播種が疑われているため緩和ケアも必要とされた。

## IV. 経過

退院後経腸栄養は順調に行うことができた。訪問看護師、家族との連携がうまくいっており合併症もなく診ることができた。口腔ケアについても訪問看護師が毎日チェックし、家族への指導も繰り返し行ってくれた。栄養状態の改善とともによく話すようになり、徐々に体重の増加(+2kg)が認められた。4か月後のケアカンファレンスでは家族からこの元気になった状態で本当に食べられないのかという問い合わせがあったため、関係者で検討をして歯科医による嚥下評価をお願いすることにした。在宅にて水飲みテストなど嚥下評価をしていただいたところ少しは食べられるとの指示をいただき、お楽しみ程度に経口摂取が楽しめるようになり喜ばれた。1年後腹腔内再発にて小腸の閉塞があり、痛みや嘔吐など出現。緩和ケアを開始して胃瘻チューブによる減圧を行いつつお楽しみを経口摂取を最後まで楽しむことができた。

## V. 結論・考察

在宅にて多職種が知恵を出し合うことによって患者のQOLを保ち、家族の負担を減らすことができた。

## ケーススタディ 2

### I 対象者の基本情報

#### I-1. 性別・年齢

性別	男	年齢	74 歳
----	---	----	------

#### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	咽頭がん、骨転移、脳浮腫
-----	--------------

#### I-3. 身体計測

身長	168cm	[測定年月:平成 24 年 10 月]	体重	65kg	[測定年月:平成 24 年 10 月]
下腿周囲長	不明	膝高	不明	浮腫	無

#### I-4. 栄養評価

評価	: 不良
評価の根拠	: ターミナル状態であり、予後 1 か月と判断された

#### \* 血液検査結果 (結果がある場合のみ)

Alb 値	(2.6g/dl)	[平成 24 年 10 月]	リンパ球数	(1200 個/ $\mu$ l)	[平成 24 年 10 月]
赤血球数	(485 万個/ $\mu$ l)	[平成 24 年 10 月]	白血球数	(3.800 個/ $\mu$ l)	[平成 24 年 10 月]
総蛋白	(6.2g/dl)	[平成 24 年 10 月]			

#### I-5. 食事について

食事摂取法	経口摂取 経腸栄養 [経鼻] (製品名 アキュア) (800 kcal/日)
食事形態 *経口摂取可能な場合のみ	軟食
1 日の食事回数 *経口摂取のみ	2 回
その他・付記事項	予後 1 か月との判定、気管瘻、頸椎骨折 (骨転移)

#### I-6. 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度	C-1	認知症高齢者の日常生活自立度	II-a
要支援・要介護度	要介護 4		
世帯状況	配偶者		
主たる介護者について	①続柄	配偶者	
	②性別	女	
	③年齢	60 歳代	

## I-7. 医療・介護サービス利用状況

介護サービス利用状況					
訪問サービス					
訪問診療	2回/月	訪問歯科	2回/月	訪問看護	12回/月
訪問介護	4回/月	訪問入浴	4回/月	訪問薬剤指導	2回/月
外来の有無		歯科受診の有無		緩和ケアの有無	
外来受診	1回/2月	1年以内の歯科受診	有	緩和ケア	有

## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

- ① 退院前カンファレンスでは放射線治療の影響などで開口障害があり、経口摂取は少量しか摂取不可能とのこと、経鼻胃管から 800kcal のみ入れることになっていた。これ以上の注入は本人は望まなかった。
- ② 入浴をしたいとのことだが頸椎骨折が2か所あり入院中もシャワー浴のみであった。
- ③ 疼痛はNSAIDでコントロール可であり、時折アンペック座薬をしようしているだけであった。
- ④ 退院時頸部静脈の還流が悪いため意識レベルの低下が認められていた。

## III. 問題点や課題に対する対応策

- ① 経腸栄養だけでは十分な栄養が摂れないが、本人はこれ以上の栄養摂取を好まない。
  - ② 在宅での生活を楽しみたいと思っているが、入浴できないことに対して不満を持っている。
  - ③ 予後1か月を静かに過ごしたいと思っている。
- 家での生活を支えながら可能な限り、希望に沿うよう考えていく。

## IV. 経過

退院後、家に伺うと意識レベルがアップしていた。痛みもないため自分の好きな部屋（庭の見える）にベッドを置き好きな音楽を聴くという生活をしていった。患者、妻より入浴をどうしてもしたいとの希望が強くあり、入浴サービスに浴槽を持ってきてもらい家でシュミュレーションを行った。何とか可能ではないかということで恐る恐る入浴したところとても喜ばれ意欲の向上につながった。訪問看護より訪問歯科医に開口障害を診てもらったらどうかという提案があり、訪問歯科を依頼。頬部のマッサージを繰り返すことにより少しずつ開口が可能になり、歯も調節することで経口摂取が進んだ。そのため経鼻からのアキュアも経口に移し、経鼻胃管を抜去することが可能になった。栄養を摂れるようになったことで活動性もアップし、尿管も抜去し快適な生活を送ることができている。

## V. 結論・考察

専門医による予後判定は必ずしも正確とは限らない。あきらめずに患者家族の希望をかなえるように多職種で知恵を出し合うことが大切と考えられた。

## ケーススタディ 3

### I 対象者の基本情報

#### I-1. 性別・年齢

性別	女	年齢	92歳
----	---	----	-----

#### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	食欲不振
既往歴	慢性心不全、高血圧、骨粗鬆症 腰椎圧迫骨折後遺症

#### I-3. 身体計測

身長	139cm	[測定年月:不明]	体重	49kg	[測定年月:不明]
下腿周囲長	不明	膝高	不明	浮腫	記入なし

#### I-4. 栄養評価

評価	: 低 ALB 血症
評価の根拠	: 老衰、認知症の進行・味覚異常によるとみられる食欲不振の為、食事・水分が摂取できない状態が数日間続いており、栄養状態の急激な低下が考えられた。
血液検査により	: ALB 値が 3.3 (2012 年 12 月 17 日) → 2.6 (2013 年 1 月 7 日) と低下しているのが確認された。また血中亜鉛濃度も 61 と低下がみられていた。

#### \* 血液検査結果 (結果がある場合のみ)

Alb 値	(2.6g/dl)	[平成 25 年 1 月]	白血球数	(6300 個/ $\mu$ l)	[平成 25 年 1 月]
赤血球数	(375 万個/ $\mu$ l)	[平成 25 年 1 月]			

#### I-5. 食事について

食事摂取法	経口摂取 経腸栄養 [経口摂取] (製品名 エンシュア H250m(1/5~)) (375kcal/日) (製品名 ラコール 200ml(12/28~)) (200kcal/日)
食事形態 *経口摂取可能な場合のみ	ペースト食やミキサー食、軟食

#### I-6. 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度	B1	認知症高齢者の日常生活自立度	III a
要支援・要介護度	要介護 4		
世帯状況	その他		
主たる介護者について	①続柄	その他	

## I-7. 医療・介護サービス利用状況

### 介護サービス利用状況

訪問サービス

訪問診療 2回/

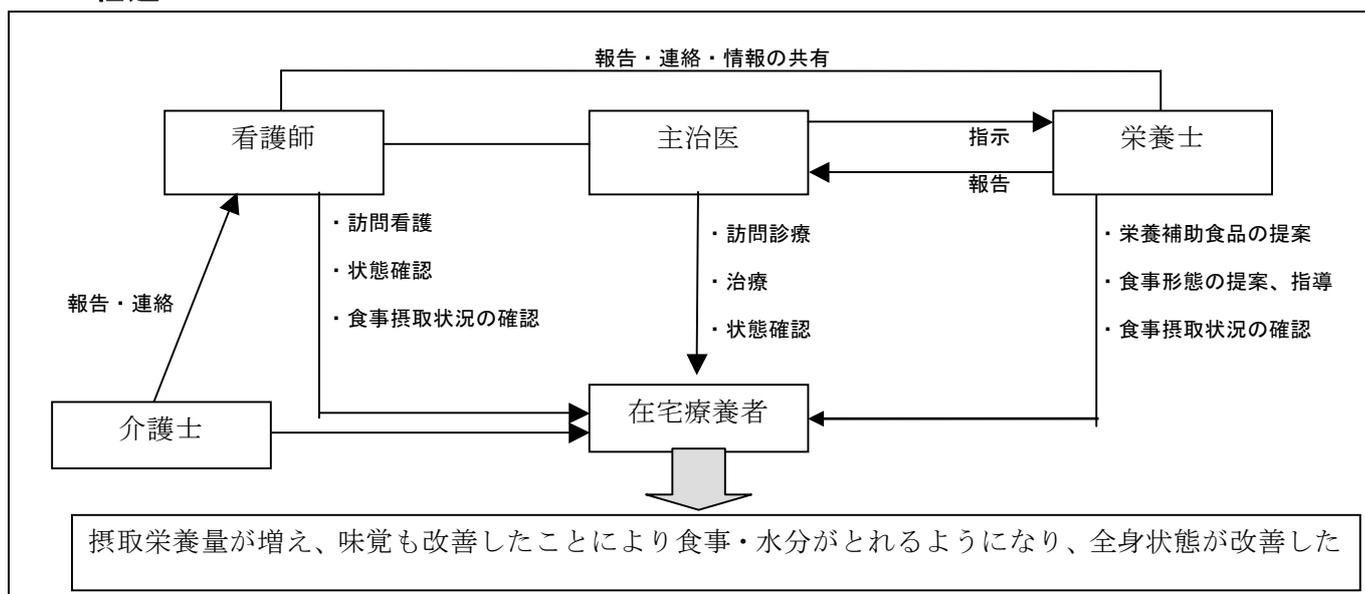
## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

- ・ 老衰による食欲不振
- ・ 認知症の進行による食欲不振
- ・ 亜鉛不足による味覚異常の可能性

## III. 問題点や課題に対する対応策

- ① 食事、水分摂取量が少ない為、点滴を施行する
- ② 栄養剤の摂取をすすめる。
- ③ 栄養剤を摂取しやすいようゼリー化して摂取することを提案する
- ④ 血中亜鉛濃度を確認し、不足していた場合に補給を行う

## IV. 経過



## V. 結論・考察

### 【結論】

- ・ 栄養剤を摂取することで栄養補給することができ、食事・水分も摂れるようになり元気を回復した。

### 【考察】

- ・ ラコール、エンシュアをご本人が摂取しやすい形で提供することで摂取栄養量を増加することができ、味覚も改善されたことで食事がおいしくとれるようになり、全身状態の改善につながったと考える。
- ・ 主治医より処方されたレニベースにより嚥下機能の改善、メモリーにより認知機能の改善・食欲の亢進作用がみられたことにより食事・水分が摂取できるようになり、全身状態の改善につながったと考える。

## ケーススタディ 4

### I 対象者の基本情報

#### I-1. 性別・年齢

性別	女	年齢	88歳
----	---	----	-----

#### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	糖尿病	既往歴	腰椎圧迫骨折
-----	-----	-----	--------

#### I-3. 身体計測

身長	140cm	[測定年月:記入無し]	体重	47.5kg	[測定年月:記入無し]
下腿周囲長	不明	膝高	不明	浮腫	無

#### I-4. 栄養評価

評価	: 食事と服薬による血糖コントロールを継続させる必要がある。現在は栄養状態は問題ないが、今後、食事量の低下や食事内容の偏りにより、栄養状態が低下してくるおそれがある。				
評価の根拠	: 義歯の不具合がみられると訴えあり。摂食状況を確認したところ、咀嚼不十分となっている。柔らかいものばかりを食べざるをえない状況で、かけうどんや菓子パンを好んで食べる傾向にある。野菜・蛋白質が不足している。				
	2013, 1, 9	BS	258	HbA1c	5.9

#### \* 血液検査結果（結果がある場合のみ）

Alb 値	(3.4g/dl)	[平成 25 年 1 月]	白血球数	(6900 個/ $\mu$ l)	[平成 25 年 1 月]
赤血球数	(442 万個/ $\mu$ l)	[平成 25 年 1 月]			

#### I-5. 食事について

食事摂取法	経口摂取
食事形態 *経口摂取可能な場合のみ	ペースト食やミキサー食、軟食

#### I-6. 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度	A1	認知症高齢者の日常生活自立度	I
要支援・要介護度	要支援 2	世帯状況	子ども
主たる介護者について	①続柄	子ども	
	②性別	男	
	③年齢	50歳代	

#### I-7. 医療・介護サービス利用状況

介護サービス利用状況			
訪問サービス		通所サービス	
訪問診療	2回/月	訪問栄養指導	1回/月
		通所介護	6回/月

## 歯科受診の有無

1年以内の歯科受診 有

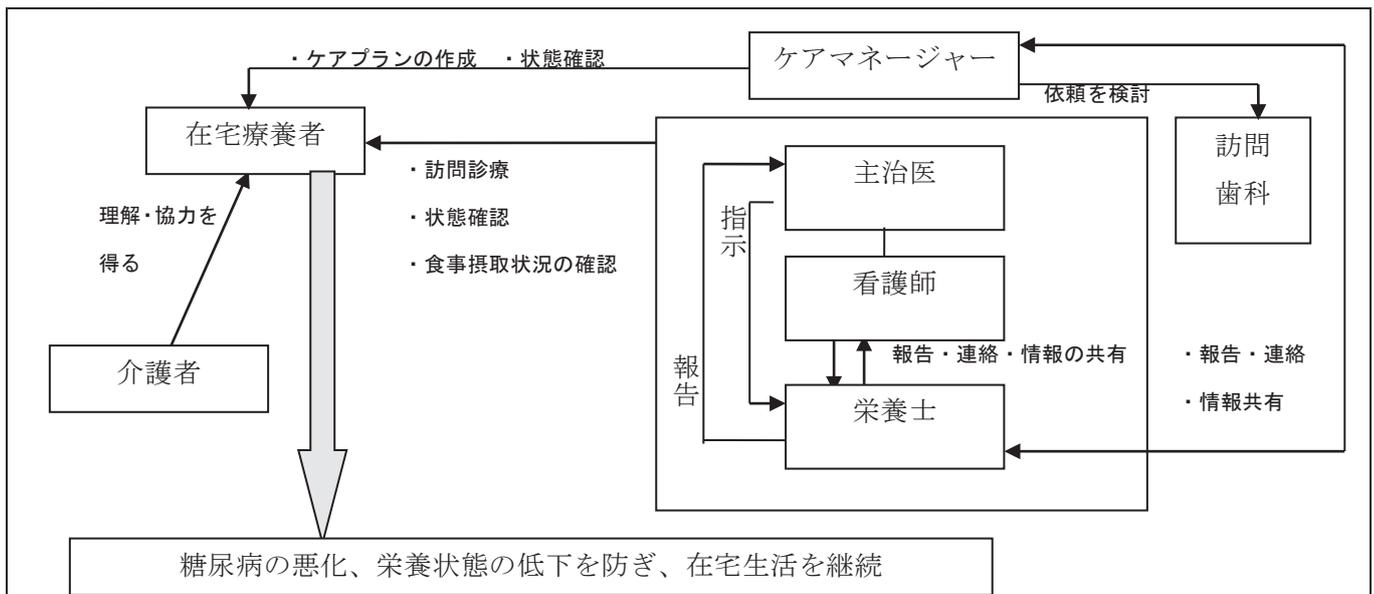
## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

- ・糖尿病があり、服薬・食事(1400Kcal/日)による血糖コントロールを実行している。
- ・義歯の不具合があり、咀嚼が不十分となっている。
- ・咀嚼不十分となっていることから、食事量が低下したり、食事内容がうどんやパンなど炭水化物に偏りがちになってきており、野菜と蛋白質が不足してきている。
- ・義歯の不具合により咀嚼不十分となっているにもかかわらず、歯科への通院は億劫だと訴えがある
- ・介護者(息子さん)は家事にあまり協力的でない。料理も不得手。
- ・宅配弁当は口に合わずに中止した歴あり。

## III. 問題点や課題に対する対応策

- ・1日の食事量、食事内容のチェック。
- ・月1回の訪問栄養指導の開始。
- ・柔らかく簡単に作れるレシピを調理実習を行い指導する。
- ・訪問歯科の導入について、ケアマネージャーに現状を報告、相談する。
- ・バランスよく食べることの大切さを介護者にも理解していただき、できるかぎりの協力を得る。

## IV. 経過



## V. 結論・考察

【結論】糖尿病の悪化、栄養状態の低下はみられず、在宅生活を継続されている。

【考察】・主食量を計ったり、毎食ゆで野菜を食べるなど、病気と食事の関係について理解しようとして実行されたことで食生活の偏りを防ぐことができた。それが栄養状態の低下を防ぎ、血糖コントロールを安定させることにつながったと考える。

・義歯についてはご本人が「歯科に通院するから」と仰っているので改善はみられていない。口腔環境の悪化は摂食不良にもつながるので、ご本人の理解を得て、できるだけ早期の訪問歯科の導入が望ましい。

## ケーススタディ 5

### I 対象者の基本情報

#### I-1. 性別・年齢

性別	男	年齢	84 歳
----	---	----	------

#### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	脳梗塞、胃瘻
既往歴	高血圧、脂質異常症、陳旧性心筋梗塞

#### I-3. 身体計測

身長	162cm	[測定年月:平成??年 10 月]	体重	65kg	[測定年月:平成??年 10 月]
下腿周囲長	20 cm	膝高	43cm	浮腫	有

#### I-4. 栄養評価

評価	: 著変なし
評価の根拠	: 2 年前の初診時と比べて、るいそうの明らかな進行は認めない。 血液検査データの明らかな悪化を認めない。

#### \* 血液検査結果 (結果がある場合のみ)

Alb 値	(2.9g/dl)	[平成 24 年 6 月]	白血球数	(5880 個/ $\mu$ l)	[平成 25 年 2 月]
赤血球数	(314 万個/ $\mu$ l)	[平成 25 年 2 月]	総蛋白	(6.5g/dl)	[平成 25 年 2 月]

#### I-5. 食事について

食事摂取法	経腸栄養 [胃瘻] (製品名 胃瘻バルーンカルーテル スムーズボタン 24F) ( 800 kcal/日)
-------	--

#### I-6. 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度	C2	認知症高齢者の日常生活自立度	Ⅲb
要支援・要介護度	要介護 5		
世帯状況	配偶者、子ども、子どもの配偶者、その他 (孫 2 人)		
主たる介護者について	①続柄	子どもの配偶者	
	②性別	女	
	③年齢	50 歳代	

## I-7. 医療・介護サービス利用状況

<b>介護サービス利用状況</b>					
訪問サービス					
訪問診療	2回/月	訪問入浴	8回/月	訪問看護	4回/月
訪問介護	8回/月	訪問リハビリテーション	8回/月		
<b>外来の有無</b>		<b>歯科受診の有無</b>		<b>緩和ケアの有無</b>	
外来受診	無	1年以内の歯科受診	無	緩和ケア	無

## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

訪問入浴後に嘔吐する事が多かったため、注入時間を変更したり、入浴前にPEGを開放し、胃内の減圧を試みるようにした。

## III. 問題点や課題に対する対応策

(記載なし)

## IV. 経過

脳梗塞後（左不全片麻痺）、経口摂取は可能であった。認知症（+）

H23年2月

誤嚥性肺炎

ST介入し嚥下訓練するも嚥下能回復せず

3月7日 胃瘻増設

3月16日 退院時共同指導

3月21日 退院&訪問診療開始（23日 訪問看護開始）

ラコール 1200kcal/日でスタート

4月7日 ツインライン 1200kcal/日に変更

5月10日 栄養剤の逆流が頻回なため、800kcal/日に減量。半固形化も開始

訪問診療開始以後、入院が必要となるような肺炎の発症はない。

## V. 結論・考察

栄養剤や唾液の誤嚥は明らかだが、咳嗽反射がしっかりしている事、吸引を頻回に行う事で肺炎に至る事はほとんどない。誤嚥≠肺炎という事を認識させてくれる症例である。

## ケーススタディ 6

### I 対象者の基本情報

#### I-1. 性別・年齢

性別	女	年齢	78歳
----	---	----	-----

#### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	廃用症候群（左上腕骨脱臼骨折後）、認知症（アルツハイマー型疑）
既往歴	心不全

#### I-3. 身体計測

身長	145cm	[測定年月:平成25年1月]	体重	56.4kg	[測定年月:平成25年1月]
下腿周囲長	不明	膝高	不明	浮腫	有

#### I-4. 栄養評価

評価	: 概ね良好
評価の根拠	: ①BMI=26.8 (H25年1月24日) ②採血 (H24年12月5日) Alb 3.5、Hb 15.8、RBC 480万 (H24年8月3日 Alb 2.9、Hb 13.7、RBC 431万と比べて改善傾向あり) ③皮膚血行 良好

#### \* 血液検査結果（結果がある場合のみ）

Alb値	(3.5g/dl)	[平成24年12月]	白血球数	(6000個/ $\mu$ l)	[平成24年12月]
赤血球数	(480万個/ $\mu$ l)	[平成24年12月]			

#### I-5. 食事について

食事摂取法	経口摂取
食事形態 *経口摂取可能な場合のみ	軟食
1日の食事回数 *経口摂取のみ	3回
その他・付記事項	① 通所リハビリ、短期入所療養介護→食事を摂る。 ② 孫（女性・成人）→自宅で1日3食を作っている。

#### I-6. 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度	B1	認知症高齢者の日常生活自立度	IIb
要支援・要介護度	要介護4		
世帯状況	子ども、その他（孫（女性・成人））		
主たる介護者について	①続柄	その他（孫）	
	②性別	女	
	③年齢	20歳代	

## I-7. 医療・介護サービス利用状況

<b>介護サービス利用状況</b>		
訪問サービス		通所サービス
訪問診療 2回/月	訪問看護 2回/月	通所リハビリテーション 12回/月
短期入所（老健）		
ショートステイ 合計 3日/月		
<b>外来の有無</b>	<b>歯科受診の有無</b>	<b>緩和ケアの有無</b>
外来受診 無	1年以内の歯科受診 無	緩和ケア 無

## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

平成24年5月31日 自宅で転倒し受傷。平成24年6月5日 病院を受診し、左上腕骨脱臼骨折を指摘され、整復不可のため、手術をすすめられたが、本人拒否し、自宅療養を希望したという経緯がある。息子と2人暮らし。骨折以前は、食事の用意は本人ができていたが、骨折をきっかけに、食事の用意ができなくなった。

① 食事の用意や片付け。② 自宅でのADLの低下に伴い、栄養状態悪化の懸念（経口摂取低下による）

## III. 問題点や課題に対する対応策

① 食事の用意や片付け ② ADL低下による、経口摂取低下に伴う栄養不良

（自宅）平成24年6月より、孫（女性・成人）の同居により、自宅での3食の用意や片付けが可能になった。

（自宅外）通所リハビリや短期入所療養介護を積極的に利用する。衛生面で、また体調・栄養状態の評価としても訪問診療や訪問看護をとり入れた居宅サービス計画を立てる。

※サービス担当者会議を積極的に開催し、多職種連携をとる。

## IV. 経過

H24年 5月31日	H24年 6月5日	H24年 8月3日	H24年 12月5日
↓	↓	↓	↓
左上腕骨脱臼骨折発症	孫、同居始まる	—————→	
	Alb 3.7	Alb 2.9	Alb 3.5
	RBC 393万	RBC 431万	RBC 480
	Hb 12.5	Hb 13.7	Hb 15.8
	要介護1	要介護3	要介護4
	通所リハ3回/週	通所リハ3回/週	通所リハ3回/週
	ショート・ステイ適宜	ショート・ステイ適宜	ショート・ステイ適宜
	訪問看護2回/週	訪問看護1回/週	訪問看護0.5回/週

## V. 結論・考察

① 食事について：自宅外では、週に3回訪問リハビリや短期入所療養介護を積極的に利用したことは有用性があった。食事面だけでなく、リハビリを実施することによりADLの低下を防止する努力をつづけることによる経口摂取の低下を少しでも防ぐことによる栄養面での改善傾向が認められた

（Alb2.9→Alb3.5）。多職種連携の意義がある。自宅では、孫の同居により（3食の用意や片付けなど）栄養面での改善傾向があったものと判断している。

② 連携の重要性：栄養面でも多職種連携や家族の協力の重要性を示唆するものである。

## ケーススタディ 7

### I 対象者の基本情報

#### I-1. 性別・年齢

性別	女	年齢	82 歳
----	---	----	------

#### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	廃用症候群、リウマチ性多発筋痛症、認知症（レビー小体型疑） うつ血性心不全、（心臓）心房細動、僧帽弁閉鎖不全
既往歴	胸椎圧迫骨折・骨そしょう症（H12 年）

#### I-3. 身体計測

身長	150cm	[測定年月:平成 25 年 1 月]	体重	43kg	[測定年月:平成 25 年 1 月]
下腿周囲長	不明	膝高	不明	浮腫	無

#### I-4. 栄養評価

評価	: 低タンパク血症
評価の根拠	: ①BMI 19.1 ②採血（H24 年 12 月）Alb 3.2g/dl、Hb 13.5g/dl、RBC 420 万 ③皮膚の状態（やや血行不良）

#### \* 血液検査結果（結果がある場合のみ）

Alb 値	(3.2g/dl)	[平成 24 年 12 月]	白血球数	(7600 個/ $\mu$ l)	[平成 24 年 12 月]
赤血球数	(420 万個/ $\mu$ l)	[平成 24 年 12 月]			

#### I-5. 食事について

食事摂取法	経口摂取
食事形態 *経口摂取可能な場合のみ	常食
1 日の食事回数 *経口摂取のみ	3 回
その他 付記事項	食事は、1 日 3 回訪問介護により行っている。また週 2 回の通所介護により食事が行なわれている。

#### I-6. 療養・生活状況

障害高齢者の日常生活自立度	B2	認知症高齢者の日常生活自立度	Ⅲb
要支援・要介護度	要介護 4		
世帯状況	独り暮らし		
主たる介護者について	①続柄	子ども	
	②性別	男	

## I-7. 医療・介護サービス利用状況

<b>介護サービス利用状況</b>					
訪問サービス					
訪問診療	2回/月	訪問看護	4回/月	訪問介護	30回/月
通所サービス					
通所介護	8回/月				
<b>外来の有無</b>		<b>歯科受診の有無</b>		<b>緩和ケアの有無</b>	
外来受診	無	1年以内の歯科受診	無	緩和ケア	無

## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

一人暮らしで、要介護4であり、食事の用意や片付けができない。主たる介護者（長男）は、庭に居る（見守り）のみで、日中は不在である。

- ① 食事の用意や片付けができない。
- ② 要介護4に伴う経口摂取の低下が懸念される。

## III. 問題点や課題に対する対応策

- ① 食事の用意や片付け  
訪問介護を毎日、1日3回利用し、食生活の維持に努める。  
通所介護を週2回利用し、食生活の維持に努める。
- ② 要介護4に伴う経口摂取の低下の防止。  
訪問介護（毎日、1日3回）により、おむつ交換など生活介護を行うことにより、経口摂取量の改善をめざす。  
通所介護（週2回）により、おむつ交換、身体清拭、入浴介助などを行ない、身体介護を通して経口摂取量の改善をめざす。

## IV. 経過

H23年	H24年	H24年	H24年	H24年
12月	2月	3月	6月	12月
↓	↓	↓	↓	↓
心不全のため 病院へ入院	要介護3 Alb 3.6 RBC 410 Hb 11.6	要介護4 Alb 3.7 RBC 418 Hb 12.4	要介護4 Alb 3.6 RBC 389 Hb 12.1	要介護4 Alb 3.2 RBC 420 Hb 13.5
		(H24年4月採血)		

## V. 結論・考察

- ① 一人暮らしに対して訪問介護（毎日、1日3回）、通所介護（週2回）を利用し、食生活の改善に努めることは、利用者にとって有益である。また、訪問診療（2回/月）や訪問看護（1回/週）など多職種連携の重要性がこの症例により指唆される（Ⅲ①、②）。
- ② 食生活の改善には、食事の用意や片付けなど訪問介護が重要であることは当然であるが、通所介護や訪問診療、訪問看護など多職種連携による身体介護も重要である
- ③ 採血上、低タンパク血症であるが、顕著な低下の進行はない。

## ケーススタディ 8

### I 対象者の基本情報

#### I-1. 性別・年齢

性別	男	年齢	80 歳
----	---	----	------

#### I-2. 原疾患・既往歴

原疾患	慢性呼吸不全、認知症
-----	------------

#### I-3. 身体計測

身長	157.3cm	[測定年月:平成 25 年 2 月]	体重	72.3kg	[測定年月:平成 25 年 2 月]
下腿周囲長	36cm	膝高	45cm	浮腫	有(軽度)

#### I-4. 栄養評価

評価	: 栄養過多
評価の根拠	: 体重増加

#### I-5. 食事について

食事摂取法	経口摂取
食事形態 *経口摂取可能な場合のみ	常食
1 日の食事回数 *経口摂取のみ	4 回以上

#### I-6. 療養・生活状況

要支援・要介護度	要介護 1	
世帯状況	配偶者	
主たる介護者について	① 続柄	子ども
	② 性別	女
	③ 年齢	40 歳代

## I-7. 医療・介護サービス利用状況

<b>介護サービス利用状況</b>					
訪問サービス					
訪問診療	2回/月	訪問看護	2回/月		
<b>外来の有無</b>	<b>歯科受診の有無</b>	<b>緩和ケアの有無</b>			
外来受診	無	1年以内の歯科受診	無	緩和ケア	無

## II. 食事や栄養状態等に関する問題点や課題

認知症と、若年時からの生活習慣のため、炭水化物と揚げ物ばかり食べている。また、食事制限は不可。同居の妻は圧迫骨折で家事不可のため、同様の生活で体重増加している。指導については全く理解してくれない。

## III. 問題点や課題に対する対応策

生活指導を繰り返し続ける。  
子どもたちに協力を求める。

## IV. 経過

BW	
2010/11/24	69kg
2011/4/12	67.9kg
2012/2/28	71.5kg

## V. 結論・考察

一旦は体重減少したものの、リバウンドあり。認知症のため、食事管理が非常に困難なケースである。

## まとめ

### 1. データについて

本調査は全国 50 ヶ所の施設から協力を受け、在宅療養高齢者 1141 名（データ使用は 990 名）の身体状況、栄養状況、口腔・嚥下機能、食事・食環境、薬剤等に関する調査を行った。在宅療養高齢者の栄養状態を客観的に把握するツールとして MNA-SF 及び BMI を用いた。今回の調査は、多職種の協力のもと大規模な在宅療養高齢者の摂食・栄養状態、食環境等の調査が日本で初めて行われた。本調査では、在宅療養高齢者の摂食・栄養状態、食環境の実態を明らかにした。この結果は、在宅療養高齢者における、より質の高い在宅生活を維持・継続するための基礎的資料になると考えられる。

平成 22 年の国民生活基礎調査では要支援・要介護と認定された者の世帯構成をみると「核家族世帯 (31.4%)」が一番多く、次に「単独世帯 (26.1%)」が多くなっており、経年変化をみると単独世帯の割合が増加している。「単独世帯」は介護度が低い者のいる割合が高く、「核家族」、「三世帯世帯」では介護度が高い者がいる割合が多い。また、女性が主に介護をしていることが明らかにされている。

本調査の在宅療養高齢者も、独居の者は介護度が低く、子、子の配偶者等と同居している者は介護度が高かった。また、在宅療養高齢者の介護は女性が行っていることが多かった。さらに、在宅療養高齢者の BMI や MNA-SF で栄養状態が良くない者は、子、子の配偶者等と同居していた。

本調査は、在宅療養を支えている各団体が中心となり調査協力施設を募った。日本全国の在宅療養者を悉皆や無作為抽出で実施した調査ではない。そのため日本の在宅療養患者の代表的な集団とは言いきれない。しかしながら本調査で得られたデータは、過去に行われた小規模な先行研究や上述した平成 22 年の国民生活基礎調査と同様の結果となっており、在宅療養高齢者の実態をある程度、反映していると考えられる。本研究の結果は、調査対象者の特性や集団等に配慮して検討し、データ分析を進める必要があると考えられる。

日本の高齢者人口は年々増加している。2011/2012 年の国民衛生の動向によると 65 歳以上の老年人口は全人口の 23%と過去最高になっており、今後さらに在宅療養高齢者が増えることが予想される。介護を行う家族等へのサポートも在宅療養高齢者の QOL 向上とともに人生の終末を迎えるにあたり重要であると考えられる。

## 2. 今後の課題

### ① 栄養状態について

高齢者の栄養状態を把握できる栄養アセスメントツールとしてMNAが用いられているが<sup>1</sup>、地域在住高齢者には医師、栄養士以外の者にも簡便に使用できるMNA-SFを用いることも多くなってきている。本調査ではMNS-SFを用いて在宅療養高齢者の栄養状態の特徴を調べた。先行研究において低栄養状態の者は、低栄養のおそれがある者、栄養状態良好の者より介護度が悪いことが報告されている<sup>2</sup>。本研究においても低栄養状態の者ほど介護度、自立度が悪かった。褥瘡、誤嚥性肺炎の既往も栄養状態が悪くなるほど罹患していた。栄養状態が悪い者ほど、口腔・嚥下機能の低下が見られた。食事摂取、食事形態等も栄養状態が悪い者は経口摂取が出来なくなっており、常食から軟食、きざみ食等に変化していた。

本調査ではMNA-SFで低栄養とされた在宅療養高齢者は35%以上、低栄養のおそれがある者は約3割、この二つをあわせると7割近くが栄養状態に何らかの問題を抱えている者と考えられた。BMIでは栄養状態が悪いと考えられるBMI18.5未満の者は約3割存在した。

MNA-SF及びBMIからみると在宅療養高齢者の約3割は低栄養状態であると考えられた。また低栄養予備軍も在宅療養患者には多数存在することがわかった。低栄養は、高齢者の生命予後、ADL、介護度等に影響を及ぼすことは明らかにされている。在宅療養高齢者の栄養状態改善には、食事内容のみではなく、口腔嚥下機能、身体機能等を総合的に支援することが必要であると考えられた。そのためには医療提供のみならず、様々な職種が様々な角度から、食事に関しての支援をすることが重要と考えられる。

### ② 経口摂取について

本調査では、経口摂取をしている在宅療養高齢者は、約9割であった。しかし、MNA-SFの評価において、低栄養のおそれあると低栄養の者が合わせて約6割であり、経口摂取において、十分な栄養が摂取できていない在宅療養患者がいることが推測された。しかし、今回の調査では食事内容の把握は行っておらず、これ以上の考察はできない。今後の調査では、この結果を踏まえて、食事内容の把握等を検討する必要がある。

また、食事の楽しみがあると答えた在宅療養高齢者は、「とても楽しみ」「やや楽しみ」を合わせて約7割であった。食欲についても「ある」「ややある」を合わせて7割強であった。これらのことから、在宅療養高齢者にとって、食事は健康を維持するだけでなく、QOLの側面からも重要なものであると考えられた。

今後は、在宅療養高齢者において、食事の内容を充実させることとともに、

QOLを向上させるような食事という観点から、経口摂取について考える必要がある。そのためには、事例から示されたように、多職種がそれぞれの専門性を生かしながら、在宅療養高齢者の食を支えることが重要であると考えられる。

### ③ 嚥下機能について

本調査から、栄養状態と嚥下機能の関連が認められた。嚥下機能の低下は、食事量の減少や偏った食事内容をもたらしている可能性がある。嚥下機能の維持・向上については、嚥下体操、口腔ケア、嚥下リハビリテーション等、専門職による多方面からの関わりが可能である。在宅療養高齢者の栄養状態の維持・改善においても、多職種連携で、それぞれの専門性を生かし、個人の状態に合わせた嚥下機能維持・改善の試みが重要であると考えられる。

### ④ 薬剤について

薬剤の分析については、薬剤分析チームが立ち上がり、薬剤の分類等の検討が進んでいる。これまで、在宅療養高齢者を対象とした、薬剤と摂食状況、生活状況等との検討はなされていない。今後は、これらの薬剤と栄養状態、食事摂取状況、嚥下状態等への影響を検討することで、在宅療養高齢者の投薬と栄養について、環境要因を含め、新たな知見を得ることができると考えられる。

1. Inoue K, Kato M. Usefulness of the Mini-Nutritional Assessment (MNA) to evaluate the nutritional status of Japanese frail elderly under home care. *Geriatrics & Gerontology International*. 2007; **7**(3): 238-44.
2. Iizaka S, Tadaka E, Sanada H. Comprehensive assessment of nutritional status and associated factors in the healthy, community-dwelling elderly. *Geriatrics & Gerontology International*. 2008; **8**(1): 24-31.

<資料>

集計結果

① 男女別

表1:連続量項目集計1

	男性			女性			平均値差 p値	全体		
	欠測	例数	標準偏差	欠測	例数	標準偏差		欠測	例数	標準偏差
I 基本情報										
対象者年齢	384		81.18 ± 7.88	606		84.77 ± 8.29	<0.0001	990		83.37 ± 8.31
II 身体計測										
身長(cm)	35	349	159.89 ± 7.56	70	536	145.56 ± 7.56	<0.0001	105	885	151.21 ± 10.30
体重(kg)	62	322	52.52 ± 10.09	123	483	43.90 ± 10.05	<0.0001	185	805	47.35 ± 10.91
下肢周囲長1	15	369	30.01 ± 5.49	29	577	28.62 ± 5.41	<0.0001	44	946	29.16 ± 5.48
下肢周囲長2	15	369	30.04 ± 5.48	29	577	28.66 ± 5.42	<0.0001	44	946	29.20 ± 5.48
下肢周囲長 平均	15	369	30.02 ± 5.48	29	577	28.64 ± 5.42	<0.0001	44	946	29.18 ± 5.48
膝高1	15	369	45.65 ± 5.83	34	572	42.73 ± 5.19	<0.0001	49	941	43.87 ± 5.63
膝高2	16	368	45.74 ± 5.85	37	569	42.78 ± 5.22	<0.0001	53	937	43.94 ± 5.66
膝高 平均	15	369	45.68 ± 5.84	34	572	42.75 ± 5.20	<0.0001	49	941	43.90 ± 5.64
IV 療養・生活状況										
在宅療養期間(月)	17	367	50.64 ± 64.85	30	576	59.18 ± 69.35	0.0590	47	943	55.86 ± 67.73
血液検査結果										
Alb	192	192	3.52 ± 0.60	273	333	3.63 ± 0.86	0.11	465	525	3.59 ± 0.78
リンパ球数	283	101	624.68 ± 1025.73	477	129	490.54 ± 969.21	0.31	760	230	549.44 ± 994.46
赤血球数	139	245	440.71 ± 557.69	191	415	403.94 ± 363.87	0.31	330	660	417.59 ± 445.70
白血球数	141	243	6425.31 ± 2828.23	196	410	5985.39 ± 2230.46	0.0281	337	653	6149.10 ± 2476.89
総蛋白	180	204	6.60 ± 0.62	246	360	6.99 ± 0.96	0.35	426	564	6.85 ± 0.78
ADL総合得点	28	356	48.38 ± 34.64	41	565	46.39 ± 36.13	0.41	69	921	47.16 ± 35.56
原疾患点数	384		2.30 ± 2.05	606		1.67 ± 1.53	<0.0001	990		1.91 ± 1.78
MNA個人総合得点	15	369	8.66 ± 2.94	24	582	8.31 ± 2.98	<0.0001	39	951	8.44 ± 2.96

表2:連続量項目集計2 V. 医療・介護サービス利用状況

	男性				女性				X>0の 平均値差 p値	全体			
	利用 欠測	利用 なし	例数	標準偏差	利用 欠測	利用 なし	例数	標準偏差		利用 欠測	利用 なし	例数	標準偏差
(1)訪問サービス													
訪問診療(回/月)	31	73	280	2.23 ± 1.07	36	104	466	2.17 ± 1.01	0.49	67	177	746	2.19 ± 1.03
訪問歯科(回/月)	73	205	106	2.77 ± 1.31	97	352	157	2.34 ± 1.26	0.0083	170	557	263	2.51 ± 1.30
訪問看護(回/月)	29	105	250	1.61 ± 1.42	43	181	382	1.44 ± 1.16	0.12	72	286	632	1.51 ± 1.27
訪問介護(回/週)	58	173	153	5.76 ± 8.40	88	233	285	5.90 ± 7.27	0.86	146	406	438	5.85 ± 7.67
訪問入浴(回/週)	74	224	86	1.70 ± 0.83	115	360	131	1.70 ± 1.15	0.97	189	584	217	1.70 ± 1.03
訪問リハビリテーション(回/週)	71	187	126	1.63 ± 0.85	114	337	155	1.61 ± 1.00	0.86	185	524	281	1.61 ± 0.94
訪問栄養指導(回/月)	99	283	2	1.00 ± 0.00	142	461	3	1.00 ± 0.00	0.00	241	744	5	1.00 ± 0.00
訪問薬剤指導(回/月)	86	214	84	2.07 ± 0.78	121	344	141	1.88 ± 0.52	0.0331	207	558	225	1.95 ± 0.63
(2)通所サービス													
通所介護(回/週)	57	175	152	2.56 ± 1.60	82	267	257	2.78 ± 2.54	0.32	139	442	409	2.70 ± 2.24
通所リハビリテーション(回/週)	81	246	57	2.11 ± 0.93	120	420	66	2.01 ± 0.70	0.51	201	666	123	2.05 ± 0.82
通所看護(回/週)	99	283	2	3.50 ± 2.12	137	469				236	752	2	3.50 ± 2.12
(3)短期入所(特養・老健)													
ショートステイ(回/月)	79	250	55	6.13 ± 4.36	113	384	109	6.88 ± 4.79	0.33	192	634	164	6.63 ± 4.65
(4)介護保険外サービス													
配食サービス(回/月)	95	262	27	5.89 ± 2.95	130	422	54	5.22 ± 3.27	0.38	225	684	81	5.44 ± 3.17
外来の有無													
外来受診回数(回/月)	32	210	142	1.59 ± 2.40	44	397	185	1.31 ± 1.29	0.20	76	607	307	1.44 ± 1.89
食事摂取法													
経管栄養カロリー	14	320	50	1109.50 ± 289.57	21	531	54	881.02 ± 235.17	<0.0001	35	851	104	990.87 ± 285.49
静脈栄養カロリー	6	376	2	710.00 ± 155.56	8	595	3	783.33 ± 386.82	0.82	14	971	5	754.00 ± 287.19
1回の食事時間(分)	19	66	299	28.55 ± 14.80	35	79	492	29.96 ± 16.32	0.22	54	145	791	29.43 ± 15.77

表3：I. 対象者の基本情報、II. 身体計測、III. 栄養評価(MNA)

		男性		女性		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%		例数	%
性別	男	384	100.0				384	38.8
	女			606	100.0		606	61.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
浮腫	有	86	22.4	143	23.6	Fisher 0.48	229	23.1
	無	282	73.4	418	69.0		700	70.7
	欠測	16	4.2	45	7.4		61	6.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
MNA1 食事量減少	著しい食事量減少	29	7.6	35	5.8	CMH1 0.77	64	6.5
	中等度減少	56	14.6	104	17.2		160	16.2
	減少なし	293	76.3	460	75.9		753	76.1
	欠測	6	1.6	7	1.2		13	1.3
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
MNA2 体重減少	3kg以上減少	31	8.1	29	4.8	CMH3 0.07	60	6.1
	わからない	69	18.0	136	22.4		205	20.7
	1.3kg減少	66	17.2	93	15.3		159	16.1
	減少なし	216	56.3	345	56.9		561	56.7
	欠測	2	0.5	3	0.5		5	0.5
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
MNA3 移動	寝たきり車椅子	153	39.8	265	43.7	CMH3 0.24	418	42.2
	外出できない	154	40.1	242	39.9		396	40.0
	外出できる	75	19.5	95	15.7		170	17.2
	欠測	2	0.5	4	0.7		6	0.6
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
MNA4 ストレス	はい	107	27.9	137	22.6	Fisher 0.07	244	24.6
	いいえ	276	71.9	466	76.9		742	74.9
	欠測	1	0.3	3	0.5		4	0.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
MNA評価3カテゴリー	0<=T_MNA<=7	126	32.8	230	38.0	CMH1 0.11	356	36.0
	8<=T_MNA<=11	135	35.2	200	33.0		335	33.8
	12<=T_MNA	108	28.1	152	25.1		260	26.3
	欠測	15	3.9	24	4.0		39	3.9
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表4：IV. 療養・生活状況、V. 医療・介護サービス利用状況(1)

		男性		女性		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%		例数	%
病状の安定性	安定	306	79.7	500	82.5	CMH3 0.84	806	81.4
	不安定	65	16.9	96	15.8		161	16.3
	不明	4	1.0	6	1.0		10	1.0
	欠測	9	2.3	4	0.7		13	1.3
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
直近3ヶ月間の入院	有	85	22.1	68	11.2	CMH3 <0.0001	153	15.5
	無	294	76.6	527	87.0		821	82.9
	不明	1	0.3				1	0.1
	欠測	4	1.0	11	1.8		15	1.5
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
入院の理由 複数選択 (Fisher Test)	肺炎			1	1.5	0.44	1	0.7
	窒息	51	60.0	34	50.0	0.25	85	55.6
	脳血管障害	15	17.6	10	14.7	0.67	25	16.3
	感染症							
	骨折	4	4.7	3	4.4	1.00	7	4.6
	心不全	6	7.1	7	10.3	0.56	13	8.5
	検査入院	2	2.4	7	10.3	0.08	9	5.9
	不明	5	5.9	10	14.7	0.10	15	9.8
	その他	8	9.4	10	14.7	0.33	18	11.8
	欠測	1	1.2				1	0.7
	計	85	22.4	68	11.4		153	15.7
外来受診	有	153	39.8	171	28.2	Fisher 0.0002	324	32.7
	無	210	54.7	397	65.5		607	61.3
	欠測	21	5.5	38	6.3		59	6.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
歯科受診	有	125	32.6	159	26.2	Fisher 0.07	284	28.7
	無	239	62.2	398	65.7		637	64.3
	欠測	20	5.2	49	8.1		69	7.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
緩和ケア	有	15	3.9	17	2.8	Fisher 0.36	32	3.2
	無	337	87.8	540	89.1		877	88.6
	欠測	32	8.3	49	8.1		81	8.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表5：原疾患（IV.療養・生活状況(2)）

		男性		女性		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%		例数	%
虚血性疾患	なし	338	88.0	531	87.6	Fisher 0.59	869	87.8
	あり	42	10.9	59	9.7		101	10.2
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
心不全	なし	323	84.1	493	81.4	Fisher 0.59	816	82.4
	あり	57	14.8	97	16.0		154	15.6
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
慢性肺疾患	なし	325	84.6	550	90.8	Fisher 0.0001	875	88.4
	あり	55	14.3	40	6.6		95	9.6
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
胃十二指腸潰瘍	なし	369	96.1	569	93.9	Fisher 0.71	938	94.7
	あり	11	2.9	21	3.5		32	3.2
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
末梢血管疾患	なし	375	97.7	585	96.5	Fisher 0.53	960	97.0
	あり	5	1.3	5	0.8		10	1.0
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
マイルドな肝疾患	なし	367	95.6	583	96.2	Fisher 0.0206	950	96.0
	あり	13	3.4	7	1.2		20	2.0
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
脳血管障害	なし	244	63.5	431	71.1	Fisher 0.0042	675	68.2
	あり	136	35.4	159	26.2		295	29.8
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
膠原病	なし	374	97.4	561	92.6	Fisher 0.0073	935	94.4
	あり	6	1.6	29	4.8		35	3.5
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
糖尿病	なし	308	80.2	511	84.3	Fisher 0.0232	819	82.7
	あり	72	18.8	79	13.0		151	15.3
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
認知症	なし	268	69.8	370	61.1	Fisher 0.0127	638	64.4
	あり	112	29.2	220	36.3		332	33.5
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
片麻痺	なし	334	87.0	542	89.4	Fisher 0.0455	876	88.5
	あり	46	12.0	48	7.9		94	9.5
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
中等度～重症腎疾患	なし	359	93.5	573	94.6	Fisher 0.0426	932	94.1
	あり	21	5.5	17	2.8		38	3.8
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
臓器不全を伴う糖尿病	なし	376	97.9	585	96.5	Fisher 0.74	961	97.1
	あり	4	1.0	5	0.8		9	0.9
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
5年以内に診断された原発性腫瘍	なし	342	89.1	557	91.9	Fisher 0.0115	899	90.8
	あり	38	9.9	33	5.4		71	7.2
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
白血病	なし	380	99.0	590	97.4		970	98.0
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
中等度～重度な肝疾患	なし	376	97.9	584	96.4	Fisher 1.00	960	97.0
	あり	4	1.0	6	1.0		10	1.0
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
転移性腫瘍	なし	357	93.0	578	95.4	Fisher 0.0014	935	94.4
	あり	23	6.0	12	2.0		35	3.5
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
AIDS	なし	379	98.7	590	97.4	Fisher 0.39	969	97.9
	あり	1	0.3				1	0.1
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
その他	なし	379	98.7	590	97.4	Fisher 0.39	969	97.9
	あり	1	0.3				1	0.1
	欠測	4	1.0	16	2.6		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表 6 : IV. 療養・生活状況(3)

	男性		女性		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%		例数	%	
障害高齢者の日常生活自立度	自立	9	2.3	19	3.1	CMH1 0.54	28	2.8
	J1	8	2.1	16	2.6		24	2.4
	J2	22	5.7	36	5.9		58	5.9
	A1	46	12.0	70	11.6		116	11.7
	A2	68	17.7	116	19.1		184	18.6
	B1	53	13.8	100	16.5		153	15.5
	B2	63	16.4	63	10.4		126	12.7
	C1	37	9.6	54	8.9		91	9.2
	C2	60	15.6	108	17.8		168	17.0
	欠測	18	4.7	24	4.0		42	4.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
障害高齢者の日常生活自立度	自立,J1,J2	39	10.2	71	11.7	CMH1 0.62	110	11.1
	A1	46	12.0	70	11.6		116	11.7
	A2	68	17.7	116	19.1		184	18.6
	B1	53	13.8	100	16.5		153	15.5
	B2	63	16.4	63	10.4		126	12.7
	C1	37	9.6	54	8.9		91	9.2
	C2	60	15.6	108	17.8		168	17.0
	欠測	18	4.7	24	4.0		42	4.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
認知症高齢者の日常生活自立度	正常	93	24.2	118	19.5	CMH1 0.0109	211	21.3
	I	76	19.8	113	18.6		189	19.1
	II	13	3.4	24	4.0		37	3.7
	II a	37	9.6	54	8.9		91	9.2
	II b	39	10.2	58	9.6		97	9.8
	III a	42	10.9	72	11.9		114	11.5
	III b	24	6.3	46	7.6		70	7.1
	IV	26	6.8	69	11.4		95	9.6
	M	14	3.6	25	4.1		39	3.9
	欠測	20	5.2	27	4.5		47	4.7
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
認知症高齢者の日常生活自立度	正常	93	24.2	118	19.5	CMH1 0.0093	211	21.3
	I	76	19.8	113	18.6		189	19.1
	II, II a, II b	89	23.2	136	22.4		225	22.7
	III a, III b	66	17.2	118	19.5		184	18.6
	IV	26	6.8	69	11.4		95	9.6
	M	14	3.6	25	4.1		39	3.9
	欠測	20	5.2	27	4.5		47	4.7
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
要支援・要介護度	自立	4	1.0	8	1.3	CMH1 0.55	12	1.2
	要支援1	7	1.8	17	2.8		24	2.4
	要支援2	18	4.7	30	5.0		48	4.8
	要介護1	44	11.5	58	9.6		102	10.3
	要介護2	59	15.4	111	18.3		170	17.2
	要介護3	56	14.6	86	14.2		142	14.3
	要介護4	64	16.7	96	15.8		160	16.2
	要介護5	117	30.5	183	30.2		300	30.3
	欠測	15	3.9	17	2.8		32	3.2
計	384	100.0	606	100.0	990	100.0		
要支援・要介護度	自立,要支援1,2	29	7.6	55	9.1	CMH1 0.62	84	8.5
	要介護1	44	11.5	58	9.6		102	10.3
	要介護2	59	15.4	111	18.3		170	17.2
	要介護3	56	14.6	86	14.2		142	14.3
	要介護4	64	16.7	96	15.8		160	16.2
	要介護5	117	30.5	183	30.2		300	30.3
	欠測	15	3.9	17	2.8		32	3.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
世帯状況_独り暮らし	なし	337	87.8	483	79.7	Fisher 0.0034	820	82.8
	あり	46	12.0	114	18.8		160	16.2
	欠測	1	0.3	9	1.5		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
世帯状況_配偶者	なし	100	26.0	417	68.8	Fisher <0.0001	517	52.2
	あり	283	73.7	180	29.7		463	46.8
	欠測	1	0.3	9	1.5		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
世帯状況_子供	なし	245	63.8	273	45.0	Fisher <0.0001	518	52.3
	あり	138	35.9	324	53.5		462	46.7
	欠測	1	0.3	9	1.5		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
世帯状況_子供の配偶者	なし	330	85.9	445	73.4	Fisher <0.0001	775	78.3
	あり	53	13.8	152	25.1		205	20.7
	欠測	1	0.3	9	1.5		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
世帯状況_親	なし	379	98.7	596	98.3	Fisher 0.08	975	98.5
	あり	4	1.0	1	0.2		5	0.5
	欠測	1	0.3	9	1.5		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
世帯状況_その他	なし	344	89.6	511	84.3	Fisher 0.06	855	86.4
	あり	39	10.2	86	14.2		125	12.6
	欠測	1	0.3	9	1.5		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表7：IV. 療養・生活状況(4)

	男性		女性		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%		例数	%	
経済状況	50万円未満	9	2.3	24	4.0	CMH1 0.09	33	3.3
	50-100万円未満	10	2.6	30	5.0		40	4.0
	100-150万円未満	18	4.7	40	6.6		58	5.9
	150-200万円未満	24	6.3	39	6.4		63	6.4
	200-250万円未満	24	6.3	45	7.4		69	7.0
	250-300万円未満	37	9.6	37	6.1		74	7.5
	300-350万円未満	21	5.5	16	2.6		37	3.7
	350-400万円未満	26	6.8	33	5.4		59	6.0
	400万円以上	57	14.8	105	17.3		162	16.4
	わからない	136	35.4	199	32.8		335	33.8
欠測	22	5.7	38	6.3	60	6.1		
計	384	100.0	606	100.0		990	100.0	
本人の婚姻状況	既婚	308	80.2	219	36.1	CMH3 <0.0001	527	53.2
	未婚	9	2.3	20	3.3		29	2.9
	死別・離婚	66	17.2	364	60.1		430	43.4
	欠測	1	0.3	3	0.5		4	0.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
医療扶助の給付	あり	88	22.9	105	17.3	CMH3 0.0569	193	19.5
	なし	262	68.2	459	75.7		721	72.8
	わからない	16	4.2	22	3.6		38	3.8
	欠測	18	4.7	20	3.3		38	3.8
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
医療費自己負担免除	あり	2	2.3	1	1.0	CMH3 0.58	3	1.6
	なし	75	85.2	92	87.6		167	86.5
	わからない	2	2.3	1	1.0		3	1.6
	欠測	9	10.2	11	10.5		20	10.4
	計	88	100.0	105	100.0		193	100.0
主たる介護者・続柄	配偶者	245	63.8	135	22.3	CMH3 <0.0001	380	38.4
	子ども	75	19.5	291	48.0		366	37.0
	子どもの配偶者	21	5.5	80	13.2		101	10.2
	欠測	6	1.6	16	2.6		22	2.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
主たる介護者・性別	男	28	7.3	231	38.1	CMH3 <0.0001	259	26.2
	女	332	86.5	329	54.3		661	66.8
	欠測	24	6.3	46	7.6		70	7.1
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
主たる介護者・年齢	20歳未満			1	0.2	CMH3 <0.0001	1	0.1
	20歳代			2	0.3		2	0.2
	30歳代	3	0.8	7	1.2		10	1.0
	40歳代	33	8.6	65	10.7		98	9.9
	50歳代	42	10.9	126	20.8		168	17.0
	60歳代	79	20.6	178	29.4		257	26.0
	70歳代	116	30.2	86	14.2		202	20.4
	80歳以上	77	20.1	79	13.0		156	15.8
	欠測	34	8.9	62	10.2		96	9.7
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表8：VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(1)

	男性		女性		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%		例数	%	
誤嚥性肺炎既往	有	64	16.7	45	7.4	Fisher <0.0001	109	11.0
	無	320	83.3	559	92.2		879	88.8
	欠測			2	0.3		2	0.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
じよくそう既往	有	67	17.4	86	14.2	Fisher 0.18	153	15.5
	無	316	82.3	516	85.1		832	84.0
	欠測	1	0.3	4	0.7		5	0.5
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
昼食時の覚醒状況	覚醒している	324	84.4	490	80.9	CMH1 0.06	814	82.2
	やや覚醒	35	9.1	60	9.9		95	9.6
	わずかに覚醒	10	2.6	19	3.1		29	2.9
	覚醒していない	5	1.3	19	3.1		24	2.4
	わからない	7	1.8	14	2.3		21	2.1
	欠測	3	0.8	4	0.7		7	0.7
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
意思の伝達	できる	306	79.7	443	73.1	CMH1 0.0143	749	75.7
	時々できる	46	12.0	78	12.9		124	12.5
	ほとんどできない	17	4.4	46	7.6		63	6.4
	できない	15	3.9	35	5.8		50	5.1
	欠測			4	0.7		4	0.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
強制排便の有無	有	206	53.6	331	54.6	Fisher 0.75	537	54.2
	無	173	45.1	259	42.7		432	43.6
	欠測	5	1.3	15	2.5		20	2.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表9：VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(2)

		男性		女性		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%		例数	%
残存歯数	20本以上	96	25.0	117	19.3	CMH1 0.0043	213	21.5
	10-19本	75	19.5	103	17.0		178	18.0
	1-9本	107	27.9	165	27.2		272	27.5
	0本	95	24.7	194	32.0		289	29.2
	欠測	11	2.9	27	4.5		38	3.8
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
入れ歯の有無	有	237	61.7	358	59.1	CMH3 0.65	595	60.1
	無	136	35.4	232	38.3		368	37.2
	不明	2	0.5	4	0.7		6	0.6
	欠測	9	2.3	12	2.0		21	2.1
計	384	100.0	606	100.0	990	100.0		
口を閉じることができる	できる	372	96.9	581	95.9	CMH3 0.68	953	96.3
	できない	8	2.1	12	2.0		20	2.0
	わからない	1	0.3	4	0.7		5	0.5
	欠測	3	0.8	9	1.5		12	1.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
口腔清掃の有無	有	337	87.8	552	91.1	CMH3 0.19	889	89.8
	無	29	7.6	29	4.8		58	5.9
	不明	6	1.6	10	1.7		16	1.6
	欠測	12	3.1	15	2.5		27	2.7
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
固い食品	はい	211	54.9	325	53.6	Fisher 0.69	536	54.1
	いいえ	163	42.4	265	43.7		428	43.2
	欠測	10	2.6	16	2.6		26	2.6
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
食品の噛み方	左右両側の歯	116	55.0	189	58.2	CMH3 0.34	305	56.9
	左右どちらかの歯	30	14.2	34	10.5		64	11.9
	不明	9	4.3	10	3.1		19	3.5
	欠測	56	26.5	92	28.3		148	27.6
	計	211	100.0	325	100.0		536	100.0

表10：VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(3)

		男性		女性		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%		例数	%
噛める程度	どんなものでも	108	28.1	150	24.8	CMH1 0.0118	258	26.1
	たいていのものは	146	38.0	231	38.1		377	38.1
	食べ物が限られる	65	16.9	123	20.3		188	19.0
	ほとんど噛めない	18	4.7	26	4.3		44	4.4
	全く噛めず	14	3.6	47	7.8		61	6.2
	欠測	33	8.6	29	4.8		62	6.3
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
DSS	唾液誤嚥	13	3.4	13	2.1	CMH1 0.0008	26	2.6
	食物誤嚥	15	3.9	22	3.6		37	3.7
	水分誤嚥	26	6.8	21	3.5		47	4.7
	機会誤嚥	33	8.6	32	5.3		65	6.6
	口腔問題	31	8.1	45	7.4		76	7.7
	軽度問題	69	18.0	122	20.1		191	19.3
	正常範囲	169	44.0	324	53.5		493	49.8
	欠測	28	7.3	27	4.5		55	5.6
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
DSS(2区分)	嚥下機能 1-4誤嚥あり	87	22.7	88	14.5	Fisher 0.0005	175	17.7
	嚥下機能 5-7誤嚥なし	269	70.1	491	81.0		760	76.8
	欠測	28	7.3	27	4.5		55	5.6
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表 1 1 : VII. 食事、食事環境等について(1)

	男性		女性		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%		例数	%	
食費	500円未満	48	12.5	81	13.4	CMH1	129	13.0
	500円以上1000円未満	118	30.7	205	33.8	0.76	323	32.6
	1000円以上1500円未満	71	18.5	114	18.8		185	18.7
	1500円以上	20	5.2	32	5.3		52	5.3
	わからない	96	25.0	137	22.6		233	23.5
	欠測	31	8.1	37	6.1		68	6.9
計	384	100.0	606	100.0		990	100.0	
経口摂取	はい	330	85.9	539	88.9	Fisher	869	87.8
	いいえ	48	12.5	59	9.7	0.17	107	10.8
	欠測	6	1.6	8	1.3		14	1.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
経管栄養	はい	58	15.1	68	11.2	Fisher	126	12.7
	いいえ	320	83.3	530	87.5	0.08	850	85.9
	欠測	6	1.6	8	1.3		14	1.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
経管栄養方法	経口	1	1.7	3	4.4	CMH3	4	3.2
	経鼻	2	3.4	3	4.4	0.72	5	4.0
	胃瘻	51	87.9	62	91.2		113	89.7
	欠測	4	6.9				4	3.2
	計	58	100.0	68	100.0		126	100.0
静脈栄養	はい	2	0.5	3	0.5	Fisher	5	0.5
	いいえ	376	97.9	595	98.2	1.00	971	98.1
	欠測	6	1.6	8	1.3		14	1.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
1日の水分摂取量	コップ3杯未満	56	14.6	102	16.8	CMH1	158	16.0
	3杯以上5杯未満	164	42.7	271	44.7	0.23	435	43.9
	5杯以上	151	39.3	221	36.5		372	37.6
	欠測	13	3.4	12	2.0		25	2.5
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
食事形態	ゼリー食、ムース食	6	1.6	15	2.5	CMH3	21	2.1
	ペーストミキサー食	11	2.9	30	5.0	0.29	41	4.1
	きざみ食	27	7.0	43	7.1		70	7.1
	軟食	85	22.1	114	18.8		199	20.1
	常食	205	53.4	346	57.1		551	55.7
	欠測	50	13.0	58	9.6		108	10.9
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
1日の食事回数	1回	6	1.8	2	0.4	CMH1	8	0.9
	2回	31	9.4	43	8.0	0.09	74	8.5
	3回	280	84.8	472	87.6		752	86.5
	4回以上	10	3.0	18	3.3		28	3.2
	欠測	3	0.9	4	0.7		7	0.8
	計	330	100.0	539	100.0		869	100.0
栄養補助食品	摂取	64	16.7	136	22.4	Fisher	200	20.2
	なし	273	71.1	414	68.3	0.0475	687	69.4
	欠測	47	12.2	56	9.2		103	10.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

表 1 2 : VII. 食事、食事環境等について(2)

		男性		女性		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%		例数	%
葉	形状変えずに飲める	298	77.6	487	80.4	Fisher 0.76	785	79.3
	飲めない	41	10.7	72	11.9		113	11.4
	欠測	45	11.7	47	7.8		92	9.3
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
葉_形状の工夫	工夫すれば飲める	28	68.3	55	76.4	Fisher 0.16	83	73.5
	工夫しても飲めない	12	29.3	12	16.7		24	21.2
	欠測	1	2.4	5	6.9		6	5.3
	計	41	100.0	72	100.0		113	100.0
食欲	ない	34	8.9	33	5.4	CMH1 0.91	67	6.8
	わずかにある	20	5.2	54	8.9		74	7.5
	ややある	60	15.6	119	19.6		179	18.1
	ある	221	57.6	341	56.3		562	56.8
	わからない	10	2.6	15	2.5		25	2.5
	欠測	39	10.2	44	7.3		83	8.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
食事の楽しみ	とても楽しみ	139	36.2	208	34.3	CMH1 0.60	347	35.1
	やや楽しみ	112	29.2	205	33.8		317	32.0
	あまり楽しみでない	63	16.4	94	15.5		157	15.9
	まったく楽しみでない	29	7.6	52	8.6		81	8.2
	欠測	41	10.7	47	7.8		88	8.9
計	384	100.0	606	100.0	990	100.0		
喫煙	吸う	22	5.7	7	1.2	CMH1 <0.0001	29	2.9
	やめた	244	63.5	43	7.1		287	29.0
	吸わない	117	30.5	556	91.7		673	68.0
	欠測	1	0.3				1	0.1
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
飲酒	飲む	70	18.2	34	5.6	CMH1 <0.0001	104	10.5
	やめた	180	46.9	50	8.3		230	23.2
	飲まない	134	34.9	521	86.0		655	66.2
	欠測			1	0.2		1	0.1
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
皮膚のかさつき	ない	110	28.6	175	28.9	CMH1 0.27	285	28.8
	わずかにある	101	26.3	189	31.2		290	29.3
	ややある	97	25.3	134	22.1		231	23.3
	ある	71	18.5	99	16.3		170	17.2
	わからない	1	0.3	3	0.5		4	0.4
	欠測	4	1.0	6	1.0		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
白癬の有無	あり	106	27.6	125	20.6	CMH3 0.0304	231	23.3
	なし	256	66.7	451	74.4		707	71.4
	わからない	7	1.8	13	2.1		20	2.0
	欠測	15	3.9	17	2.8		32	3.2
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
爪のしろさ	はい	31	11.8	57	12.3	CMH3 0.73	88	12.1
	いいえ	204	77.6	371	80.0		575	79.1
	わからない	10	3.8	13	2.8		23	3.2
	欠測	18	6.8	23	5.0		41	5.6
	計	263	100.0	464	100.0		727	100.0
爪の色	ピンク	195	74.1	377	81.3	CMH3 0.10	572	78.7
	白,青	54	20.5	69	14.9		123	16.9
	その他	1	0.4	3	0.6		4	0.6
	わからない	7	2.7	6	1.3		13	1.8
	欠測	6	2.3	9	1.9		15	2.1
	計	263	100.0	464	100.0		727	100.0

表 1 3 : VIII. ADL(バーセルインデックス)

		男性		女性		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%		例数	%
ADL1 食事	自立	214	55.7	342	56.4	CMH1 0.86	556	56.2
	部分介助	82	21.4	113	18.6		195	19.7
	全介助	87	22.7	148	24.4		235	23.7
	欠測	1	0.3	3	0.5		4	0.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
ADL2 移動	自立	156	40.6	219	36.1	CMH1 0.11	375	37.9
	部分介助	68	17.7	117	19.3		185	18.7
	座位全介助	49	12.8	74	12.2		123	12.4
	不可能	96	25.0	179	29.5		275	27.8
	欠測	15	3.9	17	2.8		32	3.2
計	384	100.0	606	100.0	990	100.0		
ADL3 整容	自立	169	44.0	272	44.9	Fisher 0.84	441	44.5
	部分不可能	211	54.9	328	54.1		539	54.4
	欠測	4	1.0	6	1.0		10	1.0
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
ADL4 トイレ	自立	161	41.9	250	41.3	CMH1 0.53	411	41.5
	部分介助	94	24.5	136	22.4		230	23.2
	全介助	127	33.1	218	36.0		345	34.8
	欠測	2	0.5	2	0.3		4	0.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
ADL5 入浴	自立	80	20.8	109	18.0	Fisher 0.32	189	19.1
	部分不可能	303	78.9	490	80.9		793	80.1
	欠測	1	0.3	7	1.2		8	0.8
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
ADL6 歩行	45m以上歩行	83	21.6	130	21.5	CMH1 0.79	213	21.5
	45m以上介助	89	23.2	129	21.3		218	22.0
	車椅子	32	8.3	48	7.9		80	8.1
	それ以外	178	46.4	291	48.0		469	47.4
	欠測	2	0.5	8	1.3		10	1.0
計	384	100.0	606	100.0	990	100.0		
ADL7 階段昇降	自立	58	15.1	100	16.5	CMH3 0.19	158	16.0
	介助	107	27.9	138	22.8		245	24.7
	不能	216	56.3	363	59.9		579	58.5
	欠測	3	0.8	5	0.8		8	0.8
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
ADL8 着替え	自立	118	30.7	213	35.1	CMH3 0.16	331	33.4
	介助	108	28.1	141	23.3		249	25.2
	それ以外	155	40.4	251	41.4		406	41.0
	欠測	3	0.8	1	0.2		4	0.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
ADL9 排便	失禁なし	163	42.4	244	40.3	CMH3 0.16	407	41.1
	介助	100	26.0	136	22.4		236	23.8
	それ以外	119	31.0	222	36.6		341	34.4
	欠測	2	0.5	4	0.7		6	0.6
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0
ADL10 排尿	失禁なし	144	37.5	228	37.6	CMH3 0.79	372	37.6
	介助	99	25.8	146	24.1		245	24.7
	それ以外	139	36.2	230	38.0		369	37.3
	欠測	2	0.5	2	0.3		4	0.4
	計	384	100.0	606	100.0		990	100.0

② 年齢階級別

表 1-1 : 連続量項目集計1 対象:全体

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			全体		
	欠測 例数	平均	標準偏差									
I. 基本情報												
対象者年齢	158	70.49 ± 2.70		384	80.15 ± 2.86		448	90.69 ± 4.70		990	83.37 ± 8.31	
II. 身体計測												
身長(cm)	14	156.64 ± 9.86		31	152.93 ± 9.59		60	147.63 ± 9.82		105	151.21 ± 10.30	
体重(kg)	26	51.08 ± 12.28		60	49.00 ± 10.37		99	44.40 ± 10.11		185	47.35 ± 10.91	
下肢周囲長1	11	30.19 ± 6.26		17	29.75 ± 5.14		16	28.31 ± 5.37		44	29.16 ± 5.48	
下肢周囲長2	11	30.20 ± 6.26		17	29.79 ± 5.15		16	28.35 ± 5.37		44	29.20 ± 5.48	
下肢周囲長 平均	11	30.20 ± 6.26		17	29.77 ± 5.14		16	28.33 ± 5.37		44	29.18 ± 5.48	
膝高1	11	43.73 ± 6.38		18	44.40 ± 5.22		20	43.47 ± 5.67		49	43.87 ± 5.63	
膝高2	12	43.81 ± 6.41		19	44.46 ± 5.27		22	43.54 ± 5.69		53	43.94 ± 5.66	
膝高 平均	11	43.75 ± 6.39		18	44.43 ± 5.24		20	43.50 ± 5.67		49	43.90 ± 5.64	
IV. 療養・生活状況												
在宅療養期間(月)	6	74.84 ± 90.03		19	56.43 ± 72.01		22	48.60 ± 51.62		47	55.86 ± 67.73	
血液検査結果												
Alb	84	3.64 ± 0.55		190	3.64 ± 0.83		191	3.54 ± 0.79		465	3.59 ± 0.78	
リンパ球数	118	435.30 ± 881.54		288	580.43 ± 968.37		354	566.37 ± 1069.80		760	549.44 ± 994.46	
赤血球数	69	542.13 ± 916.58		144	418.73 ± 475.95		117	383.27 ± 56.95		330	417.59 ± 445.70	
白血球数	69	6946.18 ± 3876.18		144	6131.58 ± 2061.62		124	5943.12 ± 2219.85		337	6149.10 ± 2476.89	
総蛋白	77	6.68 ± 0.74		183	7.01 ± 6.20		166	6.78 ± 4.27		426	6.85 ± 4.78	
ADL総合得点	11	37.41 ± 34.14		32	51.92 ± 36.35		26	46.59 ± 34.70		69	47.16 ± 35.56	
原疾患点数	158	1.64 ± 1.74		384	2.01 ± 1.81		448	1.93 ± 1.75		990	1.91 ± 1.78	
BMI	32	20.90 ± 4.34		75	20.96 ± 4.10		126	20.49 ± 4.00		233	20.75 ± 4.10	
MNA個人総合得点	5	8.46 ± 3.01		15	8.90 ± 2.99		19	8.05 ± 2.87		39	8.44 ± 2.96	

表 1-2 : 連続量項目集計1 対象:男

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			全体			
	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	
I. 基本情報													
対象者年齢	80	70.10 ±	2.98	168	79.74 ±	2.97	136	89.47 ±	3.91	384	81.18 ±	7.88	
II. 身体計測													
身長(cm)	10	163.63 ±	7.18	13	155	160.83 ±	6.39	12	124	156.60 ±	7.83	<0.0001	
体重(kg)	14	66	55.50 ±	24	144	53.13 ±	9.34	24	112	49.97 ±	9.47	0.0002	
下肢周囲長1	6	74	30.13 ±	4	164	30.25 ±	5.08	5	131	29.64 ±	5.37	0.45	
下肢周囲長2	6	74	30.14 ±	4	164	30.29 ±	5.06	5	131	29.67 ±	5.34	0.47	
下肢周囲長平均	6	74	30.14 ±	4	164	30.27 ±	5.06	5	131	29.65 ±	5.36	0.46	
膝高1	6	74	45.58 ±	3	165	45.99 ±	5.80	6	130	45.27 ±	5.68	0.58	
膝高2	7	73	45.67 ±	3	165	46.07 ±	5.83	6	130	45.35 ±	5.67	0.58	
膝高平均	6	74	45.57 ±	3	165	46.03 ±	5.81	6	130	45.31 ±	5.67	0.62	
IV. 療養・生活状況													
在宅療養期間(月)	2	78	69.26 ±	7	161	51.98 ±	66.19	8	128	37.63 ±	40.28	0.0006	
血液検査結果													
Alb	43	37	3.59 ±	85	83	3.53 ±	0.66	64	72	3.48 ±	0.52	0.37	
リンパ球数	61	19	447.86 ±	113	55	627.46 ±	1087.52	109	27	743.44 ±	999.83	0.34	
赤血球数	35	45	671.67 ±	63	105	389.73 ±	54.14	41	95	387.64 ±	61.36	0.0148	
白血球数	35	45	7552.22 ±	62	106	6275.19 ±	2009.69	44	92	6047.07 ±	2162.14	0.0073	
総蛋白	39	41	6.63 ±	81	87	6.61 ±	0.62	60	76	6.57 ±	0.56	0.63	
ADL総合得点	5	75	34.80 ±	13	155	50.16 ±	35.09	10	126	54.29 ±	32.12	0.0002	
原疾患点数	80	62	2.15 ±	168	168	2.38 ±	2.12	136	136	2.29 ±	1.98	0.70	
BMI	18	62	20.93 ±	32	136	20.66 ±	3.45	28	108	20.42 ±	3.67	0.37	
MNA個人総合得点	3	77	8.48 ±	2.93	8	160	9.07 ±	2.85	4	132	8.27 ±	3.00	0.36

表 1-3 : 補統量項目集計1 対象:女

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			全体		
	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差
I. 基本情報												
対象者年齢			2.32			2.73			4.91			<0.0001
II. 身体計測												
身長(cm)	4	74	150.03 ± 7.11	18	198	146.75 ± 6.70	48	264	143.42 ± 7.59			<0.0001
体重(kg)	12	66	46.66 ± 11.28	36	180	45.69 ± 9.98	75	237	41.77 ± 9.31			<0.0001
下肢周囲長1	5	73	30.25 ± 6.03	13	203	29.35 ± 5.16	11	301	27.74 ± 5.27			<0.0001
下肢周囲長2	5	73	30.27 ± 6.00	13	203	29.39 ± 5.19	11	301	27.77 ± 5.28			<0.0001
下肢周囲長平均	5	73	30.26 ± 6.01	13	203	29.37 ± 5.17	11	301	27.76 ± 5.28			<0.0001
膝高1	5	73	41.85 ± 6.05	15	201	43.10 ± 4.28	14	298	42.69 ± 5.50			0.53
膝高2	5	73	41.95 ± 6.08	16	200	43.13 ± 4.35	16	296	42.74 ± 5.52			0.56
膝高平均	5	73	41.90 ± 6.06	15	201	43.12 ± 4.31	14	298	42.72 ± 5.50			0.55
IV. 療養・生活状況												
在宅療養期間(月)	4	74	80.73 ± 93.31	12	204	59.94 ± 76.28	14	298	53.31 ± 55.17			0.0042
血液検査結果												
Alb	41	37	3.70 ± 0.50	105	111	3.73 ± 0.92	127	185	3.56 ± 0.87			0.15
リンパ球数	57	21	423.94 ± 892.24	175	41	517.35 ± 789.54	245	67	495.01 ± 1095.84			0.84
赤血球数	34	44	409.66 ± 51.32	81	135	441.29 ± 632.92	76	236	381.50 ± 55.11			0.27
白血球数	34	44	6326.36 ± 2529.86	82	134	6017.99 ± 2102.31	80	232	5901.90 ± 2245.59			0.26
総蛋白	38	40	6.73 ± 0.76	102	114	7.32 ± 8.21	106	206	6.86 ± 4.98			0.83
ADL総合得点	6	72	40.14 ± 33.68	19	197	53.30 ± 37.34	16	296	43.31 ± 35.29			0.45
原疾患点数		78	1.12 ± 1.21		216	1.72 ± 1.47		312	1.77 ± 1.62			0.0045
BMI	14	64	20.88 ± 4.67	43	173	21.19 ± 4.54	98	214	20.52 ± 4.16			0.29
MNA個人総合得点	2	76	8.45 ± 3.12	7	209	8.77 ± 3.09	15	297	7.95 ± 2.82			0.0202

表2-1：連続量項目集計2 V. 医療・介護サービス利用状況 対象：全体

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			X>0の Trend p値			全体			
	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差
①訪問サービス																
訪問診療(回/月)	14	34	110	2.44 ± 1.07	23	91	270	2.20 ± 1.04	30	52	366	2.12 ± 1.01	67	177	746	2.19 ± 1.03
訪問歯科(回/月)	25	65	68	2.70 ± 1.32	60	207	117	2.47 ± 1.32	85	285	78	2.42 ± 1.25	170	557	263	2.51 ± 1.30
訪問看護(回/月)	12	33	113	1.84 ± 1.65	22	110	252	1.43 ± 1.01	38	143	267	1.45 ± 1.29	72	286	632	1.51 ± 1.27
訪問介護(回/週)	28	57	73	6.31 ± 7.40	49	155	180	5.08 ± 7.30	69	194	185	6.41 ± 8.10	146	406	438	5.85 ± 7.67
訪問入浴(回/週)	32	87	39	1.86 ± 1.37	61	243	80	1.74 ± 0.86	96	254	98	1.60 ± 1.01	189	584	217	1.70 ± 1.03
訪問リハビリテーション(回/週)	26	59	73	1.85 ± 1.05	61	199	124	1.53 ± 0.79	98	266	84	1.53 ± 1.00	185	524	281	1.61 ± 0.94
訪問栄養指導(回/月)	40	117	1	1.00 ± .	86	296	2	1.00 ± 0.00	115	331	2	1.00 ± 0.00	241	744	5	1.00 ± 0.00
訪問薬剤指導(回/月)	31	85	42	1.90 ± 0.62	73	220	91	2.02 ± 0.76	103	253	92	1.90 ± 0.48	207	558	225	1.95 ± 0.63
②通所サービス																
通所介護(回/週)	26	72	60	3.12 ± 2.06	49	179	156	2.27 ± 1.23	64	191	193	2.92 ± 2.81	139	442	409	2.70 ± 2.24
通所リハビリテーション(回/週)	30	105	23	2.20 ± 0.78	67	253	64	2.09 ± 0.92	104	308	36	1.90 ± 0.63	201	666	123	2.05 ± 0.82
通所看護(回/週)	40	118		± .	86	296	2	3.50 ± 2.12	110	338		± .	236	752	2	3.50 ± 2.12
③短期入所(特養・老健)																
ショートステイ(回/月)	36	99	23	6.25 ± 4.93	66	259	59	5.93 ± 4.18	90	276	82	7.24 ± 4.86	192	634	164	6.63 ± 4.65
④介護保険外サービス																
配食サービス(回/月)	41	106	11	5.55 ± 3.47	78	282	24	4.58 ± 2.30	106	296	46	5.87 ± 3.44	225	684	81	5.44 ± 3.17
外来の有無																
外来受診回数(回/月)	13	79	66	1.51 ± 1.75	24	214	146	1.62 ± 2.40	39	314	95	1.12 ± 0.66	76	607	307	1.44 ± 1.89
食事摂取法																
経管栄養カロリー	9	123	26	1057.69 ± 269.70	20	323	41	988.41 ± 314.25	6	405	37	946.62 ± 260.22	35	851	104	990.87 ± 285.49
静脈栄養カロリー	4	153	1	600.00 ± .	6	376	2	690.00 ± 183.85	4	442	2	895.00 ± 473.76	14	971	5	754.00 ± 287.19
1回の食事時間(分)	6	36	116	28.49 ± 15.90	17	64	303	28.44 ± 14.09	31	45	372	30.52 ± 16.96	54	145	791	29.43 ± 15.77

表2-2：連続量項目集計2 V. 医療・介護サービス利用状況 対象：男

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			X>0のTrend			全体		
	利用 なし	利用 例数	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	欠測	利用 なし	利用 例数	標準偏差	平均	標準偏差
①訪問サービス															
訪問診療(回/月)	6	14	2.34 ± 1.10	2.18 ± 1.03	2.18 ± 1.03	2.22 ± 1.11	2.22 ± 1.11	2.22 ± 1.11	0.55	31	73	280	2.23 ± 1.07	1.07	
訪問歯科(回/月)	14	33	2.92 ± 1.30	2.64 ± 1.36	2.64 ± 1.36	2.82 ± 1.27	2.82 ± 1.27	0.70	73	205	106	2.77 ± 1.31	1.31		
訪問看護(回/月)	6	16	5.8 ± 1.80	5.34 ± 1.80	5.34 ± 1.80	5.64 ± 1.68	5.64 ± 1.68	0.22	29	105	250	5.76 ± 1.42	1.42		
訪問介護(回/週)	16	35	2.9 ± 8.33	2.79 ± 8.33	2.79 ± 8.33	2.78 ± 11.74	2.78 ± 11.74	0.10	58	173	153	5.76 ± 8.40	8.40		
訪問入浴(回/週)	16	41	2.3 ± 0.92	2.10 ± 0.92	2.10 ± 0.92	2.15 ± 0.85	2.15 ± 0.85	0.13	74	224	86	1.70 ± 0.83	0.83		
訪問リハビリテーション(回/週)	16	25	3.9 ± 0.99	3.20 ± 0.99	3.20 ± 0.99	3.48 ± 0.63	3.48 ± 0.63	0.0054	71	187	126	1.63 ± 0.85	0.85		
訪問栄養指導(回/月)	23	56	1.00 ± 0.55	1.00 ± 0.55	1.00 ± 0.55	1.00 ± 0.56	1.00 ± 0.56	0.81	86	214	84	2.07 ± 0.78	0.78		
訪問薬剤指導(回/月)	19	37	2.4 ± 1.96 ± 0.55	2.16 ± 0.98	2.16 ± 0.98	2.00 ± 0.56	2.00 ± 0.56	0.81	86	214	84	2.07 ± 0.78	0.78		
②通所サービス															
通所介護(回/週)	14	34	3.2 ± 2.31	2.28 ± 1.07	2.28 ± 1.07	2.66 ± 1.59	2.66 ± 1.59	0.67	57	175	152	2.56 ± 1.60	1.60		
通所リハビリテーション(回/週)	18	47	1.5 ± 0.75	2.28 ± 1.10	2.28 ± 1.10	1.65 ± 0.55	1.65 ± 0.55	0.17	81	246	57	2.11 ± 0.93	0.93		
通所看護(回/週)	24	56	2.0 ± 2.12	3.50 ± 2.12	3.50 ± 2.12	3.50 ± 2.12	3.50 ± 2.12	0.17	99	283	2	3.50 ± 2.12	2.12		
③短期入所(特養・老健)															
ショートステイ(回/月)	18	48	6.0 ± 4.40	5.86 ± 4.31	5.86 ± 4.31	7.22 ± 4.80	7.22 ± 4.80	0.59	79	250	55	6.13 ± 4.36	4.36		
④介護保険外サービス															
配食サービス(回/月)	26	51	6.3 ± 6.81	5.44 ± 1.81	5.44 ± 1.81	6.07 ± 2.74	6.07 ± 2.74	0.90	95	262	27	5.89 ± 2.95	2.95		
外来の有無	5	41	1.8 ± 2.31	1.76 ± 3.08	1.76 ± 3.08	1.11 ± 0.45	1.11 ± 0.45	0.16	32	210	142	1.59 ± 2.40	2.40		
外来受診回数(回/月)															
食事摂取法															
経管栄養カロリー	4	61	1096.67 ± 314.23	1122.83 ± 271.25	1122.83 ± 271.25	1100.00 ± 316.23	1100.00 ± 316.23	0.96	14	320	50	1109.50 ± 289.57	289.57		
静脈栄養カロリー	2	77	600.00 ± 13.88	820.00 ± 14.15	820.00 ± 14.15	710.00 ± 155.56	710.00 ± 155.56	0.51	6	376	2	710.00 ± 155.56	155.56		
1回の食事時間(分)	3	20	27.19 ± 13.88	28.80 ± 14.15	28.80 ± 14.15	28.96 ± 16.02	28.96 ± 16.02	0.51	19	66	299	28.55 ± 14.80	14.80		



表3-1: I. 対象者の基本情報、II. 身体計測、III. 栄養評価(MNA) 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
性別	男	80	50.6	168	43.8	136	30.4		384	38.8
	女	78	49.4	216	56.3	312	69.6		606	61.2
	欠測 計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
浮腫	有	33	20.9	100	26.0	96	21.4	CMH1	229	23.1
	無	118	74.7	252	65.6	330	73.7	0.62	700	70.7
	欠測	7	4.4	32	8.3	22	4.9		61	6.2
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
MNA1食事量減少	著しい食事量減少	14	8.9	22	5.7	28	6.3	CMH1	64	6.5
	中等度減少	21	13.3	52	13.5	87	19.4	0.45	160	16.2
	減少なし	121	76.6	306	79.7	326	72.8		753	76.1
	欠測	2	1.3	4	1.0	7	1.6		13	1.3
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
MNA2 体重減少	3kg以上減少	15	9.5	20	5.2	25	5.6	CMH3	60	6.1
	わからない	31	19.6	66	17.2	108	24.1	0.05	205	20.7
	1.3kg減少	25	15.8	58	15.1	76	17.0		159	16.1
	減少なし	86	54.4	239	62.2	236	52.7		561	56.7
	欠測	1	0.6	1	0.3	3	0.7		5	0.5
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
MNA3 移動	寝たきり車椅子	88	55.7	145	37.8	185	41.3	CMH3	418	42.2
	外出できない	49	31.0	155	40.4	192	42.9	0.0004	396	40.0
	外出できる	20	12.7	83	21.6	67	15.0		170	17.2
	欠測	1	0.6	1	0.3	4	0.9		6	0.6
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
MNA4 ストレス	はい	44	27.8	91	23.7	109	24.3	CMH1	244	24.6
	いいえ	114	72.2	291	75.8	337	75.2	0.52	742	74.9
	欠測			2	0.5	2	0.4		4	0.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
MNA5 認知症うつ	強度認知症うつ	25	15.8	49	12.8	75	16.7	CMH1	149	15.1
	中度認知症	41	25.9	135	35.2	195	43.5	0.0005	371	37.5
	問題なし	90	57.0	198	51.6	175	39.1		463	46.8
	欠測	2	1.3	2	0.5	3	0.7		7	0.7
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
MNA評価3カテゴリー	0<=T_MNA<=7	51	32.3	118	30.7	187	41.7	CMH1	356	36.0
	8<=T_MNA<=11	59	37.3	127	33.1	149	33.3	0.0012	335	33.8
	12<=T_MNA	43	27.2	124	32.3	93	20.8		260	26.3
	欠測	5	3.2	15	3.9	19	4.2		39	3.9
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表3-2 : I. 対象者の基本情報、II. 身体計測、III. 栄養評価(MNA) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
性別	男	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
	欠測									
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
浮腫	有	14	17.5	42	25.0	30	22.1	CMH1	86	22.4
	無	63	78.8	117	69.6	102	75.0	0.60	282	73.4
	欠測	3	3.8	9	5.4	4	2.9		16	4.2
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
MNA1食事量減少	著しい食事量減少	8	10.0	10	6.0	11	8.1	CMH1	29	7.6
	中等度減少	8	10.0	22	13.1	26	19.1	0.37	56	14.6
	減少なし	63	78.8	134	79.8	96	70.6		293	76.3
	欠測	1	1.3	2	1.2	3	2.2		6	1.6
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
MNA2 体重減少	3kg以上減少	8	10.0	9	5.4	14	10.3	CMH3	31	8.1
	わからない	14	17.5	33	19.6	22	16.2	0.42	69	18.0
	1.3kg減少	12	15.0	25	14.9	29	21.3		66	17.2
	減少なし	45	56.3	100	59.5	71	52.2		216	56.3
	欠測	1	1.3	1	0.6				2	0.5
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
MNA3 移動	寝たきり車椅子	47	58.8	64	38.1	42	30.9	CMH3	153	39.8
	外出できない	24	30.0	65	38.7	65	47.8	0.0007	154	40.1
	外出できる	8	10.0	39	23.2	28	20.6		75	19.5
	欠測	1	1.3			1	0.7		2	0.5
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
MNA4 ストレス	はい	22	27.5	40	23.8	45	33.1	CMH1	107	27.9
	いいえ	58	72.5	127	75.6	91	66.9	0.26	276	71.9
	欠測			1	0.6				1	0.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
MNA5 認知症うつ	強度認知症うつ	8	10.0	15	8.9	16	11.8	CMH1	39	10.2
	中度認知症	27	33.8	60	35.7	59	43.4	0.15	146	38.0
	問題なし	43	53.8	91	54.2	61	44.9		195	50.8
	欠測	2	2.5	2	1.2				4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
MNA評価3カテゴリー	0<=T_MNA<=7	27	33.8	46	27.4	53	39.0	CMH1	126	32.8
	8<=T_MNA<=11	29	36.3	61	36.3	45	33.1	0.36	135	35.2
	12<=T_MNA	21	26.3	53	31.5	34	25.0		108	28.1
	欠測	3	3.8	8	4.8	4	2.9		15	3.9
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表 3-3 : I. 対象者の基本情報、II. 身体計測、III. 栄養評価(MNA) 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
性別	女	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
	欠測									
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
浮腫	有	19	24.4	58	26.9	66	21.2	CMH1	143	23.6
	無	55	70.5	135	62.5	228	73.1	0.21	418	69.0
	欠測	4	5.1	23	10.6	18	5.8		45	7.4
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
MNA1食事量減少	著しい食事量減少	6	7.7	12	5.6	17	5.4	CMH1	35	5.8
	中等度減少	13	16.7	30	13.9	61	19.6	0.77	104	17.2
	減少なし	58	74.4	172	79.6	230	73.7		460	75.9
	欠測	1	1.3	2	0.9	4	1.3		7	1.2
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
MNA2 体重減少	3kg以上減少	7	9.0	11	5.1	11	3.5	CMH3	29	4.8
	わからない	17	21.8	33	15.3	86	27.6	0.0147	136	22.4
	1.3kg減少	13	16.7	33	15.3	47	15.1		93	15.3
	減少なし	41	52.6	139	64.4	165	52.9		345	56.9
	欠測					3	1.0		3	0.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
MNA3 移動	寝たきり車椅子	41	52.6	81	37.5	143	45.8	CMH3	265	43.7
	外出できない	25	32.1	90	41.7	127	40.7	0.0396	242	39.9
	外出できる	12	15.4	44	20.4	39	12.5		95	15.7
	欠測			1	0.5	3	1.0		4	0.7
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
MNA4 ストレス	はい	22	28.2	51	23.6	64	20.5	CMH1	137	22.6
	いいえ	56	71.8	164	75.9	246	78.8	0.14	466	76.9
	欠測			1	0.5	2	0.6		3	0.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
MNA5 認知症うつ	強度認知症うつ	17	21.8	34	15.7	59	18.9	CMH1	110	18.2
	中度認知症	14	17.9	75	34.7	136	43.6	0.0060	225	37.1
	問題なし	47	60.3	107	49.5	114	36.5		268	44.2
	欠測					3	1.0		3	0.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
MNA評価3カテゴリー	0<=T_MNA<=7	24	30.8	72	33.3	134	42.9	CMH1	230	38.0
	8<=T_MNA<=11	30	38.5	66	30.6	104	33.3	0.0014	200	33.0
	12<=T_MNA	22	28.2	71	32.9	59	18.9		152	25.1
	欠測	2	2.6	7	3.2	15	4.8		24	4.0
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

表 4-1 : IV. 療養・生活状況、V. 医療・介護サービス利用状況(1) 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
病状の安定性	安定	121	76.6	313	81.5	372	83.0	CMH3 0.25	806	81.4
	不安定	32	20.3	59	15.4	70	15.6		161	16.3
	不明	3	1.9	5	1.3	2	0.4		10	1.0
	欠測	2	1.3	7	1.8	4	0.9		13	1.3
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
直近3ヶ月間の入院	有	32	20.3	69	18.0	52	11.6	CMH3 0.02	153	15.5
	無	125	79.1	307	79.9	389	86.8		821	82.9
	不明			1	0.3				1	0.1
	欠測	1	0.6	7	1.8	7	1.6		15	1.5
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
入院の理由 複数選択 (CMH1 Test)	肺炎			1	1.4			0.86 0.17 0.41 0.96 0.50 0.18 0.45 0.57	1	0.7
	窒息	20	62.5	40	58.0	25	48.1		85	55.6
	脳血管障害	4	12.5	11	15.9	10	19.2		25	16.3
	感染症									
	骨折			6	8.7	1	1.9		7	4.6
	心不全	4	12.5	5	7.2	4	7.7		13	8.5
	検査入院	1	3.1	3	4.3	5	9.6		9	5.9
	不明	2	6.3	7	10.1	6	11.5		15	9.8
	その他	4	12.5	6	8.7	8	15.4		18	11.8
	欠測			1	1.4				1	0.7
	計	32	20.4	69	18.3	52	11.8		153	15.7
外来受診	有	67	42.4	153	39.8	104	23.2	CMH1 <0.0001	324	32.7
	無	79	50.0	214	55.7	314	70.1		607	61.3
	欠測	12	7.6	17	4.4	30	6.7		59	6.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
歯科受診	有	52	32.9	125	32.6	107	23.9	CMH1 0.0068	284	28.7
	無	97	61.4	230	59.9	310	69.2		637	64.3
	欠測	9	5.7	29	7.6	31	6.9		69	7.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
緩和ケア	有	5	3.2	21	5.5	6	1.3	CMH1 0.0333	32	3.2
	無	135	85.4	338	88.0	404	90.2		877	88.6
	欠測	18	11.4	25	6.5	38	8.5		81	8.2
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表 4-2 : IV. 療養・生活状況、V. 医療・介護サービス利用状況(1) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
病状の安定性	安定	61	76.3	138	82.1	107	78.7	CMH3 0.27	306	79.7
	不安定	16	20.0	23	13.7	26	19.1		65	16.9
	不明	2	2.5	2	1.2				4	1.0
	欠測	1	1.3	5	3.0	3	2.2		9	2.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
直近3ヶ月間の入院	有	17	21.3	44	26.2	24	17.6	CMH3 0.32	85	22.1
	無	62	77.5	121	72.0	111	81.6		294	76.6
	不明			1	0.6				1	0.3
	欠測	1	1.3	2	1.2	1	0.7		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
入院の理由 複数選択 (CMH1 Test)	肺炎			26	59.1	13	54.2	0.31 0.47 0.81 0.76 0.39 0.70 0.21	51	60.0
	窒息	3	17.6	6	13.6	6	25.0		15	17.6
	脳血管障害									
	感染症									
	骨折			4	9.1				4	4.7
	心不全	1	5.9	3	6.8	2	8.3		6	7.1
	検査入院			1	2.3	1	4.2		2	2.4
	不明			4	9.1	1	4.2		5	5.9
	その他	1	5.9	3	6.8	4	16.7		8	9.4
	欠測			1	2.3				1	1.2
	計	17	21.5	44	26.5	24	17.8		85	22.4
外来受診	有	34	42.5	72	42.9	47	34.6	CMH1 0.20	153	39.8
	無	41	51.3	89	53.0	80	58.8		210	54.7
	欠測	5	6.3	7	4.2	9	6.6		21	5.5
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
歯科受診	有	24	30.0	59	35.1	42	30.9	CMH1 0.90	125	32.6
	無	53	66.3	101	60.1	85	62.5		239	62.2
	欠測	3	3.8	8	4.8	9	6.6		20	5.2
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
緩和ケア	有	3	3.8	10	6.0	2	1.5	CMH1 0.23	15	3.9
	無	67	83.8	148	88.1	122	89.7		337	87.8
	欠測	10	12.5	10	6.0	12	8.8		32	8.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表 4-3 : IV. 療養・生活状況、V. 医療・介護サービス利用状況(1) 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
病状の安定性	安定	60	76.9	175	81.0	265	84.9	CMH3 0.54	500	82.5
	不安定	16	20.5	36	16.7	44	14.1		96	15.8
	不明	1	1.3	3	1.4	2	0.6		6	1.0
	欠測	1	1.3	2	0.9	1	0.3		4	0.7
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
直近3ヶ月間の入院	有	15	19.2	25	11.6	28	9.0	CMH3 0.04	68	11.2
	無	63	80.8	186	86.1	278	89.1		527	87.0
	欠測			5	2.3	6	1.9		11	1.8
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
入院の理由 複数選択 (CMH1 Test)	肺炎			1	4.0			0.80	1	1.5
	窒息	8	53.3	14	56.0	12	42.9	0.44	34	50.0
	脳血管障害	1	6.7	5	20.0	4	14.3	0.63	10	14.7
	感染症									
	骨折			2	8.0	1	3.6	0.75	3	4.4
	心不全	3	20.0	2	8.0	2	7.1	0.23	7	10.3
	検査入院	1	6.7	2	8.0	4	14.3	0.39	7	10.3
	不明	2	13.3	3	12.0	5	17.9	0.63	10	14.7
	その他	3	20.0	3	12.0	4	14.3	0.69	10	14.7
	欠測									
	計	15	19.2	25	11.8	28	9.2		68	11.4
	外来受診	有	33	42.3	81	37.5	57	18.3	CMH1 <0.0001	171
無		38	48.7	125	57.9	234	75.0	397		65.5
欠測		7	9.0	10	4.6	21	6.7	38		6.3
計		78	100.0	216	100.0	312	100.0	606		100.0
歯科受診	有	28	35.9	66	30.6	65	20.8	CMH1 0.0008	159	26.2
	無	44	56.4	129	59.7	225	72.1		398	65.7
	欠測	6	7.7	21	9.7	22	7.1		49	8.1
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
緩和ケア	有	2	2.6	11	5.1	4	1.3	CMH1 0.11	17	2.8
	無	68	87.2	190	88.0	282	90.4		540	89.1
	欠測	8	10.3	15	6.9	26	8.3		49	8.1
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

表5-1：原疾患（IV.療養・生活状況(2)） 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
虚血性疾患	なし	142	89.9	349	90.9	378	84.4	CMH1 0.0434	869	87.8
	あり	14	8.9	30	7.8	57	12.7		101	10.2
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
心不全	なし	145	91.8	335	87.2	336	75.0	CMH1 <0.0001	816	82.4
	あり	11	7.0	44	11.5	99	22.1		154	15.6
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
慢性肺疾患	なし	145	91.8	347	90.4	383	85.5	CMH1 0.0419	875	88.4
	あり	11	7.0	32	8.3	52	11.6		95	9.6
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
胃十二指腸潰瘍	なし	151	95.6	367	95.6	420	93.8	CMH1 0.84	938	94.7
	あり	5	3.2	12	3.1	15	3.3		32	3.2
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
末梢血管疾患	なし	156	98.7	377	98.2	427	95.3	CMH1 0.0249	960	97.0
	あり			2	0.5	8	1.8		10	1.0
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
マイルドな肝疾患	なし	150	94.9	368	95.8	432	96.4	CMH1 0.0065	950	96.0
	あり	6	3.8	11	2.9	3	0.7		20	2.0
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
脳血管障害	なし	108	68.4	252	65.6	315	70.3	CMH1 0.22	675	68.2
	あり	48	30.4	127	33.1	120	26.8		295	29.8
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
膠原病	なし	147	93.0	362	94.3	426	95.1	CMH1 0.0170	935	94.4
	あり	9	5.7	17	4.4	9	2.0		35	3.5
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
糖尿病	なし	131	82.9	315	82.0	373	83.3	CMH1 0.43	819	82.7
	あり	25	15.8	64	16.7	62	13.8		151	15.3
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
認知症	なし	135	85.4	256	66.7	247	55.1	CMH1 <0.0001	638	64.4
	あり	21	13.3	123	32.0	188	42.0		332	33.5
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
片麻痺	なし	136	86.1	334	87.0	406	90.6	CMH1 0.0070	876	88.5
	あり	20	12.7	45	11.7	29	6.5		94	9.5
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
中等度__重症腎疾患	なし	153	96.8	367	95.6	412	92.0	CMH1 0.0387	932	94.1
	あり	3	1.9	12	3.1	23	5.1		38	3.8
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
臓器不全を伴う糖尿病	なし	154	97.5	378	98.4	429	95.8	CMH1 0.52	961	97.1
	あり	2	1.3	1	0.3	6	1.3		9	0.9
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
5年以内に診断された原発性腫瘍	なし	143	90.5	341	88.8	415	92.6	CMH1 0.0227	899	90.8
	あり	13	8.2	38	9.9	20	4.5		71	7.2
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
白血病	なし	156	98.7	379	98.7	435	97.1		970	98.0
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
中等度__重度な肝疾患	なし	155	98.1	376	97.9	429	95.8	CMH1 0.35	960	97.0
	あり	1	0.6	3	0.8	6	1.3		10	1.0
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
転移性腫瘍	なし	151	95.6	361	94.0	423	94.4	CMH1 0.47	935	94.4
	あり	5	3.2	18	4.7	12	2.7		35	3.5
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
AIDS	なし	156	98.7	379	98.7	434	96.9	CMH1 0.33	969	97.9
	あり					1	0.2		1	0.1
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
その他	なし	156	98.7	379	98.7	434	96.9	CMH1 0.33	969	97.9
	あり					1	0.2		1	0.1
	欠測	2	1.3	5	1.3	13	2.9		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表5-2：原疾患（IV.療養・生活状況(2)） 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
虚血性疾患	なし	71	88.8	152	90.5	115	84.6	CMH1 0.27	338	88.0
	あり	8	10.0	15	8.9	19	14.0		42	10.9
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
心不全	なし	71	88.8	147	87.5	105	77.2	CMH1 0.0128	323	84.1
	あり	8	10.0	20	11.9	29	21.3		57	14.8
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
慢性肺疾患	なし	72	90.0	151	89.9	102	75.0	CMH1 0.0007	325	84.6
	あり	7	8.8	16	9.5	32	23.5		55	14.3
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
胃十二指腸潰瘍	なし	76	95.0	163	97.0	130	95.6	CMH1 0.81	369	96.1
	あり	3	3.8	4	2.4	4	2.9		11	2.9
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
末梢血管疾患	なし	79	98.8	166	98.8	130	95.6	CMH1 0.0449	375	97.7
	あり			1	0.6	4	2.9		5	1.3
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
マイルドな肝疾患	なし	75	93.8	159	94.6	133	97.8	CMH1 0.06	367	95.6
	あり	4	5.0	8	4.8	1	0.7		13	3.4
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
脳血管障害	なし	48	60.0	104	61.9	92	67.6	CMH1 0.21	244	63.5
	あり	31	38.8	63	37.5	42	30.9		136	35.4
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
膠原病	なし	77	96.3	163	97.0	134	98.5	CMH1 0.11	374	97.4
	あり	2	2.5	4	2.4				6	1.6
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
糖尿病	なし	61	76.3	132	78.6	115	84.6	CMH1 0.09	308	80.2
	あり	18	22.5	35	20.8	19	14.0		72	18.8
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
認知症	なし	69	86.3	117	69.6	82	60.3	CMH1 0.0001	268	69.8
	あり	10	12.5	50	29.8	52	38.2		112	29.2
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
片麻痺	なし	64	80.0	143	85.1	127	93.4	CMH1 0.0017	334	87.0
	あり	15	18.8	24	14.3	7	5.1		46	12.0
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
中等度_重症腎疾患	なし	77	96.3	160	95.2	122	89.7	CMH1 0.0336	359	93.5
	あり	2	2.5	7	4.2	12	8.8		21	5.5
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
臓器不全を伴う糖尿病	なし	78	97.5	166	98.8	132	97.1	CMH1 0.77	376	97.9
	あり	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
5年以内に診断された原発性腫瘍	なし	70	87.5	145	86.3	127	93.4	CMH1 0.08	342	89.1
	あり	9	11.3	22	13.1	7	5.1		38	9.9
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
白血病	なし	79	98.8	167	99.4	134	98.5		380	99.0
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
中等度_重度な肝疾患	なし	78	97.5	166	98.8	132	97.1	CMH1 0.77	376	97.9
	あり	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
転移性腫瘍	なし	75	93.8	155	92.3	127	93.4	CMH1 0.92	357	93.0
	あり	4	5.0	12	7.1	7	5.1		23	6.0
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
AIDS	なし	79	98.8	167	99.4	133	97.8	CMH1 0.24	379	98.7
	あり					1	0.7		1	0.3
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
その他	なし	79	98.8	167	99.4	133	97.8	CMH1 0.24	379	98.7
	あり					1	0.7		1	0.3
	欠測	1	1.3	1	0.6	2	1.5		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表5-3：原疾患（IV.療養・生活状況(2)） 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
虚血性疾患	なし	71	91.0	197	91.2	263	84.3	CMH1 0.06	531	87.6
	あり	6	7.7	15	6.9	38	12.2		59	9.7
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
心不全	なし	74	94.9	188	87.0	231	74.0	CMH1 <0.0001	493	81.4
	あり	3	3.8	24	11.1	70	22.4		97	16.0
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
慢性肺疾患	なし	73	93.6	196	90.7	281	90.1	CMH1 0.85	550	90.8
	あり	4	5.1	16	7.4	20	6.4		40	6.6
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
胃十二指腸潰瘍	なし	75	96.2	204	94.4	290	92.9	CMH1 0.75	569	93.9
	あり	2	2.6	8	3.7	11	3.5		21	3.5
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
末梢血管疾患	なし	77	98.7	211	97.7	297	95.2	CMH1 0.18	585	96.5
	あり			1	0.5	4	1.3		5	0.8
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
マイルドな肝疾患	なし	75	96.2	209	96.8	299	95.8	CMH1 0.15	583	96.2
	あり	2	2.6	3	1.4	2	0.6		7	1.2
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
脳血管障害	なし	60	76.9	148	68.5	223	71.5	CMH1 0.93	431	71.1
	あり	17	21.8	64	29.6	78	25.0		159	26.2
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
膠原病	なし	70	89.7	199	92.1	292	93.6	CMH1 0.0150	561	92.6
	あり	7	9.0	13	6.0	9	2.9		29	4.8
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
糖尿病	なし	70	89.7	183	84.7	258	82.7	CMH1 0.30	511	84.3
	あり	7	9.0	29	13.4	43	13.8		79	13.0
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
認知症	なし	66	84.6	139	64.4	165	52.9	CMH1 <0.0001	370	61.1
	あり	11	14.1	73	33.8	136	43.6		220	36.3
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
片麻痺	なし	72	92.3	191	88.4	279	89.4	CMH1 0.79	542	89.4
	あり	5	6.4	21	9.7	22	7.1		48	7.9
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
中等度_重症腎疾患	なし	76	97.4	207	95.8	290	92.9	CMH1 0.22	573	94.6
	あり	1	1.3	5	2.3	11	3.5		17	2.8
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
臓器不全を伴う糖尿病	なし	76	97.4	212	98.1	297	95.2	CMH1 0.48	585	96.5
	あり	1	1.3			4	1.3		5	0.8
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
5年以内に診断された原発性腫瘍	なし	73	93.6	196	90.7	288	92.3	CMH1 0.37	557	91.9
	あり	4	5.1	16	7.4	13	4.2		33	5.4
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
白血病	なし	77	98.7	212	98.1	301	96.5		590	97.4
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
	中等度_重度な肝疾患	なし	77	98.7	210	97.2	297		95.2	CMH1 0.32
あり			2	0.9	4	1.3	6	1.0		
欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5	16	2.6		
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0	606	100.0		
転移性腫瘍	なし	76	97.4	206	95.4	296	94.9	CMH1 0.82	578	95.4
	あり	1	1.3	6	2.8	5	1.6		12	2.0
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
AIDS	なし	77	98.7	212	98.1	301	96.5		590	97.4
	欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
	その他	なし	77	98.7	212	98.1	301		96.5	
欠測	1	1.3	4	1.9	11	3.5	16	2.6		
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0	606	100.0		

表 6-1 : IV. 療養・生活状況(3) 対象:全体

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体				
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%			
障害高齢者の日常生活自立度	自立	4	2.5	16	4.2	8	1.8	CMH1	28	2.8		
	J1	3	1.9	14	3.6	7	1.6	0.34	24	2.4		
	J2	3	1.9	31	8.1	24	5.4		58	5.9		
	A1	17	10.8	43	11.2	56	12.5		116	11.7		
	A2	26	16.5	65	16.9	93	20.8		184	18.6		
	B1	26	16.5	56	14.6	71	15.8		153	15.5		
	B2	21	13.3	48	12.5	57	12.7		126	12.7		
	C1	11	7.0	36	9.4	44	9.8		91	9.2		
	C2	40	25.3	57	14.8	71	15.8		168	17.0		
	欠測	7	4.4	18	4.7	17	3.8		42	4.2		
計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0			
障害高齢者の日常生活自立度	自立、J1、J2	10	6.3	61	15.9	39	8.7	CMH1	110	11.1		
	A1	17	10.8	43	11.2	56	12.5	0.20	116	11.7		
	A2	26	16.5	65	16.9	93	20.8		184	18.6		
	B1	26	16.5	56	14.6	71	15.8		153	15.5		
	B2	21	13.3	48	12.5	57	12.7		126	12.7		
	C1	11	7.0	36	9.4	44	9.8		91	9.2		
	C2	40	25.3	57	14.8	71	15.8		168	17.0		
	欠測	7	4.4	18	4.7	17	3.8		42	4.2		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
	認知症高齢者の日常生活自立度	正常	51	32.3	102	26.6	58		12.9	CMH1	211	21.3
I		34	21.5	76	19.8	79	17.6	<0.0001	189	19.1		
II		6	3.8	18	4.7	13	2.9		37	3.7		
II a		11	7.0	34	8.9	46	10.3		91	9.2		
II b		7	4.4	43	11.2	47	10.5		97	9.8		
III a		7	4.4	33	8.6	74	16.5		114	11.5		
III b		7	4.4	11	2.9	52	11.6		70	7.1		
IV		18	11.4	30	7.8	47	10.5		95	9.6		
M		8	5.1	17	4.4	14	3.1		39	3.9		
欠測		9	5.7	20	5.2	18	4.0		47	4.7		
計		158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
認知症高齢者の日常生活自立度		正常	51	32.3	102	26.6	58		12.9	CMH1	211	21.3
		I	34	21.5	76	19.8	79		17.6	<0.0001	189	19.1
	II、II a、II b	24	15.2	95	24.7	106	23.7	225	22.7			
	III a、III b	14	8.9	44	11.5	126	28.1	184	18.6			
	IV	18	11.4	30	7.8	47	10.5	95	9.6			
	M	8	5.1	17	4.4	14	3.1	39	3.9			
	欠測	9	5.7	20	5.2	18	4.0	47	4.7			
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990		100.0	
	要支援・要介護度	自立	3	1.9	8	2.1	1	0.2	CMH1		12	1.2
		要支援1	4	2.5	6	1.6	14	3.1	0.06		24	2.4
要支援2		8	5.1	18	4.7	22	4.9	48		4.8		
要介護1		9	5.7	42	10.9	51	11.4	102		10.3		
要介護2		14	8.9	80	20.8	76	17.0	170		17.2		
要介護3		22	13.9	52	13.5	68	15.2	142		14.3		
要介護4		26	16.5	57	14.8	77	17.2	160		16.2		
要介護5		68	43.0	105	27.3	127	28.3	300		30.3		
欠測		4	2.5	16	4.2	12	2.7	32		3.2		
計		158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
要支援・要介護度	自立、要支援1、2	15	9.5	32	8.3	37	8.3	CMH1	84	8.5		
	要介護1	9	5.7	42	10.9	51	11.4	0.0285	102	10.3		
	要介護2	14	8.9	80	20.8	76	17.0		170	17.2		
	要介護3	22	13.9	52	13.5	68	15.2		142	14.3		
	要介護4	26	16.5	57	14.8	77	17.2		160	16.2		
	要介護5	68	43.0	105	27.3	127	28.3		300	30.3		
	欠測	4	2.5	16	4.2	12	2.7		32	3.2		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
世帯状況_独り暮らし	なし	133	84.2	318	82.8	369	82.4	CMH1	820	82.8		
	あり	25	15.8	60	15.6	75	16.7	0.69	160	16.2		
	欠測			6	1.6	4	0.9		10	1.0		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
世帯状況_配偶者	なし	47	29.7	158	41.1	312	69.6	CMH1	517	52.2		
	あり	111	70.3	220	57.3	132	29.5	<0.0001	463	46.8		
	欠測			6	1.6	4	0.9		10	1.0		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
世帯状況_子供	なし	104	65.8	232	60.4	182	40.6	CMH1	518	52.3		
	あり	54	34.2	146	38.0	262	58.5	<0.0001	462	46.7		
	欠測			6	1.6	4	0.9		10	1.0		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
世帯状況_子供の配偶者	なし	142	89.9	309	80.5	324	72.3	CMH1	775	78.3		
	あり	16	10.1	69	18.0	120	26.8	<0.0001	205	20.7		
	欠測			6	1.6	4	0.9		10	1.0		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
世帯状況_親	なし	156	98.7	375	97.7	444	99.1	CMH1	975	98.5		
	あり	2	1.3	3	0.8			0.0331	5	0.5		
	欠測			6	1.6	4	0.9		10	1.0		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	
世帯状況_その他	なし	145	91.8	328	85.4	382	85.3	CMH1	855	86.4		
	あり	13	8.2	50	13.0	62	13.8	0.10	125	12.6		
	欠測			6	1.6	4	0.9		10	1.0		
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0			990	100.0	

表 6-2 : IV. 療養・生活状況(3) 対象:男

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値			
	例数	%	例数	%	例数	%				
障害高齢者の日常生活自立度	自立	1	1.3	5	3.0	3	2.2	CMH1 0.0141		
	J1	1	1.3	6	3.6	1	0.7			
	J2	1	1.3	16	9.5	5	3.7			
	A1	7	8.8	16	9.5	23	16.9			
	A2	13	16.3	25	14.9	30	22.1			
	B1	11	13.8	21	12.5	21	15.4			
	B2	13	16.3	30	17.9	20	14.7			
	C1	7	8.8	18	10.7	12	8.8			
	C2	21	26.3	23	13.7	16	11.8			
	欠測	5	6.3	8	4.8	5	3.7			
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
障害高齢者の日常生活自立度	自立,J1,J2	3	3.8	27	16.1	9	6.6	CMH1 0.0085		
	A1	7	8.8	16	9.5	23	16.9			
	A2	13	16.3	25	14.9	30	22.1			
	B1	11	13.8	21	12.5	21	15.4			
	B2	13	16.3	30	17.9	20	14.7			
	C1	7	8.8	18	10.7	12	8.8			
	C2	21	26.3	23	13.7	16	11.8			
	欠測	5	6.3	8	4.8	5	3.7			
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
	認知症高齢者の日常生活自立度	正常	22	27.5	50	29.8	21		15.4	CMH1 0.0203
		I	15	18.8	29	17.3	32		23.5	
II		5	6.3	5	3.0	3	2.2			
II a		9	11.3	15	8.9	13	9.6			
II b		6	7.5	22	13.1	11	8.1			
III a		3	3.8	17	10.1	22	16.2			
III b		3	3.8	4	2.4	17	12.5			
IV		7	8.8	11	6.5	8	5.9			
M		3	3.8	6	3.6	5	3.7			
欠測		7	8.8	9	5.4	4	2.9			
計		80	100.0	168	100.0	136	100.0			
認知症高齢者の日常生活自立度	正常	22	27.5	50	29.8	21	15.4	CMH1 0.0302		
	I	15	18.8	29	17.3	32	23.5			
	II, II a, II b	20	25.0	42	25.0	27	19.9			
	III a, III b	6	7.5	21	12.5	39	28.7			
	IV	7	8.8	11	6.5	8	5.9			
	M	3	3.8	6	3.6	5	3.7			
	欠測	7	8.8	9	5.4	4	2.9			
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
要支援・要介護度	自立	1	1.3	3	1.8			CMH1 0.0004		
	要支援1	1	1.3	2	1.2	4	2.9			
	要支援2	3	3.8	8	4.8	7	5.1			
	要介護1	4	5.0	21	12.5	19	14.0			
	要介護2	10	12.5	24	14.3	25	18.4			
	要介護3	8	10.0	22	13.1	26	19.1			
	要介護4	10	12.5	34	20.2	20	14.7			
	要介護5	42	52.5	47	28.0	28	20.6			
	欠測	1	1.3	7	4.2	7	5.1			
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
	要支援・要介護度	自立,要支援1,2	5	6.3	13	7.7	11		8.1	CMH1 0.0001
要介護1		4	5.0	21	12.5	19	14.0			
要介護2		10	12.5	24	14.3	25	18.4			
要介護3		8	10.0	22	13.1	26	19.1			
要介護4		10	12.5	34	20.2	20	14.7			
要介護5		42	52.5	47	28.0	28	20.6			
欠測		1	1.3	7	4.2	7	5.1			
計	80	100.0	168	100.0	136	100.0				
世帯状況_独り暮らし	なし	69	86.3	151	89.9	117	86.0	CMH1 0.79		
	あり	11	13.8	16	9.5	19	14.0			
	欠測			1	0.6					
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
世帯状況_配偶者	なし	17	21.3	30	17.9	53	39.0	CMH1 0.0007		
	あり	63	78.8	137	81.5	83	61.0			
	欠測			1	0.6					
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
世帯状況_子供	なし	53	66.3	113	67.3	79	58.1	CMH1 0.16		
	あり	27	33.8	54	32.1	57	41.9			
	欠測			1	0.6					
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
世帯状況_子供の配偶者	なし	76	95.0	147	87.5	107	78.7	CMH1 0.0005		
	あり	4	5.0	20	11.9	29	21.3			
	欠測			1	0.6					
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
世帯状況_親	なし	79	98.8	164	97.6	136	100.0	CMH1 0.28		
	あり	1	1.3	3	1.8					
	欠測			1	0.6					
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0			
世帯状況_その他	なし	73	91.3	148	88.1	123	90.4	CMH1 0.95		
	あり	7	8.8	19	11.3	13	9.6			
	欠測			1	0.6					

表 6-3 : IV. 療養・生活状況(3) 対象:女

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
障害高齢者の日常生活自立度	自立	3	3.8	11	5.1	5	1.6	CMH1	19	3.1
	J1	2	2.6	8	3.7	6	1.9	0.40	16	2.6
	J2	2	2.6	15	6.9	19	6.1		36	5.9
	A1	10	12.8	27	12.5	33	10.6		70	11.6
	A2	13	16.7	40	18.5	63	20.2		116	19.1
	B1	15	19.2	35	16.2	50	16.0		100	16.5
	B2	8	10.3	18	8.3	37	11.9		63	10.4
	C1	4	5.1	18	8.3	32	10.3		54	8.9
	C2	19	24.4	34	15.7	55	17.6		108	17.8
	欠測	2	2.6	10	4.6	12	3.8		24	4.0
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
障害高齢者の日常生活自立度	自立,J1,J2	7	9.0	34	15.7	30	9.6	CMH1	71	11.7
	A1	10	12.8	27	12.5	33	10.6	0.59	70	11.6
	A2	13	16.7	40	18.5	63	20.2		116	19.1
	B1	15	19.2	35	16.2	50	16.0		100	16.5
	B2	8	10.3	18	8.3	37	11.9		63	10.4
	C1	4	5.1	18	8.3	32	10.3		54	8.9
	C2	19	24.4	34	15.7	55	17.6		108	17.8
	欠測	2	2.6	10	4.6	12	3.8		24	4.0
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
認知症高齢者の日常生活自立度	正常	29	37.2	52	24.1	37	11.9	CMH1	118	19.5
	I	19	24.4	47	21.8	47	15.1	<0.0001	113	18.6
	II	1	1.3	13	6.0	10	3.2		24	4.0
	II a	2	2.6	19	8.8	33	10.6		54	8.9
	II b	1	1.3	21	9.7	36	11.5		58	9.6
	III a	4	5.1	16	7.4	52	16.7		72	11.9
	III b	4	5.1	7	3.2	35	11.2		46	7.6
	IV	11	14.1	19	8.8	39	12.5		69	11.4
	M	5	6.4	11	5.1	9	2.9		25	4.1
	欠測	2	2.6	11	5.1	14	4.5		27	4.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
認知症高齢者の日常生活自立度	正常	29	37.2	52	24.1	37	11.9	CMH1	118	19.5
	I	19	24.4	47	21.8	47	15.1	<0.0001	113	18.6
	II, II a, II b	4	5.1	53	24.5	79	25.3		136	22.4
	III a, III b	8	10.3	23	10.6	87	27.9		118	19.5
	IV	11	14.1	19	8.8	39	12.5		69	11.4
	M	5	6.4	11	5.1	9	2.9		25	4.1
	欠測	2	2.6	11	5.1	14	4.5		27	4.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0	606	100.0	
要支援・要介護度	自立	2	2.6	5	2.3	1	0.3	CMH1	8	1.3
	要支援1	3	3.8	4	1.9	10	3.2	0.55	17	2.8
	要支援2	5	6.4	10	4.6	15	4.8		30	5.0
	要介護1	5	6.4	21	9.7	32	10.3		58	9.6
	要介護2	4	5.1	56	25.9	51	16.3		111	18.3
	要介護3	14	17.9	30	13.9	42	13.5		86	14.2
	要介護4	16	20.5	23	10.6	57	18.3		96	15.8
	要介護5	26	33.3	58	26.9	99	31.7		183	30.2
	欠測	3	3.8	9	4.2	5	1.6		17	2.8
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
要支援・要介護度	自立,要支援1,2	10	12.8	19	8.8	26	8.3		CMH1	55
	要介護1	5	6.4	21	9.7	32	10.3	0.72	58	9.6
	要介護2	4	5.1	56	25.9	51	16.3		111	18.3
	要介護3	14	17.9	30	13.9	42	13.5		86	14.2
	要介護4	16	20.5	23	10.6	57	18.3		96	15.8
	要介護5	26	33.3	58	26.9	99	31.7		183	30.2
	欠測	3	3.8	9	4.2	5	1.6		17	2.8
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0	606	100.0	
世帯状況_独り暮らし	なし	64	82.1	167	77.3	252	80.8	CMH1	483	79.7
	あり	14	17.9	44	20.4	56	17.9	0.78	114	18.8
	欠測			5	2.3	4	1.3		9	1.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
世帯状況_配偶者	なし	30	38.5	128	59.3	259	83.0	CMH1	417	68.8
	あり	48	61.5	83	38.4	49	15.7	<0.0001	180	29.7
	欠測			5	2.3	4	1.3		9	1.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
世帯状況_子供	なし	51	65.4	119	55.1	103	33.0	CMH1	273	45.0
	あり	27	34.6	92	42.6	205	65.7	<0.0001	324	53.5
	欠測			5	2.3	4	1.3		9	1.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
世帯状況_子供の配偶者	なし	66	84.6	162	75.0	217	69.6	CMH1	445	73.4
	あり	12	15.4	49	22.7	91	29.2	0.0066	152	25.1
	欠測			5	2.3	4	1.3		9	1.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
世帯状況_親	なし	77	98.7	211	97.7	308	98.7	CMH1	596	98.3
	あり	1	1.3					0.0497	1	0.2
	欠測			5	2.3	4	1.3		9	1.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
世帯状況_その他	なし	72	92.3	180	83.3	259	83.0	CMH1	511	84.3
	あり	6	7.7	31	14.4	49	15.7	0.10	86	14.2
	欠測			5	2.3	4	1.3		9	1.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

表 7-1 : IV. 療養・生活状況(4) 対象:全体

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
経済状況	50万円未満	6	3.8	14	3.6	13	2.9	CMH1	33	3.3
	50-100万円未満	6	3.8	15	3.9	19	4.2	0.79	40	4.0
	100-150万円未満	9	5.7	23	6.0	26	5.8		58	5.9
	150-200万円未満	8	5.1	22	5.7	33	7.4		63	6.4
	200-250万円未満	10	6.3	21	5.5	38	8.5		69	7.0
	250-300万円未満	9	5.7	28	7.3	37	8.3		74	7.5
	300-350万円未満	3	1.9	12	3.1	22	4.9		37	3.7
	350-400万円未満	16	10.1	26	6.8	17	3.8		59	6.0
	400万円以上	20	12.7	59	15.4	83	18.5		162	16.4
	わからない	61	38.6	142	37.0	132	29.5		335	33.8
	欠測	10	6.3	22	5.7	28	6.3		60	6.1
計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0	
本人の婚姻状況	既婚	114	72.2	246	64.1	167	37.3	CMH3	527	53.2
	未婚	12	7.6	9	2.3	8	1.8	<0.0001	29	2.9
	死別・離婚	31	19.6	127	33.1	272	60.7		430	43.4
	欠測	1	0.6	2	0.5	1	0.2		4	0.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
医療扶助の給付	あり	61	38.6	89	23.2	43	9.6	CMH3	193	19.5
	なし	85	53.8	264	68.8	372	83.0	<0.0001	721	72.8
	わからない	6	3.8	19	4.9	13	2.9		38	3.8
	欠測	6	3.8	12	3.1	20	4.5		38	3.8
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
医療費自己負担免除	あり			3	3.4			CMH3	3	1.6
	なし	54	88.5	75	84.3	38	88.4	0.43	167	86.5
	わからない	1	1.6	1	1.1	1	2.3		3	1.6
	欠測	6	9.8	10	11.2	4	9.3		20	10.4
	計	61	100.0	89	100.0	43	100.0		193	100.0
主たる介護者_続柄	配偶者	103	65.2	198	51.6	79	17.6	CMH3	380	38.4
	子ども	21	13.3	101	26.3	244	54.5	<0.0001	366	37.0
	子どもの配偶者	3	1.9	34	8.9	64	14.3		101	10.2
	欠測	6	3.8	9	2.3	7	1.6		22	2.2
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
主たる介護者_性別	男	51	32.3	105	27.3	103	23.0	CMH3	259	26.2
	女	91	57.6	249	64.8	321	71.7	0.0208	661	66.8
	欠測	16	10.1	30	7.8	24	5.4		70	7.1
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
主たる介護者_年齢	20歳未満			1	0.3			CMH3	1	0.1
	20歳代			1	0.3	1	0.2	<0.0001	2	0.2
	30歳代	2	1.3	4	1.0	4	0.9		10	1.0
	40歳代	23	14.6	50	13.0	25	5.6		98	9.9
	50歳代	6	3.8	73	19.0	89	19.9		168	17.0
	60歳代	53	33.5	34	8.9	170	37.9		257	26.0
	70歳代	52	32.9	103	26.8	47	10.5		202	20.4
	80歳以上	4	2.5	83	21.6	69	15.4		156	15.8
	欠測	18	11.4	35	9.1	43	9.6		96	9.7
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表7-2 : IV. 療養・生活状況(4) 対象:男

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
経済状況	50万円未満	4	5.0	2	1.2	3	2.2	CMH1 0.16	9	2.3
	50-100万円未満	2	2.5	5	3.0	3	2.2		10	2.6
	100-150万円未満	3	3.8	8	4.8	7	5.1		18	4.7
	150-200万円未満	5	6.3	10	6.0	9	6.6		24	6.3
	200-250万円未満	7	8.8	9	5.4	8	5.9		24	6.3
	250-300万円未満	5	6.3	16	9.5	16	11.8		37	9.6
	300-350万円未満	2	2.5	9	5.4	10	7.4		21	5.5
	350-400万円未満	6	7.5	12	7.1	8	5.9		26	6.8
	400万円以上	6	7.5	28	16.7	23	16.9		57	14.8
	わからない	35	43.8	63	37.5	38	27.9		136	35.4
	欠測	5	6.3	6	3.6	11	8.1		22	5.7
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
本人の婚姻状況	既婚	64	80.0	144	85.7	100	73.5	CMH3 <0.0001	308	80.2
	未婚	7	8.8	1	0.6	1	0.7		9	2.3
	死別・離婚	9	11.3	22	13.1	35	25.7		66	17.2
	欠測			1	0.6				1	0.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
医療扶助の給付	あり	35	43.8	36	21.4	17	12.5	CMH3 <0.0001	88	22.9
	なし	40	50.0	115	68.5	107	78.7		262	68.2
	わからない	2	2.5	10	6.0	4	2.9		16	4.2
	欠測	3	3.8	7	4.2	8	5.9		18	4.7
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
医療費自己負担免除	あり			2	5.6			CMH3 0.33	2	2.3
	なし	30	85.7	30	83.3	15	88.2		75	85.2
	わからない	1	2.9			1	5.9		2	2.3
	欠測	4	11.4	4	11.1	1	5.9		9	10.2
	計	35	100.0	36	100.0	17	100.0		88	100.0
主たる介護者_続柄	配偶者	60	75.0	127	75.6	58	42.6	CMH3 <0.0001	245	63.8
	子ども	5	6.3	19	11.3	51	37.5		75	19.5
	子どもの配偶者	1	1.3	8	4.8	12	8.8		21	5.5
	欠測	2	2.5	3	1.8	1	0.7		6	1.6
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
主たる介護者_性別	男	4	5.0	7	4.2	17	12.5	CMH3 0.0182	28	7.3
	女	69	86.3	150	89.3	113	83.1		332	86.5
	欠測	7	8.8	11	6.5	6	4.4		24	6.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
主たる介護者_年齢	30歳代			1	0.6	2	1.5	CMH3 <.0001	3	0.8
	40歳代	7	8.8	17	10.1	9	6.6		33	8.6
	50歳代	3	3.8	10	6.0	29	21.3		42	10.9
	60歳代	41	51.3	10	6.0	28	20.6		79	20.6
	70歳代	19	23.8	85	50.6	12	8.8		116	30.2
	80歳以上			31	18.5	46	33.8		77	20.1
	欠測	10	12.5	14	8.3	10	7.4		34	8.9
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表 7-3 : IV. 療養・生活状況(4) 対象:女

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
経済状況	50万円未満	2	2.6	12	5.6	10	3.2	CMH1	24	4.0
	50-100万円未満	4	5.1	10	4.6	16	5.1	0.72	30	5.0
	100-150万円未満	6	7.7	15	6.9	19	6.1		40	6.6
	150-200万円未満	3	3.8	12	5.6	24	7.7		39	6.4
	200-250万円未満	3	3.8	12	5.6	30	9.6		45	7.4
	250-300万円未満	4	5.1	12	5.6	21	6.7		37	6.1
	300-350万円未満	1	1.3	3	1.4	12	3.8		16	2.6
	350-400万円未満	10	12.8	14	6.5	9	2.9		33	5.4
	400万円以上	14	17.9	31	14.4	60	19.2		105	17.3
	わからない	26	33.3	79	36.6	94	30.1		199	32.8
	欠測	5	6.4	16	7.4	17	5.4		38	6.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
本人の婚姻状況	既婚	50	64.1	102	47.2	67	21.5	CMH3	219	36.1
	未婚	5	6.4	8	3.7	7	2.2	<0.0001	20	3.3
	死別・離婚	22	28.2	105	48.6	237	76.0		364	60.1
	欠測	1	1.3	1	0.5	1	0.3		3	0.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
医療扶助の給付	あり	26	33.3	53	24.5	26	8.3	CMH3	105	17.3
	なし	45	57.7	149	69.0	265	84.9	<0.0001	459	75.7
	わからない	4	5.1	9	4.2	9	2.9		22	3.6
	欠測	3	3.8	5	2.3	12	3.8		20	3.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
医療費自己負担免除	あり	.	.	1	1.9	.	.	CMH3	1	1.0
	なし	24	92.3	45	84.9	23	88.5	0.73	92	87.6
	わからない	.	.	1	1.9	.	.		1	1.0
	欠測	2	7.7	6	11.3	3	11.5		11	10.5
	計	26	100.0	53	100.0	26	100.0		105	100.0
主たる介護者_続柄	配偶者	43	55.1	71	32.9	21	6.7	CMH3	135	22.3
	子ども	16	20.5	82	38.0	193	61.9	<0.0001	291	48.0
	子どもの配偶者	2	2.6	26	12.0	52	16.7		80	13.2
	欠測	4	5.1	6	2.8	6	1.9		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
主たる介護者_性別	男	47	60.3	98	45.4	86	27.6	CMH3	231	38.1
	女	22	28.2	99	45.8	208	66.7	<0.0001	329	54.3
	欠測	9	11.5	19	8.8	18	5.8		46	7.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
主たる介護者_年齢	20歳未満	.	.	1	0.5	.	.	CMH3	1	0.2
	20歳代	.	.	1	0.5	1	0.3	<0.0001	2	0.3
	30歳代	2	2.6	3	1.4	2	0.6		7	1.2
	40歳代	16	20.5	33	15.3	16	5.1		65	10.7
	50歳代	3	3.8	63	29.2	60	19.2		126	20.8
	60歳代	12	15.4	24	11.1	142	45.5		178	29.4
	70歳代	33	42.3	18	8.3	35	11.2		86	14.2
	80歳以上	4	5.1	52	24.1	23	7.4		79	13.0
	欠測	8	10.3	21	9.7	33	10.6		62	10.2
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

表 8-1 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(1) 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
誤嚥性肺炎既往	有	19	12.0	42	10.9	48	10.7	CMH1 0.67	109	11.0
	無	138	87.3	342	89.1	399	89.1		879	88.8
	欠測	1	0.6			1	0.2		2	0.2
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
じょくそう既往	有	32	20.3	55	14.3	66	14.7	CMH1 0.21	153	15.5
	無	126	79.7	328	85.4	378	84.4		832	84.0
	欠測			1	0.3	4	0.9		5	0.5
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
昼食時の覚醒状況	覚醒している	128	81.0	321	83.6	365	81.5	CMH1 0.32	814	82.2
	やや覚醒	18	11.4	38	9.9	39	8.7		95	9.6
	わずかに覚醒	4	2.5	8	2.1	17	3.8		29	2.9
	覚醒していない	3	1.9	7	1.8	14	3.1		24	2.4
	わからない	3	1.9	9	2.3	9	2.0		21	2.1
	欠測	2	1.3	1	0.3	4	0.9		7	0.7
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
意思の伝達	できる	114	72.2	303	78.9	332	74.1	CMH1 0.94	749	75.7
	時々できる	23	14.6	42	10.9	59	13.2		124	12.5
	ほとんどできない	8	5.1	22	5.7	33	7.4		63	6.4
	できない	12	7.6	15	3.9	23	5.1		50	5.1
	欠測	1	0.6	2	0.5	1	0.2		4	0.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
強制排便の有無	有	97	61.4	218	56.8	222	49.6	CMH1 0.003	537	54.2
	無	59	37.3	156	40.6	217	48.4		432	43.6
	欠測	2	1.3	10	2.6	8	1.8		20	2.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表 8-2 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(1) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
誤嚥性肺炎既往	有	13	16.3	26	15.5	25	18.4	CMH1 0.62	64	16.7
	無	67	83.8	142	84.5	111	81.6		320	83.3
	欠測									
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
じょくそう既往	有	22	27.5	27	16.1	18	13.2	CMH1 0.0119	67	17.4
	無	58	72.5	140	83.3	118	86.8		316	82.3
	欠測			1	0.6				1	0.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
昼食時の覚醒状況	覚醒している	64	80.0	142	84.5	118	86.8	CMH1 0.65	324	84.4
	やや覚醒	9	11.3	17	10.1	9	6.6		35	9.1
	わずかに覚醒	4	5.0	3	1.8	3	2.2		10	2.6
	覚醒していない			2	1.2	3	2.2		5	1.3
	わからない	2	2.5	3	1.8	2	1.5		7	1.8
	欠測	1	1.3	1	0.6	1	0.7		3	0.8
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
意思の伝達	できる	58	72.5	135	80.4	113	83.1	CMH1 0.09	306	79.7
	時々できる	14	17.5	17	10.1	15	11.0		46	12.0
	ほとんどできない	3	3.8	10	6.0	4	2.9		17	4.4
	できない	5	6.3	6	3.6	4	2.9		15	3.9
	欠測									
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
強制排便の有無	有	47	58.8	96	57.1	63	46.3	CMH1 0.0357	206	53.6
	無	31	38.8	70	41.7	72	52.9		173	45.1
	欠測	2	2.5	2	1.2	1	0.7		5	1.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表 8-3 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(1) 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
誤嚥性肺炎既往	有	6	7.7	16	7.4	23	7.4	CMH1 0.92	45	7.4
	無	71	91.0	200	92.6	288	92.3		559	92.2
	欠測	1	1.3			1	0.3		2	0.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
じょくそう既往	有	10	12.8	28	13.0	48	15.4	CMH1 0.40	86	14.2
	無	68	87.2	188	87.0	260	83.3		516	85.1
	欠測					4	1.3		4	0.7
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
昼食時の覚醒状況	覚醒している	64	82.1	179	82.9	247	79.2	CMH1 0.24	490	80.9
	やや覚醒	9	11.5	21	9.7	30	9.6		60	9.9
	わずかに覚醒			5	2.3	14	4.5		19	3.1
	覚醒していない	3	3.8	5	2.3	11	3.5		19	3.1
	わからない	1	1.3	6	2.8	7	2.2		14	2.3
	欠測	1	1.3			3	1.0		4	0.7
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
意思の伝達	できる	56	71.8	168	77.8	219	70.2	CMH1 0.42	443	73.1
	時々できる	9	11.5	25	11.6	44	14.1		78	12.9
	ほとんどできない	5	6.4	12	5.6	29	9.3		46	7.6
	できない	7	9.0	9	4.2	19	6.1		35	5.8
	欠測	1	1.3	2	0.9	1	0.3		4	0.7
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
強制排便の有無	有	50	64.1	122	56.5	159	51.0	CMH1 0.026	331	54.6
	無	28	35.9	86	39.8	145	46.5		259	42.7
	欠測			8	3.7	7	2.2		15	2.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

表 9-1 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(2) 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
残存歯数	20本以上	71	44.9	95	24.7	47	10.5	CMH1 <0.0001	213	21.5
	10-19本	33	20.9	76	19.8	69	15.4		178	18.0
	1-9本	29	18.4	109	28.4	134	29.9		272	27.5
	0本	19	12.0	87	22.7	183	40.8		289	29.2
	欠測	6	3.8	17	4.4	15	3.3		38	3.8
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
入れ歯の有無	有	69	43.7	221	57.6	305	68.1	CMH3 <0.0001	595	60.1
	無	82	51.9	150	39.1	136	30.4		368	37.2
	不明	1	0.6	4	1.0	1	0.2		6	0.6
	欠測	6	3.8	9	2.3	6	1.3		21	2.1
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
口を閉じることができる	できる	152	96.2	372	96.9	429	95.8	CMH3 0.51	953	96.3
	できない	4	2.5	6	1.6	10	2.2		20	2.0
	わからない			1	0.3	4	0.9		5	0.5
	欠測	2	1.3	5	1.3	5	1.1		12	1.2
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
口腔清掃の有無	有	144	91.1	340	88.5	405	90.4	CMH3 0.50	889	89.8
	無	9	5.7	24	6.3	25	5.6		58	5.9
	不明			7	1.8	9	2.0		16	1.6
	欠測	5	3.2	13	3.4	9	2.0		27	2.7
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
固い食品	はい	92	58.2	221	57.6	223	49.8	CMH1 0.0106	536	54.1
	いいえ	60	38.0	152	39.6	216	48.2		428	43.2
	欠測	6	3.8	11	2.9	9	2.0		26	2.6
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
食品の噛み方	左右両側の歯	54	58.7	132	59.7	119	53.4	CMH3 0.37	305	56.9
	左右どちらかの歯	15	16.3	23	10.4	26	11.7		64	11.9
	不明	1	1.1	8	3.6	10	4.5		19	3.5
	欠測	22	23.9	58	26.2	68	30.5		148	27.6
	計	92	100.0	221	100.0	223	100.0		536	100.0

表9-2 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(2) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
残存歯数	20本以上	34	42.5	41	24.4	21	15.4	CMH1 <0.0001	96	25.0
	10-19本	18	22.5	31	18.5	26	19.1		75	19.5
	1-9本	15	18.8	49	29.2	43	31.6		107	27.9
	0本	10	12.5	40	23.8	45	33.1		95	24.7
	欠測	3	3.8	7	4.2	1	0.7		11	2.9
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
入れ歯の有無	有	38	47.5	103	61.3	96	70.6	CMH3 0.0359	237	61.7
	無	37	46.3	60	35.7	39	28.7		136	35.4
	不明	1	1.3	1	0.6				2	0.5
	欠測	4	5.0	4	2.4	1	0.7		9	2.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
口を閉じることができる	できる	77	96.3	163	97.0	132	97.1	CMH3 0.70	372	96.9
	できない	2	2.5	4	2.4	2	1.5		8	2.1
	わからない					1	0.7		1	0.3
	欠測	1	1.3	1	0.6	1	0.7		3	0.8
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
口腔清掃の有無	有	74	92.5	144	85.7	119	87.5	CMH3 0.55	337	87.8
	無	4	5.0	15	8.9	10	7.4		29	7.6
	不明			3	1.8	3	2.2		6	1.6
	欠測	2	2.5	6	3.6	4	2.9		12	3.1
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
固い食品	はい	44	55.0	96	57.1	71	52.2	CMH1 0.37	211	54.9
	いいえ	31	38.8	69	41.1	63	46.3		163	42.4
	欠測	5	6.3	3	1.8	2	1.5		10	2.6
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
食品の噛み方	左右両側の歯	23	52.3	52	54.2	41	57.7	CMH3 0.29	116	55.0
	左右どちらかの歯	9	20.5	16	16.7	5	7.0		30	14.2
	不明	1	2.3	4	4.2	4	5.6		9	4.3
	欠測	11	25.0	24	25.0	21	29.6		56	26.5
	計	44	100.0	96	100.0	71	100.0		211	100.0

表9-3 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(2) 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
残存歯数	20本以上	37	47.4	54	25.0	26	8.3	CMH1 <0.0001	117	19.3
	10-19本	15	19.2	45	20.8	43	13.8		103	17.0
	1-9本	14	17.9	60	27.8	91	29.2		165	27.2
	0本	9	11.5	47	21.8	138	44.2		194	32.0
	欠測	3	3.8	10	4.6	14	4.5		27	4.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
入れ歯の有無	有	31	39.7	118	54.6	209	67.0	CMH3 0.0001	358	59.1
	無	45	57.7	90	41.7	97	31.1		232	38.3
	不明			3	1.4	1	0.3		4	0.7
	欠測	2	2.6	5	2.3	5	1.6		12	2.0
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
口を閉じることができる	できる	75	96.2	209	96.8	297	95.2	CMH3 0.56	581	95.9
	できない	2	2.6	2	0.9	8	2.6		12	2.0
	わからない			1	0.5	3	1.0		4	0.7
	欠測	1	1.3	4	1.9	4	1.3		9	1.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
口腔清掃の有無	有	70	89.7	196	90.7	286	91.7	CMH3 0.72	552	91.1
	無	5	6.4	9	4.2	15	4.8		29	4.8
	不明			4	1.9	6	1.9		10	1.7
	欠測	3	3.8	7	3.2	5	1.6		15	2.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
固い食品	はい	48	61.5	125	57.9	152	48.7	CMH1 0.0114	325	53.6
	いいえ	29	37.2	83	38.4	153	49.0		265	43.7
	欠測	1	1.3	8	3.7	7	2.2		16	2.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
食品の噛み方	左右両側の歯	31	64.6	80	64.0	78	51.3	CMH3 0.08	189	58.2
	左右どちらかの歯	6	12.5	7	5.6	21	13.8		34	10.5
	不明			4	3.2	6	3.9		10	3.1
	欠測	11	22.9	34	27.2	47	30.9		92	28.3
	計	48	100.0	125	100.0	152	100.0		325	100.0

表 1 O-1 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(3) 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
噛める程度	どんなものでも	50	31.6	108	28.1	100	22.3	CMH1 0.0346	258	26.1
	たいていのものは	49	31.0	156	40.6	172	38.4		377	38.1
	食べ物が限られる	24	15.2	62	16.1	102	22.8		188	19.0
	ほとんど噛めない	4	2.5	16	4.2	24	5.4		44	4.4
	全く噛めず	14	8.9	18	4.7	29	6.5		61	6.2
	欠測	17	10.8	24	6.3	21	4.7		62	6.3
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
DSS	唾液誤嚥	6	3.8	13	3.4	7	1.6	CMH1 0.30	26	2.6
	食物誤嚥	9	5.7	11	2.9	17	3.8		37	3.7
	水分誤嚥	4	2.5	24	6.3	19	4.2		47	4.7
	機会誤嚥	9	5.7	23	6.0	33	7.4		65	6.6
	口腔問題	17	10.8	28	7.3	31	6.9		76	7.7
	軽度問題	23	14.6	63	16.4	105	23.4		191	19.3
	正常範囲	75	47.5	202	52.6	216	48.2		493	49.8
	欠測	15	9.5	20	5.2	20	4.5		55	5.6
計	158	100.0	384	100.0	448	100.0	990	100.0		
DSS(2区分)	嚥下機能 1-4誤嚥あり	28	17.7	71	18.5	76	17.0	CMH1 0.53	175	17.7
	嚥下機能 5-7誤嚥なし	115	72.8	293	76.3	352	78.6		760	76.8
	欠測	15	9.5	20	5.2	20	4.5		55	5.6
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表 1 O-2 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(3) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
噛める程度	どんなものでも	29	36.3	43	25.6	36	26.5	CMH1 0.36	108	28.1
	たいていのものは	20	25.0	74	44.0	52	38.2		146	38.0
	食べ物が限られる	12	15.0	24	14.3	29	21.3		65	16.9
	ほとんど噛めない	2	2.5	8	4.8	8	5.9		18	4.7
	全く噛めず	5	6.3	5	3.0	4	2.9		14	3.6
	欠測	12	15.0	14	8.3	7	5.1		33	8.6
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
DSS	唾液誤嚥	4	5.0	7	4.2	2	1.5	CMH1 0.24	13	3.4
	食物誤嚥	4	5.0	6	3.6	5	3.7		15	3.9
	水分誤嚥	3	3.8	17	10.1	6	4.4		26	6.8
	機会誤嚥	7	8.8	13	7.7	13	9.6		33	8.6
	口腔問題	12	15.0	8	4.8	11	8.1		31	8.1
	軽度問題	10	12.5	25	14.9	34	25.0		69	18.0
	正常範囲	34	42.5	78	46.4	57	41.9		169	44.0
	欠測	6	7.5	14	8.3	8	5.9		28	7.3
計	80	100.0	168	100.0	136	100.0	384	100.0		
DSS(2区分)	嚥下機能 1-4誤嚥あり	18	22.5	43	25.6	26	19.1	CMH1 0.39	87	22.7
	嚥下機能 5-7誤嚥なし	56	70.0	111	66.1	102	75.0		269	70.1
	欠測	6	7.5	14	8.3	8	5.9		28	7.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表 10-3 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(3) 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
嚥める程度	どんなものでも	21	26.9	65	30.1	64	20.5	CMH1 0.13	150	24.8
	たいていのものは	29	37.2	82	38.0	120	38.5		231	38.1
	食べ物が限られる	12	15.4	38	17.6	73	23.4		123	20.3
	ほとんど嚥めない	2	2.6	8	3.7	16	5.1		26	4.3
	全く嚥めず	9	11.5	13	6.0	25	8.0		47	7.8
	欠測	5	6.4	10	4.6	14	4.5		29	4.8
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
DSS	唾液誤嚥	2	2.6	6	2.8	5	1.6	CMH1 0.65	13	2.1
	食物誤嚥	5	6.4	5	2.3	12	3.8		22	3.6
	水分誤嚥	1	1.3	7	3.2	13	4.2		21	3.5
	機会誤嚥	2	2.6	10	4.6	20	6.4		32	5.3
	口腔問題	5	6.4	20	9.3	20	6.4		45	7.4
	軽度問題	13	16.7	38	17.6	71	22.8		122	20.1
	正常範囲	41	52.6	124	57.4	159	51.0		324	53.5
	欠測	9	11.5	6	2.8	12	3.8		27	4.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
DSS(2区分)	嚥下機能 1-4誤嚥あり	10	12.8	28	13.0	50	16.0	CMH1 0.41	88	14.5
	嚥下機能 5-7誤嚥なし	59	75.6	182	84.3	250	80.1		491	81.0
	欠測	9	11.5	6	2.8	12	3.8		27	4.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

表 1 1-1 : VII. 食事、食事環境等について(1) 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
食費	500円未満	29	18.4	53	13.8	47	10.5	CMH1	129	13.0
	500円以上1000円未満	41	25.9	123	32.0	159	35.5	0.11	323	32.6
	1000円以上1500円未満	27	17.1	65	16.9	93	20.8		185	18.7
	1500円以上	11	7.0	16	4.2	25	5.6		52	5.3
	わからない	31	19.6	102	26.6	100	22.3		233	23.5
	欠測	19	12.0	25	6.5	24	5.4		68	6.9
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
経口摂取	はい	129	81.6	333	86.7	407	90.8	CMH1	869	87.8
	いいえ	25	15.8	45	11.7	37	8.3	0.0051	107	10.8
	欠測	4	2.5	6	1.6	4	0.9		14	1.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
経管栄養	はい	31	19.6	56	14.6	39	8.7	CMH1	126	12.7
	いいえ	123	77.8	322	83.9	405	90.4	0.0001	850	85.9
	欠測	4	2.5	6	1.6	4	0.9		14	1.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
経管栄養_方法	経口			2	3.6	2	5.1	CMH3	4	3.2
	経鼻	1	3.2	3	5.4	1	2.6	0.72	5	4.0
	胃瘻	29	93.5	48	85.7	36	92.3		113	89.7
	欠測	1	3.2	3	5.4				4	3.2
	計	31	100.0	56	100.0	39	100.0		126	100.0
静脈栄養	はい	1	0.6	2	0.5	2	0.4	CMH1	5	0.5
	いいえ	153	96.8	376	97.9	442	98.7	0.76	971	98.1
	欠測	4	2.5	6	1.6	4	0.9		14	1.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
1日の水分摂取量	コップ3杯未満	24	15.2	65	16.9	69	15.4	CMH1	158	16.0
	3杯以上5杯未満	54	34.2	149	38.8	232	51.8	0.0044	435	43.9
	5杯以上	76	48.1	157	40.9	139	31.0		372	37.6
	欠測	4	2.5	13	3.4	8	1.8		25	2.5
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
食事形態	ゼリー食、ムース食	6	3.8	6	1.6	9	2.0	CMH3	21	2.1
	ペースト、ミキサー食	1	0.6	13	3.4	27	6.0	0.0003	41	4.1
	きざみ食	10	6.3	20	5.2	40	8.9		70	7.1
	軟食	22	13.9	67	17.4	110	24.6		199	20.1
	常食	92	58.2	235	61.2	224	50.0		551	55.7
	欠測	27	17.1	43	11.2	38	8.5		108	10.9
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
1日の食事回数	1回	2	1.6	5	1.5	1	0.2	CMH1	8	0.9
	2回	8	6.2	23	6.9	43	10.6	0.32	74	8.5
	3回	110	85.3	294	88.3	348	85.5		752	86.5
	4回以上	7	5.4	9	2.7	12	2.9		28	3.2
	欠測	2	1.6	2	0.6	3	0.7		7	0.8
	計	129	100.0	333	100.0	407	100.0		869	100.0
栄養補助食品	摂取	27	17.1	64	16.7	109	24.3	CMH1	200	20.2
	なし	107	67.7	278	72.4	302	67.4	0.0291	687	69.4
	欠測	24	15.2	42	10.9	37	8.3		103	10.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表 1 1-2 : VII. 食事、食事環境等について(1) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
食費	500円未満	16	20.0	25	14.9	7	5.1	CMH1 0.0129	48	12.5
	500円以上1000円未満	21	26.3	49	29.2	48	35.3		118	30.7
	1000円以上1500円未満	11	13.8	29	17.3	31	22.8		71	18.5
	1500円以上	5	6.3	7	4.2	8	5.9		20	5.2
	わからない	17	21.3	46	27.4	33	24.3		96	25.0
	欠測	10	12.5	12	7.1	9	6.6		31	8.1
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
経口摂取	はい	65	81.3	141	83.9	124	91.2	CMH1 0.0336	330	85.9
	いいえ	13	16.3	25	14.9	10	7.4		48	12.5
	欠測	2	2.5	2	1.2	2	1.5		6	1.6
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
経管栄養	はい	17	21.3	30	17.9	11	8.1	CMH1 0.0046	58	15.1
	いいえ	61	76.3	136	81.0	123	90.4		320	83.3
	欠測	2	2.5	2	1.2	2	1.5		6	1.6
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
経管栄養_方法	経口					1	9.1	CMH3 0.21	1	1.7
	経鼻			2	6.7				2	3.4
	胃瘻	16	94.1	25	83.3	10	90.9		51	87.9
	欠測	1	5.9	3	10.0				4	6.9
	計	17	100.0	30	100.0	11	100.0		58	100.0
静脈栄養	はい	1	1.3	1	0.6			CMH1 0.21	2	0.5
	いいえ	77	96.3	165	98.2	134	98.5		376	97.9
	欠測	2	2.5	2	1.2	2	1.5		6	1.6
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
1日の水分摂取量	コップ3杯未満	13	16.3	28	16.7	15	11.0	CMH1 0.59	56	14.6
	3杯以上5杯未満	27	33.8	67	39.9	70	51.5		164	42.7
	5杯以上	37	46.3	66	39.3	48	35.3		151	39.3
	欠測	3	3.8	7	4.2	3	2.2		13	3.4
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
食事形態	ゼリー食、ムース食	3	3.8	1	0.6	2	1.5	CMH3 0.0365	6	1.6
	ペースト、ミキサー食	1	1.3	5	3.0	5	3.7		11	2.9
	きざみ食	7	8.8	12	7.1	8	5.9		27	7.0
	軟食	9	11.3	32	19.0	44	32.4		85	22.1
	常食	45	56.3	93	55.4	67	49.3		205	53.4
	欠測	15	18.8	25	14.9	10	7.4		50	13.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
1日の食事回数	1回	2	3.1	4	2.8			CMH1 0.72	6	1.8
	2回	5	7.7	9	6.4	17	13.7		31	9.4
	3回	55	84.6	124	87.9	101	81.5		280	84.8
	4回以上	2	3.1	2	1.4	6	4.8		10	3.0
	欠測	1	1.5	2	1.4				3	0.9
	計	65	100.0	141	100.0	124	100.0		330	100.0
栄養補助食品	摂取	14	17.5	22	13.1	28	20.6	CMH1 0.60	64	16.7
	なし	53	66.3	122	72.6	98	72.1		273	71.1
	欠測	13	16.3	24	14.3	10	7.4		47	12.2
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表 1 1-3 : VII. 食事、食事環境等について(1) 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
食費	500円未満	13	16.7	28	13.0	40	12.8	CMH1 0.89	81	13.4
	500円以上1000円未満	20	25.6	74	34.3	111	35.6		205	33.8
	1000円以上1500円未満	16	20.5	36	16.7	62	19.9		114	18.8
	1500円以上	6	7.7	9	4.2	17	5.4		32	5.3
	わからない	14	17.9	56	25.9	67	21.5		137	22.6
	欠測	9	11.5	13	6.0	15	4.8		37	6.1
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
経口摂取	はい	64	82.1	192	88.9	283	90.7	CMH1 0.11	539	88.9
	いいえ	12	15.4	20	9.3	27	8.7		59	9.7
	欠測	2	2.6	4	1.9	2	0.6		8	1.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
経管栄養	はい	14	17.9	26	12.0	28	9.0	CMH1 0.0207	68	11.2
	いいえ	62	79.5	186	86.1	282	90.4		530	87.5
	欠測	2	2.6	4	1.9	2	0.6		8	1.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
経管栄養_方法	経口			2	7.7	1	3.6	CMH3 0.81	3	4.4
	経鼻	1	7.1	1	3.8	1	3.6		3	4.4
	胃瘻	13	92.9	23	88.5	26	92.9		62	91.2
	欠測									
	計	14	100.0	26	100.0	28	100.0		68	100.0
静脈栄養	はい			1	0.5	2	0.6	CMH1 0.50	3	0.5
	いいえ	76	97.4	211	97.7	308	98.7		595	98.2
	欠測	2	2.6	4	1.9	2	0.6		8	1.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
1日の水分摂取量	コップ3杯未満	11	14.1	37	17.1	54	17.3	CMH1 0.0024	102	16.8
	3杯以上5杯未満	27	34.6	82	38.0	162	51.9		271	44.7
	5杯以上	39	50.0	91	42.1	91	29.2		221	36.5
	欠測	1	1.3	6	2.8	5	1.6		12	2.0
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
食事形態	ゼリー食、ムース食	3	3.8	5	2.3	7	2.2	CMH3 0.0021	15	2.5
	ペースト、ミキサー食			8	3.7	22	7.1		30	5.0
	きざみ食	3	3.8	8	3.7	32	10.3		43	7.1
	軟食	13	16.7	35	16.2	66	21.2		114	18.8
	常食	47	60.3	142	65.7	157	50.3		346	57.1
	欠測	12	15.4	18	8.3	28	9.0		58	9.6
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
1日の食事回数	1回			1	0.5	1	0.4	CMH1 0.0310	2	0.4
	2回	3	4.7	14	7.3	26	9.2		43	8.0
	3回	55	85.9	170	88.5	247	87.3		472	87.6
	4回以上	5	7.8	7	3.6	6	2.1		18	3.3
	欠測	1	1.6			3	1.1		4	0.7
	計	64	100.0	192	100.0	283	100.0		539	100.0
栄養補助食品	摂取	13	16.7	42	19.4	81	26.0	CMH1 0.0452	136	22.4
	なし	54	69.2	156	72.2	204	65.4		414	68.3
	欠測	11	14.1	18	8.3	27	8.7		56	9.2
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

表 1 2-1 : VII. 食事、食事環境等について(2) 対象:全体

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
薬	形状変えずに飲める	111	70.3	303	78.9	371	82.8	CMH1 0.0580	785	79.3
	飲めない	22	13.9	47	12.2	44	9.8		113	11.4
	欠測	25	15.8	34	8.9	33	7.4		92	9.3
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
薬_形状の工夫	工夫すれば飲める	16	72.7	33	70.2	34	77.3	CMH1 0.44	83	73.5
	工夫しても飲めない	5	22.7	12	25.5	7	15.9		24	21.2
	欠測	1	4.5	2	4.3	3	6.8		6	5.3
	計	22	100.0	47	100.0	44	100.0		113	100.0
食欲	ない	7	4.4	30	7.8	30	6.7	CMH1 0.98	67	6.8
	わずかにある	14	8.9	26	6.8	34	7.6		74	7.5
	ややある	29	18.4	63	16.4	87	19.4		179	18.1
	ある	81	51.3	221	57.6	260	58.0		562	56.8
	わからない	7	4.4	8	2.1	10	2.2		25	2.5
	欠測	20	12.7	36	9.4	27	6.0		83	8.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
食事の楽しみ	とても楽しみ	51	32.3	140	36.5	156	34.8	CMH1 0.87	347	35.1
	やや楽しみ	46	29.1	118	30.7	153	34.2		317	32.0
	あまり楽しみでない	26	16.5	60	15.6	71	15.8		157	15.9
	まったく楽しみでない	14	8.9	29	7.6	38	8.5		81	8.2
	欠測	21	13.3	37	9.6	30	6.7		88	8.9
計	158	100.0	384	100.0	448	100.0	990	100.0		
喫煙	吸う	8	5.1	13	3.4	8	1.8	CMH1 0.0001	29	2.9
	やめた	53	33.5	127	33.1	107	23.9		287	29.0
	吸わない	97	61.4	243	63.3	333	74.3		673	68.0
	欠測			1	0.3				1	0.1
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
飲酒	飲む	20	12.7	42	10.9	42	9.4	CMH1 0.0001	104	10.5
	やめた	51	32.3	103	26.8	76	17.0		230	23.2
	飲まない	86	54.4	239	62.2	330	73.7		655	66.2
	欠測	1	0.6						1	0.1
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
皮膚のかさつき	ない	60	38.0	124	32.3	101	22.5	CMH1 0.0002	285	28.8
	わずかにある	44	27.8	110	28.6	136	30.4		290	29.3
	ややある	28	17.7	90	23.4	113	25.2		231	23.3
	ある	25	15.8	55	14.3	90	20.1		170	17.2
	わからない	1	0.6			3	0.7		4	0.4
	欠測			5	1.3	5	1.1		10	1.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
白癬の有無	あり	34	21.5	81	21.1	116	25.9	CMH3 0.15	231	23.3
	なし	112	70.9	287	74.7	308	68.8		707	71.4
	わからない	6	3.8	5	1.3	9	2.0		20	2.0
	欠測	6	3.8	11	2.9	15	3.3		32	3.2
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
爪の柔らかさ	はい	15	12.7	31	10.6	42	13.2	CMH3 0.81	88	12.1
	いいえ	94	79.7	231	79.1	250	78.9		575	79.1
	わからない	4	3.4	7	2.4	12	3.8		23	3.2
	欠測	5	4.2	23	7.9	13	4.1		41	5.6
	計	118	100.0	292	100.0	317	100.0		727	100.0
爪の色	ピンク	94	79.7	232	79.5	246	77.6	CMH3 0.95	572	78.7
	白,青	19	16.1	49	16.8	55	17.4		123	16.9
	その他			2	0.7	2	0.6		4	0.6
	わからない	3	2.5	4	1.4	6	1.9		13	1.8
	欠測	2	1.7	5	1.7	8	2.5		15	2.1
	計	118	100.0	292	100.0	317	100.0		727	100.0

表 1 2-2 : VII. 食事、食事環境等について(2) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
薬	形状変えずに飲める	54	67.5	128	76.2	116	85.3	CMH1 0.06	298	77.6
	飲めない	11	13.8	20	11.9	10	7.4		41	10.7
	欠測	15	18.8	20	11.9	10	7.4		45	11.7
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
薬_形状の工夫	工夫すれば飲める	7	63.6	14	70.0	7	70.0	CMH1 0.74	28	68.3
	工夫しても飲めない	4	36.4	5	25.0	3	30.0		12	29.3
	欠測			1	5.0				1	2.4
	計	11	100.0	20	100.0	10	100.0		41	100.0
食欲	ない	5	6.3	18	10.7	11	8.1	CMH1 0.83	34	8.9
	わずかにある	5	6.3	7	4.2	8	5.9		20	5.2
	ややある	15	18.8	15	8.9	30	22.1		60	15.6
	ある	40	50.0	105	62.5	76	55.9		221	57.6
	わからない	5	6.3	1	0.6	4	2.9		10	2.6
	欠測	10	12.5	22	13.1	7	5.1		39	10.2
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
食事の楽しみ	とても楽しみ	25	31.3	69	41.1	45	33.1	CMH1 0.71	139	36.2
	やや楽しみ	19	23.8	47	28.0	46	33.8		112	29.2
	あまり楽しみでない	15	18.8	23	13.7	25	18.4		63	16.4
	まったく楽しみでない	10	12.5	8	4.8	11	8.1		29	7.6
	欠測	11	13.8	21	12.5	9	6.6		41	10.7
計	80	100.0	168	100.0	136	100.0	384	100.0		
喫煙	吸う	7	8.8	10	6.0	5	3.7	CMH1 0.37	22	5.7
	やめた	47	58.8	111	66.1	86	63.2		244	63.5
	吸わない	26	32.5	46	27.4	45	33.1		117	30.5
	欠測			1	0.6				1	0.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
飲酒	飲む	13	16.3	29	17.3	28	20.6	CMH1 0.72	70	18.2
	やめた	44	55.0	79	47.0	57	41.9		180	46.9
	飲まない	23	28.8	60	35.7	51	37.5		134	34.9
	欠測									
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
皮膚のかさつき	ない	29	36.3	53	31.5	28	20.6	CMH1 0.09	110	28.6
	わずかにある	20	25.0	40	23.8	41	30.1		101	26.3
	ややある	16	20.0	44	26.2	37	27.2		97	25.3
	ある	15	18.8	30	17.9	26	19.1		71	18.5
	わからない					1	0.7		1	0.3
	欠測			1	0.6	3	2.2		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
白癬の有無	あり	21	26.3	43	25.6	42	30.9	CMH3 0.48	106	27.6
	なし	52	65.0	118	70.2	86	63.2		256	66.7
	わからない	3	3.8	2	1.2	2	1.5		7	1.8
	欠測	4	5.0	5	3.0	6	4.4		15	3.9
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
爪のしろさ	はい	6	10.9	13	10.8	12	13.6	CMH3 0.7165	31	11.8
	いいえ	45	81.8	95	79.2	64	72.7		204	77.6
	わからない	2	3.6	3	2.5	5	5.7		10	3.8
	欠測	2	3.6	9	7.5	7	8.0		18	6.8
	計	55	100.0	120	100.0	88	100.0		263	100.0
爪の色	ピンク	45	81.8	95	79.2	55	62.5	CMH3 0.10	195	74.1
	白,青	9	16.4	19	15.8	26	29.5		54	20.5
	その他			1	0.8				1	0.4
	わからない	1	1.8	2	1.7	4	4.5		7	2.7
	欠測			3	2.5	3	3.4		6	2.3
	計	55	100.0	120	100.0	88	100.0		263	100.0

表 1 2-3 : VII. 食事、食事環境等について(2) 対象:女

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
薬	形状変えずに飲める	57	73.1	175	81.0	255	81.7	CMH1	487	80.4
	飲めない	11	14.1	27	12.5	34	10.9	0.32	72	11.9
	欠測	10	12.8	14	6.5	23	7.4		47	7.8
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
薬_形状の工夫	工夫すれば飲める	9	81.8	19	70.4	27	79.4	CMH1	55	76.4
	工夫しても飲めない	1	9.1	7	25.9	4	11.8	0.74	12	16.7
	欠測	1	9.1	1	3.7	3	8.8		5	6.9
	計	11	100.0	27	100.0	34	100.0		72	100.0
食欲	ない	2	2.6	12	5.6	19	6.1	CMH1	33	5.4
	わずかにある	9	11.5	19	8.8	26	8.3	0.83	54	8.9
	ややある	14	17.9	48	22.2	57	18.3		119	19.6
	ある	41	52.6	116	53.7	184	59.0		341	56.3
	わからない	2	2.6	7	3.2	6	1.9		15	2.5
	欠測	10	12.8	14	6.5	20	6.4		44	7.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
食事の楽しみ	とても楽しみ	26	33.3	71	32.9	111	35.6	CMH1	208	34.3
	やや楽しみ	27	34.6	71	32.9	107	34.3	1.00	205	33.8
	あまり楽しみでない	11	14.1	37	17.1	46	14.7		94	15.5
	まったく楽しみでない	4	5.1	21	9.7	27	8.7		52	8.6
	欠測	10	12.8	16	7.4	21	6.7		47	7.8
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0	
喫煙	吸う	1	1.3	3	1.4	3	1.0	CMH1	7	1.2
	やめた	6	7.7	16	7.4	21	6.7	0.60	43	7.1
	吸わない	71	91.0	197	91.2	288	92.3		556	91.7
	欠測									
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0	
飲酒	飲む	7	9.0	13	6.0	14	4.5	CMH1	34	5.6
	やめた	7	9.0	24	11.1	19	6.1	0.0269	50	8.3
	飲まない	63	80.8	179	82.9	279	89.4		521	86.0
	欠測	1	1.3						1	0.2
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
皮膚のかさつき	ない	31	39.7	71	32.9	73	23.4	CMH1	175	28.9
	わずかにある	24	30.8	70	32.4	95	30.4	0.0001	189	31.2
	ややある	12	15.4	46	21.3	76	24.4		134	22.1
	ある	10	12.8	25	11.6	64	20.5		99	16.3
	わからない	1	1.3			2	0.6		3	0.5
	欠測			4	1.9	2	0.6		6	1.0
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0	
白癬の有無	あり	13	16.7	38	17.6	74	23.7	CMH3	125	20.6
	なし	60	76.9	169	78.2	222	71.2	0.23	451	74.4
	わからない	3	3.8	3	1.4	7	2.2		13	2.1
	欠測	2	2.6	6	2.8	9	2.9		17	2.8
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0	
爪のもろさ	はい	9	14.3	18	10.5	30	13.1	CMH3	57	12.3
	いいえ	49	77.8	136	79.1	186	81.2	0.94	371	80.0
	わからない	2	3.2	4	2.3	7	3.1		13	2.8
	欠測	3	4.8	14	8.1	6	2.6		23	5.0
計	63	100.0	172	100.0	229	100.0		464	100.0	
爪の色	ピンク	49	77.8	137	79.7	191	83.4	CMH3	377	81.3
	白、青	10	15.9	30	17.4	29	12.7	0.61	69	14.9
	その他			1	0.6	2	0.9		3	0.6
	わからない	2	3.2	2	1.2	2	0.9		6	1.3
	欠測	2	3.2	2	1.2	5	2.2		9	1.9
計	63	100.0	172	100.0	229	100.0		464	100.0	

表 1 3-1 : VIII. ADL(バーセルインデックス) 対象:全体

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
ADL1 食事	自立	78	49.4	227	59.1	251	56.0	CMH1 0.14	556	56.2
	部分介助	25	15.8	76	19.8	94	21.0		195	19.7
	全介助	52	32.9	81	21.1	102	22.8		235	23.7
	欠測	3	1.9			1	0.2		4	0.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL2 移動	自立	45	28.5	157	40.9	173	38.6	CMH1 0.0115	375	37.9
	部分介助	23	14.6	80	20.8	82	18.3		185	18.7
	座位全介助	25	15.8	41	10.7	57	12.7		123	12.4
	不可能	62	39.2	96	25.0	117	26.1		275	27.8
	欠測	3	1.9	10	2.6	19	4.2		32	3.2
計	158	100.0	384	100.0	448	100.0	990	100.0		
ADL3 整容	自立	60	38.0	180	46.9	201	44.9	CMH1 0.30	441	44.5
	部分不可能	97	61.4	199	51.8	243	54.2		539	54.4
	欠測	1	0.6	5	1.3	4	0.9		10	1.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL4 トイレ	自立	48	30.4	174	45.3	189	42.2	CMH1 0.0466	411	41.5
	部分介助	37	23.4	90	23.4	103	23.0		230	23.2
	全介助	73	46.2	117	30.5	155	34.6		345	34.8
	欠測			3	0.8	1	0.2		4	0.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL5 入浴	自立	20	12.7	89	23.2	80	17.9	CMH1 0.61	189	19.1
	部分不可能	137	86.7	291	75.8	365	81.5		793	80.1
	欠測	1	0.6	4	1.0	3	0.7		8	0.8
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL6 歩行	45m以上歩行	20	12.7	96	25.0	97	21.7	CMH1 0.0099	213	21.5
	45m以上介助	25	15.8	98	25.5	95	21.2		218	22.0
	車椅子	23	14.6	26	6.8	31	6.9		80	8.1
	それ以外	88	55.7	160	41.7	221	49.3		469	47.4
	欠測	2	1.3	4	1.0	4	0.9		10	1.0
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL7 階段昇降	自立	12	7.6	80	20.8	66	14.7	CMH3 0.0006	158	16.0
	介助	35	22.2	91	23.7	119	26.6		245	24.7
	不能	111	70.3	206	53.6	262	58.5		579	58.5
	欠測			7	1.8	1	0.2		8	0.8
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL8 着替え	自立	40	25.3	143	37.2	148	33.0	CMH3 0.0094	331	33.4
	介助	34	21.5	98	25.5	117	26.1		249	25.2
	それ以外	84	53.2	140	36.5	182	40.6		406	41.0
	欠測			3	0.8	1	0.2		4	0.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL9 排便	失禁なし	56	35.4	185	48.2	166	37.1	CMH3 0.0009	407	41.1
	介助	32	20.3	78	20.3	126	28.1		236	23.8
	それ以外	68	43.0	119	31.0	154	34.4		341	34.4
	欠測	2	1.3	2	0.5	2	0.4		6	0.6
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0
ADL10 排尿	失禁なし	50	31.6	175	45.6	147	32.8	CMH3 0.0001	372	37.6
	介助	33	20.9	79	20.6	133	29.7		245	24.7
	それ以外	73	46.2	130	33.9	166	37.1		369	37.3
	欠測	2	1.3			2	0.4		4	0.4
	計	158	100.0	384	100.0	448	100.0		990	100.0

表 1 3-2 : VIII. ADL(バーセルインデックス) 対象:男

		65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
ADL1 食事	自立	37	46.3	92	54.8	85	62.5	CMH1 0.0009	214	55.7
	部分介助	12	15.0	39	23.2	31	22.8		82	21.4
	全介助	30	37.5	37	22.0	20	14.7		87	22.7
	欠測	1	1.3						1	0.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL2 移動	自立	22	27.5	68	40.5	66	48.5	CMH1 <0.0001	156	40.6
	部分介助	9	11.3	34	20.2	25	18.4		68	17.7
	座位全介助	11	13.8	22	13.1	16	11.8		49	12.8
	不可能	37	46.3	39	23.2	20	14.7		96	25.0
	欠測	1	1.3	5	3.0	9	6.6		15	3.9
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL3 整容	自立	29	36.3	71	42.3	69	50.7	CMH1 0.0344	169	44.0
	部分不可能	50	62.5	95	56.5	66	48.5		211	54.9
	欠測	1	1.3	2	1.2	1	0.7		4	1.0
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL4 トイレ	自立	23	28.8	70	41.7	68	50.0	CMH1 0.0001	161	41.9
	部分介助	13	16.3	47	28.0	34	25.0		94	24.5
	全介助	44	55.0	49	29.2	34	25.0		127	33.1
	欠測			2	1.2				2	0.5
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL5 入浴	自立	10	12.5	37	22.0	33	24.3	CMH1 0.06	80	20.8
	部分不可能	69	86.3	131	78.0	103	75.7		303	78.9
	欠測	1	1.3						1	0.3
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL6 歩行	45m以上歩行	8	10.0	44	26.2	31	22.8	CMH1 0.11	83	21.6
	45m以上介助	13	16.3	39	23.2	37	27.2		89	23.2
	車椅子	11	13.8	10	6.0	11	8.1		32	8.3
	それ以外	48	60.0	74	44.0	56	41.2		178	46.4
	欠測			1	0.6	1	0.7		2	0.5
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL7 階段昇降	自立	5	6.3	29	17.3	24	17.6	CMH3 0.0332	58	15.1
	介助	18	22.5	47	28.0	42	30.9		107	27.9
	不能	57	71.3	89	53.0	70	51.5		216	56.3
	欠測			3	1.8				3	0.8
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL8 着替え	自立	18	22.5	53	31.5	47	34.6	CMH3 0.0011	118	30.7
	介助	14	17.5	47	28.0	47	34.6		108	28.1
	それ以外	48	60.0	65	38.7	42	30.9		155	40.4
	欠測			3	1.8				3	0.8
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL9 排便	失禁なし	26	32.5	74	44.0	63	46.3	CMH3 0.0073	163	42.4
	介助	16	20.0	41	24.4	43	31.6		100	26.0
	それ以外	36	45.0	53	31.5	30	22.1		119	31.0
	欠測	2	2.5						2	0.5
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0
ADL10 排尿	失禁なし	25	31.3	71	42.3	48	35.3	CMH3 0.0045	144	37.5
	介助	14	17.5	37	22.0	48	35.3		99	25.8
	それ以外	39	48.8	60	35.7	40	29.4		139	36.2
	欠測	2	2.5						2	0.5
	計	80	100.0	168	100.0	136	100.0		384	100.0

表 1 3-3 : VIII. ADL(バーセルインデックス) 対象:女

	65-74歳		75-84歳		85歳以上		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
ADL1 食事	自立	41	52.6	135	62.5	166	53.2	CMH1 0.46	342	56.4
	部分介助	13	16.7	37	17.1	63	20.2		113	18.6
	全介助	22	28.2	44	20.4	82	26.3		148	24.4
	欠測	2	2.6			1	0.3		3	0.5
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
ADL2 移動	自立	23	29.5	89	41.2	107	34.3	CMH1 0.81	219	36.1
	部分介助	14	17.9	46	21.3	57	18.3		117	19.3
	座位全介助	14	17.9	19	8.8	41	13.1		74	12.2
	不可能	25	32.1	57	26.4	97	31.1		179	29.5
	欠測	2	2.6	5	2.3	10	3.2		17	2.8
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0	606	100.0		
ADL3 整容	自立	31	39.7	109	50.5	132	42.3	CMH1 0.67	272	44.9
	部分不可能	47	60.3	104	48.1	177	56.7		328	54.1
	欠測			3	1.4	3	1.0		6	1.0
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
ADL4 トイレ	自立	25	32.1	104	48.1	121	38.8	CMH1 0.58	250	41.3
	部分介助	24	30.8	43	19.9	69	22.1		136	22.4
	全介助	29	37.2	68	31.5	121	38.8		218	36.0
	欠測			1	0.5	1	0.3		2	0.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
ADL5 入浴	自立	10	12.8	52	24.1	47	15.1	CMH1 0.45	109	18.0
	部分不可能	68	87.2	160	74.1	262	84.0		490	80.9
	欠測			4	1.9	3	1.0		7	1.2
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
ADL6 歩行	45m以上歩行	12	15.4	52	24.1	66	21.2	CMH1 0.0439	130	21.5
	45m以上介助	12	15.4	59	27.3	58	18.6		129	21.3
	車椅子	12	15.4	16	7.4	20	6.4		48	7.9
	それ以外	40	51.3	86	39.8	165	52.9		291	48.0
	欠測	2	2.6	3	1.4	3	1.0		8	1.3
計	78	100.0	216	100.0	312	100.0	606	100.0		
ADL7 階段昇降	自立	7	9.0	51	23.6	42	13.5	CMH3 0.0057	100	16.5
	介助	17	21.8	44	20.4	77	24.7		138	22.8
	不能	54	69.2	117	54.2	192	61.5		363	59.9
	欠測			4	1.9	1	0.3		5	0.8
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
ADL8 着替え	自立	22	28.2	90	41.7	101	32.4	CMH3 0.08	213	35.1
	介助	20	25.6	51	23.6	70	22.4		141	23.3
	それ以外	36	46.2	75	34.7	140	44.9		251	41.4
	欠測					1	0.3		1	0.2
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
ADL9 排便	失禁なし	30	38.5	111	51.4	103	33.0	CMH3 0.0006	244	40.3
	介助	16	20.5	37	17.1	83	26.6		136	22.4
	それ以外	32	41.0	66	30.6	124	39.7		222	36.6
	欠測			2	0.9	2	0.6		4	0.7
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0
ADL10 排尿	失禁なし	25	32.1	104	48.1	99	31.7	CMH3 0.0031	228	37.6
	介助	19	24.4	42	19.4	85	27.2		146	24.1
	それ以外	34	43.6	70	32.4	126	40.4		230	38.0
	欠測					2	0.6		2	0.3
	計	78	100.0	216	100.0	312	100.0		606	100.0

③ BMI 3 群別

表 1 : 連続量項目集計 1

	BMI 18.5未満			BMI 18.5以上-25未満			BMI 25以上			全体			
	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	
I. 基本情報													
対象者年齢	232	83.76 ± 8.54	7.88	420	82.60 ± 7.88	7.88	105	81.83 ± 7.67	7.67	990	83.37 ± 8.31	8.31	
II. 身体計測													
身長(cm)	232	152.19 ± 10.18	10.32	420	151.38 ± 10.32	10.32	105	150.01 ± 9.89	9.89	105	151.21 ± 10.30	10.30	
体重(kg)	232	38.21 ± 6.38	7.90	420	49.18 ± 7.90	7.90	105	62.78 ± 9.57	9.57	185	47.35 ± 10.91	10.91	
下肢周囲長1	15	217	26.20 ± 4.23	17	403	30.54 ± 4.73	2	103	34.25 ± 4.37	4.4	946	29.16 ± 5.48	5.48
下肢周囲長2	15	217	26.21 ± 4.21	17	403	30.57 ± 4.74	2	103	34.31 ± 4.33	4.4	946	29.20 ± 5.48	5.48
下肢周囲長 平均	15	217	26.20 ± 4.22	17	403	30.56 ± 4.73	2	103	34.28 ± 4.35	4.4	946	29.18 ± 5.48	5.48
膝高1	15	217	43.81 ± 6.10	20	400	44.26 ± 5.56	3	102	44.67 ± 4.81	4.9	941	43.87 ± 5.63	5.63
膝高2	16	216	43.83 ± 6.12	21	399	44.35 ± 5.59	3	102	44.73 ± 4.84	5.3	937	43.94 ± 5.66	5.66
膝高 平均	15	217	43.83 ± 6.10	20	400	44.30 ± 5.57	3	102	44.70 ± 4.82	4.9	941	43.90 ± 5.64	5.64
IV. 療養・生活状況													
在宅療養期間(月)	12	220	52.46 ± 67.89	19	401	56.78 ± 68.59	4	101	60.25 ± 54.18	47	943	55.86 ± 67.73	67.73
血液検査結果													
Alb	105	127	3.50 ± 0.88	208	212	3.63 ± 0.51	44	61	3.97 ± 1.23	0.0003	465	3.59 ± 0.78	0.78
リンパ球数	166	66	508.93 ± 775.47	326	94	613.33 ± 851.81	84	21	647.95 ± 1530.44	0.45	760	549.44 ± 994.46	994.46
赤血球数	69	163	425.93 ± 577.17	152	268	432.33 ± 533.37	30	75	408.07 ± 58.05	0.87	330	417.59 ± 445.70	445.70
白血球数	69	163	6094.48 ± 3109.34	154	266	6106.88 ± 2158.45	30	75	6023.60 ± 1786.19	0.88	337	6149.10 ± 2476.89	2476.89
総蛋白	94	138	6.50 ± 0.65	193	227	7.02 ± 0.65	41	64	6.79 ± 0.60	0.47	426	6.85 ± 0.78	0.78
ADL総合得点	22	210	42.90 ± 35.66	29	391	55.90 ± 33.61	4	101	60.50 ± 31.94	<0.0001	69	47.16 ± 35.56	35.56
原疾患点数	232	1.91 ± 1.90	1.76	420	1.91 ± 1.76	1.76	105	1.83 ± 1.63	1.63	990	1.91 ± 1.78	1.78	
BMI	232	16.43 ± 1.60	1.85	420	21.36 ± 1.85	1.85	105	27.84 ± 2.91	2.91	233	20.75 ± 4.10	4.10	
MNA個人総合得点	7	225	6.82 ± 2.40	7	413	9.52 ± 2.42	1	104	11.26 ± 1.89	<0.0001	39	8.44 ± 2.96	2.96



表3: I. 対象者の基本情報、II. 身体計測、III. 栄養評価(MNA)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
性別	男	95	40.9	173	41.2	38	36.2		384	38.8
	女	137	59.1	247	58.8	67	63.8		606	61.2
	欠測									
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
浮腫	有	36	15.5	101	24.0	45	42.9	CMH1	229	23.1
	無	180	77.6	291	69.3	56	53.3	<.0001	700	70.7
	欠測	16	6.9	28	6.7	4	3.8		61	6.2
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
MNA1 食事量減少	著しい食事量減少	26	11.2	15	3.6	1	1.0	CMH1	64	6.5
	中等度減少	48	20.7	61	14.5	11	10.5	<.0001	160	16.2
	減少なし	154	66.4	340	81.0	93	88.6		753	76.1
	欠測	4	1.7	4	1.0				13	1.3
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
MNA2 体重減少	3kg以上減少	27	11.6	23	5.5	2	1.9	CMH3	60	6.1
	わからない	28	12.1	42	10.0	6	5.7	<.0001	205	20.7
	1.3kg減少	61	26.3	63	15.0	14	13.3		159	16.1
	減少なし	115	49.6	290	69.0	82	78.1		561	56.7
	欠測	1	0.4	2	0.5	1	1.0		5	0.5
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0	
MNA3 移動	寝たきり車椅子	101	43.5	127	30.2	33	31.4	CMH3	418	42.2
	外出できない	95	40.9	195	46.4	48	45.7	0.0081	396	40.0
	外出できる	35	15.1	96	22.9	24	22.9		170	17.2
	欠測	1	0.4	2	0.5				6	0.6
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
MNA4 ストレス	はい	70	30.2	104	24.8	18	17.1	CMH1	244	24.6
	いいえ	162	69.8	315	75.0	87	82.9	0.0107	742	74.9
	欠測			1	0.2				4	0.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
MNA5 認知症うつ	強度認知症うつ	38	16.4	46	11.0	10	9.5	CMH1	149	15.1
	中度認知症	92	39.7	155	36.9	39	37.1	0.0136	371	37.5
	問題なし	100	43.1	218	51.9	56	53.3		463	46.8
	欠測	2	0.9	1	0.2				7	0.7
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
MNA評価3カテゴリー	0<=T_MNA<=7	133	57.3	88	21.0	4	3.8	CMH1	356	36.0
	8<=T_MNA<=11	86	37.1	168	40.0	26	24.8	<.0001	335	33.8
	12<=T_MNA	6	2.6	157	37.4	74	70.5		260	26.3
	欠測	7	3.0	7	1.7	1	1.0		39	3.9
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0

表4:IV. 療養・生活状況、V. 医療・介護サービス利用状況(1)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%	p値	例数	%
病状の安定性	安定	176	75.9	351	83.6	90	85.7	CMH3 0.07	806	81.4
	不安定	51	22.0	60	14.3	14	13.3		161	16.3
	不明	3	1.3	4	1.0				10	1.0
	欠測	2	0.9	5	1.2	1	1.0		13	1.3
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
直近3ヶ月間の入院	有	47	20.3	67	16.0	9	8.6	CMH3 0.0360	153	15.5
	無	178	76.7	349	83.1	96	91.4		821	82.9
	不明	1	0.4						1	0.1
	欠測	6	2.6	4	1.0				15	1.5
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
入院の理由 複数選択 (CMH1 Test)	肺炎			1	1.5			0.61	1	0.7
	窒息	26	55.3	40	59.7	6	66.7	0.50	85	55.6
	脳血管障害	12	25.5	5	7.5	1	11.1	0.0212	25	16.3
	感染症									
	骨折			5	7.5			0.24	7	4.6
	心不全	5	10.6	5	7.5	1	11.1	0.75	13	8.5
	検査入院	2	4.3	6	9.0			0.77	9	5.9
	不明	4	8.5	7	10.4			0.75	15	9.8
	その他	3	6.4	9	13.4	2	22.2	0.12	18	11.8
	欠測			1	1.5				1	0.7
	計	47	20.8	67	16.1	9	8.6		153	15.7
外来受診	有	69	29.7	173	41.2	39	37.1	CMH1 0.0350	324	32.7
	無	152	65.5	224	53.3	60	57.1		607	61.3
	欠測	11	4.7	23	5.5	6	5.7		59	6.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
歯科受診	有	71	30.6	128	30.5	32	30.5	CMH1 0.98	284	28.7
	無	149	64.2	259	61.7	68	64.8		637	64.3
	欠測	12	5.2	33	7.9	5	4.8		69	7.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
緩和ケア	有	13	5.6	12	2.9			CMH1 0.0051	32	3.2
	無	201	86.6	380	90.5	98	93.3		877	88.6
	欠測	18	7.8	28	6.7	7	6.7		81	8.2
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0

表5:原疾患 (IV. 療養・生活状況(2))

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
虚血性疾患	なし	209	90.1	363	86.4	85	81.0	CMH1 0.0125	869	87.8
	あり	17	7.3	48	11.4	17	16.2		101	10.2
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
心不全	なし	188	81.0	350	83.3	86	81.9	CMH1 0.67	816	82.4
	あり	38	16.4	61	14.5	16	15.2		154	15.6
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
慢性肺疾患	なし	201	86.6	366	87.1	87	82.9	CMH1 0.45	875	88.4
	あり	25	10.8	45	10.7	15	14.3		95	9.6
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
胃十二指腸潰瘍	なし	222	95.7	399	95.0	98	93.3	CMH1 0.24	938	94.7
	あり	4	1.7	12	2.9	4	3.8		32	3.2
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
末梢血管疾患	なし	221	95.3	409	97.4	101	96.2	CMH1 0.14	960	97.0
	あり	5	2.2	2	0.5	1	1.0		10	1.0
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
マイルドな肝疾患	なし	223	96.1	400	95.2	101	96.2	CMH1 0.83	950	96.0
	あり	3	1.3	11	2.6	1	1.0		20	2.0
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
脳血管障害	なし	168	72.4	285	67.9	64	61.0	CMH1 0.0319	675	68.2
	あり	58	25.0	126	30.0	38	36.2		295	29.8
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
膠原病	なし	218	94.0	396	94.3	98	93.3	CMH1 0.87	935	94.4
	あり	8	3.4	15	3.6	4	3.8		35	3.5
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
糖尿病	なし	204	87.9	332	79.0	91	86.7	CMH1 0.22	819	82.7
	あり	22	9.5	79	18.8	11	10.5		151	15.3
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
認知症	なし	147	63.4	273	65.0	75	71.4	CMH1 0.18	638	64.4
	あり	79	34.1	138	32.9	27	25.7		332	33.5
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
片麻痺	なし	207	89.2	372	88.6	88	83.8	CMH1 0.17	876	88.5
	あり	19	8.2	39	9.3	14	13.3		94	9.5
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
中等度__重症腎疾患	なし	217	93.5	395	94.0	99	94.3	CMH1 0.70	932	94.1
	あり	9	3.9	16	3.8	3	2.9		38	3.8
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
臓器不全を伴う糖尿病	なし	225	97.0	405	96.4	102	97.1	CMH1 0.92	961	97.1
	あり	1	0.4	6	1.4				9	0.9
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
5年以内に診断された原発性腫瘍	なし	205	88.4	382	91.0	99	94.3	CMH1 0.0442	899	90.8
	あり	21	9.1	29	6.9	3	2.9		71	7.2
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
白血病	なし	226	97.4	411	97.9	102	97.1		970	98.0
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
中等度__重度な肝疾患	なし	224	96.6	406	96.7	100	95.2	CMH1 0.43	960	97.0
	あり	2	0.9	5	1.2	2	1.9		10	1.0
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
転移性腫瘍	なし	213	91.8	400	95.2	100	95.2	CMH1 0.0400	935	94.4
	あり	13	5.6	11	2.6	2	1.9		35	3.5
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
AIDS	なし	226	97.4	410	97.6	102	97.1	CMH1 0.79	969	97.9
	あり			1	0.2				1	0.1
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
その他	なし	226	97.4	410	97.6	102	97.1	CMH1 0.79	969	97.9
	あり			1	0.2				1	0.1
	欠測	6	2.6	9	2.1	3	2.9		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0

表6:IV.療養・生活状況(3)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的	全体		
		例数	%	例数	%	例数	%	p値	例数	%	
障害高齢者の日常生活自立度	自立	5	2.2	15	3.6	5	4.8	CMH1 0.0017	28	2.8	
	J1	2	0.9	19	4.5	1	1.0		24	2.4	
	J2	13	5.6	31	7.4	5	4.8		58	5.9	
	A1	26	11.2	58	13.8	16	15.2		116	11.7	
	A2	44	19.0	93	22.1	27	25.7		184	18.6	
	B1	35	15.1	73	17.4	18	17.1		153	15.5	
	B2	31	13.4	48	11.4	10	9.5		126	12.7	
	C1	23	9.9	27	6.4	8	7.6		91	9.2	
	C2	39	16.8	45	10.7	10	9.5		168	17.0	
	欠測	14	6.0	11	2.6	5	4.8		42	4.2	
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0		
障害高齢者の日常生活自立度	自立,J1,J2	20	8.6	65	15.5	11	10.5	CMH1 0.0019	110	11.1	
	A1	26	11.2	58	13.8	16	15.2		116	11.7	
	A2	44	19.0	93	22.1	27	25.7		184	18.6	
	B1	35	15.1	73	17.4	18	17.1		153	15.5	
	B2	31	13.4	48	11.4	10	9.5		126	12.7	
	C1	23	9.9	27	6.4	8	7.6		91	9.2	
	C2	39	16.8	45	10.7	10	9.5		168	17.0	
	欠測	14	6.0	11	2.6	5	4.8		42	4.2	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0
	認知症高齢者の日常生活自立度	正常	47	20.3	104	24.8	28		26.7	CMH1 0.0228	211
I		47	20.3	91	21.7	18	17.1	189	19.1		
II		6	2.6	15	3.6	6	5.7	37	3.7		
II a		21	9.1	45	10.7	10	9.5	91	9.2		
II b		17	7.3	47	11.2	16	15.2	97	9.8		
III a		29	12.5	36	8.6	10	9.5	114	11.5		
III b		17	7.3	29	6.9	2	1.9	70	7.1		
IV		24	10.3	33	7.9	6	5.7	95	9.6		
M		10	4.3	9	2.1	3	2.9	39	3.9		
欠測		14	6.0	11	2.6	6	5.7	47	4.7		
計		232	100.0	420	100.0	105	100.0		990		100.0
認知症高齢者の日常生活自立度	正常	47	20.3	104	24.8	28	26.7	CMH1 0.0178	211	21.3	
	I	47	20.3	91	21.7	18	17.1		189	19.1	
	II, II a, II b	44	19.0	107	25.5	32	30.5		225	22.7	
	III a, III b	46	19.8	65	15.5	12	11.4		184	18.6	
	IV	24	10.3	33	7.9	6	5.7		95	9.6	
	M	10	4.3	9	2.1	3	2.9		39	3.9	
	欠測	14	6.0	11	2.6	6	5.7		47	4.7	
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0		
要支援・要介護度	自立	4	1.7	3	0.7	2	1.9	CMH1 0.0012	12	1.2	
	要支援1	7	3.0	12	2.9	4	3.8		24	2.4	
	要支援2	12	5.2	24	5.7	9	8.6		48	4.8	
	要介護1	16	6.9	54	12.9	17	16.2		102	10.3	
	要介護2	41	17.7	83	19.8	22	21.0		170	17.2	
	要介護3	35	15.1	71	16.9	14	13.3		142	14.3	
	要介護4	34	14.7	68	16.2	14	13.3		160	16.2	
	要介護5	77	33.2	95	22.6	20	19.0		300	30.3	
	欠測	6	2.6	10	2.4	3	2.9		32	3.2	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0
要支援・要介護度	自立,要支援1,2	23	9.9	39	9.3	15	14.3	CMH1 0.0005	84	8.5	
	要介護1	16	6.9	54	12.9	17	16.2		102	10.3	
	要介護2	41	17.7	83	19.8	22	21.0		170	17.2	
	要介護3	35	15.1	71	16.9	14	13.3		142	14.3	
	要介護4	34	14.7	68	16.2	14	13.3		160	16.2	
	要介護5	77	33.2	95	22.6	20	19.0		300	30.3	
	欠測	6	2.6	10	2.4	3	2.9		32	3.2	
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0		
世帯状況_独り暮らし	なし	203	87.5	337	80.2	84	80.0	CMH1 0.0242	820	82.8	
	あり	26	11.2	79	18.8	20	19.0		160	16.2	
	欠測	3	1.3	4	1.0	1	1.0		10	1.0	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0
世帯状況_配偶者	なし	123	53.0	213	50.7	48	45.7	CMH1 0.22	517	52.2	
	あり	106	45.7	203	48.3	56	53.3		463	46.8	
	欠測	3	1.3	4	1.0	1	1.0		10	1.0	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0
世帯状況_子供	なし	114	49.1	235	56.0	63	60.0	CMH1 0.0435	518	52.3	
	あり	115	49.6	181	43.1	41	39.0		462	46.7	
	欠測	3	1.3	4	1.0	1	1.0		10	1.0	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0
世帯状況_子供の配偶者	なし	166	71.6	333	79.3	90	85.7	CMH1 0.0021	775	78.3	
	あり	63	27.2	83	19.8	14	13.3		205	20.7	
	欠測	3	1.3	4	1.0	1	1.0		10	1.0	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0
世帯状況_親	なし	227	97.8	414	98.6	104	99.0	CMH1 0.30	975	98.5	
	あり	2	0.9	2	0.5				5	0.5	
	欠測	3	1.3	4	1.0	1	1.0		10	1.0	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0
世帯状況_その他	なし	186	80.2	379	90.2	89	84.8	CMH1 0.0390	855	86.4	
	あり	43	18.5	37	8.8	15	14.3		125	12.6	
	欠測	3	1.3	4	1.0	1	1.0		10	1.0	
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0			990	100.0

表7:IV. 療養・生活状況(4)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
経済状況	50万円未満	1	0.4	14	3.3	4	3.8	CMH1 0.60	33	3.3
	50-100万円未満	9	3.9	15	3.6	2	1.9		40	4.0
	100-150万円未満	18	7.8	20	4.8	7	6.7		58	5.9
	150-200万円未満	13	5.6	31	7.4	8	7.6		63	6.4
	200-250万円未満	17	7.3	36	8.6	7	6.7		69	7.0
	250-300万円未満	17	7.3	38	9.0	8	7.6		74	7.5
	300-350万円未満	7	3.0	14	3.3	6	5.7		37	3.7
	350-400万円未満	13	5.6	29	6.9	9	8.6		59	6.0
	400万円以上	40	17.2	68	16.2	15	14.3		162	16.4
	わからない	83	35.8	132	31.4	35	33.3		335	33.8
	欠測	14	6.0	23	5.5	4	3.8		60	6.1
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0	990	100.0		
本人の婚姻状況	既婚	125	53.9	224	53.3	64	61.0	CMH3 0.21	527	53.2
	未婚	10	4.3	8	1.9	4	3.8		29	2.9
	死別・離婚	96	41.4	186	44.3	37	35.2		430	43.4
	欠測	1	0.4	2	0.5				4	0.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
医療扶助の給付	あり	38	16.4	92	21.9	20	19.0	CMH3 0.49	193	19.5
	なし	178	76.7	300	71.4	77	73.3		721	72.8
	わからない	6	2.6	15	3.6	4	3.8		38	3.8
	欠測	10	4.3	13	3.1	4	3.8		38	3.8
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
医療費自己負担免除	あり			1	1.1	1	5.0	CMH3 0.59	3	1.6
	なし	32	84.2	80	87.0	19	95.0		167	86.5
	わからない			1	1.1				3	1.6
	欠測	6	15.8	10	10.9				20	10.4
	計	38	100.0	92	100.0	20	100.0		193	100.0
主たる介護者_続柄	配偶者	90	38.8	166	39.5	41	39.0	CMH3 0.66	380	38.4
	子ども	83	35.8	147	35.0	40	38.1		366	37.0
	子どもの配偶者	25	10.8	50	11.9	6	5.7		101	10.2
	欠測	4	1.7	10	2.4	3	2.9		22	2.2
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
主たる介護者_性別	男	49	21.1	101	24.0	37	35.2	CMH3 0.0099	259	26.2
	女	167	72.0	291	69.3	58	55.2		661	66.8
	欠測	16	6.9	28	6.7	10	9.5		70	7.1
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
主たる介護者_年齢	20歳未満					1	1.0	CMH3 0.39	1	0.1
	20歳代	1	0.4	1	0.2				2	0.2
	30歳代	4	1.7	3	0.7				10	1.0
	40歳代	23	9.9	50	11.9	10	9.5		98	9.9
	50歳代	40	17.2	73	17.4	21	20.0		168	17.0
	60歳代	63	27.2	107	25.5	21	20.0		257	26.0
	70歳代	45	19.4	91	21.7	21	20.0		202	20.4
	80歳以上	38	16.4	56	13.3	20	19.0		156	15.8
	欠測	18	7.8	39	9.3	11	10.5		96	9.7
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0

表8: VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(1)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
誤嚥性肺炎既往	有	40	17.2	30	7.1	6	5.7	CMH1 0.0001	109	11.0
	無	192	82.8	389	92.6	99	94.3		879	88.8
	欠測			1	0.2				2	0.2
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
じょそう既往	有	37	15.9	54	12.9	10	9.5	CMH1 0.10	153	15.5
	無	194	83.6	364	86.7	94	89.5		832	84.0
	欠測	1	0.4	2	0.5	1	1.0		5	0.5
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
昼食時の覚醒状況	覚醒している	182	78.4	371	88.3	95	90.5	CMH1 0.0155	814	82.2
	やや覚醒	33	14.2	20	4.8	3	2.9		95	9.6
	わずかに覚醒	6	2.6	11	2.6	1	1.0		29	2.9
	覚醒していない	5	2.2	10	2.4	2	1.9		24	2.4
	わからない	3	1.3	7	1.7	2	1.9		21	2.1
	欠測	3	1.3	1	0.2	2	1.9		7	0.7
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
意思の伝達	できる	168	72.4	345	82.1	89	84.8	CMH1 0.0035	749	75.7
	時々できる	35	15.1	41	9.8	12	11.4		124	12.5
	ほとんどできない	18	7.8	19	4.5	1	1.0		63	6.4
	できない	10	4.3	13	3.1	3	2.9		50	5.1
	欠測	1	0.4	2	0.5				4	0.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
強制排便の有無	有	129	55.6	227	54.0	50	47.6	CMH1 0.18	537	54.2
	無	102	44.0	183	43.6	53	50.5		432	43.6
	欠測	1	0.4	10	2.4	1	1.0		20	2.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0

表9: VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(2)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
残存歯数	20本以上	56	24.1	97	23.1	28	26.7	CMH1 0.52	213	21.5
	10-19本	40	17.2	84	20.0	21	20.0		178	18.0
	1-9本	66	28.4	116	27.6	24	22.9		272	27.5
	0本	65	28.0	108	25.7	29	27.6		289	29.2
	欠測	5	2.2	15	3.6	3	2.9		38	3.8
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
入れ歯の有無	有	139	59.9	268	63.8	59	56.2	CMH3 0.34	595	60.1
	無	89	38.4	145	34.5	43	41.0		368	37.2
	不明								6	0.6
	欠測	4	1.7	7	1.7	3	2.9		21	2.1
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
口を閉じることができる	できる	225	97.0	411	97.9	103	98.1	CMH3 0.87	953	96.3
	できない	3	1.3	4	1.0	1	1.0		20	2.0
	わからない	2	0.9	2	0.5				5	0.5
	欠測	2	0.9	3	0.7	1	1.0		12	1.2
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
口腔清掃の有無	有	215	92.7	377	89.8	90	85.7	CMH3 0.0007	889	89.8
	無	9	3.9	30	7.1	5	4.8		58	5.9
	不明	1	0.4	2	0.5	5	4.8		16	1.6
	欠測	7	3.0	11	2.6	5	4.8		27	2.7
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
固い食品	はい	108	46.6	257	61.2	72	68.6	CMH1 <.0001	536	54.1
	いいえ	115	49.6	155	36.9	30	28.6		428	43.2
	欠測	9	3.9	8	1.9	3	2.9		26	2.6
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
食品の噛み方	左右両側の歯	51	47.2	151	58.8	44	61.1	CMH3 0.06	305	56.9
	左右どちらかの歯	21	19.4	26	10.1	6	8.3		64	11.9
	不明	3	2.8	7	2.7	3	4.2		19	3.5
	欠測	33	30.6	73	28.4	19	26.4		148	27.6
	計	108	100.0	257	100.0	72	100.0		536	100.0

表10:VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(3)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
噛める程度	どんなものでも	52	22.4	122	29.0	36	34.3	CMH1 0.0001	258	26.1
	たいていのものは	80	34.5	175	41.7	49	46.7		377	38.1
	食べ物が限られる	50	21.6	78	18.6	11	10.5		188	19.0
	ほとんど噛めない	15	6.5	10	2.4	3	2.9		44	4.4
	全く噛めず	15	6.5	18	4.3	3	2.9		61	6.2
	欠測	20	8.6	17	4.0	3	2.9		62	6.3
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0	990	100.0	
DSS	唾液誤嚥	8	3.4	7	1.7			CMH1 <.0001	26	2.6
	食物誤嚥	17	7.3	6	1.4	2	1.9		37	3.7
	水分誤嚥	15	6.5	14	3.3	1	1.0		47	4.7
	機会誤嚥	23	9.9	24	5.7	1	1.0		65	6.6
	口腔問題	16	6.9	28	6.7	10	9.5		76	7.7
	軽度問題	45	19.4	85	20.2	20	19.0		191	19.3
	正常範囲	104	44.8	231	55.0	68	64.8		493	49.8
	欠測	4	1.7	25	6.0	3	2.9		55	5.6
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0	990	100.0	
DSS(2区分)	嚥下機能 1-4誤嚥あり	63	27.2	51	12.1	4	3.8	CMH1 <.0001	175	17.7
	嚥下機能 5-7誤嚥なし	165	71.1	344	81.9	98	93.3		760	76.8
	欠測	4	1.7	25	6.0	3	2.9		55	5.6
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0	990	100.0	

表11:VII. 食事、食事環境等について(1)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
食費	500円未満	32	13.8	51	12.1	10	9.5	CMH1 0.08	129	13.0
	500円以上1000円未満	68	29.3	140	33.3	36	34.3		323	32.6
	1000円以上1500円未満	35	15.1	95	22.6	28	26.7		185	18.7
	1500円以上	15	6.5	19	4.5	9	8.6		52	5.3
	わからない	58	25.0	92	21.9	21	20.0		233	23.5
	欠測	24	10.3	23	5.5	1	1.0		68	6.9
		計	232	100.0	420	100.0	105		100.0	990
経口摂取	はい	193	83.2	384	91.4	100	95.2	CMH1 0.0003	869	87.8
	いいえ	35	15.1	30	7.1	5	4.8		107	10.8
	欠測	4	1.7	6	1.4				14	1.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
経管栄養	はい	41	17.7	40	9.5	6	5.7	CMH1 0.0003	126	12.7
	いいえ	187	80.6	374	89.0	99	94.3		850	85.9
	欠測	4	1.7	6	1.4				14	1.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
経管栄養方法	経口	2	4.9					CMH3 0.41	4	3.2
	経鼻	3	7.3	1	2.5				5	4.0
	胃瘻	34	82.9	39	97.5	6	100.0		113	89.7
	欠測	2	4.9						4	3.2
	計	41	100.0	40	100.0	6	100.0		126	100.0
静脈栄養	はい	3	1.3	1	0.2			CMH1 0.07	5	0.5
	いいえ	225	97.0	413	98.3	105	100.0		971	98.1
	欠測	4	1.7	6	1.4				14	1.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
1日の水分摂取量	コップ3杯未満	48	20.7	58	13.8	10	9.5	CMH1 0.0005	158	16.0
	3杯以上5杯未満	93	40.1	197	46.9	35	33.3		435	43.9
	5杯以上	84	36.2	157	37.4	59	56.2		372	37.6
	欠測	7	3.0	8	1.9	1	1.0		25	2.5
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
食事形態	ゼリー食、ムース食	8	3.4	6	1.4	3	2.9	CMH3 <.0001	21	2.1
	ペーストミキサー食	16	6.9	7	1.7	1	1.0		41	4.1
	きざみ食	19	8.2	24	5.7	2	1.9		70	7.1
	軟食	44	19.0	88	21.0	15	14.3		199	20.1
	常食	112	48.3	262	62.4	81	77.1		551	55.7
	欠測	33	14.2	33	7.9	3	2.9		108	10.9
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
1日の食事回数	1回	5	2.6	2	0.5			CMH1 0.2652	8	0.9
	2回	18	9.3	21	5.5	11	11.0		74	8.5
	3回	162	83.9	348	90.6	85	85.0		752	86.5
	4回以上	8	4.1	9	2.3	4	4.0		28	3.2
	欠測			4	1.0				7	0.8
	計	193	100.0	384	100.0	100	100.0		869	100.0
栄養補助食品	摂取	57	24.6	76	18.1	14	13.3	CMH1 0.0019	200	20.2
	なし	145	62.5	310	73.8	88	83.8		687	69.4
	欠測	30	12.9	34	8.1	3	2.9		103	10.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0

表12: VII. 食事、食事環境等について(2)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
薬	形状変えずに飲める	167	72.0	354	84.3	99	94.3	CMH1	785	79.3
	飲めない	35	15.1	36	8.6	3	2.9	<.0001	113	11.4
	欠測	30	12.9	30	7.1	3	2.9		92	9.3
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
薬_形状の工夫	工夫すれば飲める	27	77.1	25	69.4	2	66.7	CMH1	83	73.5
	工夫しても飲めない	6	17.1	11	30.6	1	33.3	0.24	24	21.2
	欠測	2	5.7						6	5.3
	計	35	100.0	36	100.0	3	100.0		113	100.0
食欲	ない	15	6.5	27	6.4	11	10.5	CMH1	67	6.8
	わずかにある	25	10.8	27	6.4	5	4.8	0.12	74	7.5
	ややある	48	20.7	78	18.6	14	13.3		179	18.1
	ある	113	48.7	256	61.0	69	65.7		562	56.8
	わからない	6	2.6	5	1.2	3	2.9		25	2.5
	欠測	25	10.8	27	6.4	3	2.9		83	8.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
食事の楽しみ	とても楽しみ	74	31.9	154	36.7	51	48.6	CMH1	347	35.1
	やや楽しみ	69	29.7	142	33.8	38	36.2	0.0006	317	32.0
	あまり楽しみでない	45	19.4	75	17.9	9	8.6		157	15.9
	まったく楽しみでない	19	8.2	19	4.5	4	3.8		81	8.2
	欠測	25	10.8	30	7.1	3	2.9		88	8.9
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0	
喫煙	吸う	4	1.7	12	2.9	3	2.9	CMH1	29	2.9
	やめた	77	33.2	132	31.4	26	24.8	0.44	287	29.0
	吸わない	151	65.1	276	65.7	76	72.4		673	68.0
	欠測								1	0.1
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
飲酒	飲む	18	7.8	48	11.4	20	19.0	CMH1	104	10.5
	やめた	68	29.3	101	24.0	19	18.1	0.19	230	23.2
	飲まない	146	62.9	271	64.5	65	61.9		655	66.2
	欠測					1	1.0		1	0.1
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
皮膚のかさつき	ない	55	23.7	140	33.3	40	38.1	CMH1	285	28.8
	わずかにある	65	28.0	127	30.2	36	34.3	<.0001	290	29.3
	ややある	57	24.6	86	20.5	22	21.0		231	23.3
	ある	52	22.4	61	14.5	7	6.7		170	17.2
	わからない			1	0.2				4	0.4
	欠測	3	1.3	5	1.2				10	1.0
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0	
白癬の有無	あり	51	22.0	96	22.9	22	21.0	CMH3	231	23.3
	なし	173	74.6	306	72.9	78	74.3	0.98	707	71.4
	わからない	3	1.3	7	1.7	2	1.9		20	2.0
	欠測	5	2.2	11	2.6	3	2.9		32	3.2
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
爪のもろさ	はい	21	11.9	35	11.2	8	10.0	CMH3	88	12.1
	いいえ	141	80.1	253	80.8	64	80.0	0.92	575	79.1
	わからない	5	2.8	6	1.9	1	1.3		23	3.2
	欠測	9	5.1	19	6.1	7	8.8		41	5.6
	計	176	100.0	313	100.0	80	100.0		727	100.0
爪の色	ピンク	139	79.0	250	79.9	62	77.5	CMH3	572	78.7
	白、青	29	16.5	51	16.3	14	17.5	0.83	123	16.9
	その他	2	1.1	1	0.3	1	1.3		4	0.6
	わからない	3	1.7	4	1.3				13	1.8
	欠測	3	1.7	7	2.2	3	3.8		15	2.1
	計	176	100.0	313	100.0	80	100.0		727	100.0

表13:Ⅷ. ADL(バーセルインデックス)

		BMI 18.5未満		18.5≤BMI<25		BMI 25以上		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
ADL1 食事	自立	115	49.6	272	64.8	79	75.2	CMH1	556	56.2
	部分介助	49	21.1	77	18.3	18	17.1	<.0001	195	19.7
	全介助	68	29.3	69	16.4	7	6.7		235	23.7
	欠測			2	0.5	1	1.0		4	0.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
ADL2 移動	自立	76	32.8	196	46.7	52	49.5	CMH1	375	37.9
	部分介助	43	18.5	93	22.1	23	21.9	<.0001	185	18.7
	座位全介助	30	12.9	39	9.3	15	14.3		123	12.4
	不可能	68	29.3	80	19.0	13	12.4		275	27.8
	欠測	15	6.5	12	2.9	2	1.9		32	3.2
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0	990	100.0		
ADL3 整容	自立	93	40.1	217	51.7	66	62.9	CMH1	441	44.5
	部分不可能	137	59.1	197	46.9	39	37.1	0.0001	539	54.4
	欠測	2	0.9	6	1.4				10	1.0
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
ADL4 トイレ	自立	86	37.1	213	50.7	61	58.1	CMH1	411	41.5
	部分介助	56	24.1	106	25.2	22	21.0	<.0001	230	23.2
	全介助	87	37.5	100	23.8	22	21.0		345	34.8
	欠測	3	1.3	1	0.2				4	0.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
ADL5 入浴	自立	38	16.4	98	23.3	32	30.5	CMH1	189	19.1
	部分不可能	192	82.8	318	75.7	73	69.5	0.003	793	80.1
	欠測	2	0.9	4	1.0				8	0.8
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
ADL6 歩行	45m以上歩行	42	18.1	119	28.3	27	25.7	CMH1	213	21.5
	45m以上介助	47	20.3	111	26.4	30	28.6	0.95	218	22.0
	車椅子	18	7.8	29	6.9	14	13.3		80	8.1
	それ以外	123	53.0	157	37.4	33	31.4		469	47.4
	欠測	2	0.9	4	1.0	1	1.0		10	1.0
計	232	100.0	420	100.0	105	100.0	990	100.0		
ADL7 階段昇降	自立	31	13.4	90	21.4	19	18.1	CMH3	158	16.0
	介助	56	24.1	121	28.8	39	37.1	0.0023	245	24.7
	不能	144	62.1	205	48.8	45	42.9		579	58.5
	欠測	1	0.4	4	1.0	2	1.9		8	0.8
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
ADL8 着替え	自立	75	32.3	165	39.3	52	49.5	CMH3	331	33.4
	介助	54	23.3	135	32.1	20	19.0	<.0001	249	25.2
	それ以外	102	44.0	118	28.1	33	31.4		406	41.0
	欠測	1	0.4	2	0.5				4	0.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
ADL9 排便	失禁なし	87	37.5	206	49.0	59	56.2	CMH3	407	41.1
	介助	56	24.1	108	25.7	23	21.9	0.0007	236	23.8
	それ以外	89	38.4	102	24.3	23	21.9		341	34.4
	欠測			4	1.0				6	0.6
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0
ADL10 排尿	失禁なし	82	35.3	197	46.9	47	44.8	CMH3	372	37.6
	介助	56	24.1	111	26.4	33	31.4	0.0011	245	24.7
	それ以外	94	40.5	109	26.0	25	23.8		369	37.3
	欠測			3	0.7				4	0.4
	計	232	100.0	420	100.0	105	100.0		990	100.0

④ 栄養状態 (MNA-SF) 3 群別集計表

表 1 : 連続量項目集計 1

	0<=T_MNA<=7			8<=T_MNA<=11			12<=T_MNA			Trend		全体		
	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	欠測 例数	平均	標準偏差	p値	欠測 例数	平均	標準偏差	
I. 基本情報														
対象者年齢	356	84.74 ±	8.83	335	82.93 ±	8.12	260	82.03 ±	7.56	<.0001	990	83.37 ±	8.31	
II. 身体計測														
身長(cm)	48	150.73 ±	10.68	27	151.74 ±	10.77	12	151.28 ±	9.27	0.49	105	151.21 ±	10.30	
体重(kg)	108	40.87 ±	8.11	42	46.55 ±	9.68	17	55.09 ±	10.16	<.0001	185	47.35 ±	10.91	
下肢周囲長1	16	34.0 ±	4.93	8	29.09 ±	4.62	8	33.20 ±	4.51	<.0001	44	29.16 ±	5.48	
下肢周囲長2	16	34.0 ±	4.93	8	29.13 ±	4.61	8	33.23 ±	4.54	<.0001	44	29.20 ±	5.48	
下肢周囲長平均	16	34.0 ±	4.93	8	29.11 ±	4.61	8	33.21 ±	4.52	<.0001	44	29.18 ±	5.48	
膝高1	17	33.9 ±	6.09	12	43.71 ±	5.55	9	44.75 ±	4.88	0.0108	49	43.87 ±	5.63	
膝高2	19	33.7 ±	6.12	13	43.81 ±	5.57	10	44.82 ±	4.91	0.0086	53	43.94 ±	5.65	
膝高平均	17	33.9 ±	6.09	12	43.75 ±	5.56	9	44.78 ±	4.89	0.0093	49	43.90 ±	5.64	
IV. 療養・生活状況														
在宅療養期間(月)	15	48.71 ±	51.98	12	59.20 ±	71.88	16	59.58 ±	70.87	0.0342	47	55.86 ±	67.73	
血液検査結果														
Alb	141	215	3.46 ±	0.88	172	163	3.66 ±	0.80	0.0002	465	525	3.59 ±	0.78	
リンパ球数	259	97	549.65 ±	925.82	267	68	614.00 ±	1271.17	766.54	0.93	760	230	549.44 ±	994.45
赤血球数	99	257	386.99 ±	61.62	128	207	421.54 ±	511.57	663.22	0.08	330	660	417.59 ±	445.70
白血球数	100	256	6219.45 ±	2330.68	130	205	6149.76 ±	2911.36	1959.00	0.41	337	653	6149.10 ±	2476.89
総蛋白	124	232	6.85 ±	5.79	162	173	6.90 ±	5.41	0.70	0.99	426	564	6.85 ±	4.78
ADL総合得点	22	334	26.06 ±	30.52	26	309	52.65 ±	33.03	25.27	<.0001	69	921	47.16 ±	35.55
原疾患点数	356	2.00 ±	1.72	335	2.01 ±	1.91	260	1.74 ±	1.71	0.10	990	1.91 ±	1.78	
BMI	131	225	17.94 ±	2.82	55	280	20.17 ±	3.28	3.62	<.0001	233	757	20.75 ±	4.10
MNA個人総合得点	356	5.29 ±	1.65	335	9.05 ±	0.82	260	11.98 ±	0.99	<.0001	990	8.44 ±	2.95	

表2：施設別項目集計2 V. 医療・介護サービス利用状況

	0<=T_MNA<=7			8<=T_MNA<=11			12<=T_MNA			X>00のTrend			全体			
	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差	利用 なし	利用 例数	平均	標準偏差
①訪問サービス																
訪問診療(回/月)	17	33	306	2.28 ± 1.17	26	66	243	2.16 ± 0.94	22	74	164	2.08 ± 0.90	67	177	746	2.19 ± 1.03
訪問歯科(回/月)	63	200	93	2.43 ± 1.27	58	183	94	2.55 ± 1.35	36	164	60	2.58 ± 1.24	170	557	263	2.51 ± 1.30
訪問看護(回/月)	29	84	243	1.81 ± 1.58	21	94	220	1.36 ± 1.03	18	104	138	1.22 ± 0.91	72	286	632	1.51 ± 1.27
訪問介護(回/週)	55	143	158	8.26 ± 10.92	47	138	150	5.07 ± 5.25	32	117	111	3.64 ± 2.86	146	406	438	5.85 ± 7.67
訪問入浴(回/週)	66	167	123	1.66 ± 1.02	68	203	64	1.73 ± 1.16	41	200	19	1.89 ± 0.88	189	584	217	1.70 ± 1.03
訪問川ビリマシヨ(回/週)	65	196	95	1.80 ± 1.15	70	189	96	1.60 ± 0.87	37	148	75	1.44 ± 0.68	185	524	281	1.61 ± 0.94
訪問栄養指導(回/月)	85	270	1	1.00 ± 0.70	86	247	2	1.00 ± 0.00	51	207	2	1.00 ± 0.00	241	744	5	1.00 ± 0.00
訪問薬剤指導(回/月)	77	182	97	2.01 ± 0.70	70	199	66	1.95 ± 0.58	44	164	52	1.85 ± 0.61	207	558	225	1.95 ± 0.63
②通所サービス																
通所介護(回/週)	42	165	149	3.05 ± 2.91	50	139	146	2.48 ± 1.41	32	125	103	2.36 ± 1.11	139	442	409	2.70 ± 2.24
通所リハビリテーション(回/週)	71	257	28	1.88 ± 0.66	71	219	45	2.10 ± 0.90	42	169	49	2.11 ± 0.82	201	666	123	2.05 ± 0.82
通所看護(回/週)	81	275	±	±	83	250	2	3.50 ± 2.12	54	206	±	±	236	752	2	3.50 ± 2.12
③短期入所(特養・老健)																
ショートステイ(回/月)	60	227	69	6.98 ± 4.84	73	207	55	6.33 ± 4.43	45	182	33	6.50 ± 4.71	192	634	164	6.63 ± 4.65
④介護保険外サービス																
配食サービス(回/月)	82	251	23	5.63 ± 3.26	80	227	28	5.36 ± 3.09	45	186	29	5.34 ± 3.24	225	684	81	5.44 ± 3.17
外来の有無																
外来受診回数(回/月)	36	252	68	1.43 ± 1.83	24	199	112	1.49 ± 1.88	9	133	118	1.44 ± 2.01	76	607	307	1.44 ± 1.89
食事摂取法																
経管栄養カロリー	15	277	64	951.95 ± 283.83	11	299	25	1022.00 ± 279.91	3	249	8	1043.75 ± 339.58	35	851	104	990.87 ± 285.49
静脈栄養カロリー	2	352	2	915.00 ± 445.48	6	326	3	646.67 ± 150.11	3	257	±	±	14	971	5	754.00 ± 287.19
1回の食事時間(分)	25	81	250	32.99 ± 18.67	12	39	284	28.03 ± 13.41	13	12	235	27.54 ± 14.55	54	145	791	29.43 ± 15.77

表3: I. 対象者の基本情報、II. 身体計測、III. 栄養評価(MNA)

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
性別	男	126	35.4	135	40.3	108	41.5		384	38.8
	女	230	64.6	200	59.7	152	58.5		606	61.2
	欠測 計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
浮腫	有	62	17.4	69	20.6	90	34.6	CMH1 <.0001	229	23.1
	無	272	76.4	251	74.9	154	59.2		700	70.7
	欠測 計	22	6.2	15	4.5	16	6.2		61	6.2
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
MNA1 食事量減少	著しい食事量減少	57	16.0	4	1.2			CMH1 <.0001	64	6.5
	中等度減少	105	29.5	45	13.4	8	3.1		160	16.2
	減少なし	194	54.5	286	85.4	252	96.9		753	76.1
	欠測 計								13	1.3
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
MNA2 体重減少	3kg以上減少	50	14.0	9	2.7			CMH3 <.0001	60	6.1
	わからない	140	39.3	41	12.2	6	2.3		205	20.7
	1.3kg減少	81	22.8	60	17.9	15	5.8		159	16.1
	減少なし	85	23.9	225	67.2	239	91.9		561	56.7
	欠測 計								5	0.5
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
MNA3 移動	寝たきり車椅子	245	68.8	114	34.0	36	13.8	CMH3 <.0001	418	42.2
	外出できない	91	25.6	163	48.7	134	51.5		396	40.0
	外出できる	20	5.6	58	17.3	90	34.6		170	17.2
	欠測 計								6	0.6
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
MNA4 ストレス	はい	141	39.6	69	20.6	28	10.8	CMH1 <.0001	244	24.6
	いいえ	215	60.4	266	79.4	232	89.2		742	74.9
	欠測 計									4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
MNA5 認知症うつ	強度認知症うつ	115	32.3	24	7.2	5	1.9	CMH1 <.0001	149	15.1
	中度認知症	178	50.0	136	40.6	47	18.1		371	37.5
	問題なし	63	17.7	175	52.2	208	80.0		463	46.8
	欠測 計								7	0.7
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
MNA評価3カテゴリー	0<=T_MNA<=7	356	100.0					CMH1 <.0001	356	36.0
	8<=T_MNA<=11			335	100.0				335	33.8
	12<=T_MNA					260	100.0		260	26.3
	欠測 計								39	3.9
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0

表4：IV. 療養・生活状況、V. 医療・介護サービス利用状況(1)

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
病状の安定性	安定	251	70.5	292	87.2	236	90.8	CMH3 <.0001	806	81.4
	不安定	94	26.4	38	11.3	21	8.1		161	16.3
	不明	6	1.7			1	0.4		10	1.0
	欠測	5	1.4	5	1.5	2	0.8		13	1.3
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
直近3ヶ月間の入院	有	71	19.9	48	14.3	29	11.2	CMH3 0.0162	153	15.5
	無	274	77.0	286	85.4	229	88.1		821	82.9
	不明	1	0.3						1	0.1
	欠測	10	2.8	1	0.3	2	0.8		15	1.5
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
入院の理由 複数選択 (CMH1 Test)	肺炎							0.16 0.0183 0.71 0.31 0.49 0.19 0.72	1	0.7
	窒息	35	49.3	30	62.5	18	62.1		85	55.6
	脳血管障害	17	23.9	5	10.4	2	6.9		25	16.3
	感染症									
	骨折	2	2.8	3	6.3	1	3.4		7	4.6
	心不全	8	11.3	2	4.2	2	6.9		13	8.5
	検査入院	4	5.6	2	4.2	3	10.3		9	5.9
	不明	9	12.7	5	10.4	1	3.4		15	9.8
	その他	8	11.3	6	12.5	4	13.8		18	11.8
	欠測			1	2.1				1	0.7
計	71	20.5	48	14.4	29	11.2	153	15.7		
外来受診	有	77	21.6	117	34.9	120	46.2	CMH1 <.0001	324	32.7
	無	252	70.8	199	59.4	133	51.2		607	61.3
	欠測	27	7.6	19	5.7	7	2.7		59	6.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
歯科受診	有	92	25.8	107	31.9	69	26.5	CMH1 0.82	284	28.7
	無	233	65.4	212	63.3	172	66.2		637	64.3
	欠測	31	8.7	16	4.8	19	7.3		69	7.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
緩和ケア	有	19	5.3	7	2.1	5	1.9	CMH1 0.0082	32	3.2
	無	298	83.7	307	91.6	242	93.1		877	88.6
	欠測	39	11.0	21	6.3	13	5.0		81	8.2
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0

表5：原疾患（IV.療養・生活状況(2)）

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
虚血性疾患	なし	321	90.2	287	85.7	226	86.9	CMH1 0.46	869	87.8
	あり	30	8.4	43	12.8	25	9.6		101	10.2
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
心不全	なし	288	80.9	275	82.1	222	85.4	CMH1 0.0398	816	82.4
	あり	63	17.7	55	16.4	29	11.2		154	15.6
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
慢性肺疾患	なし	319	89.6	297	88.7	224	86.2	CMH1 0.50	875	88.4
	あり	32	9.0	33	9.9	27	10.4		95	9.6
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
胃十二指腸潰瘍	なし	339	95.2	321	95.8	242	93.1	CMH1 0.96	938	94.7
	あり	12	3.4	9	2.7	9	3.5		32	3.2
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
末梢血管疾患	なし	347	97.5	326	97.3	249	95.8	CMH1 0.71	960	97.0
	あり	4	1.1	4	1.2	2	0.8		10	1.0
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
マイルドな肝疾患	なし	342	96.1	324	96.7	246	94.6	CMH1 0.60	950	96.0
	あり	9	2.5	6	1.8	5	1.9		20	2.0
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
脳血管障害	なし	241	67.7	232	69.3	175	67.3	CMH1 0.75	675	68.2
	あり	110	30.9	98	29.3	76	29.2		295	29.8
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
膠原病	なし	341	95.8	317	94.6	239	91.9	CMH1 0.21	935	94.4
	あり	10	2.8	13	3.9	12	4.6		35	3.5
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
糖尿病	なし	303	85.1	281	83.9	203	78.1	CMH1 0.08	819	82.7
	あり	48	13.5	49	14.6	48	18.5		151	15.3
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
認知症	なし	188	52.8	218	65.1	204	78.5	CMH1 <.0001	638	64.4
	あり	163	45.8	112	33.4	47	18.1		332	33.5
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
片麻痺	なし	320	89.9	299	89.3	221	85.0	CMH1 0.22	876	88.5
	あり	31	8.7	31	9.3	30	11.5		94	9.5
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
中等度_重症腎疾患	なし	339	95.2	319	95.2	237	91.2	CMH1 0.21	932	94.1
	あり	12	3.4	11	3.3	14	5.4		38	3.8
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
臓器不全を伴う糖尿病	なし	347	97.5	328	97.9	248	95.4	CMH1 0.99	961	97.1
	あり	4	1.1	2	0.6	3	1.2		9	0.9
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
5年以内に診断された原発性腫瘍	なし	317	89.0	308	91.9	237	91.2	CMH1 0.0514	899	90.8
	あり	34	9.6	22	6.6	14	5.4		71	7.2
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
白血病	なし	351	98.6	330	98.5	251	96.5		970	98.0
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
中等度_重度な肝疾患	なし	350	98.3	326	97.3	246	94.6	CMH1 0.0430	960	97.0
	あり	1	0.3	4	1.2	5	1.9		10	1.0
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
転移性腫瘍	なし	340	95.5	313	93.4	245	94.2	CMH1 0.77	935	94.4
	あり	11	3.1	17	5.1	6	2.3		35	3.5
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
AIDS	なし	351	98.6	329	98.2	251	96.5	CMH1 0.89	969	97.9
	あり			1	0.3				1	0.1
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
その他	なし	351	98.6	329	98.2	251	96.5	CMH1 0.89	969	97.9
	あり			1	0.3				1	0.1
	欠測	5	1.4	5	1.5	9	3.5		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0

表6：IV. 療養・生活状況(3)

	0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体				
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%			
障害高齢者の日常生活自立度	自立	3	0.8	7	2.1	16	6.2	CMH1	28	2.8		
	J1	4	1.1	4	1.2	14	5.4	<.0001	24	2.4		
	J2	5	1.4	21	6.3	32	12.3		58	5.9		
	A1	21	5.9	49	14.6	44	16.9		116	11.7		
	A2	41	11.5	76	22.7	64	24.6		184	18.6		
	B1	50	14.0	60	17.9	41	15.8		153	15.5		
	B2	55	15.4	45	13.4	19	7.3		126	12.7		
	C1	55	15.4	25	7.5	8	3.1		91	9.2		
	C2	104	29.2	39	11.6	13	5.0		168	17.0		
	欠測	18	5.1	9	2.7	9	3.5		42	4.2		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
障害高齢者の日常生活自立度	自立、J1、J2	12	3.4	32	9.6	62	23.8	CMH1	110	11.1		
	A1	21	5.9	49	14.6	44	16.9	<.0001	116	11.7		
	A2	41	11.5	76	22.7	64	24.6		184	18.6		
	B1	50	14.0	60	17.9	41	15.8		153	15.5		
	B2	55	15.4	45	13.4	19	7.3		126	12.7		
	C1	55	15.4	25	7.5	8	3.1		91	9.2		
	C2	104	29.2	39	11.6	13	5.0		168	17.0		
	欠測	18	5.1	9	2.7	9	3.5		42	4.2		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
	認知症高齢者の日常生活自立度	正常	36	10.1	80	23.9	89		34.2	CMH1	211	21.3
		I	42	11.8	71	21.2	70		26.9	<.0001	189	19.1
II		8	2.2	13	3.9	14	5.4	37	3.7			
II a		24	6.7	41	12.2	24	9.2	91	9.2			
II b		28	7.9	41	12.2	26	10.0	97	9.8			
III a		63	17.7	30	9.0	15	5.8	114	11.5			
III b		44	12.4	19	5.7	5	1.9	70	7.1			
IV		62	17.4	23	6.9	5	1.9	95	9.6			
M		28	7.9	8	2.4			39	3.9			
欠測		21	5.9	9	2.7	12	4.6	47	4.7			
計		356	100.0	335	100.0	260	100.0	990	100.0			
認知症高齢者の日常生活自立度	正常	36	10.1	80	23.9	89	34.2	CMH1	211	21.3		
	I	42	11.8	71	21.2	70	26.9	<.0001	189	19.1		
	II, II a, II b	60	16.9	95	28.4	64	24.6		225	22.7		
	III a, III b	107	30.1	49	14.6	20	7.7		184	18.6		
	IV	62	17.4	23	6.9	5	1.9		95	9.6		
	M	28	7.9	8	2.4				39	3.9		
	欠測	21	5.9	9	2.7	12	4.6		47	4.7		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
	要支援・要介護度	自立	2	0.6	4	1.2	5		1.9	CMH1	12	1.2
		要支援1	2	0.6	10	3.0	11		4.2	<.0001	24	2.4
		要支援2	4	1.1	21	6.3	22		8.5		48	4.8
要介護1		22	6.2	32	9.6	45	17.3	102	10.3			
要介護2		34	9.6	67	20.0	67	25.8	170	17.2			
要介護3		43	12.1	59	17.6	38	14.6	142	14.3			
要介護4		64	18.0	58	17.3	36	13.8	160	16.2			
要介護5		177	49.7	76	22.7	23	8.8	300	30.3			
欠測		8	2.2	8	2.4	13	5.0	32	3.2			
計		356	100.0	335	100.0	260	100.0	990	100.0			
要支援・要介護度		自立、要支援1、2	8	2.2	35	10.4	38	14.6	CMH1		84	8.5
	要介護1	22	6.2	32	9.6	45	17.3	<.0001	102	10.3		
	要介護2	34	9.6	67	20.0	67	25.8		170	17.2		
	要介護3	43	12.1	59	17.6	38	14.6		142	14.3		
	要介護4	64	18.0	58	17.3	36	13.8		160	16.2		
	要介護5	177	49.7	76	22.7	23	8.8		300	30.3		
	欠測	8	2.2	8	2.4	13	5.0		32	3.2		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
	世帯状況_独り暮らし	なし	317	89.0	273	81.5	197		75.8	CMH1	820	82.8
		あり	36	10.1	60	17.9	60		23.1	<.0001	160	16.2
		欠測	3	0.8	2	0.6	3		1.2		10	1.0
計		356	100.0	335	100.0	260	100.0	990	100.0			
世帯状況_配偶者	なし	192	53.9	172	51.3	134	51.5	CMH1	517	52.2		
	あり	161	45.2	161	48.1	123	47.3	0.55	463	46.8		
	欠測	3	0.8	2	0.6	3	1.2		10	1.0		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
世帯状況_子供	なし	157	44.1	179	53.4	166	63.8	CMH1	518	52.3		
	あり	196	55.1	154	46.0	91	35.0	<.0001	462	46.7		
	欠測	3	0.8	2	0.6	3	1.2		10	1.0		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
世帯状況_子供の配偶者	なし	262	73.6	265	79.1	222	85.4	CMH1	775	78.3		
	あり	91	25.6	68	20.3	35	13.5	0.0003	205	20.7		
	欠測	3	0.8	2	0.6	3	1.2		10	1.0		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
世帯状況_親	なし	352	98.9	330	98.5	257	98.8	CMH1	975	98.5		
	あり	1	0.3	3	0.9			0.71	5	0.5		
	欠測	3	0.8	2	0.6	3	1.2		10	1.0		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		
世帯状況_その他	なし	293	82.3	294	87.8	235	90.4	CMH1	855	86.4		
	あり	60	16.9	39	11.6	22	8.5	0.0017	125	12.6		
	欠測	3	0.8	2	0.6	3	1.2		10	1.0		
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0		

表7：IV. 療養・生活状況(4)

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%	p値	例数	%
経済状況	50万円未満	15	4.2	4	1.2	13	5.0	CMH1 0.97	33	3.3
	50-100万円未満	15	4.2	14	4.2	9	3.5		40	4.0
	100-150万円未満	23	6.5	16	4.8	16	6.2		58	5.9
	150-200万円未満	23	6.5	25	7.5	15	5.8		63	6.4
	200-250万未満	21	5.9	28	8.4	16	6.2		69	7.0
	250-300万円未満	19	5.3	30	9.0	22	8.5		74	7.5
	300-350万円未満	14	3.9	11	3.3	10	3.8		37	3.7
	350-400万円未満	18	5.1	21	6.3	18	6.9		59	6.0
	400万円以上	62	17.4	55	16.4	39	15.0		162	16.4
	わからない	126	35.4	116	34.6	83	31.9		335	33.8
	欠測	20	5.6	15	4.5	19	7.3		60	6.1
計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0	
本人の婚姻状況	既婚	175	49.2	185	55.2	143	55.0	CMH3 0.45	527	53.2
	未婚	11	3.1	9	2.7	9	3.5		29	2.9
	死別・離婚	169	47.5	138	41.2	108	41.5		430	43.4
	欠測	1	0.3	3	0.9				4	0.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
医療扶助の給付	あり	72	20.2	60	17.9	52	20.0	CMH3 0.44	193	19.5
	なし	259	72.8	257	76.7	183	70.4		721	72.8
	わからない	11	3.1	11	3.3	14	5.4		38	3.8
	欠測	14	3.9	7	2.1	11	4.2		38	3.8
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
医療費自己負担免除	あり			1	1.7	1	1.9	CMH3 0.58	3	1.6
	なし	64	88.9	52	86.7	45	86.5		167	86.5
	わからない	2	2.8			1	1.9		3	1.6
	欠測	6	8.3	7	11.7	5	9.6		20	10.4
	計	72	100.0	60	100.0	52	100.0			193
主たる介護者_続柄	配偶者	132	37.1	136	40.6	94	36.2	CMH3 0.71	380	38.4
	子ども	142	39.9	120	35.8	97	37.3		366	37.0
	子どもの配偶者	38	10.7	34	10.1	23	8.8		101	10.2
	欠測	4	1.1	6	1.8	8	3.1		22	2.2
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
主たる介護者_性別	男	106	29.8	77	23.0	70	26.9	CMH3 0.19	259	26.2
	女	234	65.7	232	69.3	165	63.5		661	66.8
	欠測	16	4.5	26	7.8	25	9.6		70	7.1
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
主たる介護者_年齢	20歳未満					1	0.4	CMH3 0.28	1	0.1
	20歳代	1	0.3			1	0.4		2	0.2
	30歳代	5	1.4	3	0.9	1	0.4		10	1.0
	40歳代	28	7.9	33	9.9	35	13.5		98	9.9
	50歳代	60	16.9	52	15.5	52	20.0		168	17.0
	60歳代	100	28.1	91	27.2	55	21.2		257	26.0
	70歳代	76	21.3	72	21.5	47	18.1		202	20.4
	80歳以上	60	16.9	52	15.5	37	14.2		156	15.8
	欠測	26	7.3	32	9.6	31	11.9		96	9.7
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990

表 8 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(1)

	0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
誤嚥性肺炎既往	有	65	18.3	27	8.1	11	4.2	CMH1	109	11.0
	無	290	81.5	308	91.9	248	95.4	<.0001	879	88.8
	欠測	1	0.3			1	0.4		2	0.2
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
じよくそう既往	有	74	20.8	47	14.0	20	7.7	CMH1	153	15.5
	無	280	78.7	286	85.4	240	92.3	<.0001	832	84.0
	欠測	2	0.6	2	0.6				5	0.5
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
昼食時の覚醒状況	覚醒している	233	65.4	304	90.7	248	95.4	CMH1	814	82.2
	やや覚醒	72	20.2	16	4.8	5	1.9	<.0001	95	9.6
	わずかに覚醒	21	5.9	5	1.5	1	0.4		29	2.9
	覚醒していない	12	3.4	5	1.5	4	1.5		24	2.4
	わからない	16	4.5	3	0.9	1	0.4		21	2.1
	欠測	2	0.6	2	0.6	1	0.4		7	0.7
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
意思の伝達	できる	197	55.3	278	83.0	247	95.0	CMH1	749	75.7
	時々できる	76	21.3	35	10.4	9	3.5	<.0001	124	12.5
	ほとんどできない	46	12.9	10	3.0	2	0.8		63	6.4
	できない	37	10.4	10	3.0				50	5.1
	欠測			2	0.6	2	0.8		4	0.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
強制排便の有無	有	229	64.3	163	48.7	117	45.0	CMH1	537	54.2
	無	123	34.6	161	48.1	137	52.7	<.0001	432	43.6
	欠測	4	1.1	11	3.3	5	1.9		20	2.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0

表 9 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(2)

	0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体		
	例数	%	例数	%	例数	%		例数	%	
残存歯数	20本以上	61	17.1	82	24.5	65	25.0	CMH1	213	21.5
	10-19本	53	14.9	65	19.4	52	20.0	0.0018	178	18.0
	1-9本	114	32.0	86	25.7	64	24.6		272	27.5
	0本	117	32.9	91	27.2	70	26.9		289	29.2
	欠測	11	3.1	11	3.3	9	3.5		38	3.8
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
入れ歯の有無	有	196	55.1	208	62.1	172	66.2	CMH3	595	60.1
	無	154	43.3	117	34.9	82	31.5	0.0253	368	37.2
	不明	1	0.3	2	0.6				6	0.6
	欠測	5	1.4	8	2.4	6	2.3		21	2.1
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
口を閉じることができる	できる	334	93.8	328	97.9	254	97.7	CMH3	953	96.3
	できない	15	4.2	1	0.3	3	1.2	0.0008	20	2.0
	わからない	4	1.1	1	0.3				5	0.5
	欠測	3	0.8	5	1.5	3	1.2		12	1.2
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
口腔清掃の有無	有	319	89.6	304	90.7	231	88.8	CMH3	889	89.8
	無	24	6.7	20	6.0	14	5.4	0.66	58	5.9
	不明	6	1.7	3	0.9	6	2.3		16	1.6
	欠測	7	2.0	8	2.4	9	3.5		27	2.7
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
固い食品	はい	134	37.6	209	62.4	184	70.8	CMH1	536	54.1
	いいえ	215	60.4	115	34.3	70	26.9	<.0001	428	43.2
	欠測	7	2.0	11	3.3	6	2.3		26	2.6
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
食品の噛み方	左右両側の歯	71	53.0	109	52.2	118	64.1	CMH3	305	56.9
	左右どちらかの歯	25	18.7	25	12.0	12	6.5	0.0046	64	11.9
	不明	8	6.0	8	3.8	3	1.6		19	3.5
	欠測	30	22.4	67	32.1	51	27.7		148	27.6
	計	134	100.0	209	100.0	184	100.0		536	100.0

表 10 : VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能(3)

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
嚥める程度	どんなものでも	53	14.9	92	27.5	108	41.5	CMH1	258	26.1
	たいていのものは	104	29.2	163	48.7	102	39.2	<.0001	377	38.1
	食べ物に限られる	97	27.2	46	13.7	39	15.0		188	19.0
	ほとんど嚥めない	32	9.0	5	1.5	1	0.4		44	4.4
	全く嚥めず	41	11.5	12	3.6	3	1.2		61	6.2
	欠測	29	8.1	17	5.1	7	2.7		62	6.3
計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0	
DSS	唾液誤嚥	16	4.5	5	1.5	2	0.8	CMH1	26	2.6
	食物誤嚥	28	7.9	6	1.8			<.0001	37	3.7
	水分誤嚥	31	8.7	8	2.4	5	1.9		47	4.7
	機会誤嚥	41	11.5	13	3.9	7	2.7		65	6.6
	口腔問題	31	8.7	26	7.8	12	4.6		76	7.7
	軽度問題	75	21.1	76	22.7	38	14.6		191	19.3
	正常範囲	110	30.9	187	55.8	187	71.9		493	49.8
	欠測	24	6.7	14	4.2	9	3.5		55	5.6
計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990	100.0
DSS(2区分)	嚥下機能 1-4誤嚥あり	116	32.6	32	9.6	14	5.4	CMH1	175	17.7
	嚥下機能 5-7誤嚥なし	216	60.7	289	86.3	237	91.2	<.0001	760	76.8
	欠測	24	6.7	14	4.2	9	3.5		55	5.6
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990

表 11 : VII. 食事、食事環境等について(1)

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
食費	500円未満	62	17.4	37	11.0	28	10.8	CMH1	129	13.0
	500円以上1000円未満	108	30.3	111	33.1	88	33.8	0.0028	323	32.6
	1000円以上1500円未満	51	14.3	71	21.2	58	22.3		185	18.7
	1500円以上	16	4.5	19	5.7	16	6.2		52	5.3
	わからない	89	25.0	82	24.5	57	21.9		233	23.5
	欠測	30	8.4	15	4.5	13	5.0		68	6.9
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
経口摂取	はい	286	80.3	305	91.0	252	96.9		CMH1	869
	いいえ	68	19.1	24	7.2	5	1.9	<.0001	107	10.8
	欠測	2	0.6	6	1.8	3	1.2		14	1.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
経管栄養	はい	77	21.6	30	9.0	9	3.5		CMH1	126
	いいえ	277	77.8	299	89.3	248	95.4	<.0001	850	85.9
	欠測	2	0.6	6	1.8	3	1.2		14	1.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
経管栄養_方法	経口	4	5.2						CMH3 0.36	4
	経鼻	4	5.2					5		4.0
	胃瘻	67	87.0	29	96.7	9	100.0	113		89.7
	欠測	2	2.6	1	3.3			4		3.2
	計	77	100.0	30	100.0	9	100.0			126
静脈栄養	はい	2	0.6	3	0.9			CMH1 0.41	5	0.5
	いいえ	352	98.9	326	97.3	257	98.8		971	98.1
	欠測	2	0.6	6	1.8	3	1.2		14	1.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
1日の水分摂取量	コップ3杯未満	82	23.0	40	11.9	28	10.8	CMH1	158	16.0
	3杯以上5杯未満	172	48.3	156	46.6	94	36.2	<.0001	435	43.9
	5杯以上	89	25.0	134	40.0	134	51.5		372	37.6
	欠測	13	3.7	5	1.5	4	1.5		25	2.5
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
食事形態	ゼリー食、ムース食	14	3.9	6	1.8	1	0.4		CMH3	21
	ペースト、ミキサー食	28	7.9	6	1.8	2	0.8	<.0001	41	4.1
	きざみ食	45	12.6	14	4.2	9	3.5		70	7.1
	軟食	74	20.8	74	22.1	40	15.4		199	20.1
	常食	131	36.8	211	63.0	200	76.9		551	55.7
	欠測	64	18.0	24	7.2	8	3.1		108	10.9
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990
1日の食事回数	1回	2	0.7	4	1.3	1	0.4		CMH1	8
	2回	33	11.5	20	6.6	19	7.5	0.26	74	8.5
	3回	236	82.5	268	87.9	225	89.3		752	86.5
	4回以上	11	3.8	10	3.3	7	2.8		28	3.2
	欠測	4	1.4	3	1.0				7	0.8
	計	286	100.0	305	100.0	252	100.0			869
栄養補助食品	摂取	98	27.5	63	18.8	30	11.5		CMH1	200
	なし	200	56.2	249	74.3	220	84.6	<.0001	687	69.4
	欠測	58	16.3	23	6.9	10	3.8		103	10.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0			990

表 1 2 : VII. 食事、食事環境等について(2)

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
薬	形状変えずに飲める	229	64.3	288	86.0	245	94.2	CMH1	785	79.3
	飲めない	74	20.8	26	7.8	7	2.7	<.0001	113	11.4
	欠測	53	14.9	21	6.3	8	3.1		92	9.3
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
薬_形状の工夫	工夫すれば飲める	55	74.3	19	73.1	5	71.4	CMH1	83	73.5
	工夫しても飲めない	13	17.6	7	26.9	2	28.6	0.37	24	21.2
	欠測	6	8.1						6	5.3
	計	74	100.0	26	100.0	7	100.0		113	100.0
食欲	ない	25	7.0	23	6.9	16	6.2	CMH1	67	6.8
	わずかにある	45	12.6	20	6.0	8	3.1	<.0001	74	7.5
	ややある	77	21.6	61	18.2	37	14.2		179	18.1
	ある	142	39.9	209	62.4	191	73.5		562	56.8
	わからない	16	4.5	6	1.8	1	0.4		25	2.5
	欠測	51	14.3	16	4.8	7	2.7		83	8.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
食事の楽しみ	とても楽しみ	80	22.5	141	42.1	112	43.1	CMH1	347	35.1
	やや楽しみ	98	27.5	108	32.2	102	39.2	<.0001	317	32.0
	あまり楽しみでない	70	19.7	51	15.2	34	13.1		157	15.9
	まったく楽しみでない	55	15.4	17	5.1	5	1.9		81	8.2
	欠測	53	14.9	18	5.4	7	2.7		88	8.9
計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0	
喫煙	吸う	7	2.0	10	3.0	12	4.6	CMH1	29	2.9
	やめた	105	29.5	92	27.5	82	31.5	0.11	287	29.0
	吸わない	244	68.5	232	69.3	166	63.8		673	68.0
	欠測			1	0.3				1	0.1
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
飲酒	飲む	23	6.5	43	12.8	38	14.6	CMH1	104	10.5
	やめた	82	23.0	77	23.0	64	24.6	0.0009	230	23.2
	飲まない	251	70.5	215	64.2	157	60.4		655	66.2
	欠測					1	0.4		1	0.1
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
皮膚のかさつき	ない	73	20.5	104	31.0	99	38.1	CMH1	285	28.8
	わずかにある	107	30.1	104	31.0	75	28.8	<.0001	290	29.3
	ややある	89	25.0	80	23.9	50	19.2		231	23.3
	ある	83	23.3	42	12.5	35	13.5		170	17.2
	わからない	1	0.3	1	0.3				4	0.4
	欠測	3	0.8	4	1.2	1	0.4		10	1.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
白癬の有無	あり	82	23.0	80	23.9	55	21.2	CMH3	231	23.3
	なし	246	69.1	244	72.8	198	76.2	0.42	707	71.4
	わからない	10	2.8	5	1.5	3	1.2		20	2.0
	欠測	18	5.1	6	1.8	4	1.5		32	3.2
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
爪のしろさ	はい	28	10.9	33	13.3	22	10.9	CMH3	88	12.1
	いいえ	201	78.5	197	79.1	163	81.1	0.14	575	79.1
	わからない	13	5.1	7	2.8	2	1.0		23	3.2
	欠測	14	5.5	12	4.8	14	7.0		41	5.6
	計	256	100.0	249	100.0	201	100.0		727	100.0
爪の色	ピンク	199	77.7	197	79.1	160	79.6	CMH3	572	78.7
	白、青	39	15.2	44	17.7	35	17.4	0.07	123	16.9
	その他	1	0.4	1	0.4	2	1.0		4	0.6
	わからない	10	3.9	3	1.2				13	1.8
	欠測	7	2.7	4	1.6	4	2.0		15	2.1
	計	256	100.0	249	100.0	201	100.0		727	100.0

表13:Ⅷ. ADL(バーセルインデックス)

		0<=T_MNA<=7		8<=T_MNA<=11		12<=T_MNA		包括的 p値	全体	
		例数	%	例数	%	例数	%		例数	%
ADL1 食事	自立	107	30.1	217	64.8	218	83.8	CMH1 <.0001	556	56.2
	部分介助	89	25.0	72	21.5	28	10.8		195	19.7
	全介助	159	44.7	45	13.4	13	5.0		235	23.7
	欠測	1	0.3	1	0.3	1	0.4		4	0.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
ADL2 移動	自立	62	17.4	146	43.6	160	61.5	CMH1 <.0001	375	37.9
	部分介助	50	14.0	74	22.1	55	21.2		185	18.7
	座位全介助	67	18.8	34	10.1	17	6.5		123	12.4
	不可能	168	47.2	66	19.7	21	8.1		275	27.8
	欠測	9	2.5	15	4.5	7	2.7		32	3.2
計	356	100.0	335	100.0	260	100.0	990	100.0		
ADL3 整容	自立	69	19.4	168	50.1	193	74.2	CMH1 <.0001	441	44.5
	部分不可能	281	78.9	165	49.3	65	25.0		539	54.4
	欠測	6	1.7	2	0.6	2	0.8		10	1.0
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
ADL4 トイレ	自立	68	19.1	150	44.8	185	71.2	CMH1 <.0001	411	41.5
	部分介助	77	21.6	99	29.6	47	18.1		230	23.2
	全介助	209	58.7	84	25.1	28	10.8		345	34.8
	欠測	2	0.6	2	0.6				4	0.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
ADL5 入浴	自立	24	6.7	68	20.3	93	35.8	CMH1 <.0001	189	19.1
	部分不可能	330	92.7	264	78.8	164	63.1		793	80.1
	欠測	2	0.6	3	0.9	3	1.2		8	0.8
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
ADL6 歩行	45m以上歩行	27	7.6	80	23.9	102	39.2	CMH1 <.0001	213	21.5
	45m以上介助	46	12.9	77	23.0	89	34.2		218	22.0
	車椅子	26	7.3	32	9.6	20	7.7		80	8.1
	それ以外	256	71.9	140	41.8	47	18.1		469	47.4
	欠測	1	0.3	6	1.8	2	0.8		10	1.0
計	356	100.0	335	100.0	260	100.0	990	100.0		
ADL7 階段昇降	自立	17	4.8	58	17.3	78	30.0	CMH3 <.0001	158	16.0
	介助	56	15.7	95	28.4	91	35.0		245	24.7
	不能	282	79.2	179	53.4	88	33.8		579	58.5
	欠測	1	0.3	3	0.9	3	1.2		8	0.8
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
ADL8 着替え	自立	52	14.6	121	36.1	153	58.8	CMH3 <.0001	331	33.4
	介助	60	16.9	107	31.9	71	27.3		249	25.2
	それ以外	242	68.0	105	31.3	36	13.8		406	41.0
	欠測	2	0.6	2	0.6				4	0.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
ADL9 排便	失禁なし	66	18.5	148	44.2	183	70.4	CMH3 <.0001	407	41.1
	介助	89	25.0	94	28.1	48	18.5		236	23.8
	それ以外	199	55.9	92	27.5	26	10.0		341	34.4
	欠測	2	0.6	1	0.3	3	1.2		6	0.6
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0
ADL10 排尿	失禁なし	62	17.4	136	40.6	166	63.8	CMH3 <.0001	372	37.6
	介助	81	22.8	97	29.0	61	23.5		245	24.7
	それ以外	212	59.6	101	30.1	31	11.9		369	37.3
	欠測	1	0.3	1	0.3	2	0.8		4	0.4
	計	356	100.0	335	100.0	260	100.0		990	100.0



チームリーダーNo.

## 在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査票

調査年月日                      年                      月                      日

チームリーダー所属機関の都道府県名：		市町村名：	
1	チームリーダーの情報（名前：                      ）	職種	1. 医師    2. 歯科医師    3. 看護師    4. 薬剤師 5. ケアマネージャー    6. 介護士    7. 栄養士    8. 歯科衛生士 7. その他（                      ）
	医院/施設 事業所名                      施設コード（                      ）		
2	主たる記入者の情報（名前：                      ）	職種	1. 医師    2. 歯科医師    3. 看護師    4. 薬剤師 5. ケアマネージャー    6. 介護士    7. 栄養士    8. 歯科衛生士 7. その他（                      ）
	医院/施設 事業所名                      施設コード（                      ）		

## I. 対象者の基本情報

対象者氏名					性別	1. 男 2. 女
生年月日	M・T・S	年	月	日生	年齢	歳

## II. 身体計測

### 1) 身体測定(必須測定項目)

①身長	[測定年月 年 月]			cm・不明	②体重	[測定年月 年 月]			kg・不明
③下腿周囲長	1回目	cm	④膝高	1回目	cm	⑤浮腫	1. 有 2. 無		
	2回目	cm		2回目	cm				

## III. 栄養評価 (MNA) →マニュアルに沿って実施してください

### 1) 過去3ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事が減少しましたか？

1. 著しい食事量の減少	2. 中等度の食事量の減少	3. 食事量の減少なし
--------------	---------------	-------------

### 2) 過去3ヶ月間で体重の減少がありましたか？

1. 3 kg 以上の減少	2. わからない	3. 1~3 kg の減少	4. 体重減少なし
---------------	----------	---------------	-----------

### 3) 自力で歩けますか？

1. 寝たきりまたは車椅子を常時使用	2. ベッドや車椅子を離れられるが、歩いて外出はできない	3. 自由に歩いて外出できる
--------------------	------------------------------	----------------

### 4) 過去3ヶ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------

### 5) 神経・精神的問題の有無

1. 強度認知症またはうつ状態	2. 中程度の認知症	3. 精神的問題なし
-----------------	------------	------------

## IV. 療養・生活状況

### 1) 在宅療養期間

年	ヶ月
---	----

### 2) 現在の病状の安定性

1. 安定	2. 不安定	3. 不明
-------	--------	-------

### 3) 直近3ヶ月間の入院

1. 有 ( 回/3ヶ月)	2. 無	3. 不明
a. 入院の理由 (あてはまるものすべてに○)		
1. 肺炎 (誤嚥性肺炎含む) 2. 窒息 3. 脳血管障害 4. 肺炎を除く感染症 5. 骨折 6. 心不全		
7. 検査入院 8. 不明 9. その他 ( )		

### 4) 血液検査結果 (結果がある場合のみ)

Alb 値 ( g/dl) [ 年 月 日]	リンパ球数 ( 個/ $\mu$ l) [ 年 月 日]
赤血球数 ( 個/ $\mu$ l) [ 年 月 日]	白血球数 ( 個/ $\mu$ l) [ 年 月 日]
総蛋白 ( g/dl) [ 年 月 日]	

### 5) 原疾患 (あてはまるものすべてに○)

1. 虚血性心疾患	2. 心不全	3. 慢性肺疾患	4. 胃十二指腸潰瘍	5. 末梢血管疾患	6. マイルドな肝疾患
7. 脳血管障害	8. 膠原病	9. 糖尿病	10. 認知症	11. 片麻痺	12. 中等度-重症腎疾患
13. 臓器不全を伴う糖尿病	14. 5年以内に診断された原発性腫瘍	15. 白血病	16. 中等度-重度な肝疾患		
17. 転移性腫瘍	18. AIDS	19. その他 ( )			

6) 障害高齢者の日常生活自立度 (平成 年 月 日現在)

1. 自立	2. J1	3. J2	4. A1	5. A2	6. B1	7. B2	8. C1	9. C2
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

7) 認知症高齢者の日常生活自立度 (平成 年 月 日現在)

1. 正常	2. I	3. II	4. IIa	5. IIb	6. IIIa	7. IIIb	8. IV	9. M
-------	------	-------	--------	--------	---------	---------	-------	------

8) 要支援・要介護度

1. 自立	2. 要支援1	3. 要支援2	4. 要介護1	5. 要介護2	6. 要介護3	7. 要介護4	8. 要介護5
-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

9) 世帯状況 (あてはまるものすべてに○)

1. 独り暮らし	2. 配偶者	3. 子ども	4. 子どもの配偶者	5. 親	6. その他 ( )
----------	--------	--------	------------	------	------------

10) 経済状況 (世帯年収)

1. 50万円未満	2. 50-100万円未満	3. 100-150万円未満	4. 150-200万円未満	5. 200-250万円未満
6. 250-300万円未満	7. 300-350万円未満	8. 350-400万円未満	9. 400万円以上	10. わからない

11) ご本人の婚姻状況

1. 既婚	2. 未婚	3. 死別・離婚
-------	-------	----------

12) 医療扶助の給付

1. あり	2. なし	3. わからない
-------	-------	----------

「1. あり」の場合のみ下記の a) にお答えください。

a) 東日本大震災による医療費自己負担免除

1. あり	2. なし	3. わからない
-------	-------	----------

13) 主たる介護者について

①続柄	1. 配偶者	2. 子ども	3. 子どもの配偶者	4. その他 ( )				
②性別	1. 男	2. 女						
③年齢	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

V. 医療・介護サービス利用状況 (利用なしは0をご記入下さい)

<b>1) 介護サービス利用状況</b>		
<b>①訪問サービス</b>		
1. 訪問診療 _____ 回/月	2. 訪問歯科 _____ 回/月	3. 訪問看護 _____ 回/月 or _____ 回/週
4. 訪問介護 _____ 回/週	5. 訪問入浴 _____ 回/週	6. 訪問リハビリテーション _____ 回/週
7. 訪問栄養指導 _____ 回/月	8. 訪問薬剤指導 _____ 回/月	
<b>②通所サービス</b>		
9. 通所介護 _____ 回/週	10. 通所リハビリテーション _____ 回/週	11. 通所看護 _____ 回/週
<b>③短期入所 (特養・老健)</b>		
12. ショートステイ 合計 _____ 日/月	<b>④介護保険外サービス</b>	
	13. 配食サービス _____ 食/週	
<b>2) 外来の有無</b>		
外来受診	<b>3) 歯科受診の有無</b>	<b>4) 緩和ケアの有無</b>
1. 有 ( _____ 回/月)    2. 無	1年以内の歯科受診 1. 有    2. 無	緩和ケア 1. 有    2. 無

VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能について

1) 過去1年間の誤嚥性肺炎の有無	2) 過去1年間の褥瘡の有無
1. 有    2. 無	1. 有    2. 無
<b>3) 昼食時の覚醒状況</b>	
1. 覚醒している    2. やや覚醒    3. わずかに覚醒    4. 覚醒していない    5. わからない	

4) 意思の伝達

1. できる                      2. 時々できる                      3. ほとんどできない                      4. できない

5) 排便回数

1 週間                      回

6) 強制排便の有無

1. 有 (浣腸・下剤・排便を定期的に行っている)                      2. 無

7) 残存歯数 (成人は 28 本)

1. 20 本以上    2. 10~19 本    3. 1~9 本    4. 0 本

8) 入れ歯の有無

1. 有                      2. 無                      3. わからない

9) 口を閉じることができる

1. できる                      2. できない                      3. わからない

10) 口腔清掃の有無

1. 有                      2. 無                      3. わからない

11) 固い食品を噛めますか

1. はい                      2. いいえ  
 ↳ a. 左右両側の歯で噛める    b. 左右どちらかの歯でしか噛めない    c. 不明

12) どのくらいのが噛めますか (1つだけ○)

1. どんなものでも、欲しいものを噛んで食べられる  
 2. 噛みにくいものがあるが、たいていのものは食べられる  
 3. あまり噛めないで、食べ物が限られている  
 4. ほとんど噛めない  
 5. 全く噛めず流動食 (ミキサー食等) を食べている

13) 摂食・嚥下障害重症度分類 (DSS)

7. 正常範囲	臨床的に問題なし
6. 軽度問題	主観的問題を含め、何らかの軽度の問題がある
5. 口腔問題	誤嚥はないが、主として口腔器障害により摂食に問題がある
4. 機会誤嚥	ときどき誤嚥する。もしくは咽頭残留が著明で临床上誤嚥が疑われる
3. 水分誤嚥	水分は誤嚥するが、工夫した食物は誤嚥しない
2. 食物誤嚥	あらゆるものを誤嚥し嚥下できないが、呼吸状態は安定
1. 唾液誤嚥	唾液を含めてすべてを誤嚥し、呼吸状態が不良。あるいは、嚥下反射が全く惹起されず、呼吸状態が不良

**VII. 食事、食事環境等について**

1) 1日の食費 (経口摂取分のみ)

1. 500 円未満    2. 500 円以上 1000 円未満    3. 1000 円以上 1500 円未満    4. 1500 円以上    5. わからない

2) 食事摂取法 (あてはまるもの全てを選択して下さい)

1. 経口摂取                      2. 経管栄養 [a. 経口    b. 経鼻    c. 胃瘻] (                      kcal/日)  
 3. 静脈栄養 (                      kcal/日)

3) 1日の水分摂取量 (コップ 1 杯 180ml)

1. コップ 3 杯未満                      2. 3 杯以上 5 杯未満                      3. 5 杯以上

4) 食事形態 (経口摂取可能な場合のみ)

1. ゼリー食やムース食                      2. ペースト食やミキサー食                      3. きざみ食                      4. 軟食                      5. 常食

5) 1日の食事回数 (経口摂取のみ)

1. 1 回                      2. 2 回                      3. 3 回                      4. 4 回以上

6) 1回の食事時間 (経口摂取のみ)

(                      ) 分

7) 栄養補助食品 (経口摂取可能な場合のみ)

1. 摂取している                      2. 摂取していない

8) 処方された薬の形状を変えずに飲めますか (経口摂取可能な場合のみ)。

1. 飲める    2. 飲めない                      ↳ a) 薬の形状を変える等の工夫をすれば飲めますか  
 (粉を加へ、錠剤を加へ粉・とろみづけ・ゼリー・氷等)  
 1. はい                      2. いいえ

9) 食欲の有無 (経口摂取可能な場合のみ：過去1ヶ月間：本人の判断または介護者が判断)

1. ない	2. わずかにある	3. ややある	4. ある	5. わからない
-------	-----------	---------	-------	----------

10) 食事の楽しみについて (経口摂取可能な場合のみ：過去1ヶ月間：本人の判断または介護者が判断)

1. とても楽しみにしている	2. やや楽しみにしている	3. あまり楽しみでない
4. まったく楽しみでない	4. わからない	

※ 以下は全員お答え下さい。

11) 現在たばこを吸っていますか

1. 吸っている	2. やめた(1年以上やめた場合)	3. 以前から吸ったことがない
----------	-------------------	-----------------

12) 現在、お酒(アルコール)を飲みますか

1. 飲む	2. やめた(1年以上やめた場合)	3. 以前からほとんど飲まない
-------	-------------------	-----------------

13) 皮膚のかさつき

1. ない	2. わずかにある	3. ややある	4. ある	5. わからない
-------	-----------	---------	-------	----------

14) 手指の爪の健康度

① 白癬の有無	1. あり	2. なし→下の a、b へ	3. わからない→下の a、b へ
---------	-------	----------------	-------------------

a) 指の爪がもろくなっている(割れやすい・薄い)	1. はい	2. いいえ	3. わからない
---------------------------	-------	--------	----------

b) 指の爪の色	1. ピンク	2. 白・青白い(紫)	3. その他の色( )	4. わからない
----------	--------	-------------	-------------	----------

## VIII. ADL (パーセルインデックス)

1) 食事	1. 自立、自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終える 2. 部分介助(例えば、おかずを切って細かくしてもらう) 3. 全介助
2) 車椅子からベッドへの移動	1. 自立、ブレーキ、フットレストの操作の含む(非行自立も含む) 2. 軽度の部分解除または監視を要する 3. 座ることは可能であるがほぼ全介助 4. 全介助または不可能
3) 整容	1. 自立(洗面、整髪、歯磨き、髭そり) 2. 部分介助または不可能
4) トイレ動作	1. 自立、衣服の操作、後始末を含む、ポータブル便器などを使用している場合は、その洗浄も含む 2. 部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する 3. 全介助または不可能
5) 入浴	1. 自立 2. 部分介助または不可能
6) 歩行	1. 45m以上の歩行、補助具(車椅子、歩行器は除く)の使用の有無は問わない 2. 45m以上の介助歩行、歩行器の使用を含む 3. 歩行不能の場合、車椅子にて45m以上の操作可能 4. 上記以外
7) 階段昇降	1. 自立、手すりなどの使用の有無は問わない 2. 介助または監視を要する 3. 不能
8) 着替え	1. 自立、靴、ファスナー、装具の脱着を含む 2. 部分介助、標準的な時間内、半分以上は自分で行える 3. 上記以外
9) 排便コントロール	1. 失禁なし、浣腸、坐薬の取り扱いも可能 2. ときに失禁あり、浣腸、坐薬の取り扱いに介助を要する者も含む 3. 上記以外
10) 排尿コントロール	1. 失禁なし、収尿器の取り扱いも可能 2. ときに失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する者も含む 3. 上記以外

**Ⅸ. 処方薬**

現在の処方薬（点滴・外用薬含む）全てをお書き下さい（お薬手帳の転記・コピー可）。

また、ご回答いただけない場合は、次の項目にお答えください。

1. 処方薬なし	2. 不明	3. その他 ( )
----------	-------	------------

お 薬 手 帳 の コ ピ ー 貼 り つ け 位 置	
--	--

# 同意書

平成 年 月 日

研究責任者 三浦 久幸 殿  
同意者（自署）  
代諾者（自署）  
（続柄）  
（本人が承諾に関し判断できない場合には代諾者）

私は、下記の課題の調査について、本日、説明担当者より説明を受け、十分に理解し、納得しましたので、その調査に参加することに同意します。

また、調査結果が研究目的で使用されることにも同意いたします。

## 記

課題名：「在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査研究（研究1）」

### 1 調査目的

在宅療養患者が、より質の高い在宅生活を維持・継続するためには、食事の摂取や栄養状態が重要です。この調査では、在宅療養患者の実態を調査・把握し、課題を分析します。

### 2 調査の内容・方法

国立長寿医療研究センターと全国在宅療養支援診療所連絡会を中心に各在宅医療・介護の関連団体の協力の下、在宅療養患者 2000 名に対して行います。実施方法は、摂食状況（食にまつわる環境等も含む）や栄養状態に関して、ご本人とご家族に面接調査を行います。調査者が把握している医療・介護情報等も必要に応じて提供させていただきます。そして、低栄養を惹起する要因について分析し、多職種連携における低栄養改善に向けての解決策を提言します。

### 3 調査結果の守秘について

個人情報保護の観点から、情報管理については十分な配慮を行い、厳重に管理します。本研究の結果について、学会発表や論文において結果を報告することがありますが、その場合には、個人を特定できる情報や形式での公開は一切いたしません。

説明担当者

---



平成24年度老人保健健康増進等事業  
在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の  
把握に関する調査研究  
調査実施マニュアル

国立長寿医療研究センター  
東京都健康長寿医療センター研究所

# 目次

<b>1. 調査概要</b>	
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査日程	1
(4) 研究計画	1
(5) 研究組織	1
(6) 倫理的事項	2
(7) 注意事項	2
<b>2. 調査方法</b>	
(1) 調査の進め方	3
<b>3. 調査票の記入方法</b>	
I. 対象者の基本情報	4
II. 身体計測	5
III. 栄養評価	7
IV. 療養・生活状況	9
V. 医療・介護サービス利用状況	11
VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能について	12
VII. 食事、食事環境等について	14
VIII. ADL（バーセルインデックス）	16
IX. 処方薬	17

資料

## 1. 調査概要

### (1) 調査の目的

在宅療養患者において、生活の質（quality of life; QOL）を維持するためには、栄養状態の維持・改善は不可欠です。しかしながら、疾患や介護環境等の栄養状態に影響を及ぼす要因は多く存在し、低栄養状態（サルコペニア等を含む）が散見されることも事実です。より質の高い在宅生活を維持・継続するために、特に摂食状況や栄養状態に着目して、実態を調査・把握し、課題を分析し、実態改善への方策を模索・提言することを目的とします。

### (2) 調査対象者

平成 24 年 10 月 15～28 日にチームリーダーの担当（診療または訪問対応）した 65 歳以上の在宅療養患者を本調査の対象者といたします。この期間の患者数を調査対象者の全数として、調査票と一緒に送付する調査報告書にご記入下さい。

調査対象者の選定期間は、厳守してください。

### (3) 調査日程

調査期間：平成 24 年 10 月 15 日から

調査票の提出：平成 24 年 11 月 18 日

### (4) 研究計画

本研究では、在宅療養患者を対象とした質問紙調査を実施し、低栄養状態に関連する要因を明らかにします。調査項目は、身体測定（身長、体重、下腿周囲長、膝高）、既往歴（原疾患、服薬等）、身体機能、要介護度、栄養状態、生活状況（世帯状況、婚姻状況、介護者等）、排便状況、口腔・嚥下機能、生化学検査値、医療・介護サービスの利用状況、食環境についての調査を実施します。そして、結果を集計・分析し、課題およびその解決方法を、抽出・提案してまとめます。

### (5) 研究組織（研究者・研究が行われる機関または実施場所）

本事業の代表者は大島伸一（国立長寿医療研究センター）、事業全体のとりまとめは鳥羽研二（国立長寿医療研究センター）、事業担当者は三浦久幸（国立長寿医療研究センター）、太田秀樹（全国在宅療養支援診療所連絡会）、齋藤京子（東京都健康長寿医療センター研究所）です。三浦は事業全般に係る連絡調整、太田は調査に係る調整・指示、齋藤は統計解析に係る調整・指示を担当します。

データは、研究協力者により、在宅療養患者の自宅および利用施設等で、調査票への記入が行われる予定です。その後のデータの管理および解析等は、国立長寿医療研究センター内および東京都健康長寿医療研究センターで行われます。

尚、本研究は、平成 24 年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業（事業 No. 24 テーマ区分第二 テーマ番号 3 3）として実施いたします。

## (6) 倫理的事項

本研究では、質問紙調査においては、データ収集、および入力時には連結データとして管理し、データベース作成時に分離データとします。

データについては、本研究センター内および研究協力者の所属施設内で管理、解析いたします。また本研究の倫理審査は、国立長寿医療研究センター倫理委員会の承認を得ております。

## (7) 注意事項

### ①調査に関する秘密の保持

この調査は、医療情報及び心身の状態や周囲の環境、生活習慣等について具体的な情報を取り扱うとともに、多数の関係者が携わるという特色を有することから、調査対象者に関わる情報を適切に取り扱い、この個人情報保護するものとします。

### ②調査票についての取り扱い

本調査では、一部オリジナルの質問項目を使用しております。そのため、調査票は非公開と致しますので、取り扱いには十分にご注意ください。また、他の調査等で、本調査で用いた項目を使用する場合は、事務局（三浦：hmiura@ncgg.go.jp）まで、必ずご相談ください。

### ③マニュアル厳守のお願い

本調査は、マニュアルに書かれている範囲内で行ってください。調査を実施するうえで問題が生じた場合は、事務局までご相談ください。

## 2. 調査方法

### (1) 調査の進め方

調査項目の回答については、面接調査としておりますが、皆様のお手元にある情報がありましたら、転記していただいても結構です。また、対象者本人だけでなく、家族や介護者（サービス担当者含む）からの情報をもとに回答いただいてもかまいません。

調査を始める前に、調査について説明し、同意を得た後、調査を開始していただきます。

#### ① 調査の説明と同意について

説明書（「調査のお願い」資料参照）の内容を対象者または家族に説明し、説明書はお渡し下さい。同意書は、調査票の最後にございます。同意を得られた方のみ同意書（資料参照）にサインをいただき（家族のサインでも可）、調査を実施してください。

同意が得られなかった場合は、調査は実施しないでください。

#### ② 調査票の記入

調査票の記入は、チームのどなたが実施してもかまいません。記入日が数日にわたる場合には、最初の記入日を入れてください。調査票の1ページのチームリーダー所属機関の情報等は必ずご記入ください。

調査票の項目は、「Ⅲ. 調査票の記入方法」に従い、もれなくご記入ください。

#### ③ 調査票の回収

調査票はチームリーダーが取りまとめ、調査項目に記入漏れがないか確認してください。調査が終了したら、全部の調査票をまとめて、こちらから調査票とともに配布する着払いの用紙にてご返送ください。着払いの用紙が入っていなかった場合や用紙が足りない場合は、事務局までご連絡ください（送付に関してはこちらからお送りした用紙のみ着払いとなりますのでご注意ください）。

調査票の回収は、キタメディアに委託いたしますが、確認は東京都健康長寿医療センター研究所で行います。問い合わせ、質問等がございましたら、下記にご連絡ください。

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防チーム （担当：齋藤）

TEL：03-3964-1141（内線 3064）

メール：kyon@tmig.or.jp

### 3. 調査票の記入方法

各項目の回答について解説いたします。

#### ▶ チームリーダーと記入者の情報

調査を実施いただきましたチームリーダーと記入者のご施設名(事業所名)及び職種等をご記入ください。

#### I. 対象者の基本情報

調査を実施した対象者の名前・生年月日・年齢・性別を記載下さい。年齢は平成 24 年 10 月 15 日現在でお答えください。

\*なお、個人情報については、本研究事業における関係者のみで使用し、その他第三者に提供することはありません。適切な安全管理措置にて保管し使用目的達成後には速やかに廃棄致します。

## Ⅱ. 身体計測

### 1) 身体測定の方法

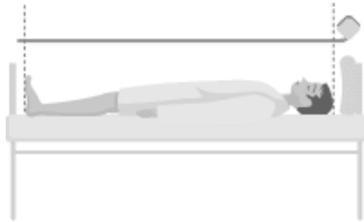
#### ①身長

可能であれば、調査期間内に実測いただき、実測が難しい場合には、一番新しいデータを記載ください。身長を測定した年月を記入してください。

#### ➤ 身長の測定方法

##### 仰臥位での測定

枕を使わずに背中が沈まない程度の硬さのベッドに仰向けに寝かせます。次に頭頂からベッドの床面に垂直な線と、踵からベッドの床面に垂直な線間の体幹に平行な直線距離を 巻き尺で計測します。



##### 家庭での立位測定

柱や壁等を利用し、背骨をできるだけ伸ばして背面につけます。測定者は正面から見て、対象者の顔はまっすぐにし、顎や頭を下げすぎたり上げすぎにならないように注意します。直角な物（ファイルや本等）を頭にあて付箋などで印をつけ、対象者が離れてからメジャーで床からの高さを測定します。

\*測定時に対象者が方向転換する時など転倒の危険があるので移動時には十分気をつけて下さい。

#### ②体重

可能であれば、調査期間内に実測いただき、実測が難しい場合には、一番新しいデータを記載ください。体重の測定した年月を記入してください。

#### ③下腿周囲長

##### 立位または座位の場合

対象者の左側の足がぶら下がるようにして座ってもらうか（力をいれてない状態）、両足に体重が均等にかかるように立ってもらう。ズボン等を履いていれば、ふくらはぎが見えるように裾をあげる。

正面からみてふくらはぎのもっとも太い部分の周囲長を測定する。確認のために上下の部分も測定し、最初に測定した値がもっとも大きいことを確認する。

計測は巻尺の目盛りを 0.1cm の近似値まで読み取り記録します。

2 回測定を行います。測定 2 回の差が 0.5cm 以内の値をそれぞれご記入ください。

### 仰臥位の場合

計測は巻尺の目盛りを 0.1cm の近似値まで読み取り記録します。

麻痺や関節の拘縮のない方の脚で行い、正面からみて最も太いところを測定します。

計測は巻尺の目盛りを 0.1cm の近似値まで読み取り記録します。

2 回測定を行います。測定 2 回の差が 0.5cm 以内の値をそれぞれご記入ください。

\*メジャーはわずかにゆるめ、皮膚がもどるのに併せて、テープを自然にゆるめた位置で目盛りを読み取ります。



### ④膝高

仰臥位にし膝と足首を直角（90 度）に曲げます。可能なら三角定規を使用しますが、ファイル等の直角部分を利用して頂いてもかまいません。足底からくるぶしを通り大腿前部の膝蓋骨から 5cm 上（足の付け根寄り）までの距離を測定します。測定は利き脚でない脚で行います。2 回測定を行います。測定 2 回の差が 0.5cm 以内の値をそれぞれご記入ください。



### ⑤浮腫の有無

下腿周囲長の測定にあたっては、浮腫の有無の確認が必要です。

くるぶしの部分を指でおして 5 秒以上へこみが残ったら浮腫と判断します。

### Ⅲ. 栄養評価：MNA<sup>®</sup>-SF (Mini Nutrition Assessment-Short Form)

MNA は低栄養のリスクがある高齢者に用いる栄養アセスメントツールです。

1) 過去 3 ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事量が減少しましたか？

「過去 3 ヶ月間の食事量が、普段に比べて減少しましたか？」と対象者及び介護者に質問して下さい。食事量が減少していれば、非常に減少したか、わずかな現象かを確認します。

チューブ等で栄養摂取している場合も、十分な栄養量が投与されていれば、「食事量の減少なし」と回答して下さい。必要量の半分であれば「中等度の食事量の減少」になります。頻回の嘔吐等でほとんど摂取されていない状態であれば「著しい食事量の減少」としてください。

基本的に食事量の減少は、対象者、介護者及び調査者の主観でお答えください。主観では答えづらい場合として「著しい食事量の減少」は、平常時に比べて 5 割以下の摂取量、「中程度の食事量の減少」は 7 割未満の摂取量と考えていただければと思います。

2) 過去 3 ヶ月間で体重の減少がありましたか？

過去 3 ヶ月間での体重の変化を対象者または介護者にたずねます。または調査者が医療記録等を確認しご記入いただいてもかまいません。

たずねる場合には「減量していないのに、体重が減少しましたか？」 「どのくらい体重が減少しましたか？」などと質問し、わかる場合には 3kg 以上の減少かまたはそれ以下かを確認します。

体重減少の項目は重要であり除外されると、正確な栄養状態の評価ができなくなるため、対象者が肥満の場合であっても体重減少についてたずねることは重要です。

食事療法による体重減少であっても、そのまま評価します。

3) 自力で歩けますか？

活動性について対象者または介護者の方にたずねるか、もしくは記録を調べます。

「ベッドまたは車椅子を常時使用しているか、離れることは出来ますか？」さらには「自力で歩いて外出できますか？」と、たずねます。

4) 過去 3 ヶ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？

患者さんの精神的ストレスや急性の疾患の有無について確認します。

「最近、身内の方にご不幸があったりしましたか？」 「最近、病気をしましたか？」 「引越などをしてしましたか？」などとたずね、ある場合には「1.はい」としてください。

5) 神経・精神的問題の有無

対象者が応答することが出来ない場合（認知症など）または対象者が重度に混乱している場合、医療記録等や施設スタッフ、介護者から患者さんの神経・精神的問題（認知症など）について確認します。

精神・神経的問題の判断が付かない場合、調査票「IV. 療養・生活状況」の7)の認知症高齢者の日常生活自立度を参考にお答えください。

神経・精神的問題の有無の目安表

栄養状態（MNA）神経・精神的問題の有無	認知症高齢者の日常生活自立度
1. 強度認知症またはうつ状態	M
2. 中程度の認知症	Ⅱ～Ⅳ
3. 精神的問題なし	正常・Ⅰ

#### IV. 療養・生活状況

1) 在宅療養期間

平成 24 年 10 月 15 日現在でお答えください。

2) 現在の病状の安定性

調査者からみた状態をお答えください。

3) 直近 3 ヶ月間の入院

直近 3 ヶ月間に入院が有る場合はその回数と入院理由（複数回答可）をお答え下さい。

4) 血液検査結果

Alb 値、リンパ球数、赤血球数、白血球数の検査結果があれば、記載してください。  
なお、いつ実施した検査か日時についてもご記入ください。

5) 原疾患（複数回答可）

当てはまるもの全てに○を付けてください。あてはまらない場合は、その他に病名をお書きください。

例えば

脳血管疾患による片麻痺→脳血管疾患と片麻痺に○をつけて下さい。

COPD→慢性肺疾患に○をつけて下さい。

がん→がんと診断されている物は全て原発性腫瘍になります。

転移性腫瘍→肺からリンパ・脳へがんの転移がある場合など。

マイルドな肝疾患→ウイルス性肝炎、脂肪肝、アルコール性肝障害など。

中等度－高等度の肝疾患→肝硬変、肝不全

中等度－重症の腎疾患→慢性腎不全

臓器不全をとまなう糖尿病→糖尿病性腎症（蛋白尿があり、慢性腎不全またはネフローゼというような診断名がついている場合）、糖尿病性神経症（しびれなどの感覚以上が有る場合）、下肢に腫瘍ができているような場合、糖尿病性網膜症（視力の低下を伴っている場合）など

6) 障害高齢者の日常生活自立度      7) 認知症高齢者の日常生活自立度

8) 要支援・要介護度      9) 世帯状況

ケアプラン等のお持ちの情報から転記ください。

世帯状況の独り暮らしは、同居の介護者が居ない場合とします。

10) 経済状況

世帯年収は差し支えのない範囲でお答えください。

11) 婚姻状況

対象者の現在の状況をお答え下さい。

未婚であってもパートナーと同居の場合は既婚になります。

12) 医療扶助の給付

医療扶助による医療を給付されている場合は、ありとお答えください。

また、医療扶助を給付されている場合は、東日本大震災の**医療費自己負担免除を受給しているかどうか**をお答えください。

13) 主たる介護者について

主に介護している方1名の続柄、性別、年齢をお答えください。

## **V. 医療・介護サービス利用状況**

### 1) 医療・介護サービス利用状況

現在、対象者が利用しているサービスについてケアプランからお答えください。

### 2) 外来の有無      3) 歯科受診の有無

情報がない場合は、対象者、家族、介護者にご確認ください。

### 4) 緩和ケアの有無

チームの医療担当者にご確認ください。

## VI. 既往歴や生活習慣、口腔・嚥下機能について

### 1) 誤嚥性肺炎の有無

過去1年間に、誤嚥性肺炎の既往があれば、有に○を付けてください。

### 2) 褥瘡の有無

過去1年間に、塗布剤等の処置をしていれば、有に○を付けてください。

### 3) 昼食時の覚醒状況

昼食時にウトウトしているかどうかをお答えください。

### 4) 意思の伝達

相互理解ができるかどうかをお答えください。

### 5) 排便状況

1週間での通常の排便回数をお答えください。

### 6) 強制排便の有無

浣腸の使用、下剤の服用などがあれば有に○を付けてください。

### 7) 残存歯数

口腔内の歯の数をお教えください。歯根がある状態（差し歯等）は入れてください。入れ歯やインプラントは、残存歯に入りません。

### 8) 入れ歯

総入れ歯、部分入れ歯を用いている場合は有に○を付けてください。現在、お食事する時に日常的に使用している場合は有とお答えください。使用状況がわからない場合は、「わからない」に○を付けてください。

### 9) 口を閉じることができる

対象者ご自身で口を閉じることができる場合は「できる」、できなければ「できない」に、わからない場合は「わからない」とお答えください。

### 10) 口腔清掃の有無

口腔清掃を、対象者または介護者等が1日に1回でも実施している場合は、「有」とお答えください。実施していない場合は「無」に、わからない場合は「わからない」としてください。

### 11) 固い食品を嚙めますか

常食（普通の食事）が嚙めるかをお答えください。

「はい」と答えた場合は a～c にご回答ください。

12) どのくらいのが嚙めますか

当てはまるもの1つに○を付けてください。

13) 摂食・嚥下障害重症度分類 (DSS)

1～4 は誤嚥がある場合、5～7 は誤嚥がない場合の質問項目です。対象者が問題を感じている場合は、特に介護者が問題を感じてなくても 6.軽度問題とお答えください。

臨床的重症度分類 (DSS) : 嚥下の達成度を判断する口腔・咽頭機能

分類	定義	解説	
誤嚥なし	7. 正常範囲	臨床的に問題なし	治療の必要なし
	6. 軽度問題	主観的問題を含め、何らかの軽度の問題がある。	主訴を含め、臨床的な何らかの原因により摂食・嚥下が困難である。
	5. 口腔問題	誤嚥はないが、主として口腔期障害により摂食に問題がある。	先行期・準備期も含め、口腔期中心に問題があり、脱水や低栄養の危険を有する。
誤嚥あり	4. 機会誤嚥	ときどき誤嚥する。もしくは咽頭残留が著名で臨床上誤嚥が疑われる。	通常の VF において咽頭残留著明、もしくは、ときに誤嚥を認める。また、食事場面で誤嚥が疑われる。
	3. 水分誤嚥	水分は誤嚥するが、工夫した食物は誤嚥しない。	水分で誤嚥を認め、誤嚥・咽頭残留防止手段の効果は不十分だが、調整食など食形態効果を十分認める。
	2. 食物誤嚥	あらゆるものを誤嚥し嚥下できないが、呼吸状態は安定。	水分、半固形、固形食で誤嚥を認め、食形態効果が不十分である。
	1. 唾液誤嚥	唾液を含めてすべてを誤嚥し、呼吸状態が不良。あるいは、嚥下反射が全く惹起されず、呼吸状態が不良。	常に唾液も誤嚥していると考えられる状態で、医学的な安定が保てない。

## Ⅶ. 食事、食事環境等について

### 1) 1日の食費について

対象者のみの食費についておおよその金額をお答えください。  
食費は経口摂取分のみとします（経管栄養等は含みません）。

### 2) 食事摂取法について

経口摂取と経管栄養または静脈栄養を併用している場合は、両方に○をつけてください。

経管栄養を実施している場合は、投与経路及び1日の摂取カロリー量も記載ください。食道瘻・空腸瘻などの場合は「胃瘻等」に○をお願い致します

静脈栄養を実施している場合は、静脈栄養に○を付け、1日の摂取カロリー量も記載してください。

### 3) 1日の水分摂取量

1日に摂取している水分量（お水・お茶・ジュースなど：コップ1杯180ml）で当てはまるものに○を付けてください。

## 次の4)～9)までは、経口摂取をしている人のみお答え下さい。

### 4) 食事形態

日常的に食べている食事形態をお答えください。

### 5) 食事回数

経口摂取の1日の食事回数をお答えください。おやつ等の間食は含みません。

### 6) 食事時間

1回あたりの食事のおおよその時間をお答えください。

### 7) 栄養補助食品

現在、ゼリーやドリンク等の栄養補助食品を利用している場合は、「摂取している」でお答えください。

### 8) 処方された薬の形状を変えずに飲めますか

薬を処方されたままで摂取できる場合は、「飲む」とお答えください。錠剤を砕いたり、カプセルを粉にしたり、粉をカプセルに詰めたり、とろみ剤をつけたり等の工夫をすれば飲む場合は、「飲めない」を選択し、「a.薬の形状を変える等の工夫をすれば飲めますか」に「はい」とお答えください。

### 9) 食欲の有無 10) 食事の楽しみについて

過去1ヶ月間の本人または介護者の判断でお答えください。

以下からは全員お答え下さい。

11) たばこ 12) お酒

当てはまるものに○を付けてください。

13) 皮膚のかさつき

皮膚のかさつきは栄養や水分摂取の不足と関連があると言われています。

現状について介護者や調査者等の判断でお答えください。

14) 手指の爪の健康度

爪の異常は、栄養不良が長く続いたことを示します。

まず、手指について①白癬の有無を確認し、「ない」または「わからない」とお答えの場合は、以下の2点で確認します。介護者や調査者等の判断でお答えください。

a) 爪のもろさは、たんぱく質不足が長期間続いている可能性があります。爪が割れやすい、薄い等がある場合をお答えください。

b) 爪の色は、薄いピンク色が健康とされてます。青白い等の場合は貧血などの疾病の可能性があります。

## **VIII. ADL（バーセルインデックス）**

ADLの指標です。食事、車椅子からベッドへの移動、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便コントロール、排尿コントロールの10個の項目について当てはまるものに○を付けてください。

## **Ⅸ. 処方薬**

現在、処方されている全てのお薬について、お薬手帳に記載されている薬名（点滴・外用薬等を含む）をご記入ください。

お薬手帳（処方箋）のコピーを調査票に添付していただいてもかまいません。その場合は、薬名を転記する必要はありません。コピーは調査用紙の右端にホチキスでとめてください。

**課題名：** 在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査研究（研究1）

---

### 調査の目的

在宅療養患者が、より質の高い在宅生活を維持・継続するためには、食事の摂取や栄養状態が重要です。この調査では、在宅療養患者の実態を調査・把握し、課題を分析します。

### 調査の内容

国立長寿医療研究センターと全国在宅療養支援診療所連絡会を中心に各在宅医療・介護の関連団体の協力の下、在宅療養患者 2000 名に対して行います。実施方法は、摂食状況(食にまつわる環境等も含む)や栄養状態に関して、ご本人とご家族に面接調査を行います。調査者が把握している医療・介護情報等も必要に応じて提供させていただきます。そして、低栄養を惹起する要因について分析し、多職種連携における低栄養改善に向けての解決策を提言します。

### データの管理方法および取り扱い方法

個人情報保護の観点から、情報管理については十分な配慮を行い、厳重に管理します。

### プライバシーの保護について

本研究の結果について、学会発表や論文において結果を報告することがありますが、その場合には、個人を特定できる情報や形式での公開は一切いたしません。

### 本調査への参加について

本調査は、強制ではありません。調査への参加を断られても、なんら不利益は生じません。また、得られたデータは研究の目的以外で使用いたしません。

以上のことに同意できた場合には、調査への参加をお願いいたします。なお、調査途中または終了後にも同意を撤回することができますので、その場合にはお申し出ください。

平成 年 月 日

説明者

---

責任者：三浦 久幸  
国立長寿医療研究センター  
TEL:0562-44-2311(内線 6211)  
ご質問等の連絡先：大塚 理加  
TEL:0562-44-2311(内線 6205)

資料

# 同意書

平成 年 月 日

研究責任者 三浦 久幸 殿

同意者（自署）

代諾者（自署）

（続柄）

（本人が承諾に関し判断できない場合には代諾者）

私は、下記の課題の調査について、本日、説明担当者より説明を受け、十分に理解し、納得しましたので、その調査に参加することに同意します。

また、調査結果が研究目的で使用されることにも同意いたします。

## 記

課題名：「在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査研究（研究1）」

### 1 調査目的

在宅療養患者が、より質の高い在宅生活を維持・継続するためには、食事の摂取や栄養状態が重要です。この調査では、在宅療養患者の実態を調査・把握し、課題を分析します。

### 2 調査の内容・方法

国立長寿医療研究センターと全国在宅療養支援診療所連絡会を中心に各在宅医療・介護の関連団体の協力の下、在宅療養患者 2000 名に対して行います。実施方法は、摂食状況（食にまつわる環境等も含む）や栄養状態に関して、ご本人とご家族に面接調査を行います。調査者が把握している医療・介護情報等も必要に応じて提供させていただきます。そして、低栄養を惹起する要因について分析し、多職種連携における低栄養改善に向けての解決策を提言します。

### 3 調査結果の守秘について

個人情報保護の観点から、情報管理については十分な配慮を行い、厳重に管理します。本研究の結果について、学会発表や論文において結果を報告することがありますが、その場合には、個人を特定できる情報や形式での公開は一切いたしません。

説明担当者

---

資料

## 同意取得の報告

独立行政法人国立長寿医療研究センター総長 殿

説明担当者 \_\_\_\_\_ 印

下記事項について説明し、承諾を得たことを報告します。

同意者 \_\_\_\_\_

説明年月日 平成 年 月 日

### 記

課 題 在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査研究（研  
名： 究1）  
\_\_\_\_\_

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 検査等目的の説明                | <input type="checkbox"/> 済み |
| 2. 検査等内容、方法の説明             | <input type="checkbox"/> 済み |
| 3. 検査等および検査結果の守秘についての説明    | <input type="checkbox"/> 済み |
| 4. その他必要な説明事項<br>（ _____ ） | <input type="checkbox"/> 済み |

平成 24 年度老人保健健康増進等事業  
在宅療養患者の摂食状況・栄養状態の把握に関する調査研究  
調査実施マニュアル  
平成 24 年 10 月 1 日作成版

調査に関する問い合わせ  
東京都健康長寿医療センター研究所  
自立促進と介護予防チーム（担当：齋藤）  
TEL：03-3964-1141（内線 3064）  
メール：kyon@tmig.or.jp

平成 25 年 3 月

編集・発行

国立長寿医療研究センター

〒474-8511 愛知県大府市森岡町源吾 35

電話 0562-46-2311 (代表)